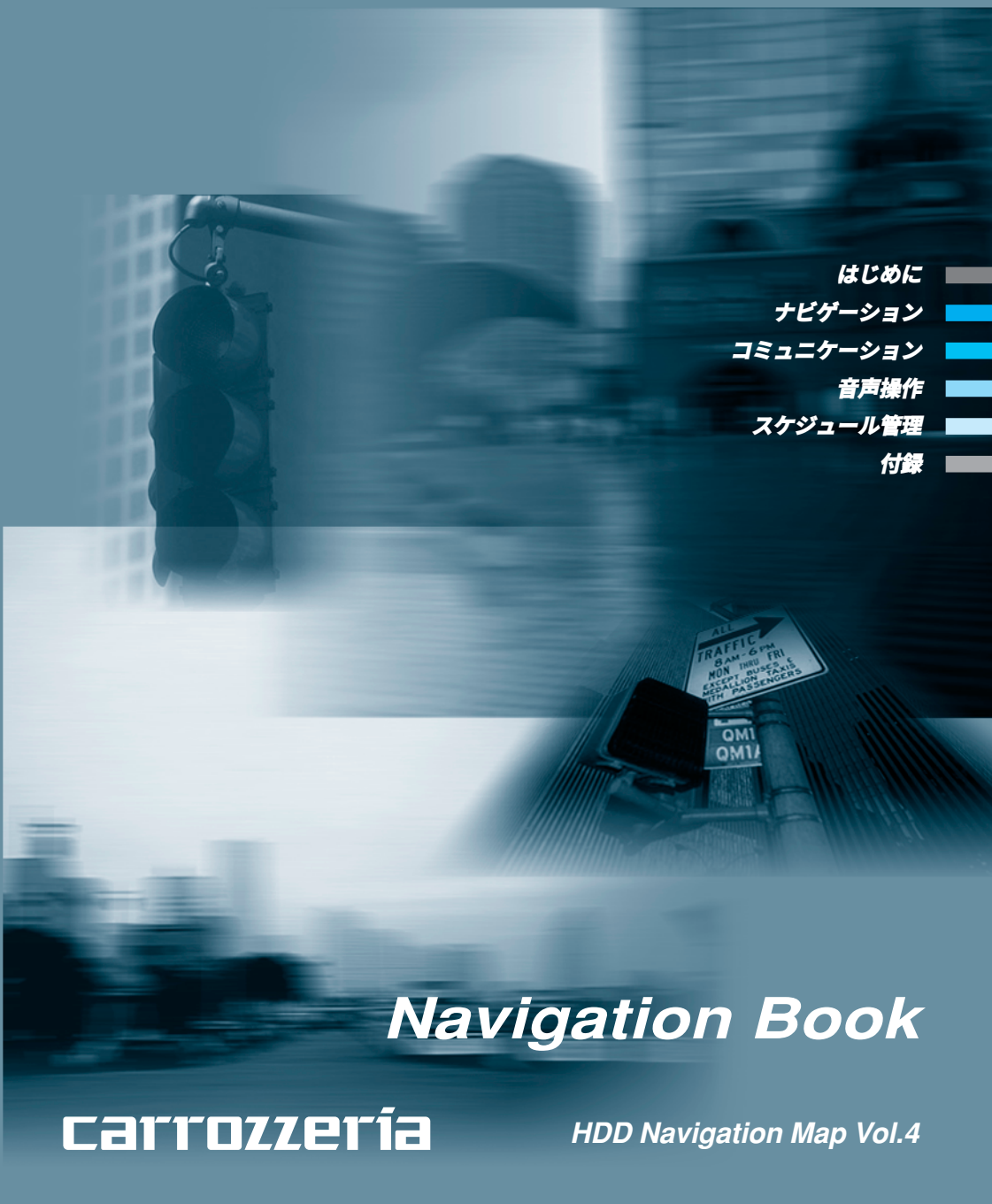
Pioneer sound.vision.soul

タッチパネルタイプ



はじめに
ナビゲーション
コミュニケーション
音声操作
スケジュール管理
付録

Navigation Book

carrozzeria

HDD Navigation Map Vol.4

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例：この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

安全上のご注意

⚠警告 自動車の運転中に地点登録･地名検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。

⚠注意 ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。

⚠警告

- 走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。
ルートの設定などの複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。（操作しようとすると、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。）

操作はエンジンをかけたままで

エンジンを切って本機を操作すると、バッテリー消耗の原因になります。本機の操作はエンジンをかけたままで行ってください。

交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。本品に使用している交通規制データは、2003年4月現在のものです。また、曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。
なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

本書の見かた

本書をお読みになる前に知っておいていただきたいことや、見たい項目の探しかたなどについて説明します。

操作手順の順番を示す番号

参照マーク

参照していただきたい本文タイトルとページ、および他の説明書を導きます。

ページ内の構成

本書は、操作方法などがわからなくなった場合に、知りたい情報を探しやすいように構成されています。

■情報の探しかた

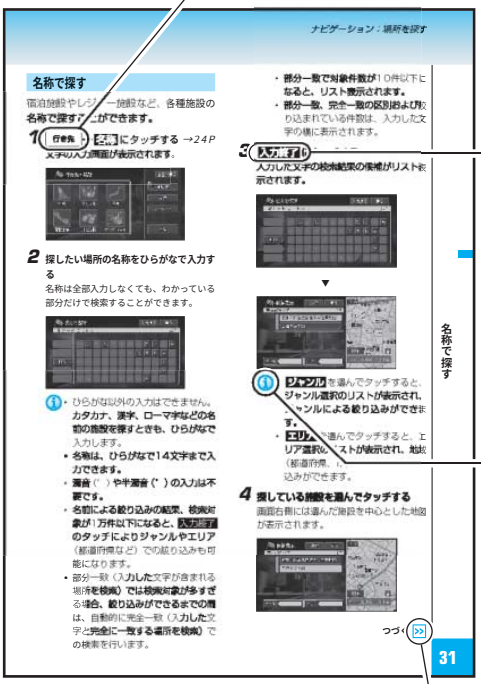
大見出しで探す

大見出しは主要機能で構成されています。目次を見て探してください。

中見出しで探す

中見出しは主要機能を実行するための各方法で構成されています。

中見出しは探しやすいように、ページをめくる側の全ページに入っています。



本体上のボタン

本体についているボタンを表します。

画面上のメニューやタッチスイッチ

画面上に表示されるメニューやタッチスイッチを表します。

インフォメーションマーク

操作上、注意すべきことや操作上のヒント、便利な使いかたなどについて説明します。

続きマーク

右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

注意マーク

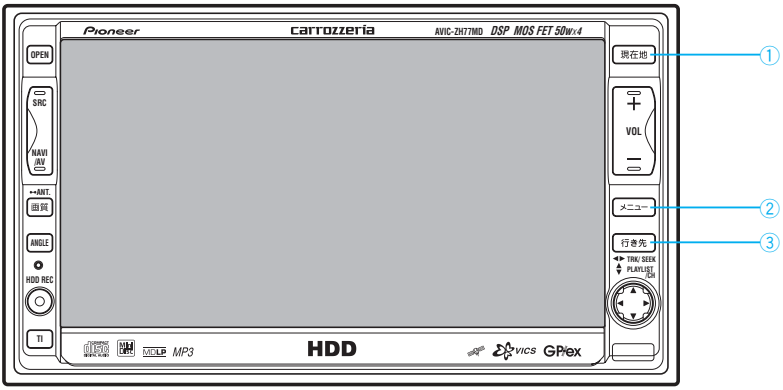
操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明します。

本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

各ボタンの表記

手順説明では、操作に必要な各ボタンをイラスト表示や名称で表しています。

ナビゲーション本体



① **現在地ボタン**

現在地を表示させるときなどに押します。

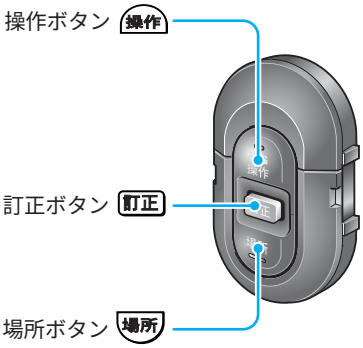
② **メニューボタン**

設定を行うときなどに押します。

③ **行き先ボタン**

目的地を表示するときなどに押します。

音声認識コントローラー



目　次

はじめに

安全にお使いいただくために　2
安全走行のために　3
本書の見かた　4
各ボタンの表記　6

ナビゲーション

基本

基本的な地図画面の見かたと操作　12
地図画面の見かた　12
地図画面の表示方法を変える　16
見たい場所まで地図を動かす　18
地図の縮尺を変える　18
地図を左右に回転させる　20
地図の傾きを変える　20
現在地画面の見えかたを登録する　21
高速道路の施設情報を見る　21

メニュー

メニュー操作　24
スタートメニューの表示　24
メニュー操作の基本　25
ショートカットメニュー　26

文字入力

文字の入力操作　27
漢字表から入力する　28
誤って入力した文字を削除する　28
スペースを空ける　28
文字を挿入する　29
インターネットの文字入力　29

場所

場所を探す　30
検索方法の種類　30
地図で探す　30
名称で探す　31
ジャンルで探す　32
住所で探す　34
電話番号で探す　36

場所

緯度経度で探す　37
周辺施設を探す　38
マップコードで探す　39
登録地から探す　40
履歴から探す　41
マイリストから探す　42
ドライブガイドで探す　43
詳細情報を見る　44
スクロール画面にする　46

ルート

ルートの設定と案内　47
行き先までのルートを探索させる　47
学習ルート探索　49
ルートを確認する　49
他のルートを選ぶ　50
ルートを詳細に設定する　50
自宅に帰るルートを探索させる　54
簡単にルートを探索させる　54
ルート案内の開始　55
ルート上の渋滞を案内させる　61
ルート上の渋滞情報を表示させる　61
渋滞を自動的に避ける
（渋滞考慮オートリルート）　61
VICS情報を考慮したルート探索
（渋滞考慮ルート探索）　61
回避エリアを考慮したルート探索　62
案内中のルートを確認する　62
条件を変えてルートを設定し直す　63
ルート上の立寄地を編集する　63
ルート上に乗り降りIC（インター
チェンジ）を指定する　65
ルート上に登録道を組み込む　65
設定地点の位置を修正する　65
ルート案内を中止する　66
案内中のルートとは別のルートを
探索する　66
ルートに立寄地を追加する　67
ルート上の立寄地を先送りする　67

地点登録
地点の登録 68
自宅を登録する 68
現在地を登録する 69
探した場所を登録する 69

登録地編集
登録地の編集 70
登録地の名称を変更する 70
登録地のよみを変更する 71
登録地の電話番号を変更する 71
登録地のマークを変更する 71
登録地の画像を変更する 73
登録地の効果音を変更する 75
登録地の探索条件を変更する 76
登録地をグループに振り分ける 77
登録地の位置を変更する 78
自宅に変更する 78
登録地を消去する 79
登録地のグループ名称を変更する 80
登録地をPCカードへ保存する 81
PCカードから登録地を読み込む 82
PCカード内の登録地データを消去する 83

ロゴマーク編集
ロゴマークの登録・編集 84
ロゴマークを非表示にする 84
ロゴマークの位置を修正する 88
ロゴマークを登録する 91

データ編集
各種データの登録・編集 94
通りたい道路を登録する 94
登録道を編集する 95
回避したいエリアを登録する 98
回避エリアを編集する 99
携帯電話情報を消去する 101
ルートの学習内容を消去する 102
検索履歴を消去する 103
走行軌跡を消去する 103
オートリルート履歴を編集する 104
登録リルート地点を編集する 105
マイリストを消去する 107

機能設定
機能設定 108
機能の設定を変更する 108
設定内容の詳細 109

各種設定
設定（機能設定以外） 117
施設のロゴマークを表示させる 117
音量を調整する 118
PCカードをフォーマットする 118
自車位置のずれを修正する 119
画面の背景をカスタマイズする 120

VICS
VICS情報の利用 122
VICSとは 122
地図上でVICS情報を見る 124
図形情報を見る 127
文字情報を見る 128
センター情報を見る 129
放送局を選ぶ 129

情報
各種情報の利用 132
FM文字放送を見る 132
気象情報を見る 133
TV番組表を見る 139
ドライブガイドを見る 140
ハードウェア情報を見る 140

コミュニケーション

インターネット
インターネット 146
インターネットとは 146
インターネットを利用するまで 146
インターナビとは 148
MONET-iとは 148
プロバイダを設定する 149
ホームページを見る 157
画面を操作する 158
画面が正しく表示されないとき 161
ホームに戻る 161
URLを入力してホームページを見る 162
ブックマークを操作する 162

インターネット
履歴を操作する 166
表示したホームページを保存する ... 168
接続を解除する 169
インターネット基礎知識 170

Eメール
Eメール 173
Eメールを利用する前に 173
Eメールの設定 173
メールを送信する 174
アドレス帳を操作する 179
定型文を操作する 181
シグネチャー（署名）を登録する ... 184
メールを受信する 184
添付ファイルを操作する 188

携帯電話
携帯電話 190
携帯電話を利用する前に 190
携帯電話で通話するときは 190
携帯電話を使う 191

音声操作

音声操作の基本
音声操作のポイント 198
発話を正しく認識させるには 198
キャラクタの案内 199
音声操作の流れ 199
発声の特徴を学習する 203

場所ボタンによる操作
場所を探す 204
近くのガソリンスタンドなどを探す 204
住所を指定して探す 205
電話番号から場所を探す 205
登録した場所を探す 206
最近探した場所を探す 206
施設名で場所を探す 207
自宅へ帰るルートを探索する 207
目的地の地図を見る 207

操作ボタンによる操作
基本操作をする 208
音声認識語 208
ルートの設定と案内 210
音声認識語 210
VICS情報を確認する 211
音声認識語 211
電話を操作する 212
登録した場所に電話をかける 212
電話番号を発話して電話をかける ... 212
携帯電話に電話をかける 212
メモリダイヤルで電話をかける 213
フリーダイヤルに電話をかける 213
リダイヤルで電話をかける 213
テレビ・ビデオを操作する 214
音声認識語 214
CDやMP3ディスクを操作する 215
音声認識語 215
ミュージックサーバーを操作する 216
音声認識語 216
MDを操作する 217
音声認識語 217
ラジオを操作する 218
音声認識語 218
その他の操作をする 219

設定／ジャンル
音声操作の設定を変える 220
ボイスヘルプ 220
オーディオミュート 220
音声認識話者学習使用 220
検索できるジャンルの種類 221
ジャンル名の指定のしかた 221
施設名で場所を探す場合のジャンル ... 222

スケジュール管理

ドライブスケジュール

ドライブスケジュールを管理する 224
スケジュールを作成する 224
毎日、毎週、毎月、毎年で
スケジュールを作成する 225
スケジュールの起動時間になると 226
実行履歴を見る 226
指定した場所に近づいたら実行する 226
スケジュールの確認をする 228
スケジュールの日時・場所を
変更する 228
スケジュールを消去する 229
スケジュールをまとめて消去する 230

車両メンテナンス

車両メンテナンスを管理する 231
エンジンオイルやオイルエレメント
交換などのお知らせ 231
車検や保険、免許更新のお知らせ ... 232
スケジュールを設定した時期に
なると 232

PCカード

PCカード（スケジュール／メンテナンス） 233
PCカードに保存する 233
PCカードから読み込む 233
PCカードデータを消去する 234

操作ガイド

操作ガイド 235
操作ガイドを見る 235

付　録

付録

ヘルプネットについて 236
手動保守点検 236

付録

困ったときには 238
故障かな？と思ったら 238
エラーメッセージと対処方法 244
画面が動かなくなった場合は 245
頻繁にシステムエラーが
発生する場合は 245

ナビゲーションのしくみ 246
現在地がわかるしくみ 246
測位の精度を高めるためのしくみ 246
誤差について 249

センサメモリのリセットについて 253
センサ学習状態の
リセットが必要な場合 253
センサ学習状態の
リセットのしかた 253

その他の情報
検索におけるデータベースについて 254
ルートに関する注意事項 255
VICS情報に関する注意事項 257
ETCに関する注意事項 257
予報に関する注意事項 258
アメダス情報について 259
詳細市街地図収録エリアについて 260
オービスポイントについて 263
かな漢字変換できる記号 264

機能設定一覧 265
［地図表示］ 265
［ルート・案内］ 265
［VICS・FM多重］ 266
［その他］ 267

索引 268
メニュー索引 268
用語索引 270

基本的な地図画面の見かたと操作

地図画面の見かた

ナビゲーションの地図表示には、自分の車 (自車) の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所の地図を表示する「スクロール画面」（14P）があります。

■現在地画面

ノーマルビュー

- 方位表示の赤い三角が北の方向を示します。
- 進行方向が常に上にくるように地図が回転するヘディングアップと、北が常に上にくるノースアップがあります。ヘディングアップ時の地図の回転のしかたは、「機能の設定を変更する」（108P）で変更できます。
- 軌跡表示は、今までに通った約230km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5km/h未満のときは赤、5km/h以上20km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- 現在地の地名は地図の縮尺が10m～50mの詳細市街地図収録エリアの場合、市区町村、住所名、丁目が表示されます。(詳細市街地図収録エリア外は市区町村、ドライバーズビューは都道府県と市区町村が表示されます。)
- 現在地の地名は、地図の縮尺が100m～1kmの場合、都道府県と市区町村が表示されます。
- 現在地の地名は地図の縮尺が2km以上の場合は表示されません。(ドライバーズビューは表示されます。)
- 現在地の地名は都道府県／市区町村以外にも「緯度経度」「走行道路名」「AV情報」の切り替えができます。「機能の設定を変更する」（108P）
- 場所によっては、現在地の地名が表示されないところもあります。
- スカイビューなどの3D地図では、縮尺が200m以下で立体ランドマークを表示させることができます。立体ランドマーク表示は、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。
- ウェザーライブの気象情報を取得など通信でデータのやりとりを行う間は交差点案内図などの情報は表示されません。また地図もノーマルビューまたはスカイビュー（アングル変更時）になります。
- 現在の時刻は、GPS衛星から受信した電波に基づいて表示しているため、時刻を変更することはできません。

現在地画面を表示させる

1 現在地 **を押す**

現在地の地図を表示します。
押すと、自分の車の現在地と進行方向を示す自車マークが表示されます。

- 本機を初めて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。その間は過去の現在地（最後に測位したところ）が表示されます。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。また、自車マークの向きが実際の進行方向とは異なる場合があります。
- ルート案内中現在地画面を表示しているときに 現在地 を押すと案内音声が流れます。

走行すると表示される画面

交差点に近づくと

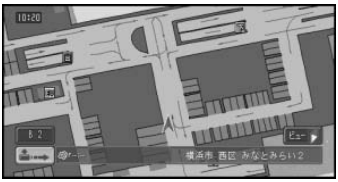
交差点の手前300mに近づくと、場所により通過する交差点名と方面案内表示、さらに直進・右左折を案内するレーン情報が表示されます。

方面案内表示は、実際の標識と異なる場合があります。

方面案内表示は、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

駐車場に入ると

データが収録されている大規模駐車場に入ると、入口、出口、エレベーターの位置などがわかる詳細な情報を含んだ駐車場マップが表示されます。



駐車場マップは、4m、8mスケール相当で表示されます。

駐車場マップの自動表示は、「機能の設定を変更する」（108P）でオート/マニュアルに設定できます。

高速道路を走行すると

都市高速はシティハイウェイマップ、都市間高速はハイウェイモードになります。

自動表示は「機能の設定を変更する」（108P）で変更できます。

セーフティインフォメーション

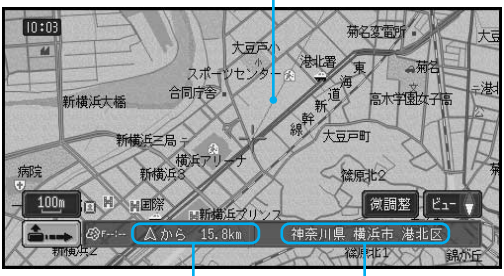
ドライビングの状況に応じて、音声で案内を行います。

つづく

種類	案内例
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
危険個所案内（踏切案内）	この先、踏切です。ご注意ください。
危険個所案内 （高速道路危険ポイント案内）	ここから5キロ先までは十分運転に注意してください。
合流案内	この先、左からの合流があります。ご注意ください。
右左折専用レーン案内	およそ300m先、右折専用レーンがあります。ご注意ください。
ライト点灯案内	まもなく、日が暮れます。ライトの確認をしてください。
県境案内	○○県に入りました。

- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、全ての踏切で案内されるわけではありません。
- 県境案内は、都市間高速および都市高速を走行中のみ案内されます。

■スクロール画面



ノーマルビュー

- 十字カーソルは、画面の中心に表示されます（2D表示）。（3D表示のときは異なります。）
- スクロール中は、画面の上下左右にスクロール中方面表示が表示されます。地図の縮尺が200mスケール以下では市区町村名が、500m～1kmでは都道府県名が表示されます。2km以上では表示されません。（場所によっては、上下左右どちらかのスクロール方面表示が表示されない場合があります。）
- スクロール方面表示は、ノーマルビュー、スカイビュー、ツインビューで表示されます。
- スクロール画面では、交差点の名称表示、レーン案内表示、方面案内表示、交差点拡大図の表示はしません。

スクロール方面表示は、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

■サイドマップ表示

地図画面の表示方法をハイウェイモードにしている場合や、場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側にサイドマップが表示されます。
サイドマップは、直前で選んでいた表示方法と縮尺で表示され、進行方向が常に上にくるように地図が回転します（ヘディングアップ）。
サイドマップでは、地図の縮尺を変更することができます。

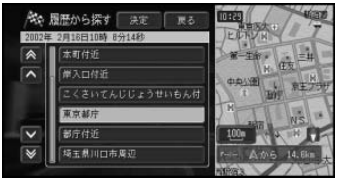
ⓘ 場所を探すリスト画面のサイドマップは、2D表示のノースアップ固定です。
直前で選んでいた表示がツインビューの場合は左画面、ドライバーズビューの場合はウィンドウマップの表示方法と縮尺で表示されます。

ハイウェイモード、情報画面

ハイウェイモードや情報画面では、現在地のサイドマップが表示されます。

リスト画面

場所を探す場合などのリスト画面では、選ばれている項目の位置を示すサイドマップが表示されます。サイドマップ上には、現在地からの距離が表示されます。



■地図の自動回転について

本機では、進行方向が常に上にくるように地図が回転します（ヘディングアップ）。
また、地図を回転させるのをやめて常に北が上になるように表示させることもできます。

ヘディングアップ

進行方向が常に上にくるように地図が自動回転します。

⇒ 地図の回転のしかたは、「機能の設定を変更する」（108P）で変更できます。

ノースアップ

常に北が上になるように地図を表示します。

⇒ 地図の回転のしかたは、「機能の設定を変更する」（108P）で変更できます。

■ノースアップフロントワイドについて

地図の回転をノースアップに設定した場合、さらに進行方向が広く見えるように設定することができます。

⇒ ノースアップフロントワイドは、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

地図画面の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

1 方位表示マークにタッチする

ビュー切り替えメニューが表示されます。

ウィンドウマップ内や2画面表示時の右画面内の方位表示マークは、タッチしてもビュー切り替えメニューは表示されません。

2 表示方法を選んでタッチする

選んだ表示方法で表示されます。

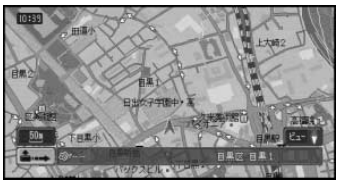
- **地図の初期設定**にタッチすると、「機能の設定を変更する」（108P）で表示の初期設定を行うことができます。
- 現在地画面のときは、**アングル調整**が表示され、タッチすると、見る角度を変えることができます。→20P
- スクロール画面のときは、**地図回転/アングル調整**が表示され、タッチすると、地図を回転させたり、見る角度を変えることができます。→20P

表示方法の種類

●ノーマルビュー（2D表示）

通常の地図（平面地図）で表示されます。

縮尺が10m～50mスケールでは、地域によって詳細な市街地図(シティマップ)が表示されます。

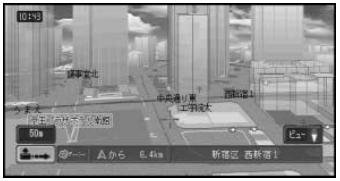


シティマップの表示は、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

●スカイビュー（3D表示）

上空から見ているような地図を表示します。

縮尺が10m～50mスケールでは、地域によって立体的な市街地図（スカイシティマップ）が表示されます。



●ドライバーズビュー（3D表示）

ドライバーの目線から見たような地図を表示します。

信号やお店など、目印となる建物などが立体的に表示されます。（一部表示されない場所もあります。）

また、画面中にはノーマルビューの地図も表示されます（ウィンドウマップ）。

都市高速走行中は、走行に役立つ高速道路の情報が表示されます（シティハイウェイマップ）。

- ウィンドウマップの表示内容は、「機能の設定を変更する」（108P）で変更できます。
  シティハイウェイマップの「ウィンドウマップ」も設定することができます。
- シティハイウェイマップの自動表示は、「機能の設定を変更する」（108P）で変更できます。

- ウィンドウマップ上に表示される地図は、縮尺変更、回転、スクロールを行うことができます。
- シティハイウェイマップに表示される車線色などについては、実際のものとは異なることがあります。走行時には実際の交通規制に従って走行してください。

●ツインビュー（2画面表示）

画面を左右2つに分割表示し、広域地図を表示させながら自車位置周辺の詳細地図を表示させたい場合などに便利です。

右画面ではノーマルビューで常に自車位置を表示します。（左画面スクロール中は除きます。）

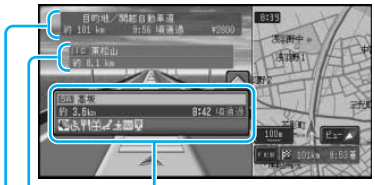
左画面では、スクロール、回転、角度の変更などができます。

右画面の縮尺変更は、「地図の縮尺を変える」（18P）で変更できます。

●ハイウェイモード

高速道路走行時の専用画面です。

前方の高速道路施設までの距離や高速料金、通過予想時刻などが表示されます。また、右側にはサイドマップとして地図が表示されます。



前方の高速道路施設

前方の次の高速道路施設

高速道路終端のICまたは出口IC

- 高速道路の施設情報を見ることができます。
  →「高速道路の施設情報を見る」（21P）
- ハイウェイモードの自動表示は、「機能の設定を変更する」（108P）で変更できます。

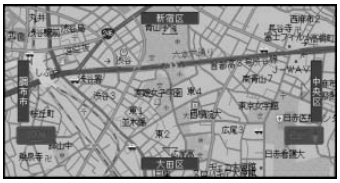
ハイウェイモードに表示される内容は、実際と異なる場合があります。

見たい場所まで地図を動かす

地図上の見たい場所をタッチして、地図をスクロールします。

1 地図上の見たい場所をタッチする

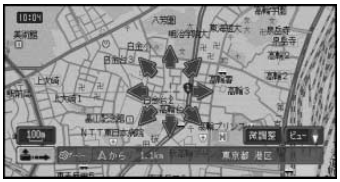
タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



スクロール方面表示は、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

2 微調整にタッチする

8方向のスクロール矢印が表示されます。



微調整はノーマルビューのときだけ可能です。

3 表示を微調整する

矢印にタッチするごとに地図が少しずつ動きます。

- スクロール終了後は、走行画面になると8方向矢印は消えます。またはもう一度 微調整 にタッチすると消えます。
- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。
- 走行中にスクロール操作すると、タッチした場所までスクロールします。ただし詳細市街地図表示中はスクロールできません。

地図の縮尺を変える

10m～500kmまでの縮尺表示の範囲で地図の縮尺を変えることができます。

ドライバーズビューのウィンドウマップ内、サイドマップでは表示されません。

■地図を詳しく/広い範囲を見る

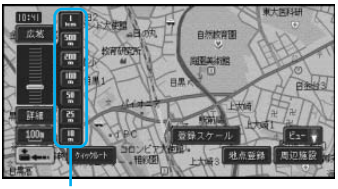
1 縮尺表示にタッチする

10m～1kmの縮尺のボタンが表示されます。

縮尺表示

2 縮尺の各ボタンまたは 詳細 や 広域 にタッチする

タッチした縮尺で地図が表示されます。



ダイレクトスケール

- **詳細**や**広域**にタッチするたびに、10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km、200km、500kmのスケール表示ごとに縮尺が変わります。
- ダイレクトスケールにタッチして直接スケールを選ぶこともできます。
- **詳細**や**広域**にタッチし続けると、タッチしている間、縮尺表示は同じでも細かく縮尺が変わります(フリーズーム。フリーズームは走行中は動作しません。)。
- **登録スケール**にタッチし続けると、そのビューでのスケールを登録することができます。縮尺を変更した後、短くタッチすると登録したスケールとビューを呼び出すことができます。
- **オートフリーズーム**にタッチすると、オートフリーズーム(60P)に戻すことができます。

地図を2画面（ツインビュー）で表示している場合

縮尺表示にタッチすると、左画面の縮尺だけ変わります。
右画面の縮尺を変えたいときは、右画面内の縮尺表示にタッチしてから行います。

■市街地図を表示させる

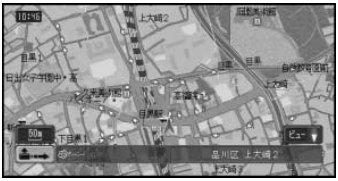
都市部などでは、地図の縮尺が10m～50mの詳細な地図を表示させることができます。

- 場所によっては、表示されない場合があります。
  収録エリアは、「詳細市街地図収録エリアについて」（260P）を参照してください。

ノーマルビューでの市街地図（シティマップ）

各施設の名称や細街路、一方通行表示などの詳しい情報を表示します。

シティマップの表示は、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。



- シティマップが表示できる地域と表示できない地域の境では、シティマップの表示できない地域には何も表示されないことがあります。不具合ではありません。

スカイビューでの市街地図（スカイシティマップ）

代表的なビルなどの建物が立体表示され、自車マークの手前にある場合は、自車マークが見えるように透かし表示されます。（ある程度手前に来ると、表示されなくなります。）
10m～25mスケールの場合、ビルの名称が1つ表示されます。このほか10m～50mスケールでは、一方通行表示などの詳しい情報を表示します。

スカイシティマップの表示は、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

- 全ての建物が立体表示されるわけではありません。
- 建物の外見は、実際とは異なる場合があります。

地図を左右に回転させる

地図を左右に回転させて、違う方向から地図を見ることができます。（スクロール画面のときのみ。）

1 **方位表示マークにタッチする** →16P

ビュー切り替えメニューが表示されます。

2 **地図回転/アングル調整にタッチする**

地図回転アングル調整画面が表示されます。

走行画面からでは地図回転はできません。

3 **左右の地図回転矢印にタッチする**

地図が回転し方位表示マークは北方向を示す矢印に変わります。

地図を回転した場合、地図の向きが固定され、走行しても自動的に回転しなくなります。自動的に回転させたい場合は、現在地を押して地図の回転を解除してください。

地図の傾きを変える

ノーマルビュー、スカイビュー、ウェザーライブ画面またはツインビューの左画面で表示中の地図の傾きを変えることができます。地図の傾きの変更は、走行画面、スクロール画面から行います。

1 **方位表示マークにタッチする** →16P

ビュー切り替えメニューが表示されます。

2 **地図回転/アングル調整にタッチする**

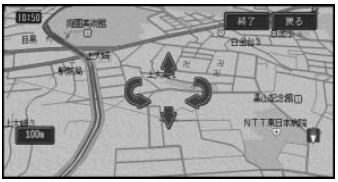
地図回転アングル調整画面が表示されます。

現在地画面から方位表示マークにタッチした場合は、**アングル調整**、スクロール画面から方位表示マークにタッチした場合は、**地図回転/アングル調整**が表示されます。

3 **上下のアングル調整矢印にタッチする**

上側に倒すと、視線を上げて遠くまで見渡せる地図になります。

下側に倒すと、上から見下ろした地図になります。



- ツインビューの右画面とドライバーズビュー、ドライバーズビューのウィンドウマップの角度を変えることはできません。

- シティハイウェイマップは2段階の角度変更ができます。
- 走行中は操作できません。（シティハイウェイマップ表示中は操作できます。）
- **登録アングル**に約2秒間タッチし続けると、選んだアングルを登録することができます。（現在地画面からのみ。）

現在地画面の見えかたを登録する

地図の表示方法ごとに、現在地画面で現在地を押したときの地図画面の縮尺と地図の傾きを登録しておくことができます（ビューメモリー）。

1 スケール変更画面で登録スケールに、地図回転/アングル調整画面で登録アングルに約2秒間タッチする

現在の地図縮尺と地図の傾き（アングル）が登録されます。

以降、**登録スケール**や**登録アングル**にタッチすると、登録した縮尺と傾きの地図が表示されます。

- ハイウェイモードは登録できません。
- 2D地図では、地図を見る角度は登録できません。

高速道路の施設情報を見る

高速道路走行中にハイウェイモードに切り替わると、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアの施設情報や、そこまでの距離を確認できます。

ハイウェイモードでは、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り替わります。また、表示された情報をタッチすることで、本線上や分岐先の施設情報をあらかじめ見ることも可能です。

「機能の設定を変更する」（108P）の「自動ハイウェイマップ」で設定を切り替えることにより、高速道路に入ると自動的にハイウェイモードに切り替えることができます（初期設定は「シティハイウェイマップ/ハイウェイモード」です）。

1 方位表示マークにタッチする →16P

ビュー切り替えメニューが表示されます。

2 ハイウェイモードにタッチする

ハイウェイモードとなり、高速道路の施設情報が表示されます。

ビュー切り替えメニューが表示されている間（約8秒間）に押してください。

▼

つづく

▲をタッチすると、先の施設情報が表示されます。
現在地を押すと現在地に戻り、現在向かっている施設を表示します。

カーソル

カーソルにタッチすると、その先の施設を見ることができます。

ハイウェイモードの自動表示は、「機能の設定を変更する」（108P）で変更できます。

- ルートを設定した場合は、ルートの道塗りもされます。
- 通常の地図表示に戻したいときは、ビュー切り替えメニューで切り替えてください（16P）。
- 高速道路出口のおよそ1km手前になると、高速出口の案内が表示され自動的に通常の地図表示に戻ります。
- ジャンクションやインターチェンジなど、高速道路に併設されている施設を通過して高速道路を降りる場合、高速道路を降りるまでハイウェイモードで表示されます。一般道に降りると、通常の地図表示に戻ります。
- 高速道路施設が近接しているときは、施設表示の自動切り替えが間に合わないことがあります。
- 次の高速道路施設が近くなると、施設情報で表示される距離が長くなったり短くなったりすることがあります。

ジャンクションの分岐先の情報が見たい

1 ハイウェイモードでジャンクションを選んでタッチする

2 施設情報が見たい分岐先を選んでタッチする

▼

分岐先の施設情報を見ることができます。

地図表示にタッチすると、ジャンクションがある地点の地図を表示します。確認後、戻るにタッチすると、分岐先を選ぶメニュー画面に戻ります。（確認中、スクロールさせるとメニュー画面に戻りません。）

サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

	ガソリンスタンド（各ガソリンスタンドのロゴマークが表示されます。例：出光興産）
	身障者用トイレ
	レストラン
	おみやげ屋
	休憩所
	仮眠所
	案内所
	シャワー
	コインランドリー
	風呂
FAX	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス

表示される情報は、8種類までです。9種類以上の情報がある場合は、上記の並んでいる順に表示され、9番目以降は表示されません。

料金表示について

- 高速道路上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- 料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。
- 料金表示は、都市高速・都市間高速・一部有料道路で2004年3月末現在（2004年3月調査時点）のものです。
- 料金表示は、機能設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り替えられます。「機能の設定を変更する」（108P）

都市高速走行中のハイウェイモード（シティハイウェイマップ）

都市高速では、ドライバーの目線から見たような地図を表示し、ルートがあるときは「オートアングルチェンジ」機能により、案内地の視点が自動的に変化します。また、ドライバーズアングルとスカイアングルを切り替えることができます。

ドライバーズアングルは進行方向に矢印を表示します。また、ナビゲーションが判断している車線と走行車線が異なる場合には「車線変更促し表示」（57P）を行うことができます。わかりにくいランプやジャンクションをイラスト表示します。

シティハイウェイマップの自動表示は、「機能の設定を変更する」（108P）で変更できます。

VICS情報表示中のハイウェイモード

表示している施設までの距離を4等分し表示します。施設に近づくと1つずつ減ります。この施設までの区間で順調または不明のときは白、渋滞のときは赤、混雑はオレンジで表示します。

また施設と施設の間に規制情報がある場合は、そのマークを表示します。

- VICS情報を受信している場合のみ表示します。
- 施設間に規制があればマークで表示します。

メニュー操作

スタートメニューの表示

スタートメニューには、［行き先・場所］のメニューと、［情報・通信］、［編集・設定］のメニューがあります。
スタートメニューの表示操作は、それぞれ以下の通りです。

■［行き先・場所］の表示

行き先を設定してルート案内を始めたり、場所を探して詳細情報の表示や登録などを行うことができます。

1 行き先 **を押す**

［行き先・場所］メニューが表示されます。

名称 （31P）
ジャンル （32P）
住所 （34P）
電話番号 （36P）
周辺施設 （38P）
マップコード （39P）
登録地 （40P）
履歴 （41P）
マイリスト （42P）
自宅 （68P）

■［情報・通信］の表示

ドライブに役立つ各種情報の表示や、携帯電話やインターネットなどを使用することができます。

1 メニュー **を押す**

［情報・通信］メニューが表示されます。

VICS情報 （127P）
FM文字放送 （132P）
携帯電話 （191P）
インターネット （154P）
ウェザーライブ （135P）
TV番組表 （139P）
ドライブガイド （43P）
ハードウェア情報 （140P）

■［編集・設定］の表示

編集や各種設定を行うことができます。

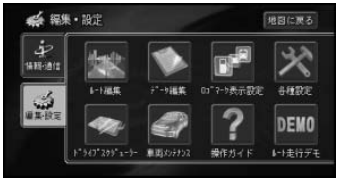
1 メニュー **を押す**

［情報・通信］メニューが表示されます。

2 **編集・設定** **にタッチする**

［編集・設定］メニューが表示されます。

▼



ルート編集	（62P）
データ編集	（70P）
ロゴマーク表示設定	（117P）
各種設定	（108P）
ドライブスケジューラー	（224P）
車両メンテナンス	（231P）
操作ガイド	（235P）
ルート走行デモ	（25P）

メニュー操作の基本

メニューでの基本的な操作は、メニューから項目を選んでタッチして行います。

1 **メニューを表示させる** →24P

▼

地図に戻る にタッチすると、地図画面に戻ります。

2 **項目を選んでタッチする**

選んだ項目を実行する画面が表示されます。

戻る にタッチすると、前の画面に戻ります。

リスト表示の画面操作

メニュー項目を実行すると、リストなどの画面が表示されることがあります。
全リスト項目が画面上に表示しきれない場合は、左横に ・ が表示され、タッチすることで見えていない項目を表示させることができます。

リスト項目に文字が入りきらない場合は、入りきる文字まで表示されます。

都道府県名、市区町村名、地名などのリストでは、 ・ にタッチすると、50音（あいうえお…）の「あ」から「い」へ、などのように次の音へリストを送ることができます。その他の項目のリストでは１画面分ずつとばすことができます。

ショートカットメニュー

十字カーソル位置または現在地に対して、ルート探索や場所の登録など、利用頻度の高い機能が割り当てられており、その操作をすばやく行うことができます。
現在地画面、スクロール画面などに表示される にタッチすると、ショートカットメニューを表示させることができます。
通常のメニュー操作のステップをいくつか省略して、すばやく簡単に操作できます。

クイックルート	（54P）
立寄送り	（67P）
ルート編集	（63P）
地点登録	（69P）
周辺施設	（38P）
目的地	（47P）
立寄地	（67P）
詳細情報	（44P）

ショートカットメニューは現在地またスクロールなど表示させた状態により、表示されない項目や選択できない項目があります。

もう一度 にタッチすると、ショートカットメニューが消えます。

文字の入力操作

文字を入力することにより、場所の名前を登録したり、目的地の検索などを行うことができます。
文字入力は、必要な場合に表示される文字入力用の画面を使って、英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号を入力することができます。

1 文字種を切り替える
↓
2 全角・半角を切り替える
↓
3 文字を入力する
↓
4 無変換、変換を行う
↓
5 文字入力を終了する

1 文字種を切り替える

1 **入力切替** にタッチする

入力切替 にタッチするごとに文字種が以下のように切り替わります。

→ かな → カナ → 数字 →
← 漢字表 ← 記号 ← 英字 ←

2 全角・半角を切り替える

カタカナ、英字、数字、記号の全角または半角を選びます。

1 **全/半角** にタッチする

全/半角 にタッチするごとに全角と半角が切り替わります。

3 文字を入力する

1 入力したい文字を選び、タッチする

つづく >>

4 無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、漢字に変換することができます。

1 ひらがなを入力する場合は 無変換 、漢字を入力する場合は 変換 を選んでタッチする

2 ひらがなを変換する場合は、候補から漢字を選んでタッチする

選んだ漢字が入力されます。

5 文字入力を終了する

1 文字入力を終了する場合は、 入力終了 にタッチする

ⓘ 戻る にタッチしても入力内容は記憶されます。

漢字表から入力する

漢字（JIS第二水準）の一覧表から難しい漢字などを入力することができます。

1 入力したい漢字を選んでタッチする

選んだ漢字が入力されます。

ⓘ ＜ ＞ にタッチすると、前の漢字または次の漢字が表示されます。

誤って入力した文字を削除する

1 削除 にタッチする

タッチするごとに、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

スペースを空ける

1 スペース にタッチする

文字を挿入する

1 画面右上の＜・＞にタッチして、文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる

カーソルの左側に文字を挿入することができます。

ⓘ カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

インターネットの文字入力

Eメールの本文で改行したいときや、Eメールの題名や本文に定型文を挿入したいときは、以下のような手順で行います。

■改行する

1 入力切替にタッチしてかな入力にする

2 改行にタッチする

改行は、下向きの矢印で表示されます。

▼

■定型文を挿入する

登録した定型文（181P）を引用することができます。

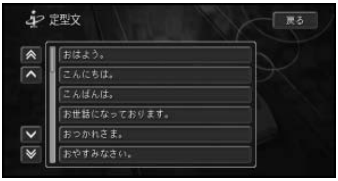
1 定型文を挿入する位置（題名または本文）をタッチする

文字の入力画面が表示されます。

2 定型文にタッチする

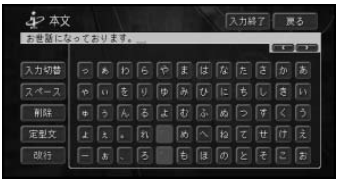
定型文選択画面が表示されます。

3 定型文を選んで決定にタッチする



▼

定型文が挿入されます。



場所を探す

場所を探すことで、その場所の地図を見たり、行き先に設定するなど、いろいろなことができます。

検索方法の種類

場所を探す方法は、様々な状況に応じて探し出せるようにいろいろな方法が準備されています。

●地図で探す（30P）
地図上で直接探したい場合

●名称で探す（31P）
宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称がわかっている場合

●ジャンルで探す（32P）
宿泊施設やレジャー施設など、各種施設をジャンルで探す場合

●住所で探す（34P）
行き先の住所など、地名がわかっている場合

●電話番号で探す（36P）
行き先の電話番号がわかっている場合

●緯度経度で探す（37P）
行き先の緯度経度が分かっている場合

●周辺施設を探す（38P）
ガソリンスタンドやレストランなど、現在地および十字カーソル周辺の施設・ルート周辺の施設を探す場合

●マップコードで探す（39P）
マップコードを入力し、マップコードから場所を探す場合

●登録地から探す（40P）
既に地点登録されている場所を探す場合

●履歴から探す（41P）
今まで検索した場所や目的地とした場所を探す場合

●マイリストから探す（42P）
あらかじめウェブで取得した場所より探す場合

●ドライブガイドで探す（43P）
ドライブガイドを使って探す場合

地図で探す

地図上で直接探します。

1 地図をスクロールさせて、場所を探す
画面上の十字に交差している地点を、探している場所に合わせます。

2 **にタッチする**
ショートカットメニューが表示されます。

目的地	（47P）
立寄地	（67P）
詳細情報	（44P）
地点登録	（69P）
周辺施設	（38P）

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 行き先 ー 名称 にタッチする →24P

文字の入力画面が表示されます。

2 探したい場所の名称をひらがなで入力する

名称は全部入力しなくても、わかっている部分だけで検索することができます。

- ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、ローマ字などの名前の施設を探すときも、ひらがなで入力します。
- 名称は、ひらがなで14文字まで入力できます。
- 濁音（゛）や半濁音（゜）の入力は不要です。
- 名前による絞り込みの結果、検索対象が1万件以下になると、**入力終了** のタッチによりジャンルやエリア（都道府県など）での絞り込みも可能になります。
- 部分一致（入力した文字が含まれる場所を検索）では検索対象が多すぎる場合、絞り込みができるまでの間は、自動的に完全一致（入力した文字と完全に一致する場所を検索）での検索を行います。
- 部分一致で対象件数が10件以下になると、リスト表示されます。
- 部分一致、完全一致の区別および絞り込まれている件数は、入力した文字の横に表示されます。

3 入力終了 にタッチする

入力した文字の検索結果の候補がリスト表示されます。

▼

- **ジャンル** を選んでタッチすると、ジャンル選択のリストが表示され、ジャンルによる絞り込みができます。
- **エリア** を選んでタッチすると、エリア選択のリストが表示され、地域（都道府県、市区町村）による絞り込みができます。

4 探している施設を選んでタッチする

画面右側には選んだ施設を中心とした地図が表示されます。

つづく ≫

5 決定にタッチする

もう一度施設にタッチしても、地図を表示することができます。

▼

選んだ施設を中心とした地図が表示されます。

目的地 （47P）
立寄地 （67P）
詳細情報 （44P）
地点登録 （69P）
周辺施設 （38P）

- 表示された地図が、目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージと目的地を含む地域を代表する地点の地図が表示されます。
- 位置を微調整するときは、微調整にタッチしてください。

ジャンルで探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設をジャンルで探すことができます。

検索できるジャンル

- 交通機関
- 公共施設
- 金融機関
- 宿泊施設
- グルメスポット
- プレイスポット
- スポーツスポット
- 文化スポット
- 自動車関連施設
- 小売店
- 病院
- 教育施設
- その他
- テーマ

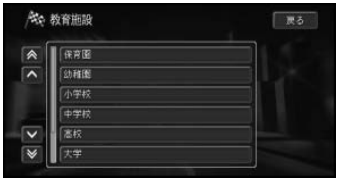
自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所までのルートを探索するときは、地図をスクロールして近くの道路上に目的地を設定してください。周囲に道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。

1 行き先 ー ジャンル にタッチする →24P

ジャンルのリストが表示されます。

2 探している施設のジャンルを選んでタッチする

3 さらに細かく施設のジャンルを選んでタッチする



- ジャンルによって、さらに細かく絞り込むことができます。
- 都道府県名、市区町村名、地名などのリストでは、《》・《》にタッチすると、50音（あいうえお…）の「あ」から「い」へ、などのように次の音へリストを送ることができます。その他の項目のリストでは1画面分ずつとばすことができます。

4 探している施設を選んでタッチする

画面右側には選んだ施設を中心とした地図が表示されます。

5 決定にタッチする

もう一度施設にタッチしても、地図を表示することができます。

▼

選んだ施設を中心とした地図が表示されます。

目的地 （47P）
立寄地 （67P）
詳細情報 （44P）
地点登録 （69P）
周辺施設 （38P）

- 表示された地図が、目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージと、目的地を含む地域を代表する地点の地図が表示されます。
- 位置を微調整するときは、微調整にタッチしてください。

つづく

- 一部の施設で、検索後に表示される位置と、地図上にその施設がある位置が異なることがあります。（例えば、高速道路の上り・下りで場所が大きく異なるサービスエリアなどは、上り・下りの中間点などが検索後の表示の際に使われます。）このような場合でも、ルート探索の際には、走行する道路や進行方向に合わせて、その施設を通るルートが探索されます。（検索した施設には、ルート探索時に使われる位置データが、表示用の位置データとは別に含まれています。）したがって、その施設を目的地にしたり、場所登録したりする場合は、表示された位置から地図を一切スクロールさせずに次のメニューにお進みください。

■テーマで探す

レジャースポットや史跡など、テーマで探すことができます。

検索できるテーマ

- アウトドアレジャー
- 雨の日のレジャー
- 海辺の風景を楽しむ
- おすすめグルメ
- 季節の風物詩
- 季節の味覚を狩る
- ショッピングモールでお買い物
- 身障者用トイレのある施設
- 全国巡礼めぐり
- 大自然の100選スポット
- 日本一を探す
- ペットと楽しむ
- ミステリースポットで不思議体験
- 夜景と星のきれいな場所
- 歴史探訪

住所で探す

場所を住所で探すことができます。

1 行き先 ー **住所** にタッチする →24P

都道府県のリストが表示されます。

2 探している場所の都道府県を選んでタッチする

都道府県名、市区町村名、地名などのリストでは、《》・《》にタッチすると、50音（あいうえお…）の「あ」から「い」へ、などのように次の音へリストを送ることができます。

3 市区町村を選んでタッチする

主要部 を選んでタッチすると、選んだ都道府県の代表地点の地図を表示します。

4 地名（丁目）を選んでタッチする

主要部 を選んでタッチすると、選んだ市区町村の代表地点の地図を表示します。

5 番地、号を入力する

- 数字の入力方法は、「文字の入力操作」（27P）を参照してください。
- 番地、号を入力せず、**入力終了**にタッチすると、丁目の代表地点の地図を表示します。

6 **入力終了**にタッチする

▼

選んだ施設を中心とした地図が表示されます。

- **目的地**（47P）
- **立寄地**（67P）
- **詳細情報**（44P）
- **地点登録**（69P）
- **周辺施設**（38P）

- 入力した番地が該当データに無い場合は代表地点を表示します。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージと、目的地を含む地域を代表する地点の地図が表示されます。
- 位置を微調整する場合は、**微調整**にタッチしてください。

電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探すことができます。

1 行き先 ー 電話番号 にタッチする → 24P

電話番号の入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力する

電話番号を入力すると自動的に検索を始め、電話番号先の地図を表示します。
該当する電話番号が無い場合や全桁入力しなかった場合は、局番に該当する役所の地図を表示します。局番が複数の地域にまたがっている場合は、いずれかの役所を表示します。

- 数字の入力方法は、「文字の入力操作」(27P)を参照してください。
- 緯度経度 にタッチすると、緯度経度を指定して検索することができます。詳しくは「緯度経度で探す」(37P)を参照してください。

- 市外、市内局番は、必ず入力してください。その他の番号は全部入力しなくても、わかっている部分だけで検索することができます。入力終了 にタッチすると、その時点で入力された番号を元に検索を始めます。
- ダイヤルQ2(0990-○○)、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する場所を登録してある場合は、検索することができます。
- 10桁まで入力できます。(090、080、070で始まる電話番号は11桁入力できます。)
- タウンページに登録されているフリーダイヤル(0120-○○)は、検索可能です。

3 入力終了 にタッチする

▼

選んだ電話番号を中心とした地図が表示されます。

- 目的地 (47P)
- 立寄地 (67P)
- 詳細情報 (44P)
- 地点登録 (69P)
- 周辺施設 (38P)

- 入力された番号が個人宅の場合は、代表地点が表示されることがあります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージと、目的地を含む地域を代表する地点の地図が表示されます。
- 位置を微調整する場合は、微調整 にタッチしてください。

緯度経度で探す

緯度経度を入力して、その地点を地図上で探すことができます。

1 行き先 ー 電話番号 にタッチする → 24P

電話番号の入力画面が表示されます。

2 緯度経度 にタッチする

緯度経度の入力画面が表示されます。

3 緯度経度を入力する

緯度経度を入力すると自動的に検索を始め、該当する地点の地図を表示します。

- 数字の入力方法は、「文字の入力操作」(27P)を参照してください。
- 電話番号 にタッチすると、電話番号を指定して検索することができます。詳しくは「電話番号で探す」(36P)を参照してください。

4 入力終了 にタッチする

▼

選んだ緯度経度を中心とした地図が表示されます。

- 目的地 (47P)
- 立寄地 (67P)
- 詳細情報 (44P)
- 地点登録 (69P)
- 周辺施設 (38P)

- 位置を微調整する場合は、微調整 にタッチしてください。
- 緯度経度で検索した場合、対象の地図が出ない場合があります。検索できる範囲は日本周辺です。

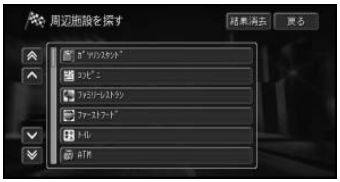
周辺施設を探す

ガソリンスタンドやレストランなど、現在地や十字カーソル周辺の施設を探すことができます。

- ショートカットメニューの**周辺施設**からも操作ができます。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンドでは営業時間を考慮して、現在利用できる施設と利用できない施設が区別されて表示されます。(営業時間考慮検索)

1 行き先 ー 周辺施設 にタッチする → 24P

施設のリスト画面が表示されます。



2 探している施設を選んでタッチする

選んだ施設の詳細な検索リストが表示されます。

全選択にタッチすると リスト内の施設がすべて選ばれます。

3 表示したい施設を選んでタッチする

4 施設を選んでタッチする

画面右側には選んだ施設を中心とした地図が表示されています。

▼

施設付近の地図が表示されます。

- コンビニでは、酒・タバコを取り扱っている店が分かるようになっています。
- ルート案内中は、ルート周辺を優先して検索します。ルート案内中でないときや、スクロール先の検索では、自車マークまたはカーソル位置周辺の検索を行います。
- 検索後は地図にロゴマークが表示されます。本機の電源ON/OFF（エンジンのON/OFF）または**結果消去**にタッチして消去します。
- 自車周辺で探す場合は、自車位置または十字カーソルから約8km四方の最大100件を検索します。
- ルート周辺で探す場合は、案内中のルート前方から最大100件を検索します。

5 決定にタッチする

もう一度施設にタッチしても、地図を表示することができます。

▼

選んだ施設を中心とした地図が表示されます。

目的地　（47P）
立寄地　（67P）
詳細情報　（44P）
地点登録　（69P）
周辺施設　（38P）

位置を微調整する場合は、微調整にタッチしてください。

マップコードで探す

マップコードを入力することで、その地点を素早く呼び出すことができます。

- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- マップコードは、特定の場所の位置データをコード化し、1～10桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

1 行き先 ー マップコード にタッチする

→24P

マップコードの入力画面が表示されます。

2 マップコードを入力する

10桁目を入力すると自動的に検索を始め、該当する地点の地図を表示します。

数字の入力方法は、「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

つづく

3 入力終了にタッチする

▼

選んだ地点を中心とした地図が表示されます。

- 目的地 （47P）
- 立寄地 （67P）
- 詳細情報 （44P）
- 地点登録 （69P）
- 周辺施設 （38P）

- **マップコード**では、ピンポイントの地図表示を行えません。ピンポイントでない旨のメッセージが表示されます。
- 位置を微調整する場合は、**微調整**にタッチしてください。
- 入力されたマップコードに該当する地図データが無い場合は、［マップコードが間違っています。確認後、修正してください］というメッセージが表示されます。

登録地から探す

既に登録されている場所から探すことができます。

1 行き先 ー 登録地にタッチする → 24P

登録地のリストが表示されます。

2 登録地を選んでタッチする

画面右側には選んだ施設を中心とした地図が表示されています。

3 決定にタッチする

もう一度施設にタッチしても、地図を表示することができます。

▼

登録地付近の地図が表示されます。

- 目的地 （47P）
- 立寄地 （67P）
- 詳細情報 （44P）
- 地点登録 （69P）
- 周辺施設 （38P）

- 位置を微調整する場合は、**微調整**にタッチしてください。
- **並べ替え**にタッチすると、リストの表示を呼出日時（新しい順）、呼出日時（古い順）、よみ（５０音順）、2Dマーク（選択リスト順）で並び替えることができます。操作方法については、「登録地を並べ替える」（41P）を参照してください。
- 登録地がグループ登録されている場合は、そのグループ名が表示されます。グループ名にタッチすると、リスト表示がグループ登録されたものに替ります。

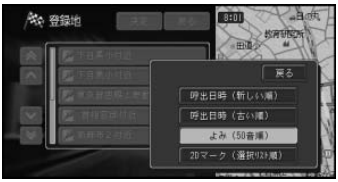
■登録地を並べ替える

登録地のリスト表示を並べ替えることができます。

1 **「登録地から探す」の手順2で、並べ替えを選んでタッチする** →40P

ポップアップ画面が表示されます。

2 **表示したい順序を選んでタッチする**



リスト表示が切り替わります。

履歴から探す

今まで検索した場所や目的地とした場所から探すことができます。

手順は、「登録地から探す」（40P）と同じようにリストから探す流れとなりますので、参照して探してください。

マイリストから探す

あらかじめウェブから好みの情報データをダウンロードして、施設検索に利用することができます。

マイリストを利用するには、あらかじめウェブでデータを取得しておく必要があります。データを取得する方法は、手順1の**データ取得**より行います。

ウェブの操作方法は、「画面を操作する」（158P）を参照してください。

1 行き先 ー **マイリスト** にタッチする

マイリスト画面が表示されます。

- **データ取得** にタッチすると、ブラウザ画面が表示されデータを取得できます。
- 携帯電話が接続されていないと、**データ取得** を選ぶことができません。

2 表示したい項目を選んでタッチする

施設がリスト表示されます。

3 表示したい施設を選んでタッチする

画面右側には選んだ施設を中心とした地図が表示されています。

4 **決定** にタッチする

もう一度施設にタッチしても、地図を表示することができます。

▼

選んだ施設を中心とした地図が表示されます。

- **目的地** （47P）
- **立寄地** （67P）
- **詳細情報** （44P）
- **地点登録** （69P）
- **周辺施設** （38P）

- 表示された地図が、目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージと、目的地を含む地域を代表する地点の地図が表示されます。
- 位置を微調整したい場合は、**微調整** にタッチしてください。

ドライブガイドで探す

ドライブガイドを利用して、行きたい場所の詳細情報を見たり、特定の場所までのルートを探索させることができます。

検索できるドライブエリアの種類

北海道	美瑛、富良野、然別湖、帯広、摩周湖、根室、釧路ほか
東北	八戸、下北半島、津軽、一関、山形、仙台ほか
関東	箱根、東京、湘南海岸、鎌倉、那須、塩原ほか
甲信越	南軽井沢、新潟、奥阿賀、柏崎、高岡、能登ほか
中部	中部、高山、下呂、郡上八幡、伊吹山、熱海ほか
関西	大阪、京都、六甲山、奈良、淡路島ほか
中国	松江・出雲、広島、岡山・倉敷ほか
四国	松山、鳴門、今治、高松ほか
九州	長崎、佐世保、雲仙・天草、阿蘇、熊本、湯布院ほか

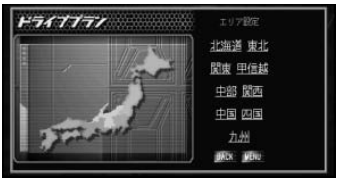
1 メニュー ー **ドライブガイド** にタッチする →24P

ブラウザ画面が表示されます。

2 探したい項目を選んでタッチする

操作方法は、「画面を操作する」（158P）を参照してください。

3 行きたい地域を選んでタッチする



- ［BACK］にタッチすると、ひとつ前の画面に戻ります。
- ［MENU］にタッチすると、手順1の画面に戻ります。

4 手順3と同様な操作で行きたい場所を絞り込む

選択した場所の詳細情報が表示されます。

［次ページへ］が表示されている場合は、［次ページへ］にタッチすると、さらに情報画面を表示させることができます。

5 ［地図を見る］にタッチする

選択した場所の地図が表示されます。

つづく

6 項目を選んでタッチする

画面上に下記のボタンが表示されます。

地図を見る	検索した場所の地図画面が表示される
写真を見る	検索した場所の画像が表示される
コース設定	ドライブプランで設定された場所をルート探索する

- ［地図を見る］で地図画面を表示させた状態で にタッチすると、「目的地」と「登録地」の2つのショートカットメニューが表示されます。操作方法は「ショートカットメニュー」(26P)を参照してください。
- ドライブプランに表示されている道順やルートは実際のルート探索結果と異なることがあります。

詳細情報を見る

1 場所を探す →30P

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

2 詳細情報にタッチする

スクロールして **詳細情報** にタッチしたときは、詳細情報がある施設や場所のリストが表示されます。

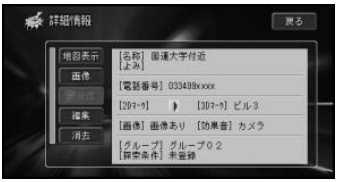
3 表示したい施設を選んでタッチする

4 決定にタッチする

もう一度施設にタッチしても、詳細情報を表示することができます。

▼

詳細情報が表示されます。



- **地図表示** にタッチすると、地図が全画面で表示されます。
- **画像** にタッチすると、その場所に設定された画像が表示されます。
- 詳細情報が1画面に入りきらない場合、**次のページ** にタッチすると、残りの情報を見ることができます。
- 携帯電話を接続している場合は、詳細情報で表示される **発信** にタッチすると、携帯電話から電話をかけられます。詳しくは、「地図に登録された電話番号にかける」(192P)を参照してください。
- インターネットに接続できる環境にしておくと、詳細情報で表示される **インターネット** にタッチするだけで、その施設に関連するホームページにアクセスできます。
- **地図表示** にタッチすると、詳細情報を表示している地点の地図表示になります。
- 登録地または履歴から場所を探した場合(40、41P)は **消去** が表示されます。**消去** にタッチすると、削除されます。
- ロゴマークの詳細情報を表示した場合は、**位置修正** と **非表示** が表示されます。**位置修正** にタッチすると位置修正の地図画面が表示され、**非表示** にタッチすると指定したロゴマークを非表示にすることができます。→*「ロゴマークの登録・編集」(84P)*

■建物の形に合わせたときは

シティマップ(19P)やスカイシティマップ(19P)の表示中(ドライバーズビュー(17P)ではウィンドウマップから建物の情報を見ることができます。)に、グレー以外の色で表示されている建物の形に十字カーソルを合わせてショートカットメニューを表示させ、**詳細情報** にタッチすると、その建物の情報が表示されます。

■ロゴマークに合わせたとき

ロゴマークに十字カーソルを合わせてショートカットメニューを表示させ、**詳細情報** にタッチすると、**位置修正** および **非表示** を選ぶことができ、ロゴマークを表示している施設の移動(88P)やロゴマークを表示させなくする(84P)ことができます。

■目的地、立寄地、ルートに合わせたとき

目的地、立寄地、ルートに十字カーソルを合わせてショートカットメニューを表示させ **詳細情報** にタッチすると、**ルート編集** の **ルート確認**(62P)と同じ操作が行えます。

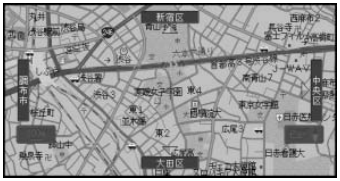
スクロール画面にする

メニューより検索した場所から、スクロール画面にすることができます。

1 **場所を探す** →30P

2 **地図上の見たい場所をタッチする**

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



3 **微調整にタッチする**

▼

8方向のスクロール矢印が表示されます。

ルートの設定と案内

行き先までのルートを探索させる

行き先を設定すると、現在地から行き先までのルートを探索します。
行き先を設定するとルート探索が開始され、ルート案内開始画面が表示されます。

1 **場所を探す** →30P

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

2 **目的地にタッチする**

行き先が設定され、ルート探索が開始されます。

ルート探索は、機能設定の「ルート探索時の条件」（112P）をもとに、始めに1本のルートを探索します。

▼

他のルートより6本のルートから選ぶことができます（50P）。

- 出発地、目的地、立寄地（50P）付近では、道幅5.5m未満の細街路を含めてルート探索し、道塗りを行います（ドアtoドア探索）。
- 以下の場合には、複数ルートは探索できません。機能設定の「ルート探索時の条件」（112P）をもとにルートが1本だけ探索されます。
  - 立寄地指定を行った（67P）
  - 登録道を使用してルート探索を行った（52P）
  - 乗り降りIC指定を行った（65P）
  - **自宅**でルート探索を行った(54P)
  - 音声操作でルート探索を行った（198P）
- 行き先が高速道路付近にある場合などに目的地が有料道路上にあるかどうかを確認する選択画面が表示されることがあります。
  一般道路か**有料道路**を選んでタッチしてください。
- 有料道路のなかには、料金が表示されないものもあります。
- サービスエリアなどの高速道路施設を行き先とした場合に、料金が表示されないことがあります。

ルート案内開始画面の見かた

探索条件
現在選ばれているルートの探索条件を表示します。

IC表示（インターチェンジ）
利用する高速道路の最初のICと最後のICを表示します。

メニュー表示
1本のみのルート探索（47P）では、**他のルート**は選択できません。

ルート表示
現在選ばれているルートを概略表示します。

情報表示
現在選ばれているルートの総距離、所要時間、料金を表示します。

ルート案内開始画面のメニュー

案内開始　（55P）
ルート確認　（49P）
他のルート　（50P）
詳細ルート　（50P）

探索条件

探索条件は、推奨1、推奨2、距離優先と有料標準、有料回避の条件による6種類の組み合わせでルートを探索させることができます。

表示されている探索条件以外のルートを選ぶには、「他のルートを選ぶ」（50P）を参照してください。

- **ルート確認**、**詳細ルート設定**の表示に時間がかかることがあります。
- 情報表示の料金は、機能設定により設定された有料道路区分で表示されます。「機能の設定を変更する」（108P）

学習ルート探索

いつも通る道を自動的に学習して、ルート探索に反映させることができます。

学習ルート探索は、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

学習した道が必ず使われるとは限りません。

ルートを確認する

設定されたルートの道路名や距離などの情報をリスト形式で表示させたり、行き先までのルートを一通りスクロール表示させたりすることができます。

■ルートプロフィールで確認する

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路を使う場合は、その料金などの情報を表示できます。

1 **行き先を設定する** →47P

行き先を設定するとルート探索が開始され、ルート案内開始画面が表示されます。

2 **ルート確認** にタッチする

3 **ルートプロフィール** にタッチする

4 **ルートプロフィール情報を確認する**

画面左に ∧ ∨ が表示されている場合は、タッチすることで、全ての情報を見ることができます。

5 **確認を終えたら、戻る にタッチする**

終了、案内開始、決定は、状況に応じて表示が切り替わります。

■ルートスクロールで確認する

出発地から行き先までのルートをなぞるように地図を動かして、設定されたルートを一通り確認することができます。

1 **行き先を設定する** →47P

行き先を設定するとルート探索が開始され、ルート案内開始画面が表示されます。

2 **ルート確認** にタッチする

3 **ルートスクロール** にタッチする

4 **設定されているルートを確認する**

前進、後退にタッチすると一定距離スクロールします。 自動前進、自動後退にタッチすると次または一つ前の立寄地まで自動スクロールします。

停止 にタッチするか、もう一度 自動前進、自動後退にタッチすると、自動スクロールを停止することができます。

走行中は画面分動いたところで自動スクロールが停止します。

5 **確認を終えたら、戻る にタッチする**

終了、案内開始、決定は状況に応じて表示が切り替わります。

他のルートを選ぶ

通常のルート探索時は、6本のルートが探索されています。この中から、お好みのルートを選ぶことができます。

音声で行き先を設定したり、立寄地・乗り降りIC・登録道の設定を行った場合は、1本のみのルート探索となり、他のルートを選ぶことはできません。

1 行き先を設定する →47P

行き先を設定するとルート探索が開始され、ルート案内開始画面が表示されます。

2 他のルート にタッチする

3 設定したいルートの条件を選んで、番号にタッチする

ルートが変更され、ルート案内確認画面に戻ります。

候補	探索条件	
	基準	有料道路
1	推奨1	標準
2	推奨2	標準
3	距離優先	標準
4	推奨1	回避
5	推奨2	回避
6	距離優先	回避

ルートを詳細に設定する

行き先まで行く間に、立ち寄りたい場所や乗り降りしたいICなど、ルートを詳細に設定することができます。

ルートを詳細に設定（立寄地、乗り降りIC、登録道などの設定）すると、1本のみのルート探索となります。 **他のルート** は選択できません。

■立ち寄りたい場所を設定する

立ち寄って（立寄地）から行き先に向かうようにルートを設定することができます。

1 行き先を設定する →47P

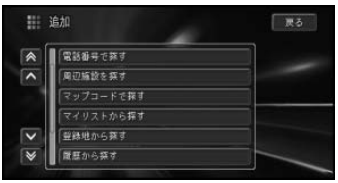
行き先を設定するとルート探索が開始され、ルート案内開始画面が表示されます。

2 詳細ルート にタッチする

3 立寄地指定 にタッチする

4 追加 にタッチする

5 立寄地の探しかたを選んでタッチする



探しかたの手順は、「場所を探す」（30P）と同様の流れとなりますので、参照して設定してください。

6 立寄地の地点、および地名を確認して 決定 にタッチする

立寄地指定画面に戻り、立寄地の地名がリスト上に表示されます。
他に立ち寄りたい場所がある場合は、手順4～6の操作を繰り返します。

- 立寄地は、5ヶ所まで設定できます。ただし、登録道（52P）を使用する場合、登録道の最初と最後が立寄地として扱われるので、設定できる立寄地の数は3ヶ所になります。また、乗り降りICの指定で入口、出口のICを指定した場合も、設定できる立寄地の数は3ヶ所（入口または出口のみ指定の場合は4ヶ所）になります。
- 複数の立寄地を指定する場合は、入力した順に立ち寄るルートが探索されます。

7 立寄地を設定し終えたら 終了 にタッチする

立寄地を通るルート探索が開始され、ルート案内開始画面に戻ります。

削除、並べ替えを選ぶと、立寄地を編集できます。
→「ルート上の立寄地を編集する」（63P）

■乗り降りIC（インターチェンジ）を指定する

ルート上で有料道路を使う場合は、入口、出口のインターチェンジを指定することができます。

- 指定されたインターチェンジは、通常の立寄地として追加されます。
- 指定できるインターチェンジは、ルートの全行程における最初の入口と最後の出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

1 行き先を設定する → 47P

行き先を設定するとルート探索が開始され、ルート案内開始画面が表示されます。

2 詳細ルート にタッチする

3 乗降IC指定 にタッチする

4 入口IC指定 または 出口IC指定 を選んでタッチする

指定解除 を選ぶと、入口・出口、入口のみ、出口のみ から選択してインターチェンジ指定を解除することができます。

つづく

5 **入口または出口となるインターチェンジを選んでタッチする**

右側に選んだ場所を中心とした地図が表示されます。

6 **決定にタッチする**

指定したインターチェンジを通るルート探索が開始され、ルート案内開始画面に戻ります。

- 乗り降りICは、現在指定されているインターチェンジを含めて前後3つの中から指定できます（JCTは含みません）。
- ジャンクション（JCT）を選ぶと、違う有料道路のインターチェンジリストを表示します。

■登録道をルートに組み込む

よく使う近道などをあらかじめ登録しておき（94P）、その道路をルートに組み込むことができます。

1 **行き先を設定する** *→47P*

行き先を設定するとルート探索が開始され、ルート案内開始画面が表示されます。

2 **詳細ルートにタッチする**

3 **登録道指定にタッチする**

登録道がすでに指定されている場合は、**登録道指定解除**となります。

4 **リストから組み込みたい登録道を選んでタッチする**

5 **選んだ登録道を確認して、決定にタッチする**

前進、**後退**にタッチするとスクロールします。**自動前進**、**自動後退**にタッチすると自動スクロールします。

停止にタッチすると、自動スクロールを停止することができます。

6 **確認のメッセージで はい にタッチする**

- 登録道は1本だけ組み込むことができます。
- 登録道は、すでに指定されている立寄地の後に追加されます。
- 登録道を逆の方向にたどるルートは設定できません。
- 登録道を組み込んだ場合、通常よりもルート探索にかかる時間が長くなります。
- 登録道の走行中には、交通規制や渋滞は考慮されません。

- 登録道の最初と最後が立寄地として扱われるため、指定できる立寄地の数は3ヵ所になります。
- 登録道に到達する前にオートリルートが行われた場合、登録道の入り口までのルートが再探索されます。
- 登録道を走行中にリルート（オートリルートを含む）すると、登録道を使用しないルートが探索されることがあります。
- 登録道の走行中にリルートすると、探索に時間がかかることがあります。
- 登録道を走行中は渋滞考慮オートリルートは動作しません。
- 登録道走行中は、ルートアドバイザーは動作しません。

■出発地を指定する

現在地以外の場所をルートの始点（出発地）に指定して、その場所から行き先までのルートを探索させることができます。

1 **行き先を設定する**→47P

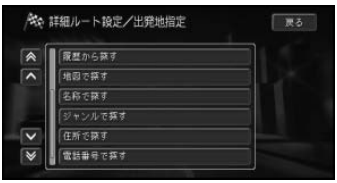
行き先を設定するとルート探索が開始され、ルート案内開始画面が表示されます。

2 **詳細ルート にタッチする**

3 **出発地指定 にタッチする**

出発地がすでに指定されている場合は、 出発地指定解除 となります。

4 **出発地を探す方法を選んでタッチする**



探しかたの手順は、「場所を探す」（30P）と同様の流れとなりますので、参照して設定してください。

5 **出発地となる地点に十字カーソルを合わせて 決定 にタッチする**

指定した出発地から行き先までのルート探索が開始され、ルート案内開始画面に戻ります。

ルート探索時に出発地指定を行った後、出発地指定を解除しても出発地の旗は当初指定した位置のままになる場合がありますが、自車位置からのルート探索になります。

自宅に帰るルートを探索させる

前もって自宅の場所を登録してある場合は、簡単に自宅へ帰るルートを探索させることができます。

- 自宅が登録されていない場合には、自宅の登録モードとなります。
- スクロール画面では操作できません。

1 行き先 ー **自宅** にタッチする →24P

機能設定の「ルート探索時の条件」をもとに、ルートを自動的に1本だけ探索します。

▼

案内中のルートがある場合は、自宅までのルートを探索してもよいかの確認画面が表示されます。

簡単にルートを探索させる

今まで探したことがある場所に行きたい場合は、簡単な操作でルートを探索させることができます（クイックルート探索）。

1 地図画面が表示されている状態で にタッチする

スクロール画面では **クイックルート** は表示されません。

2 ショートカットメニューから **クイックルート** にタッチする

検索履歴が50件までリスト上に表示されます。

3 行きたい場所を選んでタッチする

画面右側には、選んだ場所を中心とした地図が表示されています。

4 **決定** にタッチする

もう一度施設にタッチしても、地図を表示することができます。

▼

以降の操作は「行き先までのルートを探索させる」（47P）と同様の流れとなりますので参照してください。

ルート案内の開始

ルートの設定が終了したら、ルート案内を始めます。

1 案内開始にタッチする

ルート案内開始状態となります。

2 設定されたルート上を走行する

走行を始めると自動的にルート案内を開始します。

行き先付近に到着すると、音声案内が流れてルート案内は終了します。

- ルート案内開始画面表示中にパーキングブレーキを解除して走行を始めると、選ばれているルートの案内を開始します。
- ルート案内開始画面から案内を開始した場合は、ルート情報はルート案内開始画面に表示されるため、音声案内しません。ルート案内開始画面表示から4秒以内に案内を開始した場合は、音声案内されます。

ルート案内開始画面が表示されず案内を開始した場合（1本のみ）は、高速料金を音声案内します。

- VICS情報（122P）を受信している場合、到着予想時刻には、VICS情報の内容が考慮されます。
- 方面案内とレーンの情報が表示されないところもあります。
- 場所によっては、行き先付近や出発地・立寄地付近まで、ルートの道塗りが行われない場合があります。ルート探索などの仕様については、「ルートに関する注意事項」（255P）を参照してください。
- 交差点どうしの間が350m（有料道路は1km）以内の複合交差点では、交差点案内が（現在地画面に戻ることなく）連続して表示されます。
- 場所によっては、交差点案内が表示されないところもあります。
- 画面をスクロールしている間は、交差点に近づいても交差点案内表示が表示されません。
- 目的地までの所要時間案内は、ルートを設定した直後からの時間で案内します。本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしている間の時間も積算されますのでご注意ください。
- ウェザーライブの気象情報を取得など通信でデータのやりとりを行う間は、交差点案内図などの情報は表示されません。また、地図もノーマルビューになります。
- ルート案内中に新ルート候補があった場合、「新しい候補ルートが見つかりました」と音声ガイダンスが流れます（ルートアドバイザー）。そのまま走行すると元のルートで案内をします。新しいルートを選びたい場合は候補切替で新ルートに表示を切り替えた状態で、決定にタッチします。ルートアドバイザーについて、詳しくは「過去に通った道などを優先して案内させる（ルートアドバイザー）」（60P）をご覧ください。

■画面表示による誘導・案内

案内地に近づくと

案内地の手前300m（有料道路は1km）に近づくと、ドライバーズビューとなり、交差点の曲がる方向や目印となる施設が表示されます。

案内表示解除 にタッチすると表示が 案内表示 に切り替わり、案内表示をやめることができます。再び案内表示したいときは、案内表示 にタッチします。

- 交差点案内表示は、「機能の設定を変更する」（108P）で拡大図に変更できます。
- 「交差点案内表示」の設定が「拡大図」（112P）になっていても、ビューモードがドライバーズビューやシティハイウェイマップになっている場合には、交差点案内表示はドライバーズビューまたはシティハイウェイマップになります。

ルートインフォメーション

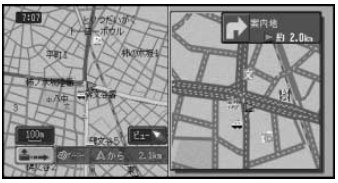
ルート案内中の画面右側に2つ先までの案内地点の情報が表示されます。

ルートインフォメーション

ルートインフォメーションは、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

案内地点や交差点を拡大する

ルートインフォメーションの表示にタッチすると、その案内地点を中心とした地図や、交差点などの拡大図を表示することができます。ロゴマークがあるものは、枠が点滅して強調表示されます。（ドライバーズビューのときは動作しません。）



現在地 を押すと、現在地画面に戻ります。

都市高速の入り口に近づくと

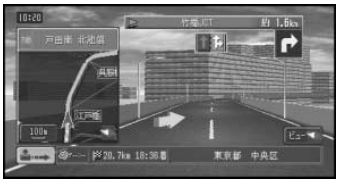
ルート上の都市高速入口に近づくと、その場所の情報がイラスト表示されます。

都市高速の分岐に近づくと

ルート上の都市高速分岐に近づくと、分岐と推奨レーンの情報が表示されます。

車線変更促し表示

シティハイウェイマップ表示中に推奨レーンと走行レーンが異なる場合、車線変更促し表示が表示されます。



- 車線変更促し表示は、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。出荷時はOFFになっています。
- 走行状況などにより、正しく車線変更促し表示が表示されない場合があります。また誤って表示される場合もあります。→*「車線変更促し表示について」（252P）*
- 角度変更（20P）で、見下した地図（スカイアングル）になっている場合は機能しません。

高速道路の入口や出口の料金所に近づくと

ETCユニット「ND-ETC2」（別売）を本機に接続している場合は、自動的にETCが利用可能かどうかを判断し、利用可能な場合はその旨の音声案内をした後、ETCゲートの方向を示すレーン案内が表示されます。

ETC利用可能で、レーン情報がある

誤導画面が表示されてから、約10秒経過すると自動的に消えます。（何らかのボタンを押しても、誤導画面は消えます。）

ETC利用不可能で、レーン情報がある

ETC利用可能だが、レーン情報がない

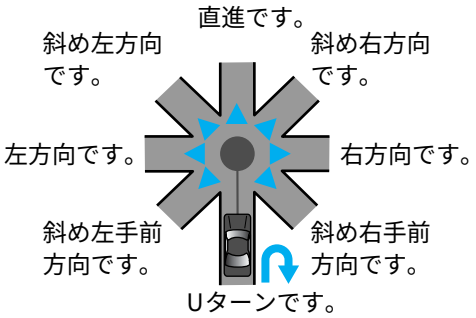
ETC利用不可能で、レーン情報がない

■音声による誘導・案内

ルート走行中は、ドライビングの状況や車の速度に応じて、音声できめ細かく道案内を行います。

進行方向案内

進行方向（8方向）は、音声で右のように案内されます。

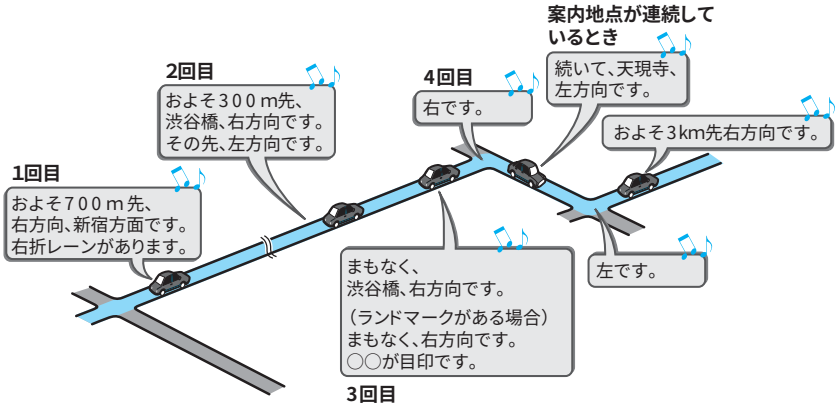


種類	案内例
側道案内	およそ○○m先、側道を左方向です。
レーン案内	およそ○○m先、右方向です。右折レーンがあります。
方面案内	およそ○○m先、左方向、練馬方面です。
高速（有料）道路入口・出口案内	およそ○○m先、○○インターチェンジ、左方向、入口です。
高速（有料）道路料金所案内	およそ○○km先、○○料金所です。
ETC情報案内	ETCが利用可能です。左側専用レーンにお進みください。
ランドマーク音声案内	まもなく左方向です。○○が目印です。

- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- ETCを利用するためには、本機にETCユニット「ND-ETC2」（別売）を接続する必要があります。

一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大4回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内も表示されます。



立寄地が近づいたら

立寄地の約500m手前に近づくと、“およそ500m先、立寄地点です。”と案内してくれます。

高速道路を走行しているときは

都市高速の入口や、都市高速のジャンクションの手前になると、イラストが表示されます。高速道路を走行している場合には、出口の料金所で料金とこれから進む方向を案内してくれます。

- 料金案内で案内されるのは、高速道路に入る前にルートを設定した場合の、入口から出口までの料金です。高速道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 料金案内は、都市高速・都市間高速・一部有料道路で2004年3月末現在（2004年3月調査時点）のものです。正しくは、料金所窓口で確認してください。
- 料金表示は、機能設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り替えられます。「機能の設定を変更する」（108P）

音声案内を聞き逃した場合

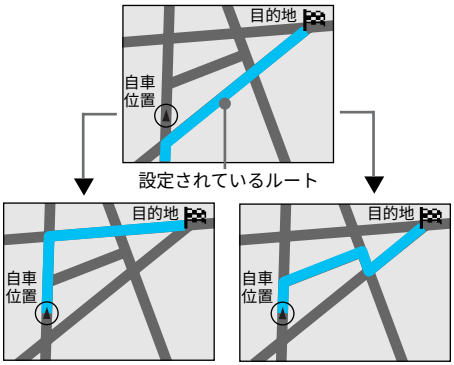
現在地を押すと、次の案内地点の音声案内を聞くことができます。

■ルートから外れてしまった場合

自動的にルートを再設定させる

案内中のルートから外れてしまった場合、状況に合わせて自動的にルートを設定し直すこと（再探索）ができます（オートリルート）。

購入した直後の状態では、ルートから外れると、自動的にルートに復帰するための探索が行われます。また、現在地から行き先までのルートを新たに探索し直すこともできます（全ルート再探索）。



- 自車マークがルートから外れた場合は、30m以上走行したところでオートリルートが行われます。
- オートリルートがOFFの状態で大幅にルートを外れた後、オートリルートONに変えた場合、本機が元のルートに復帰するには効率が悪いと判断したときは、全ルート再探索が行われます。その際に当初選択したものとは異なるルートが設定される場合があります。
- 復帰ルート探索は手動ではできません。オートリルートをONに設定しているときのみ行われます。

オートリルートは、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

案内中のルートが全ルート再探索されるのは

- 時間によって交通規制が変化した場合（収録された規制情報による）
- VICSの通行止め情報が変化した場合
- 交通状況に変化がなくてもルートが変更される場合があります。

次の案内地点が見える縮尺に自動的に変更する

ルート案内中、次に向かう案内地点付近が地図で見えるよう、地図の縮尺を自動的に変更させることができます（オートフリーズーム）。

この設定を行うと、案内地点までの距離が大きいときは地図の縮尺が大きくなり、案内地に近づいたときは地図の縮尺が小さい、詳細な地図になります。

- オートフリーズームは最大500m、最小50mの縮尺を自動的に変更します。
- 次の案内地点が遠い場合は、縮尺が変更されないことがあります。案内地点に近づいてくると、適切な縮尺に変更されます。

オートフリーズームは、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

■過去に通った道などを優先して案内させる（ルートアドバイザー）

ルート案内中に登録道や過去に案内ルートから外れて通ったオートリルート履歴や登録リルート地点を見つけた場合、「新しい候補ルートが見つかりました。」とガイダンスが流れ、登録道や過去に通った道を考慮したルートを表示します。

新しいルートと元のルートの切り替え	候補切替 にタッチ または 操作 を押す
ルートの決定	決定 にタッチ または 場所 を押す

- 画面下に「あと○○mで元ルートの案内に戻ります。」と表示されている間は、新ルートと元ルートを選ぶことができます。その間に選択されなかった場合は、元ルートで案内を開始します。
- 現在地 、 訂正 で元のルート案内に戻ることができます。
- 案内地が連続している場合は動作しないことがあります。
- 新/元ルートのどちらかに有料道路を使用している場合は、料金差と増減も表示されます。どちらか一方でも料金が不明な場合は表示しません。
- 増減変化がない場合は「0」のみ表示します。
- 新ルートの色は、一般道は緑色に黄色の縁取り、有料道路は水色に黄色の縁取り、細街路は桃色に黄色の縁取りです。

ルート上の渋滞を案内させる

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内させることができます（渋滞オートガイド）。

ⓘ VICS情報が取得できないときなど、渋滞オートガイドが行われないことがあります。

渋滞オートガイドは、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

ルート上の渋滞情報を表示させる

ルート上に渋滞や混雑が発生した場合に、その場所を表示させることができます。渋滞に入る前に、前もって渋滞している箇所を知ることができます。

渋滞情報表示は、「機能の設定を変更する」（108P）で設定できます。設定によっては渋滞が発生した場所を表示したときに渋滞が表示されていない場合があります。

1 ルート案内中に[F10:10]を押す

渋滞している場所を表示して、渋滞の長さ、渋滞を抜けるまでにかかる参考の時間を音声で案内します。

更に[F10:10]にタッチすると、その先の渋滞を案内、表示します。最大5回まで先送りすることができます。その先の渋滞が見つからなかった場合や渋滞情報が更新された場合、6回目は現在地に戻ります。

ⓘ ルート上に渋滞や混雑が無い場合は、現在地を表示したまま渋滞が無いことを音声案内します。

2 渋滞情報を確認したら[現在地]を押す

現在地画面に戻ります。

渋滞を自動的に避ける（渋滞考慮オートリルート）

VICS情報の渋滞や規制情報をもとに自動的に渋滞などを避けるルートを再探索することができます（渋滞考慮オートリルート）。

ⓘ
- このときの画面は渋滞を考慮したルートと元のルートの2画面表示に切り替わります。操作方法は「過去に通った道などを優先して案内させる（ルートアドバイザー）」（60P）を参照してください。
- 別売のビーコン受信機を接続している場合は、ビーコンおよびFM多重情報による渋滞を考慮します。ビーコン受信機が接続されていない場合は、FM多重放送による規制情報のみ考慮します。
- VICS情報が取得できないときなど、渋滞考慮オートリルートが行われないことがあります。

渋滞考慮オートリルートは、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

VICS情報を考慮したルート探索（渋滞考慮ルート探索）

VICS情報の渋滞や規制情報をもとに渋滞や規制を考慮したルート探索を行うことができます（渋滞考慮ルート探索）。

ⓘ
- 別売のビーコン受信機を接続している場合は、ビーコンおよびFM多重情報による渋滞を考慮します。ビーコン受信機が接続されていない場合は、FM多重放送による規制情報のみ考慮します。
- VICS情報が取得できないときなど、渋滞考慮ルート探索が行われないことがあります。

渋滞考慮ルート探索は、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

回避エリアを考慮したルート探索

回避エリアを登録すると、その場所をなるべく通らないようにルートを探索します。

- 回避エリアの登録は、「回避したいエリアを登録する」(98P)を参照してください。
- 回避エリアのルートへの考慮は、「機能の設定を変更する」（108P）でON/OFFできます。

案内中のルートを確認する

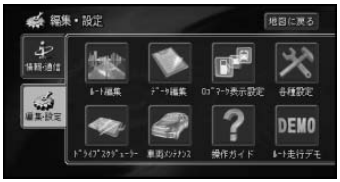
案内中のルートの道路名や距離などの情報をリスト形式で表示させたり、行き先までのルートを一通りスクロール表示させたりすることができます。また、行き先までの設定地点をリスト表示させることもできます。

■ルートプロフィールで確認する

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路を使う場合は、その料金などの情報を表示できます。

ショートカットメニュー（現在地）の**ルート編集**からも操作ができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ルート編集** に**タッチする** →25P



2 **ルート確認** にタッチする

3 **ルートプロフィール** にタッチする

以降の操作は「ルートプロフィールで確認する」（49P）と同様の流れとなりますので参照してください。

■ルートスクロールで確認する

出発地から行き先までのルートをなぞるように地図を動かして、設定されたルートを一通り確認することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ルート編集** に**タッチする** →25P

2 **ルート確認** にタッチする

3 **ルートスクロール** にタッチする

以降の操作は「ルートスクロールで確認する」（49P）と同様の流れとなりますので参照してください。

■設定地点リストを確認する

行き先、立寄地（1～5まで）、出発地をリスト表示できます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ルート編集** に**タッチする** →25P

2 **ルート確認** にタッチする

3 **設定地点リスト** にタッチする

4 **確認したい地点名にタッチする**

選ばれている地点が、画面右側の地図上に表示されます。また、**決定** にタッチするか、もう一度同じ地点名にタッチすると、選んだ地点の地図表示をします。

5 **確認を終えたら 戻る にタッチする**

条件を変えてルートを設定し直す

設定されているルートを、探索条件を変えて再探索させることができます（ルート再探索）。

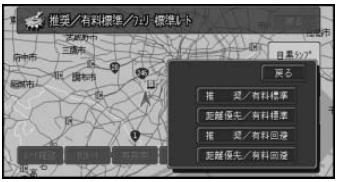
ショートカットメニューの **ルート編集** からも操作ができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ルート編集** に **タッチする** →25P

2 **再探索** **にタッチする**

3 **探索条件を選んでタッチする**

新しい探索条件により、ルート探索が開始されます。



- ルート上を走行中でも、再探索を行うことができます。ただし、現状と同じルートが設定される場合があります。
- すでに通過した立寄地は、ルートの再設定を行っても考慮されません。
- 探索条件の変更は、走行中の区間だけでなく、目的地までの全区間に適用されます。

ルート上の立寄地を編集する

急に立ち寄っていきたい場所ができた場合や立寄地を削除したい場合など、立寄地を編集してルートを設定し直すことができます。

ショートカットメニューの **ルート編集** からも操作ができます。

■立ち寄りたい場所を追加する

急に立ち寄っていきたい場所ができた場合など、立寄地を追加してルートを設定し直すことができます。

ショートカットメニューの **立寄地** でも同じ操作ができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ルート編集** に **タッチする** →25P

2 **詳細ルート** **にタッチする**

3 **立寄地指定** **にタッチする**

以降の操作は「立ち寄りたい場所を設定する」（50P）と同様の流れとなりますので参照してください。

■立寄地を並び替える

立寄地を出発地からの距離順や好きなように並び替えて、ルートを設定し直すことができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ルート編集** にタッチする →25P

2 **詳細ルート** にタッチする

3 **立寄地指定** にタッチする

4 **並べ替え** にタッチする

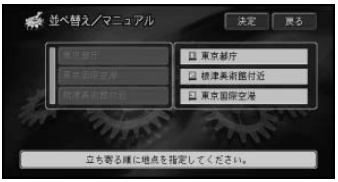
5 メニューから設定方法を選んでタッチする

オート	出発地からの直線距離順になるように自動的に並び替える
マニュアル	立ち寄る順番を指定する

6 マニュアルを選んだ場合は、立ち寄る順に選んでタッチする

7 すべて指定し終えたら **決定** にタッチする

立寄地指定画面に戻り、並び替えられた立寄地の地名がリスト上に表示されます。



8 **終了** にタッチする

- 登録道または乗り降りICを指定している場合は、**オート** は選択できません。
- 登録道の始点と終点の間に立寄地を追加することはできません。

■立寄地を削除する

立寄地に寄るのをやめたい場合など、立寄地を削除してルートを設定し直すことができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ルート編集** にタッチする →25P

2 **詳細ルート** にタッチする

3 **立寄地指定** にタッチする

4 **削除** にタッチする

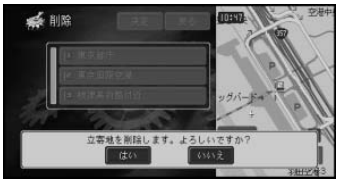
5 **削除したい場所を選んでタッチする**

画面右側には、選んだ場所を中心とした地図が表示されています。

6 **削除する場所を地図上で確認して 決定 にタッチする**

7 **確認メッセージが表示されるので、はい にタッチする**

立寄地指定画面に戻ります。



8 **終了 にタッチする**

ルート上に乗り降りIC（インターチェンジ）を指定する

ルート上で有料道路を使う場合は、入口、出口のインターチェンジを指定し直すことができます。

- ショートカットメニューの **ルート編集** からも操作ができます。
- 指定されたインターチェンジは、通常の立寄地として追加されます。
- 指定できるインターチェンジは、ルートの全行程における最初の入口と最後の出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

1 メニュー **ー 編集・設定 ー ルート編集 にタッチする** →25P

2 **詳細ルート にタッチする**

3 **乗降IC指定 にタッチする**

以降の操作は「乗り降りIC（インターチェンジ）を指定する」（65P）と同様の流れとなりますので参照してください。

ルート上に登録道を組み込む

複雑な抜け道やよく使う近道などをあらかじめ登録しておき（94P）、その道路をルートに組み込むことができます。

ショートカットメニューの **ルート編集** からも操作ができます。

1 メニュー **ー 編集・設定 ー ルート編集 にタッチする** →25P

2 **詳細ルート にタッチする**

3 **登録道指定 にタッチする**

以降の操作は「登録道をルートに組み込む」（52P）と同様の流れとなりますので参照してください。

設定地点の位置を修正する

目的地や立寄地、出発地の位置を修正して、ルートを設定し直すことができます。

ショートカットメニューの **ルート編集** からも操作ができます。

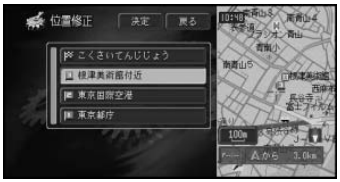
1 メニュー **ー 編集・設定 ー ルート編集 にタッチする** →25P

2 **詳細ルート にタッチする**

つづく ≫

3 **設定地点位置修正** にタッチする

4 修正する地点を選んでタッチする



5 **決定** にタッチする

スクロール調整画面が表示されます。

6 位置を修正し、**決定** にタッチする

位置が修正され、ルートの再探索が開始されます。

ⓘ 修正した位置にルート探索の対象となる道路が無い場合は、［付近にルート探索対象道路がありません。位置を修正してください］というメッセージが表示されます。

ルート案内を中止する

案内中のルートが不要になった場合は、ルートを消去してルート案内を中止することができます。

ⓘ ショートカットメニューの **ルート編集** からも操作ができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ルート編集** にタッチする →25P

2 **ルート消去** にタッチする

3 **確認メッセージが表示されるので、はい にタッチする**

案内中のルートを消去して地図画面に戻ります。

案内中のルートとは別のルートを探索する

案内中のルートとは異なるルートを再探索させることができます。

1 ルート案内中に メニュー ー **編集・設定** ー **ルート編集** にタッチする →25P

2 **別ルート** にタッチする

次の立寄地、または行き先までの全ルートを自動的に1本だけ探索します。

ⓘ
- 探索したルートを走行しないと機能しません。
- 自車マークがルート上にある場合は自車位置から迂回する探索、ルート上にない場合は全ルート再探索が行われます。

ルートに立寄地を追加する

ルート案内中、ガソリンスタンドに行きたいなど、急にどこかに立ち寄る必要ができた場合は、案内中のルートにショートカットメニューから簡単に立寄地を追加して、ルートを設定し直すことができます。立寄地は、既に設定されているものも含めて全部で5ヵ所まで追加できます。

1 立寄地を探す →30P

ガソリンスタンドなどを探したい場合は、ショートカットメニューを表示して、**周辺施設**にタッチして探してください。

2 ショートカットメニューから立寄地にタッチする

すぐ次に立ち寄る立寄地が設定されて、自動的に立寄地を通過するルートが設定されます。

ルート上の立寄地を先送りする

ルート案内中、次の立寄地を取り消してルートを設定し直すことができます。

1 現在地画面で にタッチする

ショートカットメニューが表示されます。

2 立寄送りにタッチする

次の立寄地を通過したことにして、自動的に現在地から行き先または次の立寄地を含んだ行き先までのルートが設定されます。

スクロール画面からショートカットメニューを表示させると、**立寄地**になります。

地点の登録

自宅や友人宅など、覚えておきたい場所を登録しておくとルート設定などのナビゲーション機能を有効に活用することができます。
登録は、最大200ヶ所までできます（自宅は含みません）。

- 登録地が200ヶ所を超えると登録できなくなります。新たに登録したい場合は、登録地のリスト上から不要な場所を消してください（79P）。
- 登録時には、自動的にその場所の名称を登録します。施設名や周辺の地域などの代表地名が特にない所では、登録した時刻が名前になります。
- 登録すると、地図上には虫ピンのマークが付きます。

自動的に付けられた名前やマークは変更することができます。「登録地の編集」（70P）を参照してください。

自宅を登録する

本機に自宅の場所を登録しておくと、ドライブ先から自宅へ帰るときなど、簡単な操作でルートを設定できるようになります。

1 地図上で自宅の位置を合わせる

「場所を探す」（30P）を参照して場所を探してください。

2 行き先 ー 自宅 にタッチする →24P

自宅登録確認画面が表示されます。

3 はい にタッチする

自宅が登録されます。

- 自宅登録の操作を行うと、「自宅」という名前と「じたく」というよみが自動的に入力されます。
- 自宅登録した場所には、自宅マークが設定されます。
- 登録地編集 で、通常の登録地として登録した地点を自宅に変更することができます。名称は変更されません。→*「自宅に変更する」（78P）*
- 自宅が登録された後に行き先・場所メニューの 自宅 にタッチすると、自宅までのルート探索が始まります。
- 本機は、ここで説明した方法で登録した「じたく」を自宅として認識して、行き先・場所メニューの 自宅 にタッチによる自宅へのルート探索を行います。地点登録である場所に「自宅（じたく）」の名称やよみを登録しても、行き先・場所メニューからの自宅ルート探索には、活用できません。

自宅の場所を変更したい場合は、「登録地の編集」（70P）を参照してください。

現在地を登録する

現在地を覚えておきたい場合など、登録しておくことができます。

1 **現在地の地図画面が表示されている状態で [ ] にタッチする**

2 **ショートカットメニューから 地点登録 にタッチする**

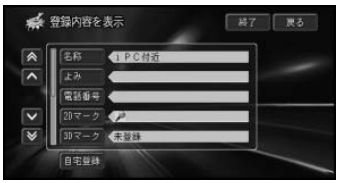
登録内容を表示します。

3 **登録方法を選んでタッチする**

- **登録地** にタッチすると、通常の登録地として登録されます。
- **ロゴマーク** にタッチすると、ランドマークリライタブルのロゴマークとして登録されます。（91P）

4 **終了 にタッチする**

現在地が登録され、地図画面に戻ります。



この画面で自動的に付けられた名前など変更することができます。「登録地の編集」（70P）を参照してください。

探した場所を登録する

気に入ったレストランや友人宅など、覚えておきたい場所を登録することができます。

1 **場所を探す** →30P

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

2 **地点登録 にタッチする**

登録内容を表示します。

3 **登録方法を選んでタッチする**

- **登録地** にタッチすると、通常の登録地として登録されます。
- **ロゴマーク** にタッチすると、ランドマークリライタブルのロゴマークとして登録されます。（91P）

4 **終了 にタッチする**

探した場所が登録され、地図画面に戻ります。

この画面で自動的に付けられた名前など変更することができます。「登録地の編集」（70P）を参照してください。

登録地の編集

登録された登録地の名称を変えたり、消去したりすることができます。

新規登録する場合は、「地点の登録」（68P）を参照してください。

登録地の名称を変更する

登録時に自動的に付けられた名称を変更することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **登録地編集** にタッチする

3 **内容変更** にタッチする

登録地点のリストが表示されます。

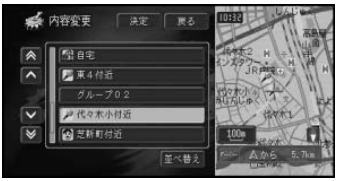
4 名称を変更したい地点を選んでタッチする

選んだ地点が右画面に地図表示されます。

- グループ名を選んだ場合は、さらにグループ内の登録地点リストが表示されます。
- データのないグループは表示されません。
- リストの並び順を呼出日時（新しい順）、呼出日時（古い順）、よみ（50音順）、2Dマーク（選択リスト順）に変更することができます。並び順を変えるには、リスト中の「並び替え」を選び、ポップアップメニューから好みの並び順を選択します。

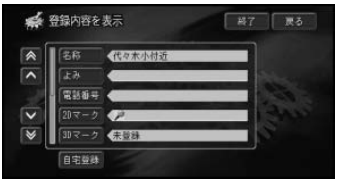
5 **決定** にタッチする

登録内容表示画面が表示されます。



もう一度地点にタッチしても、内容表示画面を表示することができます。

6 **名称** にタッチする



や にタッチすると、リストをスクロールすることができます。 や にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

7 新しい名称を入力する

文字の入力方法は、「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

入力できる文字数は全角で20文字（半角で40文字）までです。

8 **入力終了** にタッチする

変更した登録地の名称が保存され、登録内容表示画面に戻ります。名称入力されていないときは、名称変更前の状態に戻ります。

- 戻る にタッチして、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されていない場合は 入力終了 は選べません。

9 現在地 **を押す**

地図画面に戻ります。

名称が入力されていないとき 現在地 を押すと、名称変更前の状態に戻ります。

登録地のよみを変更する

登録地の名称のよみを設定しておくと、音声操作の際にそのよみで登録地を呼び出せるようになります。

手順は、「登録地の名称を変更する」（70P）とほぼ同様な流れとなりますので、参照して設定してください。

- 全角で20文字まで登録できます。
- よみは、音声操作で呼び出すために使用します。音声操作を行わない場合、よみは不要です。
- 「ん○○」「っっ○○」など日本語として発声できないよみは付けないでください。
- 「げんざいち」など、音声認識語（208P）と同じよみは付けないでください。誤動作の原因になります。

登録地の電話番号を変更する

電話番号を設定しておくと、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、簡単にその場所に電話をかけられます。

手順は「登録地の名称を変更する」（70P）とほぼ同様の流れとなりますので、参照して設定してください。

ジャンル検索などで呼び出した施設などをそのまま登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。

登録地のマークを変更する

地図上に表示される登録地のマークを変更することができます。

■2Dマークを変更する

1 メニュー **ー 編集・設定 ー データ編集 にタッチする** →25P

2 **登録地編集 にタッチする**

3 **内容変更 にタッチする**

登録地点のリストが表示されます。

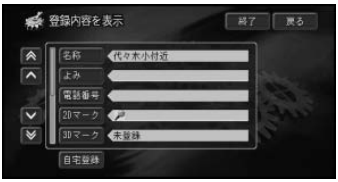
4 **マークを変更したい地点を選んでタッチする**

選んだ地点が右画面に地図表示されます。

- グループ名を選んだ場合は、さらにグループ内の登録地点リストが表示されます。
- データのないグループは表示されません。

5 **決定 にタッチする**

登録内容表示画面が表示されます。



もう一度地点にタッチしても、内容表示画面を表示することができます。

6 **2Dマーク にタッチする**

^ や v にタッチすると、リストをスクロールすることができます。^^ や vv にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

つづく >>

7 新しいマークを選んでタッチする

変更した登録地のマークが保存され、登録内容表示画面に戻ります。

8 現在地 を押す

地図画面に戻ります。

■登録した場所の名称を地図上に表示させる

以下のマークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます（プライベートマッピング）。

このマークを設定する

■3Dマークを変更する

3Dマークは、スカイビューなどの3D地図で縮尺を200m以下にした場合に、地図上に表示できるマークです。

- 3Dマークを設定していないときは、2D地図と同じマークで表示されます。
- 500m以上の3Dマークを表示しないスケールでは2Dの同じマークを表示します。
- 3Dマークを狭いエリアに数多く登録すると、3D地図表示でのスクロールなどの反応が遅くなります。

1 メニュー － 編集・設定 － データ編集 にタッチする →25P

2 登録地編集 にタッチする

3 内容変更 にタッチする

登録地点のリストが表示されます。

4 マークを変更したい地点を選んでタッチする

選んだ地点が右画面に地図表示されます。

- グループ名を選んだ場合は、さらにグループ内の登録地点リストが表示されます。
- データのないグループは表示されません。

5 決定 にタッチする

登録内容表示画面が表示されます。

もう一度地点にタッチしても、内容表示画面を表示することができます。

6 3Dマーク にタッチする

∧や∨にタッチすると、リストをスクロールすることができます。︽や︾にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

7 新しいマークを選んでタッチする

ⓘ ^ や v にタッチすると、リストをスクロールすることができます。^^ や vv にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

8 決定にタッチする

3Dマークの表示設定画面が表示されます。

9 マーク横の回転矢印にタッチして地図を回転させ、マーク縮小、マーク左回転、マーク右回転、マーク拡大にタッチして、3Dマークの大きさと向きを設定して決定にタッチする

変更した登録地のマークの大きさと向きが保存され、登録内容表示画面に戻ります。

ⓘ 縮尺は、100m表示となります。

10 現在地を押す

地図画面に戻ります。

登録地の画像を変更する

画像を設定しておくと、自車マークが登録した場所に近づいたときにその画像を表示させることができます。

また、デジタルカメラなどで撮影した画像を設定することもできます（デジカメリンク）。

ⓘ
- デジタルカメラなどで撮影した画像を設定するには、ナビゲーション本体に画像が保存されているPCカードをセットしてください。
- 対応している画像形式は、デジタルカメラの一般のjpeg形式の画像のみです。
- ファイル名は、フォルダ名+ファイル名+.jpgが255byte以内（半角を1文字で1byte、全角を1文字で2byte）のファイルのみがナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。
- ハードディスクに収録されているものとPCカード内の画像ファイル数の合計が200個を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されない場合があります。その場合は、ハードディスクに収録されているものとPCカード内の画像ファイル数の合計が200個以内になるように、PCカード内の画像ファイル数を減らしてください。
- PCカード内には8階層（ルートディレクトリ含む）までのフォルダ（ディレクトリ）を認識できます。

1 メニュー ー 編集・設定 ー データ編集にタッチする →25P

2 登録地編集にタッチする

3 内容変更にタッチする

登録地点のリストが表示されます。

つづく >>

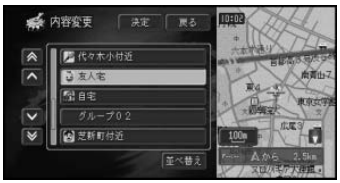
4 画像を変更したい地点を選んでタッチする

選んだ地点が右画面に地図表示されます。

- グループ名を選んだ場合は、さらにグループ内の登録地点リストが表示されます。
- データのないグループは表示されません。

5 決定にタッチする

登録内容表示画面が表示されます。



もう一度地点にタッチしても、内容表示画面を表示することができます。

6 画像にタッチする

▲や▼にタッチすると、リストをスクロールすることができます。⏫や⏬にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

7 新しい画像を選んでタッチする

選ばれている画像は画面上に表示され、確認することができます。

- ＰＣカードをセットしている場合は、ＰＣカード内のファイルもリスト上に表示されます。
- ▲や▼にタッチすると、リストをスクロールすることができます。⏫や⏬にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

8 決定にタッチする

変更した登録地のマークが保存され、登録内容表示画面に戻ります。

9 現在地を押す

地図画面に戻ります。

画像を設定（または変更）する操作を行った直後は、本機の電源を切ったり（エンジンをOFFにしたり）、PCカードを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、PCカードのデータが壊れることがあります。

ハードディスクの容量が足りないときは、保存できなかったことがメッセージ表示されます。

画像表示のされかた

- 画像を設定した登録地が、自車マークから５００m未満になると画像が表示されます。
- 登録地が５００m未満に複数ある場合は、最も近い場所の画像が表示されます。約２０秒経過したら次に近い場所の画像が表示されます。
- 距離が５００m以上になったとき、または音声認識リモコンの訂正を押すと、画像が消えます。
- 画像表示よりも、ETC、ルート、VICSの割込表示が優先されます。
- 一度画像の表示が終わると、３０分経過するか、本機の電源をON/OFF（エンジンをON/OFF）しないと画像は表示されません。

登録地の効果音を変更する

効果音を設定しておくと、登録した場所に自車マークが近づいたときに効果音が鳴ります。注意を要する場所に設定しておくと便利です。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **登録地編集** にタッチする

3 **内容変更** にタッチする

登録地点のリストが表示されます。

4 効果音を変更したい地点を選んでタッチする

選んだ地点が右画面に地図表示されます。

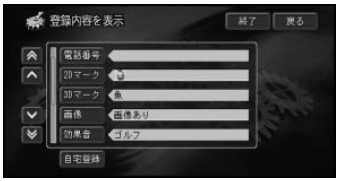
- グループ名を選んだ場合は、さらにグループ内の登録地点リストが表示されます。
- データのないグループは表示されません。

5 **決定** にタッチする

登録内容表示画面が表示されます。

もう一度地点にタッチしても、内容表示画面を表示することができます。

6 **効果音** にタッチする



^ や v にタッチすると、リストをスクロールすることができます。^^ や vv にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

7 新しい効果音を選んでタッチする

8 **決定** にタッチする

変更した登録地の効果音が保存され、登録内容表示画面に戻ります。

確認 にタッチすると、選んだ効果音を試聴することができます。

9 現在地 を押す

地図画面に戻ります。

効果音の鳴りかた

- 効果音を設定した登録地が、自車マークから500m未満になると効果音が鳴ります。
- 登録地が500m未満に複数ある場合は、最も近い場所の効果音が鳴ります。約20秒したら次の近い場所の効果音が鳴ります。
- 効果音が鳴っているときに音声認識リモコンの **訂正** を押すと、効果音が止まります。
- 効果音よりも、ETC、ルート、VICSの音声案内が優先されます。
- 一度効果音が鳴ると、30分経過するか、本機の電源をON/OFF（エンジンをON/OFF）しないと同じ場所の効果音は鳴りません。
- 「あいさつ」を選ぶと、時刻によって音が変わります。

登録地の探索条件を変更する

登録した場所を行き先（または立寄地）にした場合、ここで設定した条件でその場所までのルートが探索されます。ルート設定時に探索条件を毎回設定する手間が省けます。

1 メニュー ー 編集・設定 ー データ編集 にタッチする →25P

2 登録地編集 にタッチする

3 内容変更 にタッチする

登録地点のリストが表示されます。

4 探索条件を変更したい地点を選んでタッチする

選んだ地点が右画面に地図表示されます。

- グループ名を選んだ場合は、さらにグループ内の登録地点リストが表示されます。
- データのないグループは表示されません。

5 決定 にタッチする

登録内容表示画面が表示されます。

もう一度地点にタッチしても、内容表示画面を表示することができます。

6 探索条件 にタッチする

^ や v にタッチすると、リストをスクロールすることができます。^^ や vv にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

7 新しい条件項目を選んでタッチする

探索基準	推奨/有料標準、 距離優先/有料標準、 推奨/有料回避、 距離優先/有料回避
フェリー航路	標準/優先/回避
設定なし	

8 戻る にタッチする

条件設定画面に戻ります。

9 戻る にタッチする

変更した登録地の探索条件が保存され、登録内容表示画面に戻ります。

10 現在地 を押す

地図画面に戻ります。

登録地の探索条件を有効にするには、「機能の設定を変更する」（108P）で「登録地の探索条件」を［使う］に設定する必要があります。

登録地をグループに振り分ける

登録地をグループに振り分けることができます。これにより、仕事用や遊び用などのように登録地をグループ別に管理することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **登録地編集** にタッチする

3 **内容変更** にタッチする

登録地点のリストが表示されます。

4 グループに振り分けたい地点を選んでタッチする

選んだ地点が右画面に地図表示されます。

- グループ名を選んだ場合は、さらにグループ内の登録地点リストが表示されます。
- データのないグループは表示されません。

5 **決定** にタッチする

登録内容表示画面が表示されます。

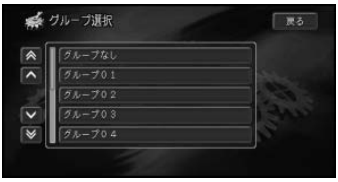
もう一度地点にタッチしても、内容表示画面を表示することができます。

6 **グループ変更** にタッチする

^ や v にタッチすると、リストをスクロールすることができます。^^ や vv にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

7 振り分けたいグループ名を選んでタッチする

グループに振り分けた登録地が保存され、登録内容表示画面に戻ります。



購入直後は、グループ名が［グループ01］～［グループ10］になっています。グループ名は変更できます。

→「登録地のグループ名称を変更する」（80P）

グループ分けしないときは、［グループなし］にしてください。

8 現在地 を押す

地図画面に戻ります。

登録地の位置を変更する

登録地の位置を変更することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** に**タッチする** →25P

2 **登録地編集** に**タッチする**

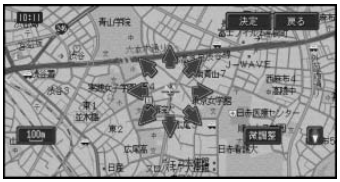
3 **内容変更** に**タッチする**
登録地点のリストが表示されます。

4 **位置を変更したい地点を選んでタッチする**
選んだ地点が右画面に地図表示されます。

5 **決定** に**タッチする**
登録内容表示画面が表示されます。
もう一度地点にタッチしても、内容表示画面を表示することができます。

6 **位置修正** に**タッチする**
スクロール画面が表示されます。

7 **位置変更先に十字カーソルを合わせて決定** に**タッチする**
変更した登録地の位置が保存され、登録内容表示画面に戻ります。



8 現在地 **を押す**
地図画面に戻ります。

自宅に変更する

登録地を自宅に変更することができます。

よみのみ“じたく”と変更されます。名称は「登録地の名称を変更する」（70P）で変更してください。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** に**タッチする** →25P

2 **登録地編集** に**タッチする**

3 **内容変更** に**タッチする**
登録地点のリストが表示されます。

4 **自宅に変更したい地点を選んでタッチする**
選んだ地点が右画面に地図表示されます。

5 **決定** に**タッチする**
登録内容表示画面が表示されます。
もう一度地点にタッチしても、内容表示画面を表示することができます。

6 **自宅登録** に**タッチする**
既に自宅が登録されている場合は、「自宅は既に登録されています。上書きしますか？」のメッセージが表示されます。上書きすると、自宅の位置が変更されます。

7 **終了** に**タッチする**

8 現在地 **を押す**
地図画面に戻ります。

登録地を消去する

登録地を消去することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** に**タッチする** →25P

2 **登録地編集** **にタッチする**

3 **消去** **にタッチする**

登録地点のグループリストが表示されます。

4 **グループを選んでタッチする**

選んだグループの登録地点リストが表示されます。

- **全データ** を選んでタッチすると、全ての登録地が消去できます。
- グループに振り分けられていない登録地を削除したい場合は、**グループなし** を選んでください。
- データのないグループは表示されません。
- 自宅は **グループなし** に振り分けられています。
- グループ内の登録地を **並べ替え** で並び替えることができます。（70P）

5 **削除したい登録地を選んでタッチする**

選んだ登録地には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択 を選ぶと、全てを選びます。

全解除 を選ぶと全てを解除します。

6 **決定** **にタッチする**

確認画面が表示されます。

7 **はい** **にタッチする**

登録地が消去され、地図画面に戻ります。

登録地のグループ名称を変更する

登録地のグループ名称を変更することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **登録地編集** にタッチする

3 **グループ名変更** にタッチする

登録地点のグループリストが表示されます。

4 名称を変更したいグループを選んでタッチする

5 新しい名称を入力する

文字の入力方法は、「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

- 入力できる文字数は全角で20文字（半角で40文字）までです。
- 「グループなし」は名称を変更することはできません。

6 **入力終了** にタッチする

変更したグループ名称が保存され、グループリスト画面に戻ります。

- **戻る** にタッチして、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されていない場合は **入力終了** は選べません。

7 現在地 を押す

地図画面に戻ります。

名称が入力されていないとき 現在地 を押すと、名称変更前の状態に戻ります。

登録地をPCカードへ保存する

登録地をPCカードに保存することができます。
これにより、数多くの登録地を保存することができます。
PCカードへは、300グループ（1グループの上限は200地点）までの登録地を保存できます。

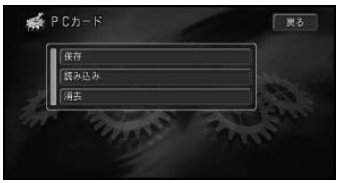
- PCカードの総容量により保存数は変わります。
- PCカードを挿入していないと**PCカード**を選ぶことができません。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **登録地編集** にタッチする

3 **PCカード** にタッチする

4 **保存** にタッチする



5 **グループ選択** にタッチする
登録地点のグループリストが表示されます。

- **グループ選択** および **全データ** には、自宅のデータは含まれません。
- **全データ** にタッチすると、全ての登録地（自宅は含まない）が1つのグループとして、PCカードに保存されます。グループ名は、登録した年月日、時間＋［全データ］となります（例：2002年 5月 5日15:10 全データ）。
- **自宅データ** にタッチすると、自宅データがPCカードに保存されます。

6 **グループにタッチする**
選んだグループの登録地点リストが表示されます。

- グループに振り分けられていない登録地を保存したい場合は、**グループなし** を選んでください。
- データのないグループは表示されません。
- 登録地が1つもグループ分けされていない場合は、手順7に進みます。
- 自宅は **グループなし** に振り分けられています。

7 **保存したい登録地にタッチする**
選んだ登録地には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
全選択 を選ぶと、全てを選びます。

つづく ≫

8 **決定**にタッチする

PCカード内のグループリストが表示されます。

9 保存先のグループにタッチする

選んだPCカード内のグループに登録地を保存して、地図画面に戻ります。

文字の入力方法は、「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

- **新規グループ**にタッチすると、文字入力画面が表示されますので、グループ名を入力してください。
- 入力できる文字数は全角で20文字までです。
- 1グループ上限200地点までです。

保存中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、ディスプレイ部を開いたりしないでください。

PCカードから登録地を読み込む

PCカードに保存されたデータを本機に読み込むことができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集**にタッチする →25P

2 **登録地編集**にタッチする

3 **PCカード**にタッチする

4 **読み込み**にタッチする

PCカード内のグループリストが表示されます。

5 読み込みたい登録地のあるグループを選んでタッチする

グループ内データのリストが表示されます。

6 読み込みたい登録地を選んでタッチする

選んだ登録地には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
全選択を選ぶと、全てを選びます。

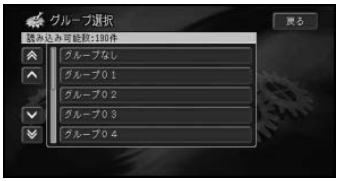
ナビゲーションに登録した登録地とPCカードから読み込ませようとする登録地の数が200ヶ所になった時点でチェックマークを付けることができなくなります。

7 **決定**にタッチする

本機内のグループリストが表示されます。

8 **保存先のグループを選んでタッチする**

選んだ本機内のグループに登録地を読み込んで、地図画面に戻ります。



読み込み中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、ディスプレイ部を開いたりしないでください。

PCカード内の登録地データを消去する

不要になったPCカード内の登録地データを消去することができます。

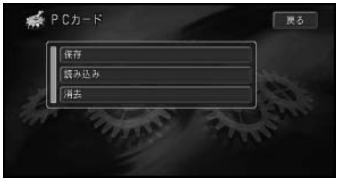
1 メニュー **ー 編集・設定 ー データ編集 にタッチする** →25P

2 **登録地編集 にタッチする**

3 **PCカード にタッチする**

4 **消去 にタッチする**

PCカード内のグループリストが表示されます。



5 **消去したい登録地のあるグループを選んでタッチする**

グループ内データのリストが表示されます。

6 **消去したい登録地を選んでタッチする**

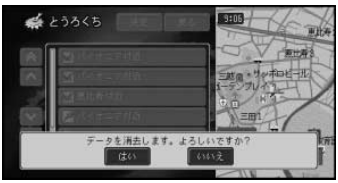
選んだ登録地には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択 を選ぶと、全てを選びます。

全解除 を選ぶと全てを解除します。

7 **決定 にタッチする**

消去確認画面が表示されます。



8 **はい にタッチする**

選んだ登録地のデータを消去して、地図画面に戻ります。

消去中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、ディスプレイ部を開いたりしないでください。

PCカード内のデータを一括消去する場合は、「PCカードをフォーマットする」（118P）を参照してください。

ロゴマークの登録・編集

地図画面に表示されるロゴマークを新規で追加したり、編集できる機能です（ランドマークリライタブル）。元のデーターにない新しい店ができた場合（91P）や、データーにある店がなくなった場合などに使用します。

ロゴマークを非表示にする

本機に収録されているロゴマークを非表示にすることができます。（最大200件）
無くなってしまった施設などのロゴマークを消したいときなどに使用します。
消したロゴマークは、あとで復活させることができます。

■ロゴマークを非表示にする

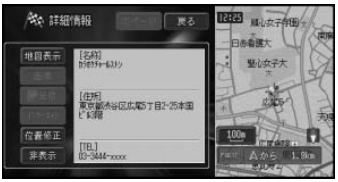
本機に収録されているロゴマークを消します。

1 **場所を探す** →30P
ロゴマークを選んでショートカットメニューを表示します。

2 **詳細情報** にタッチする

複数の情報がある場合は、リスト表示されますので、表示する情報にタッチして **決定** にタッチしてください。

3 **非表示** にタッチする



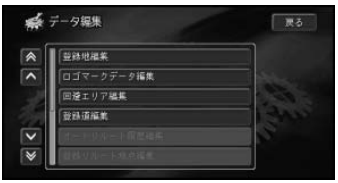
▼
ロゴマークが消去され、地図画面に戻ります。

■非表示に設定したロゴマークを解除する

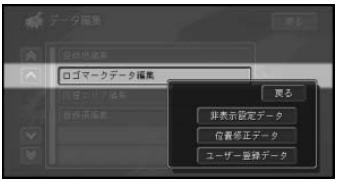
消したロゴマークを表示させます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

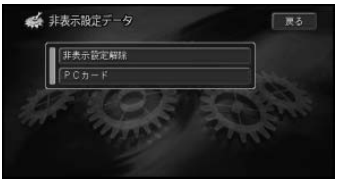
2 **ロゴマークデータ編集** にタッチする



3 **非表示設定データ** にタッチする



4 **非表示設定解除** にタッチする
ハードディスク内の非表示設定データがリスト表示されます。

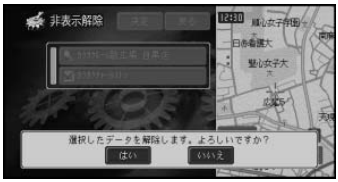


5 **非表示設定を解除したいデータを選んでタッチする**

選んだリスト項目には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
全選択 を選ぶと、全てを選びます。
全解除 を選ぶと、全てを解除します。

6 **決定** **にタッチする**

確認画面が表示されます。



7 **はい** **にタッチする**

選んだデータの非表示設定が解除され、地図画面に戻ります。

■非表示に設定したロゴマークの情報をPCカードに保存する

消したロゴマークの情報をPCカードに保存します。

1 メニュー **ー** **編集・設定** **ー** **データ編集** **にタッチする** →25P

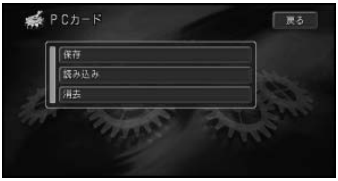
2 **ロゴマークデータ編集** **にタッチする**

3 **非表示設定データ** **にタッチする**

4 **PCカード** **にタッチする**

5 **保存** **にタッチする**

ハードディスク内の非表示設定データがリスト表示されます。



6 **保存したい非表示設定のロゴマークデータを選んでタッチする**

選んだリスト項目には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
全選択 を選ぶと、全てを選びます。
全解除 を選ぶと、全てを解除します。

7 **決定** **にタッチする**

PCカード内のグループリストが表示されます。

つづく ≫

8 **保存先のグループを選んでタッチする**

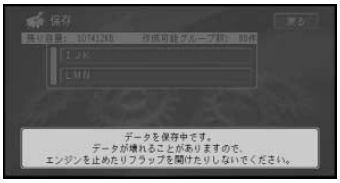
グループ内データのリストと保存可能数が表示されます。

文字の入力方法は、「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

- **新規グループ**にタッチすると、文字入力画面が表示されますので、グループ名を入力してください。
- 入力できる文字数は全角で20文字までです。

9 **保存可能であることを確認して**グループ名**にタッチする**

選んだPCカード内のグループに非表示データを保存して、地図画面に戻ります。



保存中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、ディスプレイ部を開いたりしないください。

■非表示に設定したロゴマークの情報をPCカードから読み込む

PCカードに保存した、消したロゴマークの情報を読み込みます。

1 メニュー **ー** **編集・設定** **ー** **データ編集** **にタッチする** →25P

2 **ロゴマークデータ編集** **にタッチする**

3 **非表示設定データ** **にタッチする**

4 **PCカード** **にタッチする**

5 **読み込み** **にタッチする**

PCカード内のグループリストが表示されます。

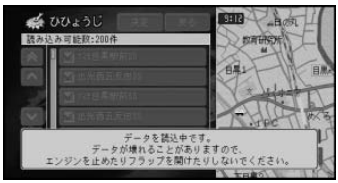
6 **読み込みたい非表示設定データのあるグループを選んでタッチする**

グループ内データのリストが表示されます。

7 **読み込みたい非表示設定データを選んでタッチする**

選んだ項目リストには、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
全選択 を選ぶと、全てを選びます。
全解除 を選ぶと、全てを解除します。

8 **決定** にタッチする



読み込み中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、ディスプレイ部を開いたりしないでください。

PCカードから読み込んだデータと本機内にあるデータが同じ場合は、上書きされず、二重に登録されます。

■PCカードに保存した非表示にしたロゴマークの情報を削除する

PCカードに保存した、消したロゴマークの情報を削除します。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

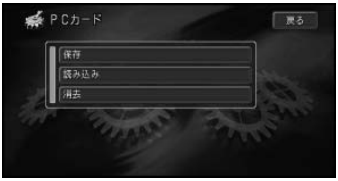
2 **ロゴマークデータ編集** にタッチする

3 **非表示設定データ** にタッチする

4 **PCカード** にタッチする

5 **消去** にタッチする

PCカード内のグループリストが表示されます。



6 **消去したい非表示設定データのあるグループを選んでタッチする**

グループ内データのリストが表示されます。

つづく

7 **消去したい非表示設定データを選んでタッチする**

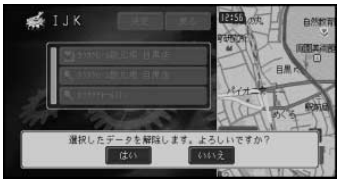
選んだ項目リストには、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択 を選ぶと、全てを選びます。

全解除 を選ぶと、全てを解除します。

8 **決定** にタッチする

確認画面が表示されます。



9 **はい** にタッチする

選んだ非表示設定のデータが消去され、地図画面に戻ります。

消去中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、ディスプレイ部を開いたりしないでください。

ロゴマークの位置を修正する

本機に収録されているロゴマークの位置を修正することができます。（最大200件）移動した施設などのロゴマークを異動したいときなどに使用します。

移動したロゴマークは、あとで元の位置に戻すことができます。

■ロゴマークの位置を修正する

本機に収録されているロゴマークを移動します。

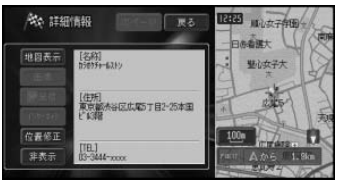
1 **場所を探す** →30P

ロゴマークを選んでショートカットメニューを表示します。

2 **詳細情報** にタッチする

複数の情報がある場合は、リスト表示されますので、表示する情報にタッチして **決定** にタッチしてください。

3 **位置修正** にタッチする



4 **8方向の矢印をタッチして移動先に十字カーソルを合わせて 決定 にタッチする**

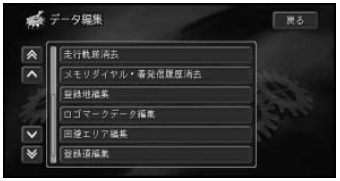
ロゴマークの位置が保存され、地図画面に戻ります。

■位置を修正したロゴマークを元の位置に戻す

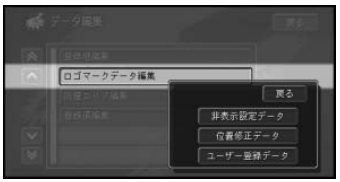
移動したロゴマークを元の位置に戻します。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **ロゴマークデータ編集** にタッチする



3 **位置修正データ** にタッチする



4 **位置修正解除** にタッチする

ハードディスク内の位置修正データがリスト表示されます。

5 **位置を元に戻したいデータを選んでタッチする**

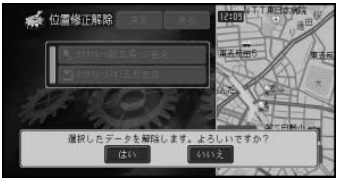
選んだリスト項目には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択 を選ぶと、全てを選びます。

全解除 を選ぶと、全てを解除します。

6 **決定** にタッチする

確認画面が表示されます。



7 **はい** にタッチする

選んだデータの位置がオリジナルに戻り、地図画面に戻ります。

■位置を修正したロゴマークの情報をPCカードに保存する

移動したロゴマークの情報をPCカードに保存します。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **ロゴマークデータ編集** にタッチする

3 **位置修正データ** にタッチする

以降の操作は「非表示に設定したロゴマークの情報をPCカードに保存する」（85P）とほぼ同様の流れとなりますので参照してください。

■位置修正したロゴマークの情報をPCカードから読み込む

移動したロゴマークの情報をPCカードから読み込みます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **ロゴマークデータ編集** にタッチする

3 **位置修正データ** にタッチする

以降の操作は「非表示に設定したロゴマークの情報をPCカードから読み込む」（86P）とほぼ同様の流れとなりますので参照してください。

■PCカードに保存した位置修正ロゴマークの情報を削除する

PCカードに保存した移動したロゴマークの情報を削除します。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **ロゴマークデータ編集** にタッチする

3 **位置修正データ** にタッチする

以降の操作は「PCカードに保存した非表示にしたロゴマークの情報を削除する」（87P）とほぼ同様の流れとなりますので参照してください。

ロゴマークを登録する

本機に収録されているロゴマークに加え、新規にユーザーがロゴマークを登録することができます。（最大200件）
新しくできた施設などのロゴマークを追加したいときなどに使用します。

■ロゴマークを登録する

新しい店などが出来た場合に、ロゴマークを登録しておくと、ロゴマーク表示や周辺検索で表示させることができます。

1 **場所を探す** →30P

探した場所の地図上にショートカットメニューを表示させます。

2 **地点登録にタッチする**

登録内容を表示します。

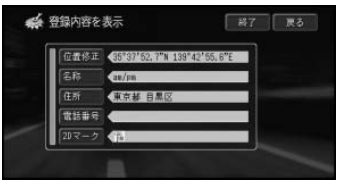
3 **ロゴマークにタッチする**

4 **ロゴマークを登録したい施設を選んでタッチする**

5 **登録したいロゴマークを選んでタッチする**

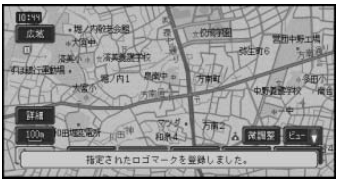
▼

ロゴマークを選択したら、内容変更画面になります。



6 **終了にタッチする**

ロゴマークが登録され、地図画面に戻ります。



この画面で自動的に付けられた名前などを変更することができます。「登録したロゴマークの内容を変更する」（92P）を参照してください。

■登録したロゴマークの内容を変更する

登録したロゴマークの位置・名称・住所・電話番号・2Dマークを変更することができ ます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** に**タッチする** →25P

2 **ロゴマークデータ編集** **にタッチする**

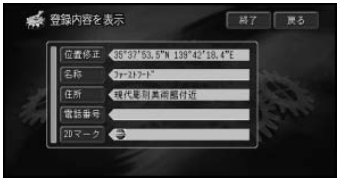
3 **ユーザー登録データ** **にタッチする**

4 **内容変更** **にタッチする**

ハードディスク内のユーザー登録データがリスト表示されます。

5 **編集するデータを選んでタッチする**

選んだデータの登録内容表示画面が表示されます。



以降の操作は「登録地の名称を変更する」（70P）とほぼ同様の流れとなりますので参照してください。

■登録したロゴマークを削除する

ユーザーが登録したロゴマークを削除します。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** に**タッチする** →25P

2 **ロゴマークデータ編集** **にタッチする**

3 **ユーザー登録データ** **にタッチする**

4 **消去** **にタッチする**

ハードディスク内のユーザー登録データがリスト表示されます。

5 **消去したいデータを選んでタッチする**

以降の操作は「登録地を消去する」（79P）とほぼ同様の流れとなりますので参照してください。

■登録したロゴマークの情報をPCカードに保存する

ユーザーが登録したロゴマークの情報をPCカードに保存します。

1 メニュー **ー 編集・設定 ー データ編集 にタッチする** →25P

2 **ロゴマークデータ編集 にタッチする**

3 **ユーザー登録データ にタッチする**

以降の操作は「非表示に設定したロゴマークの情報をPCカードに保存する」（85P）とほぼ同様の流れとなりますので参照してください。

■登録したロゴマークの情報をPCカードから読み込む

ユーザーが登録したロゴマークの情報をPCカードから読み込みます。

1 メニュー **ー 編集・設定 ー データ編集 にタッチする** →25P

2 **ロゴマークデータ編集 にタッチする**

3 **ユーザー登録データ にタッチする**

以降の操作は「非表示に設定したロゴマークの情報をPCカードから読み込む」（86P）とほぼ同様の流れとなりますので参照してください。

■PCカードに保存した登録したロゴマークの情報を削除する

PCカードに保存したユーザーが登録したロゴマークの情報を削除します。

1 メニュー **ー 編集・設定 ー データ編集 にタッチする** →25P

2 **ロゴマークデータ編集 にタッチする**

3 **ユーザー登録データ にタッチする**

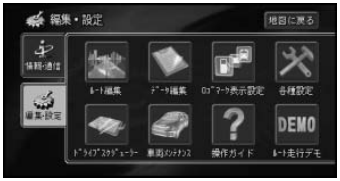
以降の操作は「PCカードに保存した非表示にしたロゴマークの情報を削除する」（87P）とほぼ同様の流れとなりますので参照してください。

各種データの登録・編集

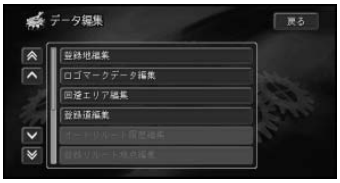
通りたい道路を登録する

自分の好きな道などを登録しておくことができます。
これにより、ルートを設定するときにその道を通るように指定することができます。
登録は、100本までできます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** に**タッチする** →25P

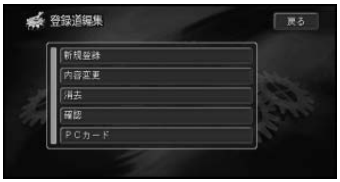


2 **登録道編集** にタッチする



3 **新規登録** にタッチする

場所を探す方法を指定する画面が表示されます。好みの方法で登録したい道路付近を画面に表示させます。



場所を探す方法についての詳細は「場所を探す」（30P）を参照してください。

4 **地図をスクロールして、登録したい道路上に十字カーソルを合わせて、決定 にタッチする**

選ばれている道路は紫色に表示されます。

十字カーソルが高速道路付近にある場合などに、選んだ道路が有料道路上にあるかどうかを確認する選択画面が表示されることがあります。**一般道路** か **有料道路** を選んでタッチしてください。

5 **前進**、**次候補**、**後退** にタッチして、**通る道を指定していく**

道路は交差点ごとに区切られています。道路を進みたい順番にひとつずつ選んでいきます。すでに指定された道が黄色に表示されます。

道路選択の操作方法

前進	前進する
後退	後退する（方向転換する）
次候補	候補の道を選択する

6 **登録したい道路を指定したら 終了 にタッチする**

最初に指定した道路付近の地名が表示され、確認画面が表示されます。

7 **はい** にタッチする

道路が登録されます。

自動的に付けられた名前は変更することができます。「登録道を編集する」（95P）を参照してください。

- 道路はおおよそ交差点から交差点までを1本として分けられています。登録道には、一度に300本までを指定できます。
- 場合によっては、300本まで指定できないことがあります。
- 一方通行の道路で、逆方向の指定はできません。
- 登録道の登録中には、時間規制や渋滞は考慮されません。
- 登録道を指定する画面では200mから10mスケールまでの縮尺を選ぶことができます。また、100m未満では市街地図が表示されません。

登録道を編集する

登録された登録道の名称を変えたり、消去したりすることができます。

新規登録する場合は、「通りたい道路を登録する」（94P）を参照してください。

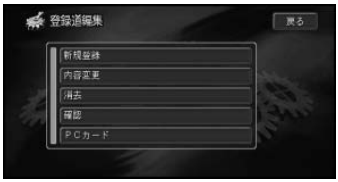
■登録道の内容を変更する

名称やよみを変更することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **登録道編集** にタッチする

3 **内容変更** にタッチする



4 内容を変更したい登録道を選んでタッチする

5 **名称** または **よみ** を選んでタッチする

6 変更したい名称やよみを入力する

文字の入力方法は、「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

- 入力できる文字数は全角で20文字（半角で40文字）までです。
- よみの入力できる文字数は全角で20文字までです。
- 登録道の読みを登録しておくと、音声操作の際に、その読みで登録道が呼び出せるようになります。

7 **入力終了** にタッチする

変更した登録道の名称が保存され、登録内容表示画面に戻ります。

- **戻る** にタッチして、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されていない場合は **入力終了** は選べません。

つづく ≫

8 現在地 **を押す**

地図画面に戻ります。

ⓘ 名称が入力されていないとき 現在地 を押すと、名称変更前の状態に戻ります。

■登録道を確認する

登録された登録道を確認することができます。

1 メニュー **ー** **編集・設定** **ー** **データ編集** **にタッチする** →25P

2 **登録道編集** **にタッチする**

3 **確認** **にタッチする**

登録道のリストが表示されます。

4 **確認したい登録道を選んでタッチする**

5 **設定されているルートを確認する**

前進する場合は **前進** にタッチし、後退する場合は **後退** にタッチします。 **自動前進**、**自動後進** にタッチすると、自動スクロールします。

6 **確認を終えたら** **戻る** **にタッチする**

登録道の選択画面に戻ります。

■登録道を消去する

登録された登録道を消去することができます。

1 メニュー **ー** **編集・設定** **ー** **データ編集** **にタッチする** →25P

2 **登録道編集** **にタッチする**

3 **消去** **にタッチする**

登録道のリストが表示されます。

4 **消去したい登録道を選んでタッチする**

選んだ登録道には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択 を選ぶと、全てを選びます。

全解除 を選ぶと、全てを解除します。

5 **決定** **にタッチする**

確認画面が表示されます。

チェックマークの付いた登録道が1つだけの場合は、地図画面が表示されます。複数の場合はリスト画面のままです。

6 **はい** にタッチする

登録道が消去され、地図画面に戻ります。

案内中のルートに登録道が組み込まれていて、その登録道をまだ通過していない場合、案内中のルートが再探索されます。

■登録道をPCカードへ保存する

登録道をPCカードに保存することができます。

これにより、数多くの登録道を保存することができます。

PCカードへは、100グループ（1グループは100件まで）までの登録道を保存できます。

- PCカードの総容量により保存数は変わります。
- PCカードを挿入していないと **PCカード** を選ぶことができません。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **登録道編集** にタッチする

3 **PCカード** にタッチする

4 **保存** にタッチする

5 保存したい登録道を選んでタッチする

選んだ登録道には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択 を選ぶと、全てを選びます。

全解除 を選ぶと、全てを解除します。

6 **決定** にタッチする

PCカード内のグループリストが表示されます。

7 保存先のグループを選んでタッチする

選んだPCカード内のグループに登録地を保存して、地図画面に戻ります。

文字の入力方法は、「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

- **新規グループ** にタッチすると、文字入力画面が表示されますので、グループ名を入力してください。
- 保存するとデータ数が100件を超えるグループは選ぶことができません。
- 入力できる文字数は全角で20文字までです。
- すでにPCカードに登録されているグループ名はつけられません。

保存中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、ディスプレイ部を開いたりしないでください。

■PCカードから登録道を読み込む

PCカードに保存されたデータを本機に読み込むことができます。

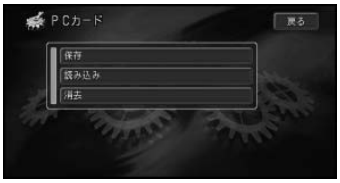
1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** に**タッチする** →25P

2 **登録道編集** に**タッチする**

3 **PCカード** に**タッチする**

4 **読み込み** に**タッチする**

PCカード内のグループリストが表示されます。



5 **読み込みたい登録道のあるグループを選んでタッチする**

グループ内データのリストが表示されます。

6 **読み込みたい登録道を選んでタッチする**

選んだ登録道には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択 を選ぶと、全てを選びます。

全解除 を選ぶと全てを解除します。

7 **決定** に**タッチする**

選んだ本機内のグループに登録道を読み込んで、地図画面に戻ります。

読み込み中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、ディスプレイ部を開いたりしないでください。

■PCカード内の登録道データを消去する

不要になったPCカード内の登録道データを消去することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** に**タッチする** →25P

2 **登録道編集** に**タッチする**

以降の操作は「PCカードデータを消去する」（234P）と同様の流れとなりますので参照してください。

PCカード内のデータを一括消去する場合は、「PCカードをフォーマットする」（118P）を参照してください。

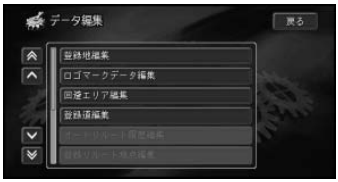
回避したいエリアを登録する

工事中や、いつも渋滞している場所など、通りたくない場所がある場合は、前もってその場所を登録しておくことができます。これにより、ルートを設定するときに登録した場所を避けるように探索させることができます。

登録は、5ヶ所までできます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** に**タッチする** →25P

2 **回避エリア編集** にタッチする



3 **新規登録** にタッチする

回避エリアを探す方法を指定する画面が表示されます。

4 **回避エリアの探しかたを選んでタッチする**

探しかたの手順は「場所を探す」（30P）と同様の流れとなりますので、参照して設定してください。

5 **回避エリアの地点および地名を確認してタッチする**

6 **場所とスケールを合わせて 決定 にタッチする**

地図の縮尺を変えることにより指定範囲が変化します。

確認画面が表示されます。

7 **はい** にタッチする

回避エリアが登録されます。

自動的に付けられた名前は変更することができます。「回避エリアを編集する」（99P）を参照してください。

- 回避エリアは地図画面で紫色で表示されます。回避エリアのON/OFFは、「機能の設定を変更する」（108P）を参照してください。
- 最大800m四方を回避エリアとして登録できます。
- ルート探索時に他に適切な道路の候補がない場合、回避エリアを通るルートが探索されることがあります。

回避エリアを編集する

登録された回避エリアの名称を変えたり、消去したりすることができます。

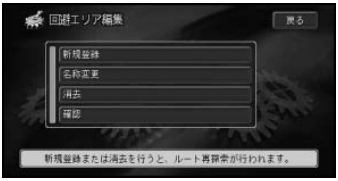
新規登録する場合は、「回避したい場所を登録する」（98P）を参照してください。

■回避エリアの名称を変更する

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **回避エリア編集** にタッチする

3 **名称変更** にタッチする



つづく

4 名称を変更したい回避エリアを選んでタッチする

5 新しい名称を入力する

文字の入力方法は、「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

入力できる文字数は全角で10文字（半角で20文字）までです。

6 **入力終了**にタッチする

変更した回避エリアの名称が保存され、地図画面に戻ります。

- **戻る**にタッチして、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されていない場合は**入力終了**は選べません。

■回避エリアを確認する

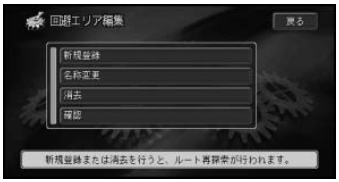
登録された回避エリアを確認することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集**にタッチする →25P

2 **回避エリア編集**にタッチする

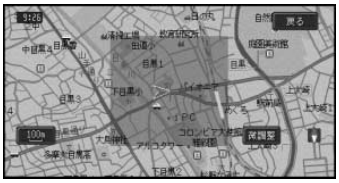
3 **確認**にタッチする

回避エリアのリストが表示されます。



4 確認したい回避エリアを選んでタッチする

5 設定されている回避エリアを確認する



6 確認を終えたら**戻る**にタッチする

回避エリアの選択画面に戻ります。

■回避エリアを消去する

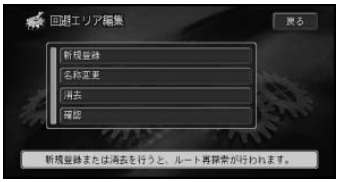
登録された回避エリアを消去することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集**にタッチする →25P

2 **回避エリア編集**にタッチする

3 **消去**にタッチする

回避エリアのリストが表示されます。



4 **消去したい回避エリアを選んでタッチする**

選んだ回避エリアには、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択を選ぶと、全てを選びます。

全解除を選ぶと全てを解除します。

5 **決定**にタッチする

確認画面が表示されます。

6 **はい**にタッチする

回避エリアが消去され、地図画面に戻ります。

機能設定の回避エリアがONで案内中のルートがある場合、案内中のルートが再探索されます。

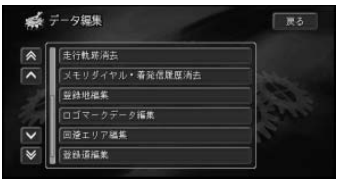
携帯電話情報を消去する

不要になったメモリダイヤルや発信履歴、着信履歴を消去することができます。

メモリダイヤルの保存方法は、「メモリダイヤルの読み込み」（193P）を参照してください。

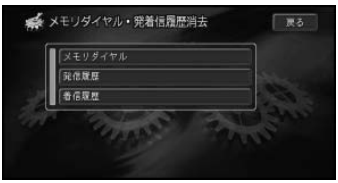
1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集**にタッチする →25P

2 **メモリダイヤル・発着信履歴消去**にタッチする



3 **消去したい電話番号のある電話情報を選んでタッチする**

リストが表示されます。

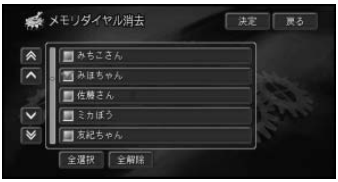


4 **消去したい電話番号を選んでタッチする**

選んだ電話番号には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択を選ぶと、全てを選びます。

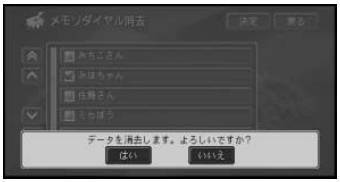
全解除を選ぶと全てを解除します。



つづく

5 **決定**にタッチする

確認画面が表示されます。



6 **はい**にタッチする

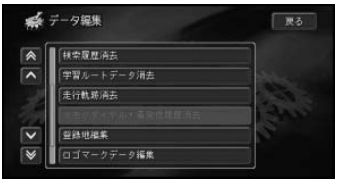
電話番号が消去され、地図画面に戻ります。

ルートの学習内容を消去する

本機は、ふだん使用している道を自動的に学習しています。新しい道や他に効率のよい道を見つけた場合など、この学習結果を一度リセットして学習し直すことができます。

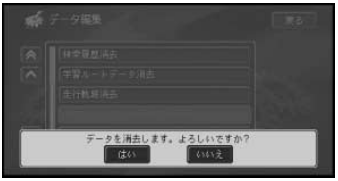
1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集**にタッチする →25P

2 **学習ルートデータ消去**にタッチする



▼

確認画面が表示されます。



3 **はい**にタッチする

学習ルートが消去され、地図画面に戻ります。

検索履歴を消去する

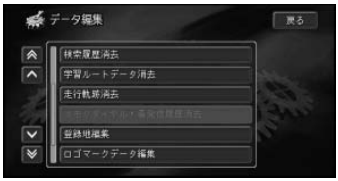
場所を探した場合など、自動的に登録される検索履歴を消去することができます。

検索履歴は300件まで自動的に登録されます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** に**タッチする** →25P

2 **検索履歴消去** **にタッチする**

検索履歴のリストが表示されます。



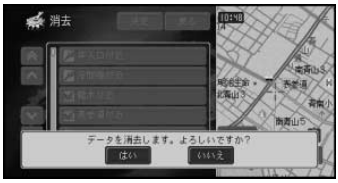
3 **消去したい検索履歴を選んでタッチする**

選んだ検索履歴には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択 を選ぶと、全てを選びます。

4 **決定** **にタッチする**

確認画面が表示されます。



5 **はい** **にタッチする**

検索履歴が消去され、地図画面に戻ります。

詳細情報からも消去することができます。

→「詳細情報を見る」（44P）

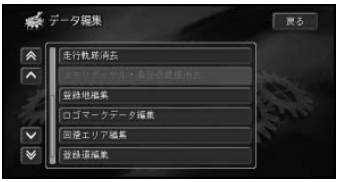
走行軌跡を消去する

走行軌跡を消去することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** に**タッチする** →25P

2 **走行軌跡消去** **にタッチする**

確認画面が表示されます。



3 **はい** **にタッチする**

走行軌跡が消去され、地図画面に戻ります。

オートリルート履歴を編集する

オートリルート履歴は、ルートアドバイザーで使用されます。自動的に300件まで保存されます。300件を超えた場合、使用されない期間が長い順に自動的に消去されます。不要なオートリルート履歴を手動で消去することができます。また、オートリルート履歴を登録することもできます。（登録リルート地点）（104P）

■オートリルート履歴を消去する

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **オートリルート履歴編集** にタッチする

3 **消去** にタッチする

4 消去したいオートリルート履歴を選んでタッチする

選んだオートリルート履歴には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択 を選ぶと、全てを選びます。

全解除 を選ぶと全てを解除します。

5 **決定** にタッチする

確認画面が表示されます。

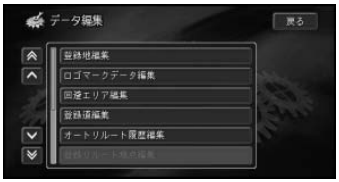
6 **はい** にタッチする

選んだオートリルート履歴が消去され、地図画面に戻ります。

■オートリルート履歴を登録リルート地点に登録する

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **オートリルート履歴編集** にタッチする



3 **登録** にタッチする

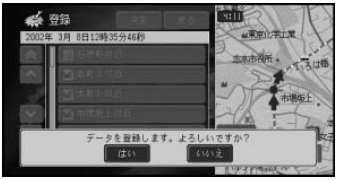
4 **登録したいオートリルート履歴を選んでタッチする**

選んだリスト項目には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
全選択 を選ぶと、全てを選びます。
全解除 を選ぶと全てを解除します。

選択できる件数は、登録したデータの件数を含めて200件までです。

5 **決定にタッチする**

確認画面が表示されます。



6 **はいにタッチする**

オートリルート履歴が登録され、地図画面に戻ります。

登録リルート地点を編集する

登録リルート地点はルートアドバイザーで使用します。登録したオートリルート履歴の名称を変えたり、消去したりすることもできます。

登録する場合は、「オートリルート履歴を登録リルート地点に登録する」（104P）を参照してください。

■登録リルート地点の名称を変更する

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** にタッチする →25P

2 **登録リルート地点編集にタッチする**

3 **名称変更にタッチする**

4 **名称を変更したいリルート地点を選んでタッチする**

5 **決定にタッチする**

名称入力画面が表示されます。

つづく

6 新しい名称を入力する

文字の入力方法は、「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

入力できる文字数は全角で20文字（半角で40文字）までです。

7 入力終了にタッチする

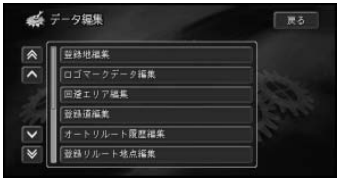
変更したリルート履歴の名称が保存され、地図画面に戻ります。

- 戻るにタッチして、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されていない場合は入力終了は選べません。

■登録リルート地点を消去する

1 メニュー ー 編集・設定 ー データ編集 にタッチする →25P

2 登録リルート地点編集にタッチする



3 消去にタッチする

4 登録を取り消ししたいリルート履歴を選んでタッチする

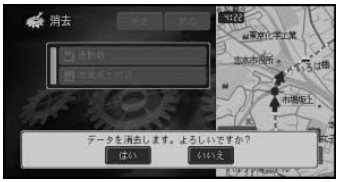
選んだリスト項目には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

全選択を選ぶと、全てを選びます。

全解除を選ぶと全てを解除します。

5 決定にタッチする

確認画面が表示されます。



6 はいにタッチする

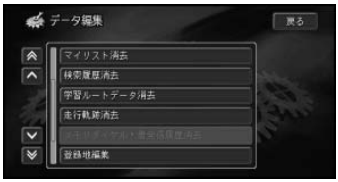
リルート履歴の登録が取り消され、地図画面に戻ります。

マイリストを消去する

ウェブブラウザ経由で取得したマイリストのデータを消去することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **データ編集** に**タッチする** →25P

2 **マイリスト消去** にタッチする

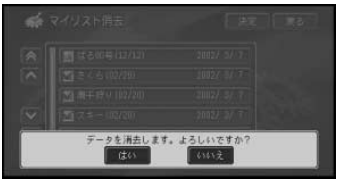


3 消去したいマイリストを選んでタッチする

選んだリスト項目には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
全選択 を選ぶと、全てを選びます。
全解除 を選ぶと全てを解除します。

4 **決定** にタッチする

確認画面が表示されます。



5 **はい** にタッチする

マイリストが消去され、地図画面に戻ります。

消去中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしないでください。

機能設定

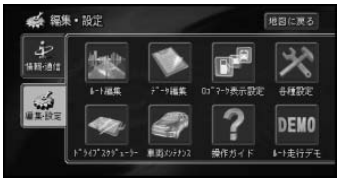
ナビゲーションの機能を、お好みの設定に変更することができます。
設定は4種類に関して行えます。

- **地図表示**
- **ルート・案内**
- **VICS・FM多重**
- **その他**

機能の設定を変更する

4種類の機能設定を変更することができます。
各々の設定は、同じ手順で行われます。

1 メニュー **ー 編集・設定 ー 各種設定 にタッチする** →25P

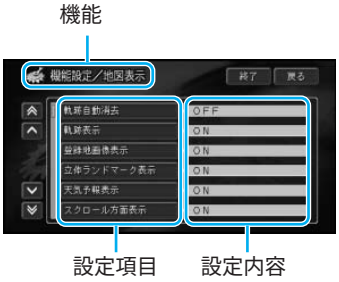


2 **機能設定 にタッチする**

3 **メニューから変更したい機能を選んでタッチする**

4種類の各機能の設定項目は、「設定内容の詳細」(109P)を参照してください。

4 **設定を変更したい項目を選んでタッチする**



、 にタッチすると各機能の先頭にページが送られます。

5 **設定内容を選んでタッチする**

設定内容が変更され、設定リスト画面に戻ります。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

6 **すべての変更を終えたら 現在地 を押す**

設定を終了して地図画面に戻ります。

設定内容の詳細

■色は購入直後の設定です。

■［地図表示］

地図色切替 地図の配色が切り替わるタイミングを設定します。	
［時刻連動］	日没/日出時刻連動で画面の配色が切り替わります。
［イルミ連動］	スモール灯のON/OFFで画面の配色が切り替わります。
［昼色固定］	常に昼画面のままです。
軌跡自動消去 走行軌跡を消去するタイミングを設定します。	
［ON］	自宅が登録されている場合かつ自宅から100m以内の地点で、本機の電源を切る（エンジンをOFF）と走行軌跡が自動的に消去されます。
［OFF］	走行軌跡の自動消去はしません。
軌跡表示 走行軌跡を地図上に表示するかどうかを設定します。	
［ON］	実際の走行に沿って、走行軌跡が表示されます。
［OFF］	走行軌跡は表示されません。
登録地画像表示 登録した場所に近づいた際、詳細情報としてあらかじめ設定しておいた画像を表示するかどうかを設定します。	
［ON］	登録した場所に近づいた際、設定しておいた画像が表示されます。
［OFF］	登録地画像表示はしません。
立体ランドマーク表示 スカイビューなどの3D地図表示時、目印になる建物を立体ランドマークで表示するかどうかを設定します。	
［ON］	立体ランドマークを3D地図上に表示します。
［OFF］	立体ランドマーク表示はされません。
天気予報表示 天気予報を地図上に表示したり、ルート設定時に目的地付近の天気予報を音声で案内したりするかどうかを設定します。	
［ON］	地図上に天気予報が表示されます。また、ルート設定時には目的地付近の天気予報が音声で案内されます。
［OFF］	地図上の天気予報表示、ルート設定時の天気予報音声案内はしません。

スクロール方面表示 地図をスクロールさせている間、画面の上下左右に方面を表示するかどうかを設定します。	
[ON]	スクロール中、方面案内が表示されます。
[OFF]	方面案内は表示されません。
2D固定スクロール スクロール時の画面をノーマルビュー固定にするかどうか設定します。	
[ON]	スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。
[OFF]	スクロール中、画面をノーマルビュー固定にしません。
現在地情報の表示 現在地表示の内容を設定します。	
[市区町村名]	現在地を市区町村名で表示します。（道路名がない場合は、市区町村名を表示します。）
[走行道路名]	現在走行中の道路名を表示します。
[緯度経度]	現在地を緯度経度で表示します。
[AV情報]	再生中のトラックタイトルなどが表示されます。
2D地図の回転 ノーマルビュー表示時の地図回転の方法を設定します。	
[ヘディングアップ]	進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。
[ノースアップ]	常に北が上になるように地図が表示されます。
ノースアップフロントワイド ノースアップ時に自車位置を画面中心部より下げて、進行方向の状況を広く見る「フロントワイド」表示にするかどうかを設定します。（ノースアップが選ばれているときのみ、選択できます。）	
[ON]	ノースアップフロントワイドが機能します。
[OFF]	ノースアップフロントワイドは機能しません。
シティマップ 詳細市街地図収録エリアを100mスケールより詳細な地図で表示した際、市街地図を表示するかどうかを設定します。	
[ON]	市街地図が表示されます。
[OFF]	通常の地図が表示されます。
スカイシティマップ 市街地図をスカイビューなどの3D地図で表示した際、建物を立体的に表示するかどうかを設定します。（シティマップがONのときのみ、選択できます。）	
[ON]	市街地図の建物が立体的に表示されます。
[OFF]	市街地図の建物が平面的に表示されます。

ドライバーズビューウィンドウマップ ドライバーズビューのとき、画面を分割して地図画面（ウィンドウマップ）を表示するかどうかを設定します。	
[ON]	画面の左側にウィンドウマップが表示されます。
[OFF]	ウィンドウマップは表示されません。
シティハイウェイウィンドウマップ ウィンドウマップを表示するかしないか、また表示する場合にどの情報を表示するかを設定します。	
[高速マップ]	高速の渋滞情報のみを表示します。
[通常マップ]	高速以外の渋滞情報も表示します。
[OFF]	ウィンドウマップを表示しません。
自動ハイウェイマップ 高速道路、都市高速道路に入った場合、自動的にハイウェイモード、シティハイウェイマップの地図を表示するかどうかを設定します。	
[シティハイウェイマップ/ハイウェイモード]	自動的に高速道路ではハイウェイモード、都市高速道路ではシティハイウェイマップにします。
[ハイウェイモード]	高速道路、都市高速道路で自動的にハイウェイモードにします。
[OFF]	ハイウェイモード、シティハイウェイマップにはしません。 現状の地図表示モードを維持します。
駐車場マップ 収録されている駐車場に入った場合、自動的に駐車場内の地図を表示するかどうかを設定します。	
[オート]	駐車場マップを自動的に表示します。
[マニュアル]	駐車場マップはスケールコントローラーで表示させます。

■［ルート・案内］

シティハイウェイオートアングルチェンジ シティハイウェイマップを表示しているとき、見やすいアングルに自動で変更するかどうか設定します。	
[ON]	自動でアングル変更します。
[OFF]	自動でアングル変更しません。
車線変更促し表示 推奨レーンと本機が判断した走行レーンが異なる場合に、車線変更を促す表示を行うかどうかを設定します。（簡易ハイブリッドモード時や、「ND-PG1」（別売）使用時、3Dハイブリッドセンサーの初期学習が未終了時は選択できません。） **学習状態** を **リセット** もしくは **センサメモリ** を未学習のものに切り替えるとOFFになります。（141P）	
[ON]	表示します。
[OFF]	表示しません。

オートフリーズーム 現在地と次の案内地点（または目的地）を常に画面内に表示しながら、自動的にズームアップするかどうかを設定します。	
[ON]	オートフリーズームが機能します。
[OFF]	オートフリーズームは機能しません。
方面案内表示 一般道で大きな交差点に近づいたとき、道路標識のイラストを画面に表示して、方面案内を行うかどうかを設定します。	
[ON]	交差点で方面案内を表示します。
[OFF]	方面案内は表示されません。
交差点案内表示 ルート案内時、交差点に近づいた際に表示される案内図の種類を設定します。	
[ドライバーズビュー]	交差点付近を立体的に表現した案内図で表示します。
[拡大図]	平面的な交差点拡大図を表示します。
ルートインフォメーション ルート設定時、ルートインフォメーション（##P）を表示するかどうかを設定します。	
[ON]	ルート設定時に、ルートインフォメーションが表示されます。
[OFF]	ルートインフォメーションは表示されません。
道のり・到着予想時刻表示 ルート設定時に表示される距離・到着予想時刻の対象となるポイントを設定します。	
[目的地]	目的地までの距離と到着予想時刻を表示します。
[立寄地]	次の立寄地までの距離と到着予想時刻を表示します。
到着予想時刻速度（一般道） 一般道走行時の、到着予想時刻を計算する際の基準となる速度を設定します。	
[20km/h]	平均速度20km/hとして到着予想時刻を計算します。
[30km/h]	平均速度30km/hとして到着予想時刻を計算します。
[40km/h]	平均速度40km/hとして到着予想時刻を計算します。
到着予想時刻速度（有料道） 有料道路走行時の、到着予想時刻を計算する際の基準となる速度を設定します。	
[60km/h]	平均速度60km/hとして到着予想時刻を計算します。
[80km/h]	平均速度80km/hとして到着予想時刻を計算します。
[100km/h]	平均速度100km/hとして到着予想時刻を計算します。
ルート探索時の条件 ルートを探索させる際の探索条件を設定します。	
[推奨/有料標準]	おすすめの基準でルートを探索します。
[距離優先/有料標準]	距離を優先してルートを探索します。
[推奨/有料回避]	おすすめの基準で有料道路を回避したルートを探索します。
[距離優先/有料回避]	距離を優先して有料道路を回避したルートを探索します。

フェリー航路使用条件 ルートの探索条件を設定します。探索されるルートの本数に関係なく、ここでの設定が有効になります。	
[標準]	フェリー航路を標準的な基準で採用します。
[優先]	フェリー航路を優先的に採用します。
[回避]	フェリー航路を回避したルートを探索します。
登録地のルート探索条件 登録した場所を目的地や立寄地にした際、詳細情報としてあらかじめ設定しておいた探索条件をもとに、ルート探索を行うかどうかを設定します。	
[使う]	登録した場所の詳細情報に設定された探索条件をもとに、ルート探索が行われます。
[使わない]	詳細情報に設定された探索条件は使いません。
回避エリア ルート探索時、回避エリアを避けたルートを探索、さらに回避エリアを地図画面に表示するかどうかを設定します。	
[ON]	回避エリアを避けるルートが探索、さらに回避エリアが表示されます。
[OFF]	回避エリアを避ける必要がないときに指定します。回避エリアは地図画面に表示されません。
学習ルート探索 ルート探索時、よく通る道をルートの一部として使うかどうかを設定します（49P）。	
[ON]	学習ルート探索が機能します。
[OFF]	学習ルート探索は機能しません。
渋滞考慮ルート探索 VICS情報や規制情報をもとに、渋滞を避けたルートを探索するかどうかを設定します（61P）。	
[ON]	渋滞を考慮したルートが探索されます。
[OFF]	渋滞情報を考慮する必要がないときに指定します。
ルートアドバイザー 新しい候補ルートがあるときに案内をするかしないか設定します。	
[ON]	新しい候補の案内をします。
[OFF]	新しい候補の案内をしません。
オートリルート ルートから外れた際、自動的にリルートを行うかどうかを設定します（59P）。	
[ON]	オートリルートが機能します。
[OFF]	オートリルートはしません。
渋滞考慮オートリルート VICS情報をもとに、自動的に渋滞を考慮したリルートを行うかどうかを設定します（61P）。	
[ON]	渋滞を考慮したオートリルートが機能します。
[OFF]	渋滞を考慮したオートリルートはしません。

■［VICS・FM多重］

渋滞オートガイド ルート案内時、ルート上の渋滞情報を自動で音声案内させるかどうかを設定します。	
［ON］	ルート上の渋滞情報を自動で音声案内します。
［OFF］	ルート上の渋滞情報を自動では音声案内しません。
渋滞情報表示 渋滞している道路の道塗りを行うかどうかを設定します。	
［高速道・一般道］	VICS情報をもとに、渋滞している高速・一般道を道塗り表示します。
［高速道のみ］	VICS情報をもとに、渋滞している高速道路のみを道塗り表示します。
［一般道のみ］	VICS情報をもとに、渋滞している一般道路のみを道塗り表示します。
［OFF］	渋滞の道塗り表示はされません。
渋滞情報表示の点滅 渋滞している道路の道塗りを点滅させるかどうかを設定します。「順調表示」が「ON」に設定されているときは、常に点滅します。（渋滞情報表示がOFFのときは選択できません。）	
［ON］	渋滞表示を常時点滅させて表示します。
［OFF］	渋滞表示を点滅させません。
順調表示 交通状況が順調なことを示す「順調表示」を行うかどうかを設定します。（渋滞情報表示がOFFのときは選択できません。）	
［ON］	VICS情報をもとに、交通が順調な道路を道塗り表示します。
［OFF］	VICS情報の順調表示はしません。
規制表示 交通規制に関するVICS情報マークと規制区間を表示するかどうかを設定します。	
［ON］	交通規制の情報をマークと規制区間を表示します。
［OFF］	規制のマークおよび規制区間表示はしません。
駐車場満車表示 駐車場の空き状況に関するVICS情報マークを表示するかどうかを設定します。	
［ON］	駐車場の満空情報をマークで表示します。
［OFF］	VICS情報の駐車場表示はしません。
区間旅行時間表示 区間旅行時間に関するVICS情報マークを表示するかどうかを設定します。	
［ON］	旅行時間をマークで表示します。
［OFF］	VICS情報の旅行時間表示はしません。
ビーコン即時表示 受信したビーコンの情報をすぐに表示するかどうかを設定します。この設定はVICS用ビーコン受信機を接続時のみ有効です。	
［文字・図形］	ビーコン情報を文字表示（レベル1）と図形表示（レベル2）のどちらかで案内します。都市高速や一般道路の走行時はこの設定が便利です。
［図形］	ビーコン情報を図形表示（レベル2）のみで案内します。都市間高速の走行時はこの設定が便利です。
［OFF］	ビーコン情報の案内はしません。

ビーコン即時表示時間 ビーコン情報受信時に、画面上に情報を表示させておく時間を設定します。（ビーコン即時表示がOFFのときは選択できません。）	
［5秒］	受信したビーコン情報を5秒間、画面上に表示します。
［10秒］	受信したビーコン情報を10秒間、画面上に表示します。
［15秒］	受信したビーコン情報を15秒間、画面上に表示します。
FM多重チューナーの設定 内蔵のFM多重チューナーの使いかたを設定します。	
［VICS］	VICS情報の受信のみに使います。
［D-GPS］	D-GPSの受信のみに使います。
［FM多重］	FM文字放送の受信のみに使います。
［VICS/D-GPSダブル］	VICSとD-GPSを時分割して同時に使います。VICSのみの設定時よりも交通情報の更新が遅くなることがあります。

■［その他］

AV画面割り込み表示 AV画面表示中に交差点案内表示やビーコン情報を割り込ませて表示するかどうか設定します。	
［交差点案内表示/ビーコン］	割り込み表示します。
［交差点案内表示］	交差点案内表示のみ割り込み表示します。
［OFF］	割り込み表示しません。
ボイスヘルプ 音声操作中、音声認識語の内容を説明する「ボイスヘルプ」を常に表示するかどうかを設定します。	
［オート］	音声操作中は、常にボイスヘルプが表示されます。（ただし走行中は表示されません。）
［マニュアル］	“ボイスヘルプ”と発話した時点で、ボイスヘルプが表示されます。
音声認識話者学習使用 初期話者学習だけではなく通常の音声操作中でも継続的に音声認識話者学習を行っていますが、音声認識を行う際、これまで学習したデータを使用するかどうかを設定します。	
［ON］	話者学習データを使用して認識を行います。又、継続的な音声認識話者学習を行います。
［OFF］	工場出荷時の話者データを使用して認識を行います。継続的な音声認識話者学習は行いません。
操作音切替 好みの操作音に切替えます。	
［操作音1］	操作音1に設定します。
［操作音2］	操作音2に設定します。

センサメモリ切替 センサーの学習結果が保存されるメモリを切り替えます。	
[メモリー1]	学習結果がメモリー1に保存されます。年間を通じて同じタイヤで走行する場合には設定を変える必要はありません。
[メモリー2]	学習結果がメモリー2に保存されます。冬期にスタッドレスタイヤへ交換した場合など、メモリー1とはサイズの異なるタイヤにしたときに選びます。
セーフティインフォメーション 危険箇所やライト点灯のタイミングなど、安全に関する情報を音声で案内するかどうかを設定します。	
[ON]	安全に関する情報を案内します。
[OFF]	安全に関する情報は案内されません。
有料道路料金区分 有料道路の料金計算に使用する車種を設定します。	
[中型車]	中型車の料金で計算します。
[普通車]	普通車の料金で計算します。
[軽自動車]	軽自動車の料金で計算します。
オービスポイント 道路上にあるオービスポイントを案内するかどうかを設定します。	
[全ポイント]	全ての道路で、オービスポイントを案内します。
[高速道のみ]	高速道路走行中のみ、オービスポイントを案内します。
[一般道のみ]	一般道走行中のみ、オービスポイントを案内します。
[OFF]	オービスポイントは案内されません。

オービスポイントを操作および案内させるには、別売のオービスROMが必要です。

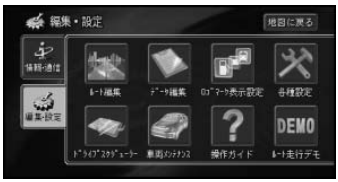
設定（機能設定以外）

ナビゲーションの機能や、さまざまな情報の表示のしかたを、お好みの設定に変更することができます。

施設のロゴマークを表示させる

さまざまな施設のロゴマークを地図上に表示させることができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ロゴマーク表示設定** **にタッチする** →25P



2 **ロゴマークを表示させたい施設を選んでタッチする**

すでに選ばれている施設はランプ（▮）が点灯します。

3 **ロゴマークの中から詳細に表示させたい施設を選んでタッチする**

選ばれた施設のランプが点灯し、引き続き選ぶことができます。

ランプは、選択した施設をタッチすることにより、点灯/消灯します。

- **全選択** を選ぶと、全ての施設が選ばれます。
- **全解除** にタッチすると、全ての選択を解除します。
- さらに他の施設を選びたい場合は、**戻る** にタッチして、施設選択画面に戻ります。手順2以降を繰り返してください。

4 **終了** **にタッチする**

選択した施設のロゴマークが表示された地図画面に戻ります。

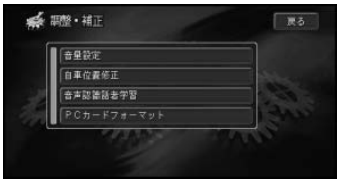
音量を調整する

ルートの音声案内や電話の音が小さくて聞こえにくい場合は、音量調整を行ってください。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **各種設定** にタッチする →25P

2 **調整・補正** にタッチする

3 **音量設定** にタッチする



案内音量	音声案内の音量を調整する
受話音量	携帯電話の受話音量を調整する
着信音量	携帯電話の着信音量を調整する

4 調整したい音の **＋**、**ー** にタッチする

音量は14段階（0～13）で調整できます。

5 **終了** にタッチする

地図画面に戻ります。

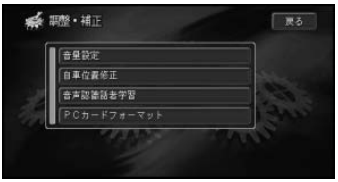
PCカードをフォーマットする

不要になったデータを消去して、PCカードをフォーマットすることができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **各種設定** にタッチする →25P

2 **調整・補正** にタッチする

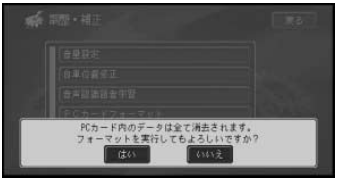
3 **PCカードフォーマット** にタッチする



4 フォーマットしてもよければ、**はい** にタッチする

PCカードがフォーマットされ、現在地画面に戻ります。

フォーマットをやめるときは、**いいえ** にタッチしてください。



PCカードをフォーマットすると、PCカードに保存されている全てのデータ（本機以外で保存したデータも含む）が消去されますのでご注意ください。

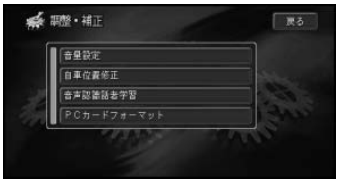
自車位置のずれを修正する

マップマッチングは「車は道路上を走るもの」という考え方を基本にしています。このため、地図上の道路データと実際の道路の形状が異なっている場合や、複数の道路が近接している場合などでは、実際に走っているのとは異なる道路に自車マークが表示されてしまうことがあります。
間違った位置に自車マークがある場合は、正しい位置に補正することができます。自車位置を正確に修正するために、自車位置修正は停車中に行ってください。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **各種設定** にタッチする →25P

2 **調整・補正** にタッチする

3 **自車位置修正** にタッチする



4 地図上にタッチしてカーソルを現在地に合せる

5 **決定** にタッチする
自車の向きを設定する画面が表示されます。

6 左右の回転矢印にタッチして自車の向きを調整する

7 **終了** にタッチする
自車の向きが修正され、地図画面が表示されます。

画面の背景をカスタマイズする

■画面の壁紙を変更する

画面の背景となる壁紙をお好みに合わせて変更することができます。PCカードを利用してjpeg形式の画像を壁紙として使うこともできます。

- ファイル名は、フォルダ名＋ファイル名＋.jpgが255byte以内（半角を1文字で1byte、全角を1文字で2byte）のファイルのみがナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。
- ハードディスクに収録されているものとPCカード内の画像ファイル数の合計が200個を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されない場合があります。その場合は、ハードディスクに収録されているものとPCカード内の画像ファイル数の合計が200個以内になるように、PCカード内の画像ファイル数を減らしてください。
- PCカード内には8階層（ルートディレクトリ含む）までのフォルダ（ディレクトリ）を認識できます。
- 操作中、画像が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- プログレッシブjpeg方式は使用できません。
- 保証するjpegファイルのサイズは、2048×1536ピクセル（300万画素）までです。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **各種設定** にタッチする →25P

2 **壁紙カスタマイズ設定** にタッチする

3 **壁紙の変更** にタッチする

4 壁紙を変更したい画面を選んでタッチする

5 壁紙とする画像を選んでタッチする

- PCカード内にある画像には「.JPG」の拡張子が表示されます。
- **現在の壁紙** にタッチすると元の壁紙に戻ります。

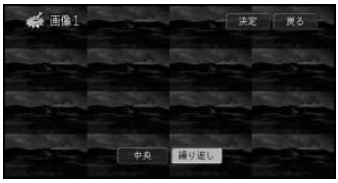
6 **決定**にタッチする

壁紙を中央配置にして、画像の配置パターン設定画面が表示されます。

7 **配置パターンを選んでタッチする**

中央配置

繰り返し配置



PCカード内にある画像には「.JPG」の拡張子が表示されます。

8 **決定**にタッチする

壁紙が決定され、手順4の画面に戻ります。引き続き各画面の壁紙を設定することができます。

- **終了**にタッチすると、地図画面に戻ります。
- 手順3で**カスタマイズの解除**にタッチすると、全ての壁紙の設定を解除することができます。

■変更した壁紙を全て元に戻す

変更した壁紙を全て元の壁紙に戻すことができます。

個々の壁紙を解除する場合は「画面の壁紙を変更する」の手順5で**カスタマイズの解除**を選んでください。

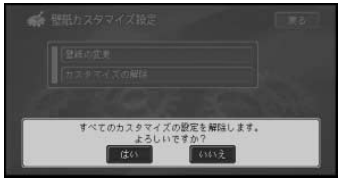
1 メニュー ー **編集・設定** ー **各種設定**にタッチする →25P

2 **壁紙カスタマイズ設定**にタッチする

3 **カスタマイズの解除**にタッチする

解除確認画面が表示されます。

4 **はい**にタッチする



▼

地図画面に戻ります。

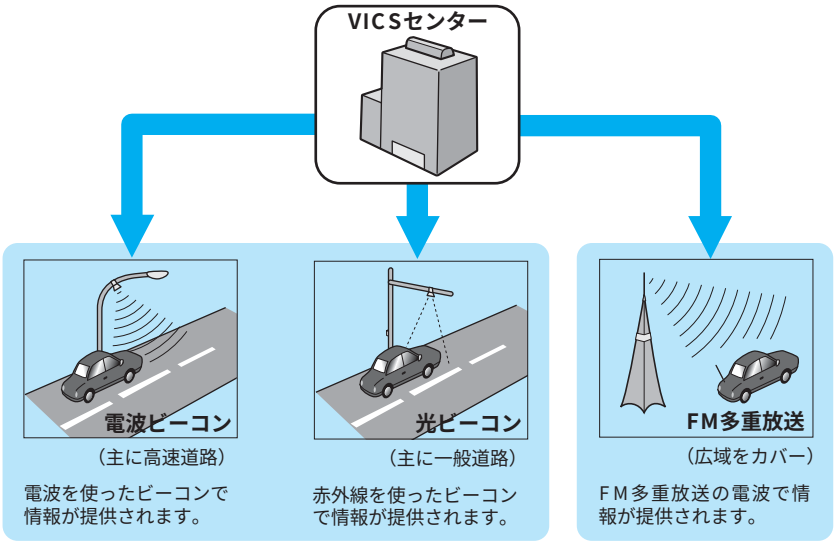
VICS情報の利用

VICSとは

VICS（Vehicle Information & Communication System：道路交通情報通信システム）とは1996年春、首都圏からサービスが開始された、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見ることもできます。

■VICS情報の提供方法

道路・交通に関するさまざまな情報は、一度VICSセンターに集められます。その後、次の3つの方法で、最新の道路交通情報（VICS情報）が提供されます。



ビーコンとは、道路脇に設置された、VICS情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報がここから送信されます。
本機に別売のVICS用ビーコン受信機を接続すると、ビーコンによるVICS情報を受信できます。

本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

VICS は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

■VICS情報の表示形態

VICS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

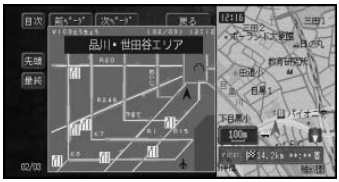
●渋滞情報（順調情報も含む）　●旅行時間情報　●交通障害情報
●交通規制情報　●駐車場情報

レベル3：地図

ナビゲーションの地図上に、直接、道路交通情報を表示します。

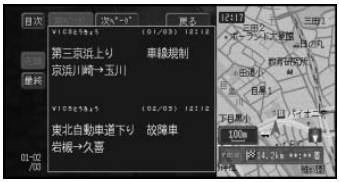
レベル2：簡易図形

簡単な地図イラストなどで、道路交通情報を表示します。



レベル1：文字

文字により、道路交通情報を表示します。



情報提供側の問題により文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

地図上でVICS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報を、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示します。

一般道路への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	オレンジ色に白い縁取り
順調	明るいブルーに白い縁取り

規制区間表示：黄色に黒い縁取り
通行止め：黒

高速道路への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	オレンジ色に青い縁取り
順調	明るいブルーに青い縁取り

規制区間表示：黄色に黒い縁取り
入り口閉鎖・通行止め：黒

VICS情報提供時刻表示

オレンジ	情報が受信できている状態
ブルー	情報が受けられなくなって5分以上経過した状態
ーー：ーー	VICS情報が受信できない状態（受信開始時、または情報が受けられなくなって30分以上経過した場合。この場合VICS情報はクリアされる。）

- 本機の電源をON（エンジンをON）にした後、受信したVICS情報を表示するまで時間がかかる場合があります。
- 希望するエリアの放送が受信できていないときは、「放送局を選ぶ」（129P）を参照して、希望するエリアの放送局に切り替えてください。
- VICS情報提供時刻表示は、地図に表示されるデータの中で最新のものを表示しています。

VICS情報マークの種類

VICS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。メニューの操作でVICS情報マークの詳細を見ることも可能です。

「VICS情報提供時刻表示」の内容

本機にVICS用ビーコン受信機が接続されている場合は、FM多重放送とビーコンのVICS情報の両方の提供時刻が同時に表示されます（ビーコンの提供時刻は、レベル3：地図情報を受信して少し経つと更新されます）。

ナビゲーションのみ（VICS用ビーコン受信機が接続されていない場合）で利用する場合は、FM多重放送によるVICS情報提供時刻が表示されます。（約5分ごとに更新されます。）

一度に受信・表示できる情報について

VICS情報を利用する場合は、「機能の設定を変更する」（80P）でFM多重チューナーの設定を［VICS］または［VICS/D-GPSダブル］に設定します。［D-GPS］または［FM多重］にしているときは、FM多重チューナーはD-GPSまたはFM文字多重放送の情報だけを受信し、VICS情報は受信しません。このため、本機にVICS用ビーコン受信機が接続されていない場合は、VICS情報を見ることはできません。

FM多重チューナーの設定を［VICS/D-GPSダブル］に設定すると、VICSとD-GPSの両方の情報を切り替えながら受信します。（VICS情報の更新間隔が長くなることがあります。）

VICS用ビーコン受信機を接続した場合は、ビーコンからのVICS情報とFM多重放送によるVICS情報を同時に表示します。ただし、同じ道の情報がビーコンとFM多重放送の両方から提供された場合、新しい情報を表示します。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

「放送局を選ぶ」（129P）を参照して、受信中の放送局の受信感度を確認してください。

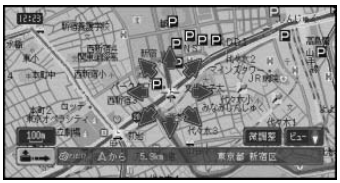
2つの放送エリアにまたがって走行しているときは

本機では、現在地周辺のVICS情報（道塗り情報）を残しておきながら、別のエリアのVICS情報（隣接する都道府県など）を表示できるので、県境など放送エリアをまたがって走行しても必要な情報を逃さず見ることができます。

■VICS情報マークの詳細を見る

画面上に表示されているVICS情報マークの詳細な情報を見ることができます。

1 地図をスクロールさせてVICS情報マークにカーソルを合わせる



2 **にタッチして、ショートカットメニューを表示する**

3 詳細情報 にタッチする

4 表示したい情報を選んで 決定 にタッチする

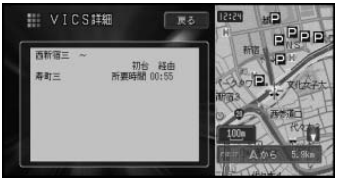
情報が複数ある場合は、リスト表示されます。

情報が1つしかない場合は、この画面は表示されません。

▼

VICS情報マークの詳細な情報が表示されます。

現在地 を押すと地図画面に戻ります。

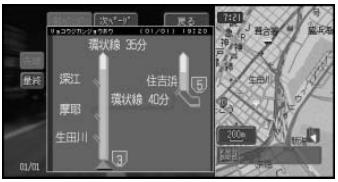


■ビーコン情報の自動表示

VICS用ビーコン受信機を接続している場合には、ビーコンから送られてくる図形または文字の情報を受信した場合、自動的にその内容を画面に表示させることができます（ビーコン文字図形表示）。

ビーコン即時表示時間で設定した時間が経過すると、自動的に消えます。

戻る にタッチしてすぐに消すこともできます。



交差点案内表示中は、ビーコン文字図形情報は表示されません。

ビーコン即時表示時間は、「機能の設定を変更する」（108P）で変更できます。

■緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容を画面に表示します。

内容を確認してください。

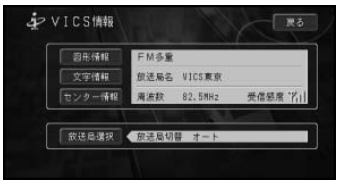
戻る にタッチするか、現在地 を押すと地図画面に戻ります。

図形情報を見る

レベル2（簡易図形）で表示されるVICS情報で、渋滞や規制情報などの概略を見ることができます。

1 メニュー ー **VICS情報** にタッチする → *24P*

2 **図形情報** にタッチする



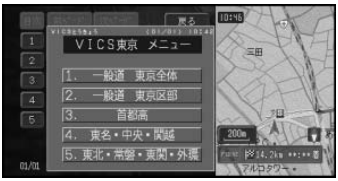
3 **FM情報** または **ビーコン情報** にタッチする

FM情報	広域情報
ビーコン情報	限定情報

- VICS用ビーコン受信機が接続されている場合に表示します。VICS用ビーコン受信機が接続されていない場合は手順4に進みます。
- ビーコン情報が無い場合は、ビーコン情報は薄く表示されます。

4 **見たい情報の番号にタッチする**

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。

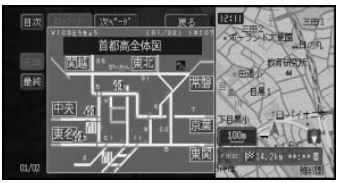


メニューが多い場合は、選択番号に **次へ** が表示されます。 **次へ** にタッチすると、次の情報番号が選択項目内に表示されます。また、**次ページ** 、**前ページ** が表示された場合は、タッチすることでメニューページを送ることができます。

▼

簡易図形で渋滞や規制情報などを表示します。

- 情報画面が複数ページある場合は、**前ページ** や **次ページ** にタッチすると、情報を切り替えて表示することができます。また、**先頭** にタッチすると先頭ページを、**最終** にタッチすると最終ページを表示させることができます。
- すべての情報が取得されていない場合は、現在取得している情報の先頭ページ、最終ページとなります。
- **目次** にタッチすると、VICSメニューに戻ります。

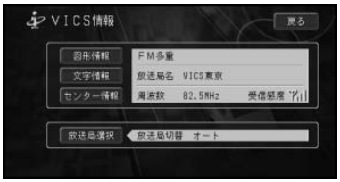


文字情報を見る

レベル1（文字）で表示されるVICS情報で、渋滞や規制情報などの概略を見ることができます。

1 メニュー ー **VICS情報** にタッチする → *24P*

2 **文字情報** にタッチする



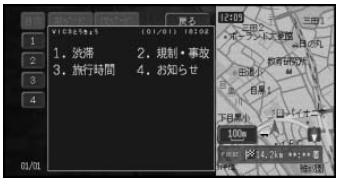
3 **FM情報** または **ビーコン情報** にタッチする

FM情報	広域情報
ビーコン情報	限定情報

- VICS用ビーコン受信機が接続されている場合に表示します。VICS用ビーコン受信機が接続されていない場合は手順4に進みます。
- ビーコン情報を選んだ場合は、すぐに情報画面が表示されます。

4 見たい情報の番号にタッチする

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。

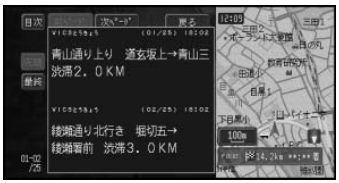


メニューが多い場合は、選択番号に **次へ** が表示されます。 **次へ** にタッチすると、次の情報番号が選択項目内に表示されます。また、**次ページ**、**前ページ** が表示された場合は、タッチすることでメニューページを送ることができます。

▼

文字情報で渋滞や規制情報などを表示します。

- 情報画面が複数ページある場合は、**前ページ** や **次ページ** にタッチすると、情報を切り替えて表示することができます。また、**先頭** にタッチすると先頭ページを、**最終** にタッチすると最終ページを表示させることができます。
- すべての情報が取得されていない場合は、現在取得している情報の先頭ページ、最終ページとなります。
- **目次** にタッチすると、VICSメニューに戻ります。

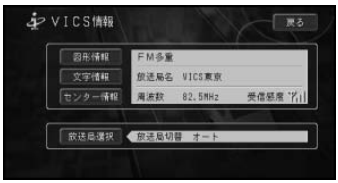


センター情報を見る

情報提供時刻の変更やサービス内容のお知らせなど、VICSセンターからの情報を見ることができます。

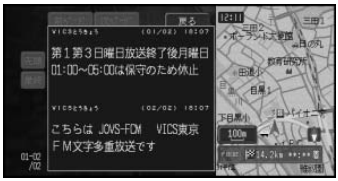
1 メニュー ー **VICS情報** にタッチする → *24P*

2 **センター情報** にタッチする



▼

VICSセンターからの情報を表示します。情報画面が複数ページある場合は、**前ページ** や **次ページ** にタッチすると、情報を切り替えて表示することができます。また、**先頭** にタッチすると先頭ページを、**最終** にタッチすると最終ページを表示させることができます。



放送局を選ぶ

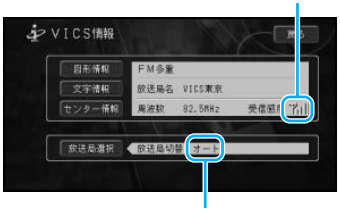
FM多重放送でVICS情報を表示させる場合、自車位置で最も受信感度のいい放送局を選ぶことができます。

■放送局の受信感度を確認する

1 メニュー ー **VICS情報** にタッチする → *24P*

現在受信中の放送局と受信感度を表示します。受信感度は、バーが多いほど受信感度が良好となります。バーが2本以下の場合、受信に時間がかかったり受信できないことがあります。

受信感度表示

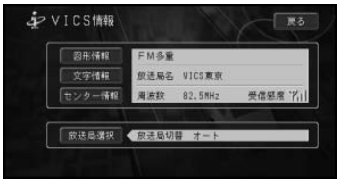


選局方法
（オート/リスト/シーク/マニュアル）

■自動的に放送局を選ぶ

1 メニュー ー **VICS情報** にタッチする → 24P

2 **放送局選択** にタッチする



3 **オート** にタッチする

自車位置により放送局を自動的に選びます。放送局が変更された後は、VICS情報メニュー画面に戻ります。

■リストから選ぶ

1 メニュー ー **VICS情報** にタッチする → 24P

2 **放送局選択** にタッチする

3 **リスト** にタッチする

4 **放送局を選んでタッチする**

放送局が変更され、VICS情報メニュー画面に戻ります。

受信可能な放送局が6局以上ある場合は、▲や▼が表示されます。▲にタッチすると上へ、▼にタッチすると下へ、放送局名を送ることができます。

■シークで選ぶ

1 メニュー ー **VICS情報** にタッチする → 24P

2 **放送局選択** にタッチする

3 **シーク** にタッチする

4 **＋** または **－** にタッチする

＋ にタッチすると上へ、**－** にタッチすると下へ、周波数の自動チューニングが始まり、受信可能な放送局を受信したところで止まります。

5 **希望の周波数になったら 決定 にタッチする**

放送局が変更され、VICS情報メニュー画面に戻ります。

■マニュアルで選ぶ

1 メニュー ー **VICS情報** にタッチする → 24P

2 **放送局選択** にタッチする

3 **マニュアル** にタッチする

4 **＋** または **－** にタッチする

＋ にタッチすると上へ、**－** にタッチすると下へ、周波数が変化します。

5 **希望の周波数になったら 決定 にタッチする**

放送局が変更され、VICS情報メニュー画面に戻ります。

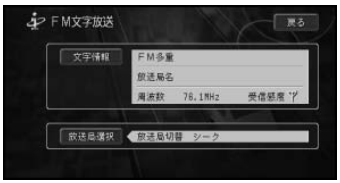
FM文字放送を見る

FM放送局の文字放送（見えるラジオなど）を受信して、交通情報やニュースなど、さまざまな情報を見ることができます。

■放送局を選ぶ

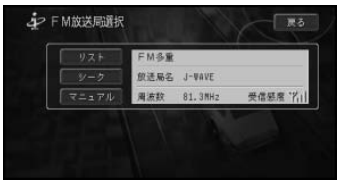
1 メニュー ー **FM文字放送** にタッチする → 24P

2 **放送局選択** にタッチする



3 **放送局の選択方法を選んでタッチする**

VICS放送局を選択する場合と同様の方法で選局します。



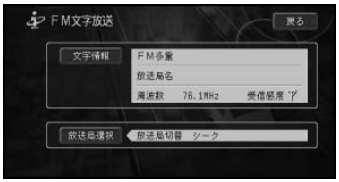
リスト （130P）
シーク （131P）
マニュアル （131P）

- VICSの放送局とは別に記憶されます。
- リストは、自車位置に近い放送局だけが表示されます。放送局によっては、十分な受信感度が得られない場合があります。

■番組を見る

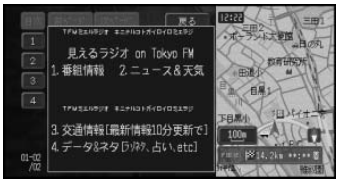
1 メニュー ー **FM文字放送** にタッチする → 24P

2 **文字情報** にタッチする



3 **見たい情報を選んでタッチする**

目次に表示されている情報番号と同じ番号を選びます。

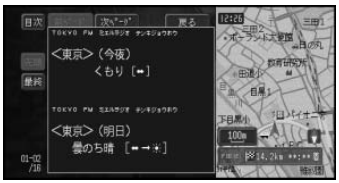


複数ページある場合は、**前ページ** や **次ページ** にタッチすると、情報を切り替えて表示することができます。

▼

文字放送を表示します。

- 情報が複数ページある場合は、**前ページ** や **次ページ** にタッチすると、情報を切り替えて表示することができます。また、**先頭** にタッチすると先頭ページを、**最終** にタッチすると最終ページを表示させることができます。
- すべての情報が取得されていない場合は、現在取得している情報の先頭ページ、最終ページとなります。
- **目次** にタッチすると、目次に戻ります。



- VICS情報表示中にFM文字多重放送を受信すると、放送内容が表示されるまでに時間がかかることがあります。また、FM文字多重放送を表示後に再びVICS情報を表示する際も同様に時間がかかることがあります。
- FM文字多重放送を表示中はVICS情報は更新されません。D-GPS情報を利用した測位も中断します。
- FM文字多重放送を受信するために周波数を変更した場合、FM文字多重放送を終了すると、自動的にVICSまたはD-GPSの周波数に戻ります。（ただし、［機能設定］の［FM多重チューナーの設定］を［FM多重］にしている場合は、そのままの周波数になります。）

■番組内容を地図画面に表示させる

FM文字多重放送のオンエア連動情報を画面に表示することができます。

走行画面で操作を押して“FMオンエア連動表示をオンオフする”と発話すると表示をオン/オフすることができます。

FMラジオを受信中は、受信中の放送局のオンエア情報が表示されます。FMラジオを受信していないときは、FM文字放送の放送局選択（P132）で受信した放送局のオンエア情報が表示されます。

気象情報を見る

インターネット上の専用サーバーから地域の気象情報を取得して、気象状況を地図上に表示させることができます（ウェザーライブ）。

気象情報を見るためには、本機に携帯電話が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。（146P）

■情報画面の種類

情報画面には、予報（天気予報、杉花粉情報などの季節情報）、アメダス情報（降水量、風向きなど）、警報・注意報（各種警報・注意報など）があります。

予報

予報には、天気予報として天気予報と週間天気予報、季節情報として紫外線予報と杉花粉予報があります。

天気予報

天気予報のデータの取得が終わると、現在地画面では自車位置、スクロール画面では十字カーソル位置の天気が、マークで表示されます（3時間毎の天気予報から現在の時刻にいちばん近いものが表示されます）。また、スカイビュー表示時には空の色が天気予報に応じて変化します。

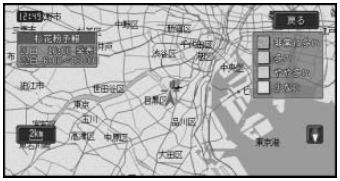
さらに、天気予報の詳細画面では、約2日分の予報まで細かく見ることができます。

週間天気予報

次の日から7日間の天気予報を表示することができます。翌日の気温は無効値になります。

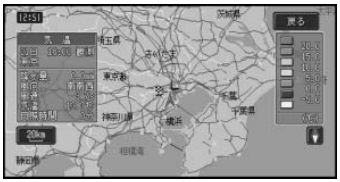
季節情報（紫外線予報、杉花粉予報）

それぞれの季節情報画面、各地域の紫外線や花粉予報を表示することができます。



アメダス情報

アメダス情報画面では十字カーソル位置に最も近いアメダス観測地点の情報が、文字と色分けされた四角形で地図上に表示されます。



アメダス情報を現在地画面に表示することはできません。アメダス情報を見たい場合は、メニューから操作してください（138P）。

警報・注意報

警報や注意報の発表時刻、該当地域、内容が表示されます。

予報を取得してあるときにルートを設定すると

予報を取得してあるときにルートを設定すると、ルートを設定した直後に、“目的地付近の到着時刻頃の天気は晴れ、降水確率40%、気温25度の見込みです。”といった、目的地付近の到着予想時刻前後の天気が音声で案内されます。

- 専用サーバーには約2日間の3時間毎の正時（降水確率、快適度、ワイパーの切り換えは6時間毎）の天気予報データと、毎正時ごとに観測され配信されるアメダスデータ、そして警報・注意報データ、約1日間の（紫外線、杉花粉）の季節情報データが準備されています。天気予報データと季節情報データは毎日4:00と16:00、週間天気予報データは毎日11:00と17:00に発表される（株）ウェザーラインの天気予報と季節情報に基づいています（ただし、専用サーバー上のデータが更新されない場合もあります）。
- データが取得できていない場合は、気象情報は表示されません。
- 天気予報データ、週間天気予報データ、アメダス情報データ、警報・注意報データは、発表時刻から24時間経過すると本機から削除され、季節情報データは有効日時を過ぎると削除されます。再度、専用サーバーからデータを取得してください。
- 専用サーバーによる天気予報、週間天気予報、季節情報サービスは、予告なく中断、停止される場合があります。
- ウェザーライブ等の通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なく、その提供を中止することがあります。
- （株）ウェザーラインが天気予報を発表する時刻は、予告なく変更される場合があります。

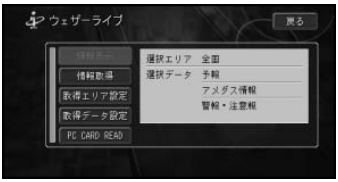
- 天気予報の表示は、「機能の設定を変更する」（108P）の「天気予報表示」でON/OFFできます。
- 天気予報データ、週間天気予報データ、季節情報データについて詳しくは、「予報に関する注意事項」（258P）を参照してください。
- アメダス情報について詳しくは、「アメダス情報について」（259P）を参照してください。

■気象情報を取得する

1 メニュー ー **ウェザーライブ** にタッチする →24P

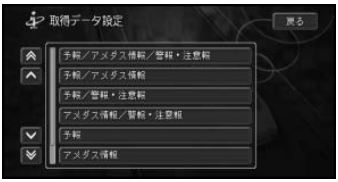
2 **取得データ設定** にタッチする

画面上には、現在選ばれているデータの種類が表示されています。



3 取得したいデータの種類を選んでタッチする

前の画面に戻ります。

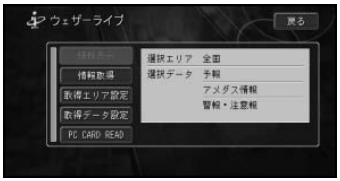


予報は、天気予報、週間天気予報と季節情報を取得します。

つづく

4 **取得エリア設定** にタッチする

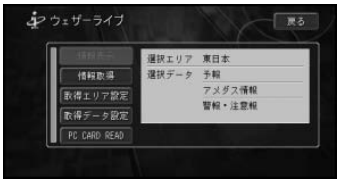
画面上には、現在選ばれている地域の名称が表示されています。



5 取得したい地域を選んでタッチする

前の画面に戻ります。

6 **情報取得** にタッチする



▼

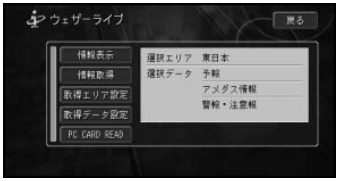
気象情報の取得が始まります。気象情報の取得が終了すると、前の画面に戻ります。

- サーバー側で緊急メッセージがある場合は、メッセージを表示して気象情報の取得処理を中止します。
- サーバー側でメンテナンスなどの事前予告情報がある場合は、メッセージを表示して気象情報の取得処理を継続します。
- プロバイダが未設定の場合は、メッセージが表示され、確認をタッチするとプロバイダ設定（149P）に移ります。

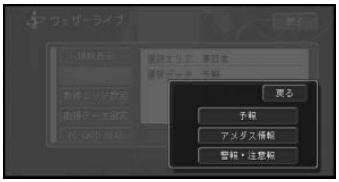
■天気予報を見る

1 メニュー ー **ウェザーライブ** にタッチする →24P

2 **情報表示** にタッチする



3 **予報** にタッチする



4 **天気予報** にタッチする

天気予報画面が表示されます。

5 **天気予報を見たい場所まで地図をスクロールする**

移動させた地域の予報が表示されます。

- 天気予報データがない地域は、地図がピンク色で塗られます。
- 予報時刻のマークをタッチすると、天気を確認することができます。
- 快適度は、「暑い/やや暑い/快適/やや寒い/寒い」、不明の場合は「＊＊＊＊」の6段階で表示されます。
- ワイパーは、「間欠、連続、高速、不要」、不明の場合は「＊＊＊＊」の5段階で表示されます。
- 地図を1kmスケール以下で表示していた場合、縮尺が自動的に2kmスケールに変わります。1kmスケール以下では表示できません。

■週間天気予報を見る

1 メニュー ー **ウェザーライブ** にタッチする →24P

2 **情報表示** にタッチする

3 **予報** にタッチする

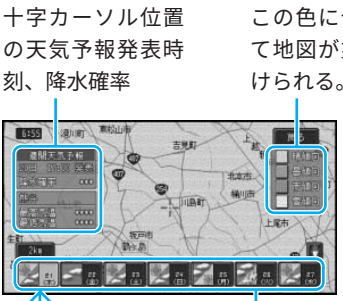
4 **週間天気予報にタッチする**

情報画面が表示されます。

5 **天気予報を見たい場所まで地図をスクロールさせる**

移動させた地域の予報が表示されます。

6 **予報日にタッチする**



- 週間天気予報データがない地域は、地図がピンク色で塗られます。
- 地図を1kmスケール以下で表示していた場合、縮尺が自動的に2kmスケールに変わります。
- 地図上には代表地点が□（四角）で表示されます。十字カーソルが□付近（20km以内）にある場合のみ、最高気温、最低気温が表示されます。
- 翌日の降水確率、予想気温は表示されません。

■季節情報を見る

1 メニュー ー **ウェザーライブ** にタッチする →24P

2 **情報表示** にタッチする

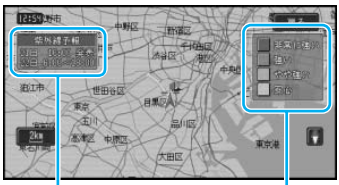
3 **予報** にタッチする

4 **見たい情報（ 紫外線予報 など）を選んでタッチする**

情報画面が表示されます。

5 **季節情報を見たい場所まで地図をスクロールさせる**

カーソル位置付近の季節情報が表示されます。



予報時刻

この色に合わせて地図が塗り分けられる。

地図を1kmスケール以下で表示していた場合、縮尺が自動的に2kmスケールに変わります。1kmスケール以下では表示できません。

杉花粉情報の表示画面で青色で塗られたエリアは予報提供エリア外となります。なお、杉花粉は沖縄地方や北海道地方ではほとんど観測されないため、現在予報提供エリア外となっています。

■アメダス情報を見る

1 メニュー ー **ウェザーライブ** にタッチする →24P

2 **情報表示** にタッチする

3 **アメダス情報** にタッチする

4 **見たい情報を選んでタッチする**

降水量、積雪量、風向・風速、気温、日照時間のいずれかを選ぶことができます。選んだ情報が、地図上に色分けで表示されます。

5 **アメダス情報を見たい場所まで地図をスクロールさせる**

カーソル位置付近にあるアメダス観測地点の情報が文字で表示されます。

カーソル位置付近にあるアメダス観測地点のすべての情報が、文字で表示される。

この色に合わせて地図が塗り分けられる。

- アメダスの文字情報では、降水量、風向・風速、気温、日照時間のいずれかを選ぶと、これらすべての情報が表示されます。積雪量を選んだ場合は、積雪量の情報だけが表示されます。
- 毎正時に観測された過去1時間以内のデータが配信されます。
- 降水量は0.5mm単位、気温は0.1℃単位、風向は16方位、風速は1m単位、日照時間は1分単位、積雪量は1cm単位で表示されます。
- 地図を10kmスケール以下で表示していた場合、縮尺が自動的に20kmスケールに変わります。（10kmスケール以下では表示できません。）
- アメダス情報（風向、風速を除く）は、地図が3Dで表示されている場合は、立体表示します。

■警報・注意報を見る

1 メニュー ー **ウェザーライブ** にタッチする →24P

2 **情報表示** にタッチする

3 **警報・注意報** にタッチする

警報・注意報画面が表示されます。

▼

- 強風、濃霧、雷、大雪、着雪、洪水、低温などの注意報および警報情報を見ることができます。
- 地震に関する情報ならびに津波に関する情報のデータは、取得することができません。

TV番組表を見る

インターネットへ接続し、現在地にあわせた最新のTV番組表をダウンロードして表示させることができます。

リンク先は、「インターネットTVガイド(運営：東京ニュース通信社)」の各都道府県のトップページです。

リンク先のTV番組表は、東京ニュース通信社が運営するインターネットサイト「インターネットTVガイド」であり、本機専用のサイトではありません。

TV番組表を見るためには、本機に携帯電話が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。

1 メニュー ー **TV番組表** にタッチする → *24P*

2 **はい** にタッチする

TV番組表が表示されます。

操作方法は、「画面を操作する」（158P）を参照してください。

インターネットTVガイドは予告なく中断、停止、仕様変更される場合があります。

ドライブガイドを見る

ドライブの役にたつさまざまな情報があるドライブガイドを表示させることができます。手順は、「ドライブガイドで探す」（43P）を参照して操作してください。

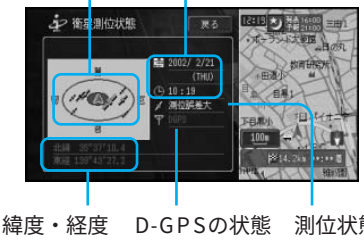
ハードウェア情報を見る

走行中の状態や各機器や信号の接続状態など、ハードウェアに関する情報を表示させることができます。

■情報画面の種類

衛星測位状態

表示のしかたは、「衛星測位状態を見る」（144P）を参照してください。



衛星位置表示：

自車位置（赤い三角形のマーク）を中心に、現在電波を受信できているGPS衛星の位置を表示します。円の中心付近から見ていろいろな方向の衛星の電波を受信できているときほど、正確な測位が可能です。測位に使っている衛星は橙色、受信中の衛星は黄色、電波を受信できない衛星は黒で、それぞれ表示されます。

緯度・経度：

現在地の緯度と経度を表示します。測位できないときは、最後に測位したときの緯度と経度が表示されます。

測位状態：

現在の測位状態を表示します。［3次元測位中］［2次元測位中］［未測位］などと表示されます。

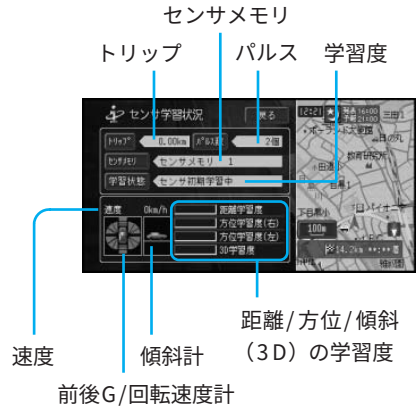
D-GPSの状態：

FM多重チューナーでD-GPS情報を受信していると、アンテナのマークが橙色で表示されます。（D-GPS情報が受信できない場合、黒色で表示されます。）また、D-GPS情報を利用して測位しているときには［D-GPS］と黒色で表示されます。（D-GPS情報を利用していない場合、青で表示されます。）

GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

センサ学習状況

表示のしかたは、「センサ学習状況を見る」（144P）を参照してください。



傾斜計：

現在本機が認識している上り坂、下り坂を7段階（上3段、下3段）で表示します。

学習状態：

現在の走行モード（3Dハイブリッドモード、簡易ハイブリッドモード）または［初期学習中］と表示します。

学習状態を選んでタッチすると、学習状態をリセットしてよいかの確認画面が表示されます。**はい**にタッチすると、現在使用中のメモリーの学習をクリアすることができます。

前後G/回転速度計：

現在本機が認識している前後Gの強さをバーで、左右の回転速度を扇で表示します。前後Gの強さ、左右の回転速度をそれぞれ7段階（前後各3段、左右各3段）で表示します。

速度/トリップ/パルス数：

現在本機が認識している速度、トリップ、パルス数の積算を表示します。

トリップまたは**パルス数**を選んでタッチすると、それぞれをリセットしてよいかの確認画面が表示されます。**はい**にタッチすると、積算された数字がクリアすることができます。

センサメモリ：

現在学習結果を保存しているセンサーメモリーです。**センサメモリ**にタッチすると、メモリー1とメモリー2を選ぶことができます。

距離/方位/傾斜（3D）の学習度：

距離・方位（左右方向の回転）・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかを示しています。バーが端までいっぱいになると、学習の度合が最高になります。

- **走行状態の確認は必ず同乗者が行い、運転者は運転に専念してください。**
- **速度表示をスピードメーターの代わりにしないでください。車のスピードメーターと、食い違っていることがあります。**

- 電源コードの車速信号入力（ピンクリード線）が接続されていない場合、簡易ハイブリッドモードとなり、パルス数は算出しません。
- 学習度およびトリップ、パルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態によっては、積算しない場合があります。
- センサー未学習状態では、パルス数以外の表示は意味を持ちません。
- 本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしても、トリップとパルス数は積算される場合があります。

- 傾斜（3D）学習度が表示されていないときは、車速パルスが正しく取れていません。電源コードの車速信号入力（ピンクリード線）が正しく接続されていないことが考えられます。車速信号入力の接続を確認してください。
- 機能設定の「車線変更促し表示」（111P）をONにしていた場合、**学習状態**を**リセット**もしくは**センサメモリ**を未学習のものに切り替えるとOFFになります。

接続状態

表示のしかたは、「接続状態を確認する」（144P）を参照してください。

車速パルス：

現在本機が認識している車速パルスの数を示しています。停車中の場合は［0］が表示されます。車を走行させると、速度に応じて“ピッ”という発信音がして、数字とともに変化します。車速パルスの確認は、安全な場所で、低速（時速5km程度）で行ってください。

GPSアンテナ：

GPSアンテナの接続状態を示しています。正しく接続されているときは［OK］と表示されます。［NG］と表示された場合は、GPSアンテナの接続状態を確認してください。

その右側に表示されているアンテナのイラストはGPS衛星の電波をどの程度強く受信できているかを示しています。バーが多いほど受信感度が良好です。バーの数が少ない場合は、GPSアンテナの設置場所を電波の受信しやすい車のルーフやトランクリッドなどに変えてみてください。

取付け位置：

本機の設置状態を示しています。正しく設置されているときは［OK］と表示されます。［NG］と表示された場合は、『取付説明書』を参照して設置状態を確認してください。

パーキングブレーキ：

パーキングブレーキの状態を示しています。パーキングブレーキがかかっているときは［ON］、解除されているときは［OFF］と表示されます。ブレーキペダルを踏んでパーキングブレーキを操作してみて正しく表示していることを確認してください。

電源電圧：

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンをかけた状態で11～15Vの範囲にないときは、電源コードの接続状態を確認してください。なお、最大で±0.5V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

イルミネーション：

イルミ電源の状態を示しています。車のライトが点灯しているときは［ON］、消灯しているときは［OFF］と表示されます。ライトの点灯/消灯を正しく表示していることを確認してください。

ビーコンユニット：

別売のVICS用ビーコン受信機の接続状態を示しています。正しく接続されているときは［OK］と表示されます。［NG］と表示された場合は、VICS用ビーコン受信機の接続状態を確認してください。

ヘルプネットユニット：

ヘルプネットキット「ND-HELP1」の接続状態を示しています。正しく接続されているときは［OK］と表示されます。［NG］と表示された場合は、ヘルプネットキットの接続状態を確認してください。

バック信号：

バック信号入力の接続状態を示しています。シフトレバーを「R」（リバース）の位置にすると［**High**］と［**Low**］の表示が入れ替わります。ブレーキペダルを踏んでシフトレバーを操作してみて、正しく表示していることを確認してください。

ETC：

ETCユニットの接続状態を示しています。正しく接続されているときは［OK］と表示されます。［NG］と表示された場合は、ETCユニットの接続状態を確認してください。

ハードディスク容量

表示のしかたは、「ハードディスク容量を確認する」（144P）を参照してください。

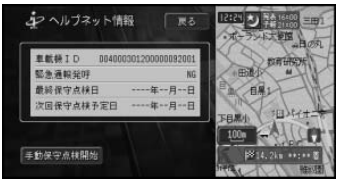
容量表示：

現在の空き容量を「%」で表示します。

- 空き容量には、プレイリスト、登録地、登録道など、本機に登録されているものが保存されています。
- システム上、10%程度の空きがあっても保存できない場合があります。

ヘルプネット情報

表示のしかたは、「ヘルプネット情報を見る」（145P）を参照してください。



車載機ID：

ヘルプネットキットのＩＤ番号を表示します。

緊急通報発呼：

ヘルプネットを利用可能かどうかを表示します。利用可能時は［OK］と表示されます。［NG］と表示された場合は、手動保守点検を行ってください。

最終保守点検日：

自動保守点検を行った日付が表示されます。

次回保守点検予定日：

次回に自動的に行われる自動保守点検の日付が表示されます。

手動保守点検開始にタッチすると、手動保守点検を始めることができます。

手動保守点検の操作方法は、ヘルプネットキットの取扱説明書を参照してください。

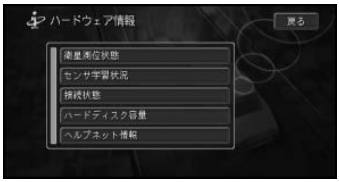
■衛星測位状態を見る

GPS衛星の受信状態を表示して、測位状態を確認することができます。

1 メニュー ー **ハードウェア情報** にタッチする →24P

2 **衛星測位状態** にタッチする

情報画面が表示されます。



情報画面の詳細は、「情報画面の種類」（140P）を参照してください。

■センサ学習状況を見る

センサーの学習状況を画面上で確認できます。

1 メニュー ー **ハードウェア情報** にタッチする →24P

2 **センサ学習状況** にタッチする

情報画面が表示されます。

情報画面の詳細は、「情報画面の種類」（140P）を参照してください。

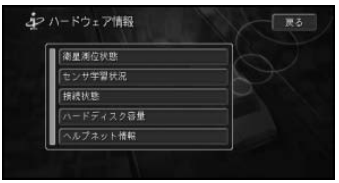
■接続状態を確認する

本機に接続されている各機器や配線が、正しく接続されているかを確認することができます。

1 メニュー ー **ハードウェア情報** にタッチする →24P

2 **接続状態** にタッチする

情報画面が表示されます。



情報画面の詳細は、「情報画面の種類」（140P）を参照してください。

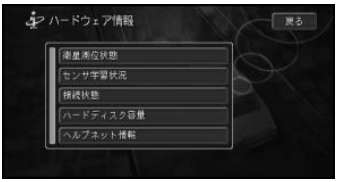
■ハードディスク容量を確認する

ハードディスクの使用状況を確認できます。

1 メニュー ー **ハードウェア情報** にタッチする →24P

2 **ハードディスク容量** にタッチする

情報画面が表示されます。



情報画面の詳細は、「情報画面の種類」（140P）を参照してください。

■ヘルプネット情報を見る

ヘルプネットを利用するための情報を画面上で確認できます。

1 メニュー **ー ハードウェア情報 にタッチする** →24P

2 **ヘルプネット情報 にタッチする**

情報画面が表示されます。

情報画面の詳細は、「情報画面の種類」（140P）を参照してください。

ヘルプネットユニット非接続時は、選択することができません。

インターネット

本機につないだデジタル携帯電話を使ってインターネットに接続し、さまざまな情報を利用することができます。

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピューターで構成されるネットワークのことです。当初はおもに学術情報を公開するために利用されていましたが、現在ではさまざまなジャンルの情報が提供されるようになり、必要な準備を整えれば誰でも利用できるまでに普及しています。

通常インターネットを利用する場合は、パソコンなどの情報端末と、これを電話回線につなぐための通信機器（データ通信機能を備えた電話機やモデムなど）を使います。電話回線を介してインターネットに接続し、情報のやり取りを行います。

このときインターネットへの接続サービスを提供し、インターネットへの窓口となるのが「インターネットサービスプロバイダ」（「プロバイダ」）です。利用者は直接には自分の契約しているプロバイダに接続して、そこからさらにインターネットに接続することになります。
本機はインターネットを利用するための機能を備えています。本機に携帯電話をつないでインターネットに接続することにより、インターネット上で公開されている情報を利用することができるようになります。

インターネットに関する基本的な知識については、「インターネット基礎知識」（170P）を参照してください。

インターネットを利用するまで

本機でインターネットを利用するまでには、次のような準備を行います。

1 インターネットサービスプロバイダとの利用契約を行い、「接続ID」と「接続パスワード」などの情報を入手する

すでにプロバイダと契約している場合は、必要な情報がそろっているかどうかを確認します。

2 本機とデジタル携帯電話（9600bpsデータ通信機能に対応しているもの、または「cdmaOne™」携帯電話）を接続して利用できるようにする

本機と携帯電話の接続のしかたは、『取付説明書』を参照してください。

- 本機では、PDCおよびcdmaOne™携帯電話に対応しています。ただし、機種によっては使用できない場合があります。また、さらにサービス契約が必要な場合もあります。
- 本機にパケット通信に対応した「cdmaOne™」携帯電話をつないだ場合、契約形態によっては携帯電話側で64kbpsのパケット通信または14.4kbps通信の両方を切り替えて利用できます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などの機能は解除してから接続してください。
- 携帯電話側の車載設定によっては、常時照明がONになる機種がありますので、携帯電話のバッテリー切れの原因になります。携帯電話の仕様を確認の上ご使用ください。

3 プロバイダに接続するための設定を行う

- 本機では、2つのプロバイダを使い分けることができます。あらかじめ、それぞれのプロバイダについて接続設定を行っておく必要があります。
- 接続設定は、メニューより設定する方法と、ブラウザ画面より設定する方法の2種類があります。

設定の手順は、「プロバイダを設定する」（149P）を参照してください。

4 インターネットに接続し、情報を利用する

インターネットに接続してからの操作については、「ホームページを見る」（157P）以降を参照してください。

- インターネットへの接続時間は、電話の受信状態や回線の混み具合によって異なります。
- 本機で表示できる画像データは、JPEG形式とGIF形式ですが、条件によっては表示できない場合もあります。また、プラグインなどの利用を前提としたホームページやSSLを使用しているホームページも表示できません。
- ホームページの運用・内容・情報の更新頻度などは、それぞれのホームページの主催者によって異なります。情報提供の中断、URLの変更などは、各ホームページの主催者にお問い合わせください。
- 通信後、電話が切れたこと（回線の切断）を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。
- 本機の電源ON/OFF（エンジンのON/OFF）に関係なく、携帯電話をつないだり、取り外したりできます。
- ナビゲーション本体に携帯電話をつなぐと、携帯電話の電源が一度OFFになり、その後自動的にONになります。（呼び出し中の場合も一度電源がOFFになりますので、ご注意ください。）
- ナビゲーション本体に携帯電話をつなぐと、携帯電話の電源ボタンは機能しなくなります。（携帯電話の電源は、ナビゲーション本体の電源のON/OFF（エンジンのON/OFF）に連動します。）
- ナビゲーション本体から携帯電話への充電および給電は行われません。

インターナビとは

インターナビはドライブに役立つ情報をクルマの中で見やすく表示・提供する無料の会員制サービスです。
自車位置や目的地とリンクしたリアルタイムな情報が入手でき、自宅のパソコンで目的地や経由地を登録して、インターナビ対応カーナビで呼び出すことが可能です。

■インターナビをお使いになるには

インターナビに会員登録して、あらかじめモービル会員の接続IDと接続パスワードを用意する必要があります。
会員登録は、インターナビのホームページよりお申し込みください。
インターナビのご利用には、インターネットへ接続できる環境と個人用Eメールアドレスが必要となります。
インターネット接続に必要な通話料、インターネットプロバイダーの接続料は別途必要となります。
インターナビは本田技研工業株式会社が運営しています。
・ホームページ　http://www.internavi.ne.jp/
・インターナビ情報センター
お客様ご相談窓口
（受付時間　9時～12時、13時～17時/
但し、土・日・祝祭日・同社休業日は除く）
フリーダイヤル　0120-821439
FAXフリーダイヤル　0120-821285(FAX)

インターナビの設定は「インターナビの設定」(155P)を参照してください。

MONET-iとは

MONET-i(モネアイ)は、ドライブに役立つ情報をクルマの中で見やすく表示・提供する会員制のサービスです。
携帯電話で直接モネ情報センターに接続するため、プロバイダーとの契約なしにMONETの情報を取得できます。また、モネ会員ならご家庭のパソコンでも情報を閲覧し、カーナビに送信することもできます。

■MONET-iをお使いになるには

MONET-iのサービスをご利用になる場合は、MONET-iの接続IDと接続パスワードを取得している必要があります。
・MONET-iの新規受付は停止されました。
・詳しくはモネ・カスタマーセンターにお問い合わせください。

モネ・カスタマーセンター

全国共通フリーフォン　0070-800-773377
（携帯電話からは）　052-263-7737
（受付時間）　9：00～17：00
（祝祭日を除く）
（FAX情報162プップッ）
#287-052-263-7750-01#
モネ・ホームページ　http://www.tms.ne.jp/

プロバイダを設定する

インターネットをご利用になる場合は、インターネットへの接続会社（プロバイダ）と契約する必要があります。
プロバイダと契約されている場合は、接続するための設定を行います。

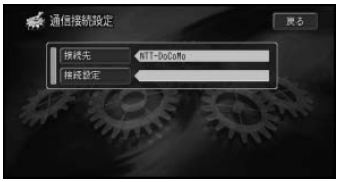
■接続設定を選ぶ

本機では、2つのプロバイダを使い分けることができます。あらかじめそれぞれのプロバイダについて接続設定を行っておくと、利用状況に応じて接続先を切り替えることができるため、接続先を変えるたびに接続設定をやりなおす必要がなくなります。

1 メニュー ー 編集・設定 ー 各種設定 にタッチする →25P

2 通信接続設定 にタッチする

3 接続先 にタッチする



4 使用するプロバイダを選んでタッチする

ⓘ 接続先の設定が行われていないと、未設定 と表示されます。

■接続設定を行う（一覧から選ぶ）

ⓘ ここで行った接続設定は、ブラウザ画面から設定する［接続環境］、［ブラウザ環境］にも反映されます。

1 メニュー ー 編集・設定 ー 各種設定 にタッチする →25P

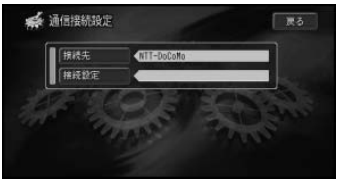
2 通信接続設定 にタッチする

3 接続先 にタッチする

4 接続設定を行う接続先を選んでタッチする

ⓘ すでに設定を行った接続先を選択すると、前回設定した内容に上書きされるので注意してください。

5 接続設定 にタッチする



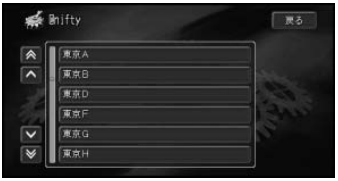
つづく ≫

6 プロバイダリスト にタッチする

7 加入しているプロバイダを選んでタッチする

- 加入しているプロバイダがリストになかったときは、**戻る** にタッチし、手順6の画面で **マニュアル** にタッチしたあと、「接続設定を行う（手動で行う）」（151P）を参照してください。
- NTT DoCoMoの「モペラ」をご利用の場合は、［NTT DoCoMo］を選んでください。また、［MONET-i］をご利用の場合は［MONET-i（インターネットオプションあり）］または［MONET-i］、auをご利用の場合は［au（PacketOne）］、vodafoneをご利用の場合は［vodafone］、ツーカーセルラー東京/東海をご利用の場合は［TU-KAセルラー東京/東海］を選んでください。
- ^ や v にタッチすると、リストをスクロールすることができます。

8 接続先（アクセスポイント）を選んでタッチする



手順7で［NTT DoCoMo］［au（PacketOne）］［vodafone］を選んだときは、［全国共通］と表示されます。［TU-KAセルラー東京/東海］を選んだときは［サービスエリア内］と表示されます。**自動で接続IDと接続パスワードが入力されますので、そのまま 全国共通 または サービスエリア内 にタッチすると、地図画面に戻ります。**［MONET-i］を選んだときは、次の画面で **全国共通** にタッチして、手順9に進みます。

9 接続ID にタッチする

10 プロバイダ入会時に発行された接続IDを入力し、入力終了 にタッチする

11 **接続パスワード** にタッチする

12 プロバイダ入会時に発行された接続パスワードを入力し、**入力終了** にタッチする

入力したパスワードは、画面に“＊”で表示されます。

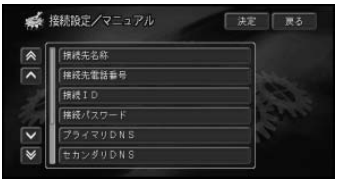
13 **決定** にタッチする

■接続設定を行う（手動で行う）

ここで行った接続設定は、ブラウザ画面から設定する［接続環境］、［ブラウザ環境］にも反映されます。

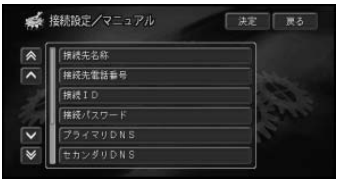
1 150ページの手順6で **マニュアル** にタッチする

2 **接続先名称** にタッチする



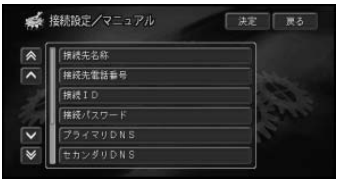
3 接続先のプロバイダの名称を入力し、**入力終了** にタッチする

4 **接続先電話番号** にタッチする



5 接続先（アクセスポイント）の電話番号を入力し、**入力終了** にタッチする

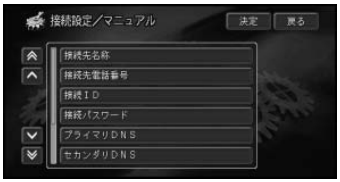
6 **接続ID** にタッチする



つづく

7 プロバイダ入会時に発行された接続IDを入力し、**入力終了**にタッチする

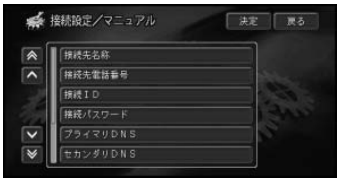
8 **接続パスワード**にタッチする



9 プロバイダ入会時に発行された接続パスワードを入力し、**入力終了**にタッチする

入力したパスワードは、画面に“＊”で表示されます。

10 **プライマリDNS**にタッチする



11 プライマリＤＮＳのＩＰアドレスを入力し、**入力終了**にタッチする

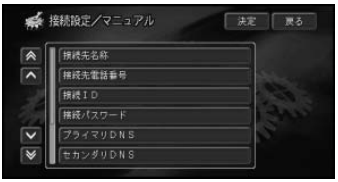
ＩＰアドレスは3桁ずつ入力します。3桁未満の数字があるときは、数字の前に0を加えて、3桁になるように入力してください。

例：192.168.2.255の場合

（正）192.168.002.255

（誤）192.168.2.255

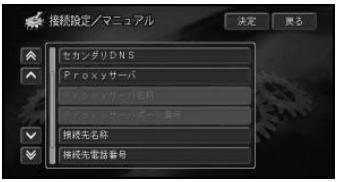
12 **セカンダリDNS**にタッチする



13 セカンダリＤＮＳのＩＰアドレスを入力し、**入力終了**にタッチする

セカンダリＤＮＳのＩＰアドレスをプロバイダから指示されているときは、自動入力されたものを削除してから入力し直してください。

14 **Proxyサーバ**にタッチする



15 Proxyサーバの設定として **使用しない** を選んでタッチする

Proxyサーバを利用する場合は、**使用する** にタッチしてください。設定方法は、「Proxyサーバの指定」（153P）を参照してください。

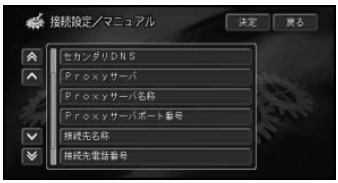
16 **決定** にタッチする

Proxyサーバの指定

Proxyサーバ名称とポート番号は、加入したプロバイダの説明書をご覧ください。

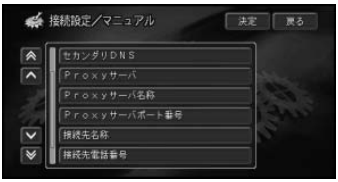
1 上記の手順15で **使用する** を選んでタッチする

2 **Proxyサーバ名称** にタッチする



3 Proxyサーバ名称を入力し、**入力終了** にタッチする

4 **Proxyサーバポート番号** にタッチする



5 ポート番号を入力し、**入力終了** にタッチする

プロバイダの説明書にポート番号の情報が記載されていない場合は、画面に表示されているものを、そのまま使用してください。

6 **決定** にタッチする

■ブラウザ画面から接続設定を行う

ブラウザからも、接続設定を行うことができます。

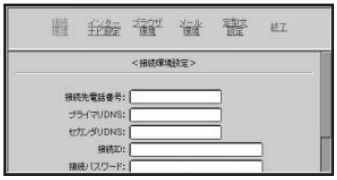
ここで行った接続環境の設定は、現在選ばれている接続先の接続設定に反映されます。

1 メニュー ー**インターネット**にタッチする
→24P

2 メニュー を押す

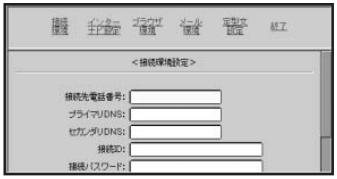
3 ＜ ＞ にタッチして（設定）を選んで**決定**にタッチする

接続環境の画面が表示されます。



4 入力する項目を選んでタッチする

文字の入力画面が表示されます。



設定できる項目は以下の通りです。

- 接続先電話番号
- プライマリDNS（IPアドレス）
- セカンダリDNS（IPアドレス）
- 接続ID
- 接続パスワード

入力したパスワードは、画面に“＊”で表示されます。

5 文字を入力し、**入力終了**にタッチする

接続環境の画面が再び表示されます。

文字の入力方法は「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

複数の項目に同じように入力していくことができます。

6 画面右端のスクロールバーで画面をスクロールさせて、**実行**にタッチする

入力内容が保存されます。

中止にタッチすると、入力する前の状態に戻ります。

7 ［終了］にタッチする

インターネット画面に戻ります。

■ブラウザの環境設定

インターネットに設定するためにプロクシーサーバーの設定とホームページの画面データの読み込みの有/無を設定します。

1 メニュー ー**インターネット**にタッチする
→24P

2 メニュー を押す

3 ＜ ＞ にタッチして（設定）を選んで**決定**にタッチする

4 ［ブラウザ環境］にタッチする

ブラウザ環境の画面が表示されます。

5 入力する項目を選んでタッチする

文字の入力画面が表示されます。

設定できる項目は以下の通りです。

- プロクシーサーバ名
- ポート番号
- 画像データ読込み

ⓘ
- 画像データ読込みは、有無のボタンにタッチしてください。
- インターネットから画像の情報を読み込まないとき、画像を含まないページのときは、通信時間が通常より短くなります。

6 文字を入力し、入力終了にタッチする

ブラウザ環境の画面が再び表示されます。

↪ 文字の入力方法は「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

ⓘ 複数の項目に同じように入力していくことができます。

7 実行にタッチする

入力内容が保存されます。

ⓘ 中止にタッチすると、入力する前の状態に戻ります。

8 ［終了］にタッチする

インターネット画面に戻ります。

■インターナビの設定

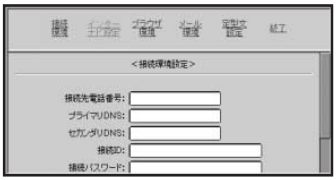
1 メニュー ー インターネットにタッチする

→24P

2 メニューを押す

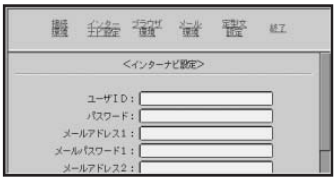
3 ＜ ＞にタッチして（設定）を選んで決定にタッチする

4 ［インターナビ設定］にタッチする



5 入力する項目を選んでタッチする

文字の入力画面が表示されます。



つづく ≫

設定できる項目は以下の通りです。

- ユーザーID
- パスワード
- メールアドレス1
- メールパスワード1
- メールアドレス2
- メールパスワード2
- メールアドレス3
- メールパスワード3
- 使用するメールアドレス1、2、3

- ここでのメールアドレス入力は、@より前のみを入力してください。（@internavi.ne.jpの入力はしないでください。）
- 使用するアドレスは、1/2/3のいずれかのボタンをタッチしてください。

6 文字を入力し、入力終了にタッチする

インターナビ設定の画面が再び表示されます。

文字の入力方法は「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

複数の項目に同じように入力していくことができます。

7 実行にタッチする

入力内容が保存されます。

中止にタッチすると、入力する前の状態に戻ります。

8 [終了]にタッチする

インターネット画面に戻ります。

ホームページを見る

インターネットを使って、様々な情報を手に入れることができます。

通信終了後は、電話が切れたこと（回線の切断）を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

■インターネットに接続する

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする
→24P

▼

上記画面はまだ接続していません。

2 **表示させたいホームページを選び、タッチする**

ホームページが表示されます。

- 回線の接続が必要なときは、接続確認画面が表示されますので、**はい** にタッチすると、回線が接続されホームページが表示されます。
- 表示するホームページによっては、読み込みに時間がかかることがあります。
- 接続中に10分以上、操作やデータのやり取りが行われなかった場合は、自動的に電話が切れます。リンクや更新など、ページを移動するときに、［ネットワークに接続してもよろしいですか？］というメッセージを表示します。再接続したいときは、**はい** にタッチしてください。
- 接続IDとパスワードを登録していない場合には、接続設定を確認するメッセージが表示されます。プロバイダの設定を行ってください。→149P

「cdmaOne™」携帯電話を使用してのデータ通信について

「cdmaOne™」携帯電話を使用してのパケット通信以外のデータ通信は、「PDC」携帯電話に比べて、通信時間がかかる場合があります。また、PacketOne64での通信も可能ですが、条件によっては64kbpsの通信速度で通信が行われない場合があります。

本機に「cdmaOne™」携帯電話を接続するためには、別売のcdmaOne™用アダプター「CD-H12」が必要です。

［○○○○は表示できません］というメッセージが表示されたら

ホームページによっては、画像や文字が多いために、ブラウザに表示できない場合があります。このようなときは、画像の読み込みを行わない設定にすると、表示できる場合があります。

「ブラウザの環境設定」（154P）を参照してください。

■探した場所のホームページに接続する

探した場所の［詳細情報］（44P）などから、**インターネット**を選んだ場合は、その施設に関連するホームページに接続することができます（ダイレクトインターネットアクセス）。

画面を操作する

表示された情報を見ることはもちろん、パソコン用ブラウザと同様に、リンク先のページを見たり、画面をスクロールさせることができます。

インターネットに接続されると、ブラウザ画面が表示され、操作したい箇所までスクロールします。また、インターネットメニューバーやステータスバーからも操作が行えます。

メニューバー

選ばれているアイコン名を表示します。

（URL入力）	URL入力する
（マーク&履歴）	ブックマークをつけるページや過去に表示したページの履歴を一覧表示する
（前ページ）	前のページを表示する
（次ページ）	次のページを表示する
（読込中止）	読み込みを中止する
（再読込）	現在のページを再読み込みする
（ホーム）	「ホーム」が表示される
（画面の保存）	画面を保存する
（設定）	接続の設定やメールなどの各種設定を行う
（Eメール）	メール画面を表示する
（回線切断）	回線を切断する
（ナビに戻る）	ナビゲーションに戻る

アイコン操作ボタン

	アイコンを選択します。
決定	アイコンの機能を実行します。

ステータスバー

URL表示します。
接続時間を表示します。
読み込み中を表示します。
接続中/未接続の表示をします。

■リンク先のページを表示する

1 下線の付いている項目（リンクといいます）にタッチする

▼

リンク先のページが表示されます。

■1枚の画像に複数のリンク先があるとき

1枚の画像に複数のリンク先が設定されている（クリッカブルマップ）ときは、その画像のリンクにタッチするとリンク先のページが表示されます。

■画面をスクロールさせる

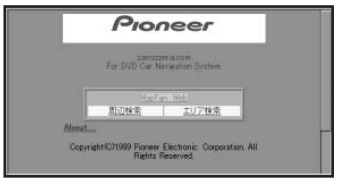
画面内に情報を表示しきれないときは、スクロールバーが表示されます。スクロールバーを表示させたい（スクロールさせたい）方向にタッチすると、画面がスクロールします。

■1つ前の画面を表示させる

メニューバーの（前ページ）を選んで 決定 にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

▼

1つ前のページが表示されます。



■ホームページ上で文字を入力する

ホームページ上に文字を入力できる欄があり、文字を入力する必要がある場合は、入力欄にタッチすると、文字入力の画面になります。文字入力後、**入力終了** にタッチすると、入力欄に文字が入力されます。

▼

文字の入力方法は「文字の入力操」（27P）を参照してください。

画面が正しく表示されないとき

画面が正しく表示されないときは、データの再読み込みを行います。

1 メニュー **を押す**

2 （再読込）**を選んで** 決定 **にタッチする**

データが再度読み込まれ、画面が更新されます。

回線がつながっていない場合は、再接続確認画面が表示されますので、**はい** にタッチしてください。

ホームに戻る

インターネット上のリンク先から、ホームに戻ります。

ホームは変更することはできません。

1 メニュー **を押す**

2 （ホーム）**を選んで** 決定 **にタッチする**

URLを入力してホームページを見る

ホームページのURLを入力してホームページを表示します。

1 メニュー **ー インターネット にタッチする**
→24P

2 メニュー **を押す**

3 **（URL入力）を選んで** 決定 **にタッチする**
入力画面が表示されます。

4 **URLを入力し、 入力終了 にタッチする**

▼

入力したURLのホームページが表示されます。

回線がつながっていない場合は接続確認画面が表示され、 はい にタッチすると回線に接続されます。

入力したURLを修正する方法については、「誤って入力した文字を削除する」（28P）を参照してください。

ブックマークを操作する

気に入ったホームページや何度も繰り返し見るホームページは、ブックマークとして登録しておくことができます。登録しておくと簡単にそのホームページを最新の状態で見ることができます。

- ブックマークは登録するグループが「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」の3種類あり、その3種類の合計で最大50件まで登録できます。
- URLが256文字を超えるホームページは登録できません。

ブックマークメニュー

選択して 決定 にタッチすることにより、ブックマークの操作を行います。
（アイコン操作ボタンで操作します。）

（追加）	現在表示中のページをブックマークに追加する
（新規作成）	ブックマークを新規作成する
（並べ替え）	リストを並び替える
（取り込み）	ハードディスク内に保存されたブックマークを取り込む
（書き出し）	ブックマークを保存する（書き出し）
（削除）	ロックされていないブックマークを全て削除する
（終了）	終了する

■ブックマークの登録

表示しているホームページをブックマーク登録する

1 **登録したいホームページを表示する**
→「URLを入力してホームページを見る」

2 メニュー **を押す**

3 （マーク＆履歴）を選んで 決定 にタッチする

4 ［ブックマーク］にタッチする

ブックマークのリストが表示されます。

5 （追加）を選んで 決定 にタッチする

ブックマーク登録画面が表示されます。

6 グループを選んでタッチする

「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。

7 （追加）を選んで 決定 にタッチする

8 （書き出し）を選んで 決定 にタッチする

ブックマークが登録されます。

■新規作成し登録する

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする

→24P

2 メニュー を押す

3 （マーク＆履歴）を選んで 決定 にタッチする

4 ［ブックマーク］にタッチする

5 （新規作成）を選んで 決定 にタッチする

6 グループを選んでタッチする

「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。

7 タイトルまたはURLの入力欄を選んでタッチする

文字入力画面が表示されます。

つづく

8 タイトルまたはURLを入力し、**入力終了**にタッチする

文字の入力方法は「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

9 （追加）を選んで決定にタッチする

10 （書き出し）を選んで決定にタッチする

ブックマークが登録されます。

■ブックマークに登録したホームページを見る

1 メニュー－**インターネット**にタッチする →24P

2 メニューを押す

3 （マーク＆履歴）を選んで決定にタッチする

4 ［ブックマーク］にタッチする

5 グループを選んでタッチする

「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。

6 表示したいホームページを選んでタッチする

7 **呼び出し**にタッチする

戻るにタッチすると、ブックマークのリスト画面に戻ります。

▼

ブックマークで選んだホームページが表示されます。

■ブックマークを編集する

登録したブックマークは、タイトル（リスト表示名）、URLを変更することができます。

1 メニュー－**インターネット**にタッチする →24P

2 メニューを押す

3 （マーク＆履歴）を選んで決定にタッチする

4 ［ブックマーク］にタッチする

5 グループを選んでタッチする

「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。

6 編集したいホームページを選んでタッチする

7 **編集**にタッチする

戻るにタッチすると、ブックマークのリスト画面に戻ります。

8 タイトルまたはURLの入力欄を選んでタッチする

9 タイトルまたはURLを入力し、**入力終了**にタッチする

文字の入力方法は「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

10 （追加）を選んで決定にタッチする

11 （書き出し）を選んで決定にタッチする

タイトルまたはURLが変更されます。

■並び替える

登録したブックマークのリストを並び替えます。

1 メニュー ー **インターネット**にタッチする
→24P

2 メニューを押す

3 （マーク＆履歴）を選んで決定にタッチする

4 ［ブックマーク］にタッチする

5 グループを選んでタッチする

「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。

6 （並べ替え）を選んで決定にタッチして並べ替える順を決める

は次のように切り替わります。

URL順→**タイトル順**
ロック優先←日付順←

■ブックマークを保護（ロック）する

ブックマークをロックすると、削除されないように保護できます。

1 メニュー ー **インターネット**にタッチする
→24P

2 メニューを押す

3 （マーク＆履歴）を選んで決定にタッチする

4 ［ブックマーク］にタッチする

5 グループを選んでタッチする

「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。

6 ロックしたいホームページを選んでタッチする

7 **ロック/解除**にタッチする

ロック/解除にタッチするごとに、ロックと解除が切り替わります。

ブックマークをロックすると、タイトルの前に「鍵」が表示されます。

戻るにタッチすると、ブックマークのリスト画面に戻ります。

8 （書き出し）を選んで決定にタッチする

ブックマークがロックされます。

■ブックマークを削除する

登録したブックマークを削除します。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする
→24P

2 メニュー を押す

3 （マーク＆履歴）を選んで 決定 にタッチする

4 ［ブックマーク］にタッチする

5 グループを選んでタッチする
「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。

6 削除したいホームページを選んでタッチする

7 **削除** にタッチする

- （削除）を選んで 決定 にタッチすることにより、ロックされていないブックマークを全て削除することができます。
- **戻る** にタッチすると、ブックマークのリスト画面に戻ります。
- ロックされたブックマークを削除したい場合は、ロックを解除してから削除してください。

8 （書き出し）を選んで 決定 にタッチする
ブックマークが削除されます。

■ブックマークのリストを変更前の状態に戻す

ブックマークの登録、編集、保護、削除操作中の書き出し（）前であれば、（取り込み）を選んで 決定 にタッチすることにより、ブックマークを変更前の状態に戻せます。

履歴を操作する

一度表示したホームページは履歴が残り、再び表示したり、ブックマークに登録することができます。

本機の履歴機能は、インターネット機能使用中の履歴を保存するもので、**インターネット** 以下の操作から抜けた場合は、履歴は削除されます。

■以前見たことのあるホームページを表示する

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする
→24P

2 メニュー を押す

3 （マーク＆履歴）にタッチする

4 ［履歴］にタッチする
履歴のリストが表示されます。

履歴は10件まで保存されます。

5 表示したいホームページを選んでタッチする

6 呼び出しにタッチする

戻るにタッチすると、履歴のリスト画面に戻ります。

▼

選んだホームページが表示されます。

■ブックマークに追加する

履歴をブックマークに登録することができます。

1 メニュー－インターネットにタッチする →24P

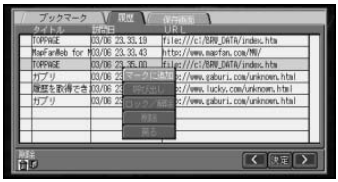
2 メニューを押す

3 （マーク＆履歴）を選んで決定にタッチする

4 ［履歴］にタッチする

5 ブックマークに追加したい履歴を選んでタッチする

6 マークに追加にタッチする



7 タイトルまたはURLの入力欄を選んでタッチする

8 タイトルまたはURLを入力し、入力終了にタッチする

文字の入力方法は「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

9 （追加）を選んで決定にタッチする

10 （書き出し）を選んで決定にタッチする

ブックマークが登録されます。

■履歴を保護（ロック）する

履歴をロックすると削除されないように保護できます。

1 メニュー－インターネットにタッチする →24P

2 メニューを押す

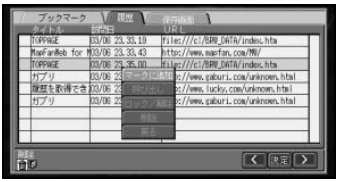
3 （マーク＆履歴）を選んで決定にタッチする

4 ［履歴］にタッチする

5 ロックしたいホームページを選んでタッチする

6 ロック/解除にタッチする

ロック/解除にタッチするごとに、ロックと解除が切り替わります。



履歴をロックすると、タイトルの前に「鍵」が表示されます。

戻るにタッチすると、履歴のリスト画面に戻ります。

▼

履歴がロックされます。

■履歴を削除する

履歴を削除します。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする
→24P

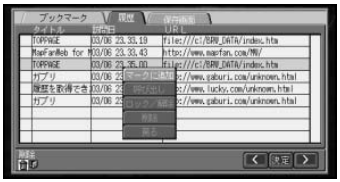
2 メニュー を押す

3 （マーク＆履歴）を選んで 決定 にタッチする

4 ［履歴］にタッチする

5 削除したいホームページを選んでタッチする

6 **削除** にタッチする



- （削除）を選んで 決定 にタッチすることにより、ロックされていない履歴を全て削除することができます。
- **戻る** にタッチすると、履歴のリスト画面に戻ります。
- ロックされた履歴を削除したい場合は、ロックを解除してから削除してください。

▼

履歴が削除されます。

表示したホームページを保存する

表示したホームページを保存しておくことができ、いつでも見たいときに表示することができます。

■ホームページの保存

1 保存したいホームページを表示する
→162P

2 メニュー を押す

3 （画面の保存）を選んで 決定 にタッチする
保存画面の確認画面が表示されます。

4 **はい** にタッチする

いいえ にタッチすると、前画面（インターネットの画面）に戻ります。

▼

保存後、保存画面リストが表示されます。

- 合計約2Mbyteまで保存できます。
- ブラウザ起動画面など、ネットワーク経由以外の画面は、保存できません。

■保存したホームページを見る

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする
→24P

2 メニュー を押す

3 （マーク＆履歴）を選んで 決定 にタッチする

4 ［保存画面］を選んでタッチする
保存されたホームページのリストが表示されます。

5 表示したいホームページを選んでタッチする

6 **呼び出し** にタッチする

▼

選んだホームページが表示されます。

- 手順6で表示される **マークに追加**、**削除** は履歴と同じ流れになりますので参照してください。
- **戻る** にタッチすると、保存画面リストに戻ります。

接続を解除する

■インターネットの接続を解除する

インターネット接続中に接続を手動で解除することができます。

1 ブラウザ画面で メニュー を押す

2 （回線切断）を選んで 決定 にタッチする

▼

接続が解除されます。

通信終了後は、電話が切れたこと（回線の切断）を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

■ナビゲーションに戻る

インターネットを終了し、ナビゲーション画面に戻ります。

1 メニュー を押す

2 （ナビに戻る）を選んで 決定 にタッチする

インターネットを終了し、メニュー画面が表示されます。

つづく

通信終了後は、電話が切れたこと（回線の切断）を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。
ナビゲーションに戻ったときは、電話は自動的に切断されます。

インターネット基礎知識

■インターネットってなに？

世界各国のコンピューターを相互に接続した、世界規模のコンピューターネットワークシステムです。
インターネットで最も利用されているサービスは、Webサイトの閲覧や情報発信、電子メールによるメッセージ交換です。
企業や個人がWebサイトで発信した最新情報は、「Webブラウザ（ブラウザ）」というソフトでいつでも閲覧できます。また、電子メールの利用により、送り先の時間帯や距離を意識することなく、メッセージのやりとりが可能です。

■プロバイダってなに？

「インターネット接続サービスプロバイダ」の略で、インターネットに接続する環境（電話回線や通信設備など）を一般の利用者に提供する企業や組織のことです。「インターネットプロバイダ」「ISP」などと呼ばれることもあります。
利用者は、電話回線を通じてプロバイダに接続することで、その先のインターネットを利用できます。

■インターネットを見ているときは費用がかかるの？

携帯電話が接続されている時間分だけ、携帯電話の通話料とプロバイダの接続料がそれぞれ課金されます。
携帯電話の通話料は通常の通話と同じ（携帯電話の事業者によっては、専用料金になる場合があります）ですから、接続先（プロバイダのアクセスポイント）によって料金が異なります。ただし、海外のホームページを見たからといって、国際電話料が課金されるわけではありません。

■carrozzeria.comって何？

パイオニア株式会社が運営しているカーナビゲーションシステム用のホームページです。
位置情報（緯度経度）付きの施設の検索ができ、Webページ上から施設の登録や目的地設定ができます。URLは、
「http://www.carrozzeria.com/」です。

■「http://」のhttpってなに？

インターネット上で、コンピューターどうしが各種情報を交換するために使用する共通のルールのことを「プロトコル」といいます。httpは、Webサイトの情報（ホームページ）をやりとりするためのプロトコルで、Hyper Text Transfer Protocolの略です。
Webブラウザはこのプロトコルを使ってWebサイトからデータを受信し、その結果を画面に表示させます。

■「URL」ってなに？

Uniform Resource Locatorの略で、インターネット上で、情報のある場所を特定するための文字列のことです。URLには、情報の種類、サーバー名（ホスト名＋ドメイン名）といった、インターネット上で情報を得るための文字列を記述します。
例えば、パイオニア株式会社のホームページから情報を得る場合には、URLとして、
http://www.pioneer.co.jp/
というように指定します。

■「www」ってなに？

World Wide Webの略で、インターネット上に公開されている様々な情報を文字や画像で得ることができます。URLで情報を検索するには、文字列の最初に「www」を記述します。
例えば、パイオニア株式会社のホームページから情報を得る場合には、
http://www.pioneer.co.jp/
というように指定します。

■「ブックマーク」ってなに？

繰り返し利用するWebページを本機のブラウザに登録しておく機能のことです。パソコン用のブラウザでいうところの「ブックマーク」「お気に入り」と同様の機能です。
繰り返しアクセスして情報を得たいWebページを「ブックマーク」として登録しておくことで、毎回URLを入力する手間を省くことができます。

■「ホーム」ってなに？

接続開始時、最初に表示されるWebページのことです。
ホームより、carrozzeria.comやインターナビ、MONET-iなどを表示することができます。

■メールアドレスってなに？

電子メールを送受信するときの宛先となる情報です。郵便物の住所のようなもので、「my_name@mail.abcd.ne.jp」などといった表記が「電子メールアドレス」です。

■「CGI」ってなに？

Common Gateway Interfaceの略で、ホームページ上で文字などの入力を行った結果をページに反映させるための機能を追加するためのものです。
たとえば、ホームページを見た人数を示す「カウンタ」や、ホームページ上にメッセージを書き込んで誰でも閲覧できるようにする「掲示板」などで、CGIが使われています。

■「SSL」ってなに？

Secure Socket Layerの略で、インターネット上で安全に情報をやり取りできるようにするための技術のひとつです。SSLを利用して作られているホームページを見るためには、SSLに対応しているWebブラウザを用意する必要があります。（本機では、これらのページを表示させることはできません。）

■「DNS」ってなに？

Domain Name Systemの略で、IPアドレスとドメインネームを対応させるシステムのことです。その管理を行うサーバーをDNSサーバーといいます。

■ドメインネームってなに？

インターネットに接続されている機器を識別するための名前のことです。

■IPアドレスってなに？

インターネット上の通信規約であるIP（Internet Protocol）で使用されるネットワーク上の機器を特定するための番号のことです。

■Proxyサーバーってなに？

実際に情報を提供するサーバーの代わりに働くサーバーのことです。これにより実際のサーバーの負担を軽くして、情報の提供を早くすることができます。

Eメール

本機につないだ携帯電話を使って、パソコンなどと同じようにEメールをやり取りすることができます。また本機にアドレス帳を作り利用することもできます。
本機のブラウザ画面より操作を行います。
Eメールの画面操作はインターネットと同じです。（158P）

Eメールを利用する前に

Eメールを使用する場合は、インターネットと同じようにプロバイダとの利用契約のほかに、Eメールを利用するための設定を行います。設定には以下のようなものが必要となります。

- メールアカウント
- メールパスワード
- POP3サーバー名
- SMTPサーバー名

Eメールの設定

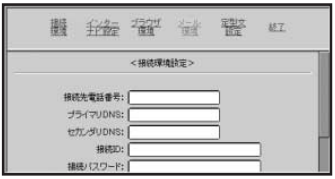
1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 （設定）を選んで 決定 にタッチする

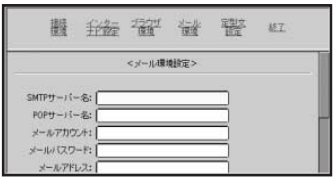
4 ［メール環境］にタッチする

メール環境の画面が表示されます。



5 入力する項目を選んでタッチする

文字の入力画面が表示されます。



設定できる項目は以下の通りです。

- SMTPサーバー名
- POPサーバー名
- メールアカウント
- メールパスワード
- メールアドレス
- シグネチャー
- サーバーにメールを残す/残さない

サーバーにメールを残す/残さないは、有無のボタンを押してください。

シグネチャーについては「シグネチャー（署名）を登録する」（184P）を参照してください。

6 文字を入力し、**入力終了** にタッチする

メール環境の画面が再び表示されます。

つづく

文字の入力方法は「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

複数の項目に同じように入力していくことができます。

7 **実行**にタッチする

入力内容が保存されます。

中止にタッチすると、入力する前の状態に戻します。

8 ［終了］にタッチする

インターネット画面に戻ります。

メールを送信する

メールを送るには、メールを作成して送る「新規に作成する」、作成しておいたメールを送る「未送信メールを送る」、「送信したメールを編集して送る」、「送信メールのリストを使う」があります。

送信メールメニュー

（アイコン操作ボタンで操作します。）

（送信）	送信リスト上全ての未送信メールを送信する。
（送受信）	送信リスト上全ての未送信メールを送信し、メールを受信する
（新規メール作成）	メールを新規作成する
（並べ替え）	リストを並べ替える
（削除）	ロックされていない送信メールを全て削除する
（終了）	終了する

メールの送信に関して、以下のことに留意してください。

接続先のプロバイダと、メールサーバが異なる場合（例：モペラの接続で、@niftyのメールアカウントを使用など）は、サーバ側の制限ですぐに送信できないことがあります。

メールサーバがPOP before SMTP対応であり、この制限をかけている場合には、プロバイダーに接続後、いったん受信操作を行ってから、続けて送信操作を行ってください。

メールサーバがPOP before SMTP対応かどうかは、プロバイダーに確認してください。

またプロバイダーによっては、接続先がメールサーバと異なる事業者の場合に、メールを送信できないことがあります。

■新規に作成する

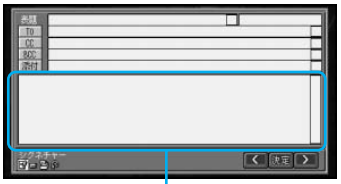
1 メニュー ー **インターネット** にタッチする
→24P

2 メニュー を押す

3 （Eメール）を選んで 決定 にタッチする

4 （新規メール作成）を選んで 決定 にタッチする
文字の入力画面が表示されます。

5 入力する項目を選んでタッチする



- **TO** や **CC**、**BCC** にタッチするとアドレス帳が表示され、アドレスを選択することができます。
- 「TO」,「CC」,「BCC」,「表題」,「本文」には、定型文を入力することができます。詳しくは「定型文を操作する」(181P)を参照してください。
- **添付** にタッチすると添付ファイルリストが表示され、添付ファイルを選択することができます。(176P)
- （シグネチャー）を選んで 決定 にタッチするとシグネチャー(署名)を入力することができます。
- （リストに戻る）を選んで 決定 にタッチすると前画面に戻すことができます。
- 添付ファイル選択後は、添付ファイルを取り消すことはできません。

6 文字を入力し、**入力終了** にタッチする
メール作成の画面が表示されます。

文字の入力方法は「文字の入力操作」(27P)を参照してください。

- 手順6～7を繰り返しメールを完成させてください。
- 「TO」,「CC」,「BCC」,「表題」,「本文」には定型文挿入を行うことができます。

7 （すぐに送信）を選んで 決定 にタッチする

- （あとで送信）を選んで 決定 にタッチすると、完成したメールや未完成のメールを送信しないで未送信メールとして保存することができます。未送信メールは後から編集して送信することができます。
- 送信できるメールのサイズは16kbyteまでです。

メール送信が完了すると、送信メールのリストが表示されます。

つづく

- メール送信のときは自動的に、電話をかけてから送信し終了後に電話を切ります。すでにインターネット画面などでネットワークに接続されている場合は、そのまま送信されます。このとき、送信が終了しても、電話は切れません。
- 現在、開いているメールのみ送信します。
- 送信したメールは「送信メールのリスト」に保存されます。
- メール送信が完了できなかった場合は、メッセージが表示されます。

■ファイルを添付する

メールで送られてきた添付ファイルを別のメールに添付し送信することができます。

1 **メール作成画面を表示する** →175P

2 **添付にタッチする**

添付ファイルリストが表示されます。

3 **添付するファイルを選んでタッチする**

添付を追加にタッチすると追加されます。

- 1件のメールに10ファイルまで添付できます。
- **開く**にタッチすると、ファイルを見ることができます。
- **戻る**にタッチすると、添付ファイルリスト画面に戻ります。

■未送信メールを送る

送信せずに保存したメールや送信を完了しなかったメールを後から送信します。

1 メニュー **ー インターネット にタッチする** →24P

2 メニュー **を押す**

3 **（Eメール）を選んで** 決定 **にタッチする**

4 **［送信メール］にタッチする**

5 **送信するメールを選んでタッチする**

ポップアップ画面が表示されます。

未送信メールには頭に［未］と表示されます。

6 **開く にタッチする**

宛先や、CC、BCC、表題、本文を選んで編集することができます。

7 **（すぐに送信）を選んで** 決定 **にタッチする**

メール送信確認の画面が表示されます。

TO（宛先）が入力されていないと送信されません。

以降の操作は、新規に作成したメールを送信する手順(175P)と同じ流れになりますので参照してください。

■送信メールのリストを使う

すでに送信したメールを開いたり、転送、保護、削除などをすることができます。

送信したメールを確認する

既に送信したメールを開き確認することができます。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 (Eメール) を選んで 決定 にタッチする

4 [送信メール] にタッチする

5 開くメールを選んでタッチする
ポップアップ画面が表示されます。

6 **開く** にタッチする

- **戻る** にタッチすると、送信メールのリスト画面に戻ります。
- 送信メールのリストに保存されるメールは25件までです。25件ある場合は、保護されていない古いメールを削除します。全て保護されている場合は、メール作成時にエラーメッセージが表示されます。
- 送信メールのリストから開いたメールは新たに未送信のメールとして編集して保存することができます。元の送信メールのリスト内のメールはそのまま残ります。

メールを転送する

メールを転送することができます。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 (Eメール) を選んで 決定 にタッチする

4 [送信メール] にタッチする

5 転送するメールを選んでタッチする
ポップアップ画面が表示されます。

6 **転送** にタッチする

- **戻る** にタッチすると、送信メールのリスト画面に戻ります。
- 題名の先頭に自動で「FW:」と付きます。
- 引用する本文の最初には「Start of Forward Message」、最後には「End of Forward Massage」と自動で付きます。
- 添付データは転送されます。

以降の操作は、新規に作成したメールを送信する手順(175P)と同じ流れになりますので参照してください。

メールを保護（ロック）する

メールをロックすると削除されないように保護できます。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 (Eメール) を選んで 決定 にタッチする

4 [送信メール] にタッチする

つづく

5 **ロックしたいメールを選んでタッチする**
ポップアップ画面が表示されます。

6 **ロック/解除 にタッチする**
ロック/解除 にタッチするごとに、ロックと解除が切り替わります。

メールをロックすると、送信日時の前に「鍵」が表示されます。

戻る にタッチすると、送信メールのリスト画面に戻ります。

宛先をアドレスに登録する

宛先をアドレス帳に登録することができます。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 (Eメール) を選んで 決定 にタッチする

4 **［送信メール］にタッチする**

5 **アドレス帳に登録したい宛先のメールを選んでタッチする**
ポップアップ画面が表示されます。

6 **アドレス登録 にタッチする**

戻る にタッチすると、送信メールのリスト画面に戻ります。

以降の操作は、アドレス帳を新規に作成する手順（179P）と同じ流れになりますので参照してください。

メールを削除する

送信メールのリストから未送信のメールや不要のメールを削除することができます。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 (Eメール) を選んで 決定 にタッチする

4 **［送信メール］にタッチする**

5 **削除したいメールを選んでタッチする**
ポップアップ画面が表示されます。

6 **削除 にタッチする**
削除確認画面が表示されます。

- (削除) を選んで 決定 にタッチすることによりロックされていない送信メールを全て削除することができます。
- **戻る** にタッチすると、送信メールのリスト画面に戻ります。
- ロックされたメールを削除したい場合は、ロックを解除してから削除してください。

7 **了解 にタッチする**
選んだメールが削除されます。

中止 にタッチすると、送信メールのリスト画面に戻ります。

アドレス帳を操作する

頻繁にメールを送る相手をアドレス帳に登録しておくと、メールを作成するとき簡単にアドレスを入力することができます（175P）。

アドレス帳メニュー

（アイコン操作ボタンで操作します。）

（追加）	新規登録する
（読み込み）	アドレス帳データを取り込む
（書き出し）	アドレス帳データを変更した場合、保存する
（新規メール作成）	メールを新規作成する
（削除）	ロックされていないアドレスを全て削除する
（終了）	終了する

■アドレスを登録する

アドレスをアドレス帳に登録します。

登録できるアドレスは100件までです。

1 メニュー **ー インターネット にタッチする** →24P

2 メニュー **を押す**

3 **（Eメール）を選んで** 決定 **にタッチする**

4 **［アドレス帳］にタッチする**

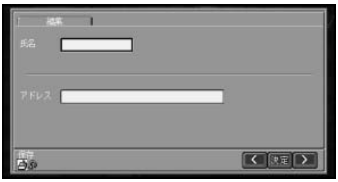
アドレス帳のリストが表示されます。

5 **（追加）を選んで** 決定 **にタッチする**

（戻る）は前画面に戻ることができます。

6 **氏名またはアドレスの入力欄を選んでタッチする**

文字の入力画面が表示されます。



7 **氏名またはアドレスを入力し、入力終了 にタッチする**

文字の入力方法は「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

登録できる氏名は全角で32文字（半角で64文字）まで、アドレスは半角で256文字までです。

8 **（保存）を選んで 決定 にタッチする**

アドレス帳のリストが表示されます。

9 **（書き出し）を選んで 決定 にタッチする**

アドレス帳に登録されます。

■アドレスを編集する

登録した氏名やアドレスの修正や編集ができます。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 （Eメール）を選んで 決定 にタッチする

4 ［アドレス帳］にタッチする

5 編集したいアドレスを選んでタッチする

ポップアップ画面が表示されます。

6 **編集** にタッチする

戻る にタッチすると、アドレス帳のリスト画面に戻ります。

7 氏名またはアドレスの入力欄を選んでタッチする

8 氏名またはアドレスを入力し、**入力終了** にタッチする

文字の入力方法は「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

9 （保存）を選んで 決定 にタッチする

アドレス帳のリストが表示されます。

10 （書き出し）を選んで **決定** にタッチする

氏名またはアドレスが変更されます。

■アドレスを保護（ロック）する

アドレスをロックすると削除されないように保護できます。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 （Eメール）を選んで 決定 にタッチする

4 ［アドレス帳］にタッチする

5 ロックしたいアドレスを選んでタッチする

ポップアップ画面が表示されます。

6 **ロック/解除** にタッチする

ロック/解除 にタッチするごとに、ロックと解除が切り替わります。

アドレスをロックすると、氏名の前に「鍵」が表示されます。

戻る にタッチすると、アドレス帳のリスト画面に戻ります。

7 （書き出し）を選んで 決定 にタッチする

アドレスがロックされます。

■アドレスを削除する

アドレス帳から不要のアドレスを削除します。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 (Eメール) を選んで 決定 にタッチする

4 ［アドレス帳］にタッチする

5 削除したいアドレスを選んでタッチする

ポップアップ画面が表示されます。

6 **削除** にタッチする

削除確認画面が表示されます。

- (削除) を選んで 決定 にタッチすることによりロックされていないアドレスを全て削除することができます。
- **戻る** にタッチすると、アドレス帳のリスト画面に戻ります。
- ロックされたアドレスを削除したい場合は、ロックを解除してから削除してください。

7 **了解** にタッチする

中止 にタッチすると、アドレス帳のリスト画面に戻ります。

8 (書き出し) を選んで 決定 にタッチする

選んだアドレスが削除されます。

■アドレスのリストを変更前の状態に戻す

アドレスの登録、編集、保護、削除操作中の書き出し（）前であれば、（読み込み）を選んで 決定 にタッチすることにより、アドレスを変更前の状態に戻せます。

定型文を操作する

メールのタイトルや本文に定型文を使うと、素早くメールを作成することができます（175P）。また定型文を編集して、お好みの文章を登録しておくことができます。

- あらかじめ27種類の定型文が登録されています。

おはよう	A Happy New Year!
こんにちは。	Merry Christmas!
こんばんは。	待っています。
お世話になっております。	あとで連絡します。
おつかれさま。	遅れます。
おやすみなさい。	電話をします。
よろしくお願いします。	待っていてください。
OKです。	連絡ください。
NGです。	電話をください。
ありがとう。	メールをください。
ごめんなさい。	どこにいる？
わかりました。	何してる？
おめでとう！	元気？
Happy Birthday!	

- あらかじめ登録されている定型文を編集し登録することができます。
- 登録できる定型文は50件（あらかじめ登録されている27種類を含め）までです。
- 定型文設定画面中メニューを押してメニューバーを表示させることができますが、アイコンを操作することはできません。

■定型文を登録する

定型文を登録します。

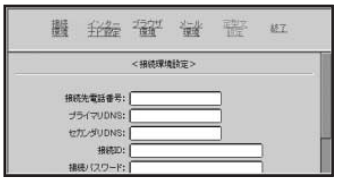
1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 (設定) を選んで 決定 にタッチする

4 ［定型文設定］にタッチする

定型文設定画面が表示されます。



5 **新規** にタッチする

6 定型文の入力欄を選んでタッチする

7 定型文を入力し、**入力終了** にタッチする

文字の入力方法は「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

登録できる定型文の長さは全角で32文字（半角で64文字）までです。

8 **実行** にタッチする

定型文が登録されます。

戻る にタッチすると、入力する前の状態にし、定型文設定画面に戻します。

■定型文を編集する

定型文を編集します。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 (設定) を選んで 決定 にタッチする

4 ［定型文設定］にタッチする

5 編集したい定型文を選んでタッチする

6 **編集** にタッチする

戻る にタッチすると、定型文設定画面に戻ります。

7 定型文の入力欄を選んでタッチする

8 定型文を入力し、**入力終了**にタッチする

文字の入力方法は「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

9 **実行**にタッチする

編集した定型文が登録されます。

戻るにタッチすると、入力する前の状態にし、定型文設定画面に戻ります。

■定型文を削除する

定型文を削除します。

1 メニュー ー **インターネット**にタッチする→24P

2 メニューを押す

3 （設定）を選んで**決定**にタッチする

4 ［定型文設定］にタッチする

5 削除したい定型文を選んでタッチする

6 **削除**にタッチする

削除確認画面が表示されます。

7 **はい**にタッチする

選んだ定型文が削除されます。

いいえにタッチすると、定型文設定画面に戻ります。

シグネチャー（署名）を登録する

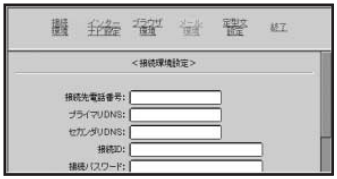
パソコンなどと同じように、メールの本文に署名を付けて送ることができます。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 （設定）を選んで 決定 にタッチする

4 ［メール環境］にタッチする



5 シグネチャーの入力欄を選んでタッチする

6 シグチネャーを入力し、**入力終了** にタッチする

文字の入力方法は「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

7 **実行** にタッチする

メール環境設定の画面に戻ります。

中止 にタッチすると、入力する前の状態に戻します。

メールを受信する

メールの受信には、受信操作を行います。受信したメールがあった場合は「受信メール」に保存されますので、受信メールのリストを操作して読んだり返信したり転送したりします。

受信メールメニュー

（アイコン操作ボタンで操作してください。）

（受信）	メールサーバーに接続して新しくメールを受信する
（送受信）	送信リスト上全ての未送信メールを送信し、メールを受信する
（新規メール作成）	メールを新規作成する
（並べ替え）	メールを並べ替える
（削除）	ロックされていない受信メールを全て削除する
（終了）	終了する

■メールを受信する

メールサーバーからメールを受信します。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 (Eメール)を選んで 決定 にタッチする

4 (受信)を選んで 決定 にタッチする

メールを受信します。

- メール受信時は自動的に、電話をかけてから受信し、終了後に電話を切ります。すでにインターネット画面などでネットワークに接続されている場合は、そのまま受信されます。このとき、受信が終了しても、電話は切れません。
- 一度に全てのメールを受信します。
- 受信できる1件のメールのサイズは、16kbyteまでです。16kbyteを超えた分は削除して受信します。(本機内部の動作などの理由により、メールの末尾が削除される場合があります。)
- メール受信が完了すると、メッセージが表示されます。また受信したメールは「受信メール」に保存されます。
- メール受信が完了できなかった場合は、メッセージが表示されます。

■受信したメールを読む

受信したメールは「受信メール」に保存されますので、受信メールのリストを表示してメールを読みます。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 (Eメール)を選んで 決定 にタッチする

4 [受信メール]にタッチする

- 「受信メール」に保存されるメールは25件までです。
- 受信メールのリストでは未読のメールには[未]が表示されます。
- 受信メールのリストからメールを選択して返信、転送ができます。
- (並べ替え)を選んで **決定** にタッチすると、氏名順、表題順、日付順にメールの表示を切り替えることができます。

5 読むメールを選んでタッチする

ポップアップ画面が表示されます。

6 **開く** にタッチする

- (前のメールを見る、次のメールを見る)を選んで 決定 にタッチすると、次のメールまたは前のメールを表示します。
- (戻る)を選んで 決定 にタッチすると前画面に戻ることができます。
- 添付ファイルがある場合、**添付** にタッチすると添付ファイルリストが表示され、添付ファイルを開く(188P)ことができます。(受信メールのリストで添付の欄に[有]と表示されます。)
- (返信)を選んで 決定 にタッチすることにより返信できます。
- (転送)を選んで 決定 にタッチすることにより転送できます。

■受信メールのリストを使う

受信したメールを返信したり、転送、保護、削除などをすることができます。

メールを返信する

メールを送ってきた相手を宛先として、返信メールの作成を行います。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 (Eメール) を選んで 決定 にタッチする

4 [受信メール] にタッチする

5 返信するメールにタッチする

ポップアップ画面が表示されます。

6 **返信** にタッチする

宛先が入力されて、未送信メール作成の画面が表示されます。

- メールが複数の相手先を設定したものであった場合に、全員へ返信することができます。
- 題名の先頭に自動で「RE：」と付きます。
- 引用する本文の行頭に「>」と自動で付きます。
- 添付データも返信されます。
- (返信) より返信することもできます(185P)。

以降の操作は、新規に作成したメールを送信する手順(175P)と同じ流れになりますので参照してください。

メールを転送する

送られたメールの本文をそのままに、他の人へメールを転送します。

1 メニュー ー **インターネット** にタッチする →24P

2 メニュー を押す

3 (Eメール) を選んで 決定 にタッチする

4 [受信メール] にタッチする

5 転送するメールを選んでタッチする

ポップアップ画面が表示されます。

6 **転送** にタッチする

本文をそのままに、未送信メール作成の画面が表示されます。

- 題名の先頭に自動で「FW：」と付きます。
- 引用する本文の最初には「Start of Forward Message」、最後には「End of Forward Message」と自動で付きます。
- 添付データは転送されます。
- (転送) より転送することもできます (185P)。

以降の操作は、新規に作成したメールを送信する手順(175P)と同じ流れになりますので参照してください。

メールを保護（ロック）する

メールをロックすると、削除されないように保護します。

1 メニュー **ー インターネット にタッチする** →24P

2 メニュー **を押す**

3 (Eメール) **を選んで** 決定 **にタッチする**

4 **［受信メール］にタッチする**

5 **ロックしたいメールを選んでタッチする**
ポップアップ画面が表示されます。

6 **ロック/解除 にタッチする**
ロック/解除 にタッチするごとに、ロックと解除が切り替わります。

メールをロックすると、受信日時の前に「鍵」が表示されます。

戻る にタッチすると、受信メールのリスト画面に戻ります。

宛先をアドレスに登録する

宛先をアドレス帳に登録することができます。

1 メニュー **ー インターネット にタッチする** →24P

2 メニュー **を押す**

3 (Eメール) **を選んで** 決定 **にタッチする**

4 **［受信メール］にタッチする**

5 **アドレス帳に登録したい宛先のメールを選んでタッチする**
ポップアップ画面が表示されます。

6 **アドレス登録 にタッチする**

戻る にタッチすると、受信メールのリスト画面に戻ります。

以降の操作は、アドレス帳を登録する手順(179P)と同じ流れになりますので参照してください。

メールを削除する

受信メールのリストから不要のメールを削除することができます。

1 メニュー **ー インターネット にタッチする** →24P

2 メニュー **を押す**

3 (Eメール) **を選んで** 決定 **にタッチする**

4 **［受信メール］にタッチする**

5 **削除したいメールを選んでタッチする**
ポップアップ画面が表示されます。

6 **削除 にタッチする**
削除確認画面が表示されます。

つづく ≫

- （削除）を選んで 決定 にタッチすることによりロックされていない受信メールを全て削除することができます。
- 戻る にタッチすると、受信メールのリスト画面に戻ります。
- ロックされたメールを削除したい場合は、ロックを解除してから削除してください。

7 了解 にタッチする

選んだメールが削除されます。

中止 にタッチすると、受信メールのリスト画面に戻ります。

■添付ファイルを開く

受信したメールにファイルが添付されていた場合、添付ファイルを見ることができます。

表示可能なファイル形式は、テキストファイル、JPEG、GIFです。

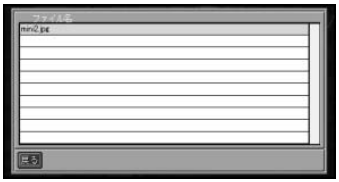
1 受信したメールを表示する→185P

2 添付 にタッチする

添付ファイルリストが表示されます。

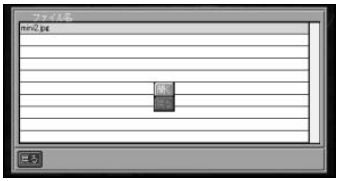
3 見たいファイルを選んでタッチする

ポップアップ画面が表示されます。



4 開く にタッチする

ファイルが表示されます。



戻る にタッチすると、添付ファイルのリスト画面になります。

添付ファイルを操作する

添付ファイルを見たり、削除したりすることができます。

■添付ファイルを開く

添付ファイルを見ることができます。

- 表示可能なファイル形式は、テキストファイル、JPEG、GIFです。
- 保存できる添付ファイルは、合計400K byteまでです。

1 メニュー ー インターネット にタッチする→24P

2 メニュー を押す

3 （Eメール）を選んで 決定 にタッチする

4 ［添付］にタッチする

以降の操作は、受信メールの「添付ファイルを開く」と同じ流れになりますので参照してください。

■添付ファイルを削除する

不要な添付ファイルを削除することができます。

1 メニュー **ー インターネット にタッチする** →24P

2 メニュー **を押す**

3 （Eメール）**を選んで** 決定 **にタッチする**

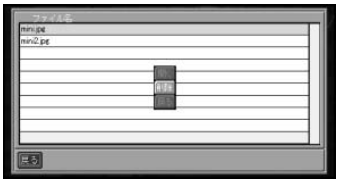
4 **［添付］にタッチする**

5 **削除したいファイルを選んでタッチする**

ポップアップ画面が表示されます。

6 **削除 にタッチする**

削除確認画面が表示されます。



- （削除）を選んで 決定 にタッチすることにより全て削除することができます。
- 戻る にタッチすると、添付ファイルのリスト画面に戻ります。

7 **了解 にタッチする**

選んだファイルが削除されます。

中止 にタッチすると、削除画面の選択画面に戻ります。

■並べ替える

添付ファイルをファイル名順に並べ替えます。

1 メニュー **ー インターネット にタッチする** →24P

2 メニュー **を押す**

3 （Eメール）**を選んで** 決定 **にタッチする**

4 **［添付］にタッチする**

5 （並べ替え）**を選んで** 決定 **にタッチする**

ファイル名順に並び替わります。

デジタル携帯電話をつなぐと、本機の通信機能が利用できるようになります。

携帯電話を利用する前に

通信機能を使うには、次の機器が必要です。

- データ通信に対応したデジタル携帯電話
- 本機←→デジタル携帯電話間の専用ケーブル「cdmaOne™」携帯電話をお使いの場合は、cdmaOne™用アダプター「CD-H12」（別売）をお使いください。

本機と携帯電話をつなぐだけで、音声認識コントローラーで、電話の発信・着信の操作ができるようになります。また音声認識用のマイクを通してハンズフリー通話もできます。

携帯電話のつなぎかたについて詳しくは、『取付説明書』を参照してください。

- 本機では、PDCおよびcdmaOne™携帯電話に対応しています。ただし、機種によっては使用できない場合があります。また、さらにサービス契約が必要な場合もあります。
  - 通信後、電話が切れたこと（回線の切断）を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。
  - 本機にパケット通信に対応した「cdmaOne™」携帯電話をつないだ場合、契約形態によっては携帯電話側で64kbpsのパケット通信または14.4kbps通信の両方を切り替えて利用できます。
  - 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などの機能は解除してから接続してください。
  - 携帯電話側の車載設定によっては、常時照明がONになる機種がありますので、携帯電話のバッテリー切れの原因になります。携帯電話の仕様を確認の上ご使用ください。

携帯電話で通話するときは

ナビゲーション本体に携帯電話を接続してハンズフリー通話をするときには、携帯電話の着信音と通話相手の音声はカーステレオのスピーカーから出力されます。
通話相手の音声が聞きとりやすいように、受話音量を調整してください。→118P

パケット通信に対応した「cdmaOne™」携帯電話をお使いで、インターネットの利用中に電話を着信した場合は、インターネットの接続は切断されます。通話終了後、インターネットを再接続してください。

- 本機の電源ON/OFF（エンジンのON/OFF）に関係なく、携帯電話をつないだり、取り外したりできます。
  - ナビゲーション本体に携帯電話をつなぐと、通話中のとき以外は携帯電話の電源が一度OFFになり、その後自動的にONになります。（呼び出し中の場合も一度電源がOFFになりますので、ご注意ください。）
  - ナビゲーション本体に携帯電話をつなぐと、携帯電話の電源ボタンは機能しなくなります。（携帯電話の電源は、ナビゲーション本体の電源のON/OFF（エンジンのON/OFF）に連動します。）
  - ナビゲーション本体から携帯電話への充電および給電は行われません。

- 本機は、キャッチホンおよび三者通話サービスには対応していません。本機のリモコンではこれらの操作を行うことができませんので、携帯電話側で操作してください。なお、キャッチホンや三者通話サービスのご利用中に本機のリモコンを操作すると、通話が切れることがあります。（キャッチホン、三者通話サービスの詳細は、携帯電話の説明書を参照してください。）
- 電話が着信すると“トゥルルルル”という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がカーステレオのスピーカーから流れない場合があります。

携帯電話を使う

ナビゲーション本体にデジタル携帯電話を接続し、本機のディスプレイで電話をコントロールできます。

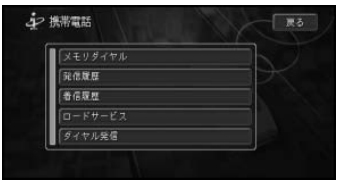
運転中は携帯電話の操作をしないでください。事故の原因となります。

携帯電話のつなぎかたについて詳しくは、『取付説明書』を参照してください。

■電話をかける

1 メニュー ー **携帯電話** にタッチする → 24P

2 **ダイヤル発信** にタッチする



3 **電話番号を入力し、発信 にタッチする**

相手先に電話が発信され、相手と話すことができます。

つづく

- 発信を中止するときは、音声認識コントローラーの〔操作〕を押します。
- 音声認識コントローラーの〔操作〕を押して発信することもできます。
- 携帯電話でダイヤルし〔オフフック〕ボタンを押して発信することもできます。

▼

発信通話中は、画面右上に電話機のマークが表示されます。

4 話し終わったら音声認識コントローラーの〔操作〕を押して、電話を切る

携帯電話の〔オンフック〕ボタンを押して電話を切ることもできます。

■地図に登録された電話番号にかける

地図上の施設情報として電話番号が収録されている場合には、本機を電話帳代わりに利用することもできます。また、登録した場所に電話番号が入力されていれば、登録地のリストから相手を選び、電話をかけることもできます。

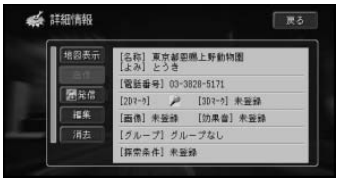
ここでは、登録地のリストから電話をかける操作を例に説明します。

1 「登録地から探す」（40P）の操作で、登録地のリストを表示させる

2 電話の相手先となる地点名を選んでタッチする

3 詳細情報にタッチする

4 発信にタッチする



▼

詳細情報として入力されている電話番号にダイヤルを始めます。

■電話を受ける（ハンズフリー通話）

電話がかかってくると

本機と携帯電話を接続している場合には、電話がかかってきたときに電話の着信を案内する、以下のような画面が表示され、同時に着信案内の音が流れます。

かけてきた相手の電話番号などが表示されます。

- 登録した場所に入力されている電話番号と一致した場合には、その場所の名前が表示されます。（画像を登録している場合は、画像も同時に表示されます。）
- メモリダイヤル（193P）に登録されている電話番号と一致した場合、メモリダイヤルで登録した名前が表示されます。（登録してある場所とメモリダイヤルの電話番号が同じ場合は、登録した場所の名前が表示されます。）

- 1つの電話番号が複数の登録した場所やメモリダイヤル、または該当するデータが本機に登録されていない場合は、かけてきた相手の電話番号が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。

かかってきた電話に出るには

電話がかかってきたときに音声認識コントローラーの操作を押すと電話がつながり、相手と話すことができます。電話を切る場合は、もう一度操作を押します。

- 携帯電話の〔オフフック〕ボタンを押して電話に出ることもできます。
- 携帯電話の〔オンフック〕ボタンを押して電話を切ることもできます。

応答保留するには

電話がかかってきたときに音声認識コントローラーの訂正を押すと、応答保留することができます。

応答保留中は操作で電話がつながり、訂正で電話が切れます。

携帯電話の〔オンフック〕や〔オフフック〕ボタンも同様に使うことができます。

■メモリダイヤルから電話をかける

携帯電話に登録してあるメモリダイヤルを本機に読み込ませておけば、本機のメモリダイヤルとして使用して、電話をかけることができます。

メモリダイヤルの読み込み

携帯電話より500件までのデータを本機に読み込むことができます。

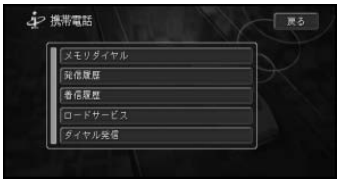
- 読み込めるデータは、名前、よみがな、電話番号、グループ、メモリ番号のデータです。
- 1つのメモリ番号に2つ以上の電話番号を登録できる携帯電話の読み込みの場合、いずれか1つの電話番号を読み込みます。
- 読み込んだデータはハードディスクに保存され、新しいデータを読み込むと上書きされます。
- メモリダイヤルは、編集することはできません。

メモリダイヤルの消去方法は、「携帯電話情報を消去する」(101P)を参照してください。

1 メニュー ー **携帯電話** にタッチする → 24P

つづく

2 メモリダイヤル にタッチする



3 読み込み にタッチする

暗証番号の入力画面が表示されます。

4 暗証番号を入力し、入力終了 にタッチする

- 携帯電話の事業者によっては、携帯電話の暗証番号に電話機本体の各種機能を操作するためのものと、「留守番電話サービス」など、通信会社で提供している各種サービスを一般電話から利用するためのもの（携帯電話契約時に登録した暗証番号）の2種類がある場合があります。ご利用の携帯電話によっては、暗証番号のどちらを入力するかが異なります。一方の暗証番号で転送できない場合は、もう一方の暗証番号を入力してください。
- 誤った暗証番号を入力すると、番号が違うことを知らせるメッセージが表示されたあと、入力画面に戻ります。
- 読み込み中に 中止 にタッチすると読み込みを中止できますが、その際すでに読み込まれたデータは保存されます。

▼

データの読み込みが開始されます。

▼

読み込みが完了すると地図画面に戻り、メモリダイヤルとして使用することができるようになります。

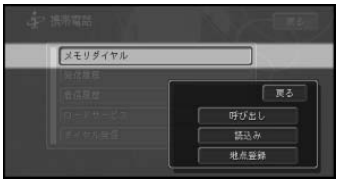
- 読み込みに失敗した場合は、失敗を伝えるメッセージが表示されます。ケーブルの接続を確認して、もう一度やり直してみてください。
- 保存される情報の数や文字数は、携帯電話の機種によって異なります。
- 携帯電話のシークレット機能を使って登録したメモリダイヤルも一緒に読み込まれます。
- グループを登録していないデータは、そのグループ番号000としてリストの最初に表示されます。

メモリダイヤルを使う

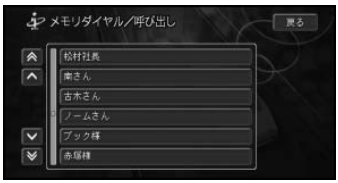
1 メニュー ー **携帯電話** にタッチする → 24P

2 **メモリダイヤル** にタッチする

3 メニューから **呼び出し** にタッチする



4 **発信したい相手先を選んでタッチする**
相手先の詳細情報画面が表示されます。



5 **発信** にタッチする

- **詳細情報** にタッチすると、メモリダイヤルの詳細情報が表示されます。詳細情報画面から **発信** にタッチしても発信することができます。
- グループを登録していないデータは、そのグループ番号000として表示されます。

▼

電話が発信されます。

■通話の履歴から電話をかける

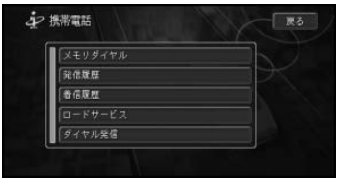
携帯電話を本機に接続した状態で使用した発信履歴、着信履歴から電話をかけることができます。

履歴は発信・着信とも、それぞれ10件まで自動的に保存され、10件を超えると日付の古い履歴から上書きされていきます。

履歴の消去方法は、「携帯電話情報を消去する」（101P）を参照してください。

1 メニュー ー **携帯電話** にタッチする → 24P

2 **発信履歴** または **着信履歴** にタッチする



3 **発信したい相手先を選んでタッチする**
履歴の詳細情報画面が表示されます。

つづく

電話番号非通知で着信した履歴については、着信履歴表示で「非通知」と表示されます。非通知の履歴に対して電話を発信することはできません。

4 **発信** にタッチする

- **詳細情報** にタッチすると、履歴の詳細情報が表示されます。詳細情報画面から **発信** にタッチしても発信できます。
- 日時は発信、着信した月日、時間、分を表示します。

▼

電話が発信されます。

■電話番号から地点を登録する

携帯電話から転送した電話番号データにより、場所を探して地点登録することができます。

1 メニュー ー **携帯電話** にタッチする → 24P

2 **メモリダイヤル** にタッチする

3 **地点登録** にタッチする

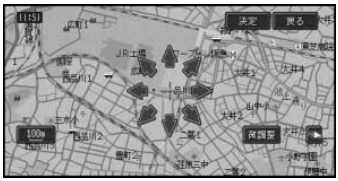
4 **地点登録したい相手先を選んでタッチする**

本機に登録されている電話番号データと一致する地点の地図画面が表示されます。

一致する地点データが見つからない場合は、検索画面でメッセージが表示されますので、「場所を探す」（30P）と同様の流れで場所を設定してください。

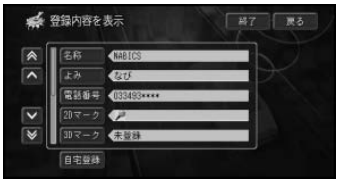
5 **地図をスクロールさせて、登録したい場所を選んだ後に 決定 にタッチする**

画面上の十字に交差している地点を登録地に合わせます。
ショートカットメニューが表示されます。



6 **終了 にタッチする**

電話データより探した地点が登録され、地図画面に戻ります。



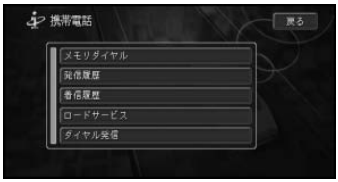
■ロードサービスを利用する

車が故障したときなど、ドライブ中にトラブルがあったときには、最寄りのJAFやカーレスキュー70のロードサービスに電話をかけることができます。

1 メニュー ー **携帯電話** にタッチする → *24P*

2 **ロードサービス にタッチする**

ロードサービスのリストが表示されます。



「カーレスキュー70」は、翼システム株式会社が運営するロードサービスです。

3 **利用したいロードサービスを選んでタッチする**

4 **発信 にタッチする**

詳細情報 にタッチすると、ロードサービスの詳細情報が表示されます。詳細情報画面から **発信** にタッチしても発信できます。

▼

電話が発信されます。

音声操作のポイント

本機では、いろいろな機能を音声で操作することができます。音声で操作するときは、次のポイントを押えて操作してください。

発話を正しく認識させるには

発話を正しく認識させるために、以下の点に留意してください。

カーステレオの音量を下げる

発話以外の音があると、認識されにくくなったり、誤認識の原因になります。例えば、ラジオからの音声が、音声認識語と誤認識されることも考えられます。

自動車の窓は閉めておく

カーステレオの音と同様、風切り音や外の騒音などは、発話を正しく認識できない原因となるので、自動車の窓は必ず閉めてください。

マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付ける

発話した声をマイクが十分に拾うよう、マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付けてください。発話時に姿勢を変えると、使いにくいだけでなく、安全な走行にも支障があります。十分留意して、マイクの取り付け位置を決めてください。

マイクの取り付けかたについては、『取付説明書』を参照してください。

はっきりと明瞭に発話する

早口になったり、口ごもったりしないよう、はっきりと、明瞭に発話してください。マイクが適切な位置に取り付けられていれば、大きな声を出す必要はありません。

音声認識語を正しく発音する

にごらないはずの音をにごって発話すると、正しく認識されない原因となります。また、読みかたのルール（音声認識語）に沿わない発話も正しく認識されないことがあります。

音声案内中は発話しない

本機から、案内の音声や応答メッセージが出ているときは、発話しないでください。

発声の特徴を学習させる

音声認識の認識率を向上させるために、使用者の発声の特徴を学習させることができます。あらかじめ決められた単語を発音してください。これにより、発声の特徴を学習して認識率を向上させます。

発声の特徴を学習させるには、「発声の特徴を学習する」（203P）を参照してください。

通常の音声操作中でも継続的に音声認識の学習を行っていますので一時的に使用者が異なる場合には［機能設定］の［音声認識学習使用］をOFFにしてください。

キャラクタの案内

本機が音声操作状態になっている場合は、画面上にキャラクタが表示され、発話を促す場合はわかりやすく案内をします。

キャラクタは、日時によりコスチュームが変わります。

■発話するタイミング

発話するときは、“ピッ”と音が鳴って画面左下のキャラクタが首をかしげ、マイクを差し出してから発話してください。通常の姿勢（首をかしげていない状態）の場合は、場所または操作を押すと、首をかしげて発話できる状態になります。

この状態のときに発話してください。

この状態のときは発話できません。

音声操作に慣れるまで、停車状態で練習し、“ピッ”という音とキャラクタがマイクを差し出すタイミングをつかんでください。走行時には、“ピッ”という音をきっかけに発話してください。

音声操作の流れ

■基本的な流れ

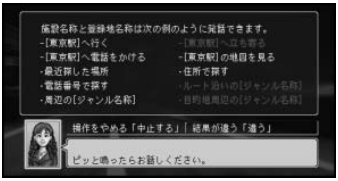
音声操作は、基本的に次のような流れで進めていきます。

場所または操作を押して音声操作を始めます。

ここでは例として、場所を住所で探す方法について説明します。この場合は場所を押しての操作となります。

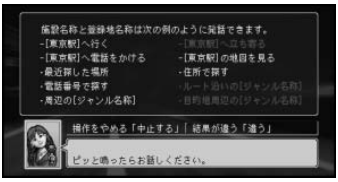
1 場所を押す

画面上に女性キャラクタが表示されます。“ピッ”と音が鳴ってキャラクタが首をかしげたら、発話を受け付け可能な状態になります。



発話の際は、“ピッ”という音をきっかけにしてください。

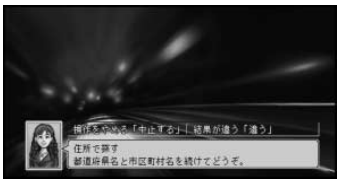
2 “ピッ”と音が鳴ったら、“住所で探す”などの音声認識語をマイクに向かって発話する



本機が応答メッセージを返している間でも、場所を押すと発話できます。（応答メッセージが中断されて、“ピッ”と音が鳴ります。）

つづく

3 “ピッ”と音が鳴ったら、都道府県名と市区町村名を続けて発話する



都道府県名と市区町村名を分けて発話することもできます。

4 “ピッ”と音が鳴ったら、住所名を発話する

5 “ピッ”と音が鳴ったら、地名（丁目）を発話する

▼

目的の場所の地図が表示されます。

■基本的な始めかた

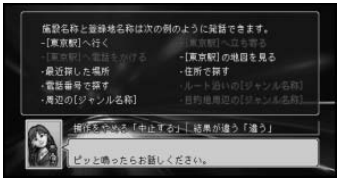
ボタン	音声認識語		説明ページ
場所	○○（施設名称）		→207P
	○○（施設名称）へ行く		→207P
	○○（施設名称）へ立ち寄る		→207P
	○○（施設名称）の地図を見る		→207P
	○○（施設名称）へ電話をかける		→207P
	都道府県名の施設		→207P
	最近探した場所		→206P
	登録した場所		→206P
	○○（登録地名称）へ行く		→206P
	○○（登録地名称）へ立ち寄る		→206P
	○○（登録地名称）へ電話をかける		→206P
	自宅へ帰る		→207P
	○○（登録地名称）の地図を見る		→206P
	目的地の地図を見る		→207P
	住所で探す		→205P
	電話番号で探す		→205P
	周辺の○○（ジャンル名/サブジャンル名） 一番近い○○（ジャンル名/サブジャンル名）		→204P
	ルート沿いの○○（ジャンル名/サブジャンル名）		→204P
	目的地周辺の○○（ジャンル名/サブジャンル名）		→204P
操作	基本操作		→208P
	ルート操作		→210P
	VICS情報		→211P
	携帯電話		→212P
	その他の操作		→219P
	AV操作	テレビ	→214P
		ビデオ	→214P
		MP3ディスク	→215P
		CD	→215P
		ミュージックサーバー	→216P
		MD	→217P
		ラジオ	→218P

■音声操作の注意点

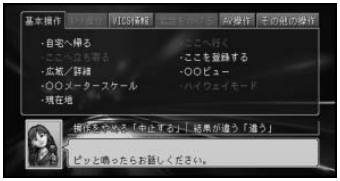
発話できる言葉がわからない場合

停車しているときは、音声操作を始めると、画面にそのときに発話できる音声認識語の一覧「ボイスヘルプ」が表示されます。
ボイスヘルプは、場所または操作を押して操作している場合に、各々に対応した画面を表示します。

場所による操作時のボイスヘルプ



操作による操作時のボイスヘルプ



画面にメニューが表示されます。
メニュー項目を発話するか、メニュー項目を直接タッチするかで、各項目の発話できる言葉が表示されます。

操作に慣れないうちは、安全な場所に停車して、ボイスヘルプに表示された音声認識語を参考にして発話してください。
なお、走行中は画面上には表示されませんが、“ ボイスヘルプ ”と発話すると、発話できる言葉を本機が音声で読み上げてくれます。（停車中でも音声での読み上げは行われます。）

- ボイスヘルプに表示されなくても、発話できる言葉もあります。
- 操作に慣れてボイスヘルプを見る必要がなくなったときは、「機能設定」の「ボイスヘルプ」（115P）を［マニュアル］に設定すると表示されなくなります。この場合、“ ボイスヘルプ ”と発話したときだけ表示されます。

本機が認識した言葉が発話した言葉と違っていた場合

「千葉県」「滋賀県」「佐賀県」のように発音が似ている地名では、“ 千葉県 ”と発話しているのに「滋賀県」と認識されることがあります。
このような場合は、もう一度訂正を押して発話し直してください。

- 誤認識した言葉は一時的に認識候補から外されるので、正しく認識しやすくなります。
- 訂正を押すかわりに“ 違う ”と発話しても、同じ操作を行えます。

言い間違えたときなど、直前の操作に戻りたい場合

“ 違う ”と発話してください。直前の画面に戻り、次の発話待ちの状態になります。

操作を途中でやめたい場合

“ 中止する ”と発話してください。地図画面に戻ります。

現在地を押しても、音声操作を中止して地図画面に戻ることができます。

現在地画面にしたい場合

“ げんざいち ”と発話してください。現在地画面が表示されます。

［ここからはタッチボタンで操作してください］とアナウンスされた場合

［ここからはタッチボタンで操作してください］とアナウンスされた場合は、以降の操作はタッチボタンで操作してください。メッセージ表示中は戻るを押して戻ることができます。

ETCの音声案内が流れてきたら

本機にETCユニット「ND-ETC2」を接続して、ETC（自動料金収受システム）を利用している場合、高速道路の入り口や出口付近などでETCの音声案内が流れます。
音声認識操作を行っているときにETCの音声案内が流れてくると、音声認識はいったん中断され、発話を受け付けない状態になります。（キャラクタのイラストが一時的に縮小表示に変わります。）

ETCの音声案内が終了すると、音声操作が可能な状態に戻ります。画面左下にキャラクタが表示されたら、操作または場所を押して通常どおり音声操作を続けてください。

発声の特徴を学習する

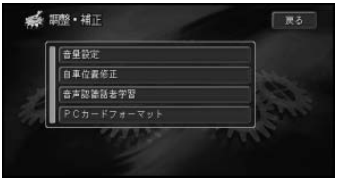
音声認識の認識率を向上させるために、使用者の発声の特徴を学習させることができます。
あらかじめ決められた単語を発音してください。これにより、発声の特徴を学習して認識率を向上させます。
音声操作をご使用になる前に、発声の特徴を学習させてください。

- 「発話を正しく認識させるには」（198P）を確認の上、正しく発話してください。
- 発声の特徴を学習させた人以外が音声操作をご使用になる場合は、「機能設定」の「音声認識話者学習使用」（115P）をOFFにしてください。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **各種設定** にタッチする →25P

2 **調整・補正** にタッチする

3 **音声認識話者学習** にタッチする

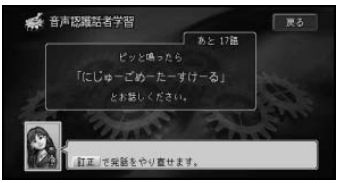


4 **初期話者学習** にタッチする

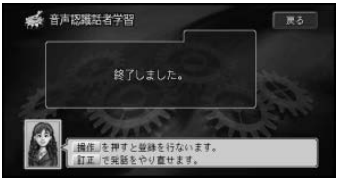
既に学習してある場合は、前に学習した内容を消去して新たに学習します。

5 **音声認識コントローラーの操作を押す**
画面上に女性キャラクタが表示され、音声案内が流れます。

6 **画面上に表示されている単語を発話する**
“ピッ”と音が鳴ってキャラクタが首をかしげたら、発話を受け付け可能な状態になります。
発話する単語が画面上に次々と表示されますので発話してください。
画面上には残りの単語数が表示されます。



7 **画面上に［終了しました。］と表示されたら操作を押す**
今までに発話した単語から、発声の特徴を学習します。
学習終了後は、地図画面に戻ります。



■学習内容を消去する

手順4で **話者学習クリア** を選ぶと、前に学習した内容を消去することができます。

近くのガソリンスタンドなどを探す

周辺検索で近くのガソリンスタンドなどを探します。

■周辺を探す

現在地および十字カーソル周辺の施設を探します。

1 場所を押して、“周辺の○○（ジャンル名）”と発話する

指定したジャンルのお店の名前とそこまでの距離が案内されます。

ジャンル名は「検索できるジャンルの種類」（221P）を参照してください。

- “出光”などのサブジャンル名を発話することもできます。
- 現在地よりいちばん近い施設から表示します。
- “一番近い○○（ジャンル名）”と発話することもできます。

2 場所を押して、“ピッ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する。または、画面上に表示される各ボタンにタッチする

“ここへ行く”	案内中のルートがあるとき、操作または場所を押すとルート探索が始まる。案内中のルートがないとき、ここまでのルート探索が始まる。
“ここへ立ち寄る”	操作または場所を押すと、立ち寄るルート探索が始まる。
“ここの地図を見る”	ここの地図が表示される。
“前の施設”	前の施設を表示する。
“次の施設”	次の施設を表示する。

■目的地周辺を探す

目的地周辺の施設を探します。

1 場所を押して、“目的地周辺の○○（ジャンル名）”と発話する

指定したジャンルのお店の名前とそこまでの距離が案内されます。

ジャンル名は「検索できるジャンルの種類」（221P）を参照してください。

“出光”などのサブジャンル名を発話することもできます。

2 場所を押して、“ピッ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する。または、画面上に表示される各ボタンにタッチする

“ここへ行く”	案内中のルートがあるとき、操作または場所を押すとルート探索が始まる。案内中のルートがないとき、ここまでのルート探索が始まる。
“ここへ立ち寄る”	操作または場所を押すと、立ち寄るルート探索が始まる。
“ここの地図を見る”	ここの地図が表示される。
“前の施設”	前の施設を表示する。
“次の施設”	次の施設を表示する。

■ルート沿いの施設を探す

ルートが設定してある場合、ルート沿いの施設を探します。

1 場所を押して、“ルート沿いの○○（ジャンル名）”と発話する

指定したジャンルのお店の名前とそこまでの距離が案内されます。

- “出光”などのサブジャンル名を発話することもできます。
- ルート沿いに施設がない場合やルート上ではない場合、自車位置周辺の施設を探します。

・“ ルート周辺の○○ ”と発話することもできます。

2 場所を押して、“ ピッ ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する。または、画面上に表示される各ボタンにタッチする

“ ここへ行く ”	操作または場所を押すとルート探索が始まる。
“ ここへ立ち寄る ”	操作または場所を押すと、立ち寄るルート探索が始まる。
“ ここの地図を見る ”	ここの地図が表示される。
“ 前の施設 ”	前の施設を表示する。
“ 次の施設 ”	次の施設を表示する。

住所を指定して探す

住所から場所を呼び出します。

1 場所を押して、“ 住所で探す ”と発話する

2 “ ピッ ”と音が鳴ったら、都道府県名と市区町村名を続けて発話する

ⓘ 都道府県名と市区町村名を分けて発話することもできます。

3 “ ピッ ”と音が鳴ったら、住所名を発話する

ⓘ
- “ 主要部 ”と発話すると、そこまで発話した代表地点を表示します。
- 政令指定都市では、市と区を分けて発話できますが“ ○○市 ”の後に“ 主要部 ”を発話することはできません。区まで発話してください。
- 住所名と丁目を続けて発話することもできます。

4 “ ピッ ”と音が鳴ったら、地名（丁目）を発話する

地名の代表地点が表示されます。

電話番号から場所を探す

電話番号から場所を探します。

1 場所を押して、“ 電話番号で探す ”と発話する

2 “ ピッ ”と音が鳴ったら、市外局番と市内局番を続けて発話する

3 “ ピッ ”と音が鳴ったら、残りの番号を発話する

ⓘ 市外局番と市内局番を分けて発話することもできます。

4 “ ピッ ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する

“ ここへ行く ”	案内中のルートがある場合、操作または場所を押すとここまでのルート探索が始まる。 案内中のルートがない場合、ここまでのルート探索が始まる。
“ ここへ立ち寄る ”	操作または場所を押すと、ここに立ち寄るルート探索が始まる。
“ ここの地図を見る ”	ここの地図が表示される。

ⓘ お店や電話番号が登録されている登録地などの電話番号のみ手順4に進みます。個人宅の電話番号は手順3の後に代表地点が表示されます。

登録した場所を探す

登録した場所を探します。

登録した場所に入力したよみを元にその場所が検索されます。よみが入力されていない場所は検索の対象になりません。

よみの付けかたは、「登録地のよみを変更する」（71P）を参照してください。

1 場所を押して、“登録した場所”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、登録地名を発話する

登録地のよみの一覧が表示されますので、参考にして発話してください。複数のページがある場合は、“次のページ”、“前のページ”と発話するか、タッチボタンの操作でページ送りできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する

“ここへ行く”	案内中のルートがある場合、操作または場所を押すとここまでのルート探索が始まる。 案内中のルートがない場合、ここまでのルート探索が始まる。
“ここへ立ち寄る”	操作または場所を押すと、ここに立ち寄るルート探索が始まる。
“ここの地図を見る”	ここの地図が表示される。
“ここへ電話をかける”	操作または場所を押すここへ電話をかける。

- 電話をかける場合は、電話番号が登録されている必要があります。
- 手順1～3のかわりに場所を押して“○○（登録地名よみ）へ行く”、“○○（登録地名よみ）へ立ち寄る”、“○○（登録地名よみ）へ電話をかける”、“○○（登録地名よみ）の地図を見る”、“○○（登録地名よみ）”と発話することもできます。
- 同じよみで登録された地点が2ヶ所以上ある場合は、候補が表示されます。そこからタッチボタンで操作してください。

最近探した場所を探す

最近探した場所を探します。

- 音声操作で検索可能なジャンルを以前に検索し、まだ最近探した場所のリストに残っている場所が検索の対象です。（最新のものから25件）
- よみとして認識されるのは20文字までです。

1 場所を押して、“最近探した場所”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“○○（場所のよみ）”と発話する

最近探した場所のよみの一覧が表示されますので、参考にして発話してください。複数のページがある場合は、“次のページ”、“前のページ”と発話するか、タッチボタンの操作でページ送りできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する

“ここへ行く”	案内中のルートがある場合、操作または場所を押すとここまでのルート探索が始まる。 案内中のルートがない場合、ここまでのルート探索が始まる。
“ここへ立ち寄る”	操作または場所を押すと、ここに立ち寄るルート探索が始まる。
“ここの地図を見る”	ここの地図が表示される。
“ここへ電話をかける”	操作または場所を押すここへ電話をかける。

電話をかける場合は、電話番号が収録されている必要があります。

施設名で場所を探す

施設名称（“○○スキー場”など）から場所を探します。

1 場所を押して、施設名を発話する

“ここへ行く”	案内中のルートがある場合、操作または場所を押すとここまでのルート探索が始まる。 案内中のルートがない場合、ここまでのルート探索が始まる。
“ここへ立ち寄る”	操作または場所を押すと、ここに立ち寄るルート探索が始まる。
“ここの地図を見る”	ここの地図が表示される。
“ここへ電話をかける”	操作または場所を押すここへ電話をかける。

音声操作で検索可能な施設名のジャンルは「施設名で場所を探す場合のジャンル」（222P）を参照してください。

- 電話をかける場合は、電話番号が収録されている必要があります。
- 1kmスケール以下で地図表示されている場合のみ、施設名称を直接発話できます。2kmスケール以上の場合は、最初に「○○（都道府県のよみ）の施設」と発話してください。
- 場所を押して“○○（施設名称よみ）へ行く”、“○○（施設名称よみ）へ立ち寄る”、“○○（施設名称よみ）の地図を見る”、“○○（施設名称よみ）へ電話をかける”と発話することもできます。
- 都道府県名のよみを発話してから施設名を発話することもできます。

自宅へ帰るルートを探索する

自宅へ帰るルートを探索します。

1 場所を押して、“自宅へ帰る”と発話する

自宅までのルートが探索されます。

操作でも操作できます。

→「基本操作をする」（208P）

目的地の地図を見る

ルート案内中、目的地の地図を表示させることができます。

1 場所を押して、“目的地の地図を見る”と発話する

目的地の地図が表示されます。

天気予報データを取得しているときは、天気予報データを案内します。

基本操作をする

操作を押して、“ 基本操作 ”と発話後または、直接発話して操作します。

音声認識語

地図縮尺の変更

操作内容	発話内容
詳細な地図にする	“ 詳細 ”
広域の地図にする	“ 広域 ”
10mスケールの地図で表示する	“ 10メータースケール ”
25mスケールの地図で表示する	“ 25メータースケール ”
50mスケールの地図で表示する	“ 50メータースケール ”
100mスケールの地図で表示する	“ 100メータースケール ”
200mスケールの地図で表示する	“ 200メータースケール ”
500mスケールの地図で表示する	“ 500メータースケール ”
1kmスケールの地図で表示する	“ 1キロメータースケール ”
2kmスケールの地図で表示する	“ 2キロメータースケール ”
5kmスケールの地図で表示する	“ 5キロメータースケール ”
登録したスケールとアングルで表示する	“ 登録したスケールにする ”

地図の表示方法の変更

操作内容	発話内容
ノーマルビューに切り替える※1	“ ノーマルビュー ”
スカイビューに切り替える※1	“ スカイビュー ”
ツインビューに切り替える※1	“ ツインビュー ”
ドライバーズビューに切り替える※1	“ ドライバーズビュー ” または “ シティハイウェイマップ ” または “ リアルシティハイウェイマップ ”
ハイウェイモードに切り替える（高速道路走行中のみ）	“ ハイウェイモード ”
ノースアップにする	“ ノースアップ ” または “ ノースアップスクロール ”

※1 駐車場マップを表示しているときは変更できません。

自宅へ帰る

操作内容	発話内容
自宅へ帰るルートを検索する※2	“ 自宅へ帰る ”

※2 案内中のルートがあるとき、操作または場所を押すとルート探索が実行されます。

現在地またはスクロール画面の操作

操作内容	発話内容
現在地を表示する	“ 現在地 ”
検索した場所へ行くルートを探索する※2	“ ここへ行く ”
現在地または検索した場所を登録する	“ ここを登録する ”
検索した場所へ立ち寄るルートを検索する※3	“ ここへ立ち寄る ”

※2 案内中のルートがあるとき、操作または場所を押すとルート探索が実行されます。
※3 案内中のルートがあるとき、操作または場所を押すと立ち寄るルート探索が実行されます。

ルートの設定と案内

ルートが設定されているときに操作を押して、“ ルート操作 ”と発話後または、直接発話して操作します。

■ルートを確認する

“ ルートを確認 ”などと発話すると、ルートプロフィールの表示画面に切り替わります。以降、タッチボタンの操作でルートプロフィールを確認してください。

音声認識語

探索条件を変えて再探索する

操作内容	発話内容
標準的な探索条件で探索するとき※1	“ 推奨 ”
距離優先で探索するとき※1	“ 距離優先 ”
別ルートを探索するとき※1※2	“ 別ルート ”
有料道路を標準的に使いたいとき※1	“ 有料標準 ” または “ 高速標準 ”
有料道路をできるだけ使いたくないとき※1	“ 有料回避 ” または “ 高速回避 ”
フェリー航路を標準的に使いたいとき※1	“ フェリー標準 ”
フェリー航路をできるだけ使いたいとき※1	“ フェリー優先 ”
フェリー航路をできるだけ使いたくないとき※1	“ フェリー回避 ”
登録道を使って探索するとき※3	“ 登録道を使う ”
次の立寄地を飛ばすとき※1	“ 立寄地送り ”

※1 発話後、操作または場所を押すと、再探索が実行されます。
※2 設定したルート上を一度も走行していない場合は操作できません。
※3 登録道名称を発話し、操作または場所を押すとルート探索します。

次の案内を音声で聞く

操作内容	発話内容
次の案内地点の案内を音声で聞く	“ 次の案内 ”

ルートを確認する

操作内容	発話内容
ルートプロフィールでルートを確認する	“ ルートプロフィール ” または “ ルートを確認 ”

ルートの消去

操作内容	発話内容
案内中のルートを消す※4	“ ルート消去 ”

※4 “ ルート消去 ”と発話後、操作または場所を押すと、ルート消去が実行されます。

VICS情報を確認する

操作を押して、“ ビックス情報 ”と発話後または、直接発話して操作します。

■VICSの図形情報や文字情報を見る

“ ビックスエフエム図形情報 ”などと発話すると、VICSの図形情報や文字情報の表示画面に切り替わります。以降、タッチボタンの操作でVICS情報を確認してください。

■VICS放送局を選局する

“ ビックス放送局 ”と発話すると、「ビックスの放送局名をどうぞ」と応答メッセージが返されます。“ ビックス横浜 ”など放送局名を発話すると、指定したVICS放送局が選局されます。

- ビーコンの情報を取得するには、VICS用ビーコン受信機が必要です。
- VICS放送局選局の設定を「オート」にしているときは、放送局の選局はできません。
- 「機能設定」の［FM多重チューナーの設定］が［D-GPS］、［FM多重］の場合は選局できません。

音声認識語

VICS図形・文字情報

操作内容	発話内容
FMの図形情報が知りたい	“ ビックスFM図形情報 ” または “ FMレベルツー ”
FMの文字情報が知りたい	“ ビックスFM文字情報 ” または “ FMレベルワン ”
ビーコンの図形情報が知りたい※	“ ビーコン図形情報 ” または “ ビーコンレベルツー ”
ビーコンの文字情報が知りたい※	“ ビーコン文字情報 ” または “ ビーコンレベルワン ”

※ビーコンユニット未接続時やビーコン情報が無い場合は発話しても切り替わりません。

VICS放送局の選局

操作内容	発話内容
VICS放送局を違う放送局に変えたい	“ ビックス放送局 ” 以降、VICS放送局名を発話 “ ビックス横浜 ”（例）

渋滞案内

操作内容	発話内容
ルート上の先の渋滞を知りたい	“ 渋滞案内 ” または “ 渋滞チェック ” または “ 次の渋滞 ”

電話を操作する

携帯電話を接続している場合には、音声操作で電話をかけることができます。

登録した場所に電話をかける

登録した場所に電話番号とよみがなを入力している場合は、音声操作で電話をかけることができます。

1 操作 **を押して、“ 電話をかける ” と発話する**

2 **“ ピッ ”と音が鳴ったら、“ 登録地へ電話をかける ” と発話する**

ⓘ 登録地のよみの一覧が表示されますので、参考にして発話してください。複数のページがある場合は、“ 次のページ ”、“ 前のページ ” と発話するか、タッチボタンの操作でページ送りできます。

3 **“ ピッ ” と音が鳴ったら、登録した場所の名前（よみ）を発話する**

ⓘ 手順1～3のかわりに、操作を押して、“ ○○（登録地のよみ）へ電話をかける ”と発話することもできます。

4 操作 **または** 場所 **を押す**

登録した場所に電話をかけます。

電話番号を発話して電話をかける

電話番号を発話して電話をかけることができます。

1 操作 **を押して、“ 電話をかける ” と発話する**

2 **“ ピッ ”と音が鳴ったら、“ 電話番号でかける ” と発話する**

ⓘ 手順1と2のかわりに、操作を押して、“ 電話番号でかける ” と発話することもできます。

3 **“ ピッ ” と音が鳴ったら、市外局番と市内局番を続けて発話する**

ⓘ 市外局番と市内局番を分けて発話することもできます。

4 **“ ピッ ” と音が鳴ったら、残りの番号を発話する**

5 操作 **または** 場所 **を押す**

電話番号のダイヤルが始まります。

携帯電話に電話をかける

携帯電話の電話番号を発話して電話をかけることができます。

1 操作 **を押して、“ 電話をかける ” と発話する**

2 **“ ピッ ”と音が鳴ったら、“ 携帯電話にかける ” と発話する**

ⓘ 手順1と2のかわりに、操作を押して、“ 携帯電話にかける ” と発話することもできます。

3 **“ ピッ ” と音が鳴ったら、最初の3桁を発話する**

4 **“ ピッ ” と音が鳴ったら、次の4桁を発話する**

5 **“ ピッ ” と音が鳴ったら、残りの番号を発話する**

6 操作 **または** 場所 **を押す**

電話番号のダイヤルが始まります。

メモリダイヤルで電話をかける

携帯電話から本機に転送した番号（メモリダイヤル）に電話をかけることができます。

1 操作を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“メモリダイヤルでかける”と発話する

ⓘ 手順1と2のかわりに、操作を押して、“メモリダイヤルでかける”と発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、メモリダイヤルに割り当ててある名前（よみがな）を発話する

4 操作または場所を押す

電話番号のダイヤルが始まります。

ⓘ 同じよみがなで登録されたメモリダイヤルが2つ以上ある場合は、候補が表示されます。そこからタッチボタンで操作してください。

フリーダイヤルに電話をかける

フリーダイヤルを発話して電話をかけることができます。

1 操作を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“フリーダイヤルでかける”と発話する

ⓘ 手順1と2のかわりに、操作を押して、“フリーダイヤルでかける”と発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、0120の次の3桁を発話する

ⓘ「0120」は発話不要です。

4 “ピッ”と音が鳴ったら、残りの番号を発話する

5 操作または場所を押す

電話番号のダイヤルが始まります。

リダイヤルで電話をかける

着発信履歴よりいちばん新しい1件のみ電話をかけることができます。

1 操作を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“リダイヤル”と発話する

ⓘ 手順1と2のかわりに、操作を押して、“リダイヤル”と発話することもできます。

3 操作または場所を押す

電話番号のダイヤルが始まります。

テレビ・ビデオを操作する

操作を押して、“ AV操作 ”と発話後または、直接発話して操作します。

- 本機のソースが“ テレビ ”になっていない場合は、テレビの選局操作はできません。最初に“ テレビにする ”と発話して、ソースをテレビにしてください。
- チャンネルを選局する際、テレビ局名やチャンネル番号で指定できるのは、チャンネルリストに表示されるチャンネルのみです。
- ビデオに切り替わる設定になっていない場合は、ビデオの映像には切り替わりません。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ ソースオフ ”
ソースをテレビにする	“ テレビにする ”
映像を切り替える	“ 画面を変える ” または “ 画面切り替え ”
ソースをビデオにする	“ ブイティーアールにする ” または “ ビデオにする ”

選局操作

操作内容	発話内容
他のチャンネルに切り替える	“ 次のチャンネル ” または “ 前のチャンネル ”、“ 次の放送局 ” または “ 前の放送局 ”、“ エヌエイチケー総合 ”（例）（放送局名指定）、“ 4チャンネル ”（例）（チャンネル番号指定）
バンドを切り替える	“ バンド切り替え ” または “ バンドを変える ”

CDやMP3ディスクを操作する

音楽用CDやMP3ディスクを操作することができます。

操作を押して、“ AV操作 ”と発話後または、直接発話して操作します。

本機のソースがCDやMP3になっていない場合は、選曲操作はできません。最初に“ CDにする ”または“ MP3にする ”と発話してソースをCDやMP3にしてください。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ ソースオフ ”
ソースをCDにする	“ CDにする ” または “ CDを聴く ”
ソースをMP3にする	“ MP3にする ” または “ MP3を聴く ”
映像を切り替える	“ 画面を変える ” または “ 画面切り替え ”

選曲操作

操作内容	発話内容
トラックを指定して再生する※1 （MP3ソース時のみ）	“ ○（1,2,3...）曲目を聴く ”
フォルダーを切り替える※1	“ フォルダーアップ ”または“ フォルダーダウン ”
トラックを切り替える※2	“ トラックアップ ” または “ トラックダウン ”

※1 MP3ディスクの機能です。

※2“ トラックダウン ”は曲の頭に戻ります。

ミュージックサーバーを操作する

ミュージックサーバーに録音されている音楽を操作することができます。
操作を押して、“ AV操作 ”と発話後または、直接発話して操作します。

本機のソースがミュージックサーバーになっていない場合は、選曲操作はできません。最初に“ ミュージックサーバーにする ”と発話してソースをミュージックサーバーにしてください。

■プレイリストまたは曲を探す

“ プレイリストを探す ”または“ 曲を探す ”と発話すると、“ プレイリスト名をどうぞ ”または“ 曲名をどうぞ ”と応答メッセージが返されます。プレイリスト名または曲名を発話すると、指定したプレイリストまたは曲が再生されます。

同じよみのプレイリストまたは曲名が2つ以上ある場合は、候補が表示されます。そこからはタッチボタンで操作してください。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ ソースオフ ”
ソースをミュージックサーバーにする	“ ミュージックサーバーにする ” または “ ミュージックサーバーを聴く ”
映像を切り替える	“ 画面を変える ” または “ 画面切り替え ”

選曲操作

操作内容	発話内容
プレイリストを探す	“ プレイリストを探す ” または “ プレイリスト ”
プレイリストを切り替える	“ プレイリストアップ ”または“ プレイリストダウン ”、 “ 次のプレイリスト ”または“ 前のプレイリスト ”
トラックを指定して再生する	“ ○（1,2,3...）曲目を聴く ”
トラックを探す※1	“ 曲を探す ” または “ トラックを探す ”
トラックを切り替える※2	“ トラックアップ ” または “ トラックダウン ”

※1“ 再生中のプレイリストに含まれる曲のみ対象となります。
※2“ トラックダウン ”は曲の頭に戻ります。

MDを操作する

操作を押して、“ AV操作 ”と発話後または、直接発話して操作します。

本機のソースがMDになっていない場合は、選曲操作はできません。最初に“ MDにする ”と発話してソースをMDにしてください。
また、MDが入っていない場合はソースをMDにする事はできません。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ ソースオフ ”
ソースをMDにする	“ MDにする ” または “ MDを聴く ”
映像を切り替える	“ 画面を変える ” または “ 画面切り替え ”

選曲操作

操作内容	発話内容
トラックを切り替える※	“ トラックアップ ” または “ トラックダウン ”

※“ トラックダウン ” は曲の頭に戻ります。

ラジオを操作する

操作を押して、“ AV操作 ”と発話後または、直接発話して操作します。

本機のソースがラジオになっていない場合は、選局操作はできません。最初に“ ラジオにする ”と発話してソースをラジオにしてください。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ ソースオフ ”
ソースをラジオにする	“ ラジオにする ” または “ ラジオを聞く ”
ソースを交通情報にする	“ 交通情報にする ” または “ 交通情報を聞く ” または “ トラフィックインフォメーションを聞く ” または “ トラフィックインフォメーションにする ”
映像を切り替える	“ 画面を変える ” または “ 画面切り替え ”

選局操作

操作内容	発話内容
AM放送とFM放送を切り替える	“ AMにする ”または“ FMにする ”、“ AMを聞く ”、“ FMを聞く ”、“ AM ”、“ FM ”
他の放送局に切り替える	“ 次の放送局 ”または“ 前の放送局 ”、“ 次のチャンネル ”または“ 前のチャンネル ”、“ エヌエイチケー総合 ”(例)(放送局名指定)
バンドを切り替える	“ バンド切り替え ” または “ バンドを変える ”

その他の操作をする

操作を押して、“ その他の操作 ”と発話後または、直接発話して操作します。

■気象情報を取得する

携帯電話を接続し、接続設定を完了している状態でこのコマンドを発話すると、気象情報をダウンロードします。

■ノースアップスクロール

地図の回転を北上にし、地図をスクロール状態にします。

■現在の時刻を読み上げる／現在の日付を読み上げる

それぞれ現在の時刻、今日の日付と曜日を読み上げます。

■ここの天気を読み上げる

気象情報を取得している状態で発話すると、表示中の地点の天気予報情報を読み上げます。

■自車方位を反転する

自車マークを反転させ、進行方向を切り替えます。

■FMオンエア連動表示をON/OFFする

画面上部に、受信中のFM放送の文字情報を表示します。表示中にもう一度発話すると表示を解除します。

音声操作の設定を変える

ナビゲーションの利用状況に合わせて、音声操作に関係する設定を変えることができます。

ボイスヘルプ

音声認識語の内容を説明する「ボイスヘルプ」を、音声操作中、常に表示するかどうかを設定します。（ただし走行中は表示されません。）

ボイスヘルプは「機能の設定を変更する」（108P）で、オートとマニュアルを切り替えられます。

オーディオミュート

オーディオソースが再生されている場合、AV画面の **AV設定** から **消音設定** を選択することにより消音タイミング、消音レベルを設定することができます。

音声認識話者学習使用

音声認識話者学習（203P）にて発声を学習させた人以外が音声操作をご使用になる場合は、「機能設定」の「音声認識話者学習使用」（115P）をOFFにしてください。

検索できるジャンルの種類

ジャンル名の指定のしかた

場所を周辺で探す場合は、次のジャンル名が発話できます。

ⓘ サブジャンル（“ 出光 ”、“ セブンイレブン ” など）を直接発話することもできます。

ジャンル名	読みかた
駅	“ えき ”
ガソリンスタンド	“ ガソリンスタンド ” または “ スタンド ” または “ ガソリン ”
コンビニ	“ コンビニエンスストア ” または “ コンビニ ”
ファミリーレストラン	“ ファミリーレストラン ” または “ ファミレス ”
ファーストフード	“ ファーストフード ”
駐車場	“ ちゅうしゃじょう ”
カー用品店	“ カーようひんてん ” または “ カーようひん ”
カーディーラー	“ カーディーラー ” または “ ディーラー ”
スーパー	“ スーパー ”
家電店	“ かでんてん ” または “ でんきや ”
ディスカウントストア	“ ディスカウントストア ” または “ ディスカウンター ”
デパート	“ デパート ” または “ ひゃっかてん ”
衣料品店	“ いりょうひんてん ” または “ ようふくや ”
スポーツ用品店	“ スポーツようひんてん ” または “ スポーツようひん ”
ATM	“ エーティエム ”
都市銀行	“ としぎんこう ” または “ ぎんこう ”
地方銀行	“ ちほうぎんこう ”
第２地方銀行	“ だいにちほうぎんこう ”
その他金融機関	“ そのたきんゆうきかん ”
公共施設	“ こうきょうしせつ ”
グルメスポット	“ グルメスポット ” または “ グルメ ” または “ しょくじ ”
宿泊施設	“ しゅくはくしせつ ”
プレイスポット	“ プレイスポット ”
スポーツスポット	“ スポーツスポット ” または “ スポーツ ”
文化スポット	“ ぶんかスポット ”
自動車関連施設	“ じどうしゃかんれんしせつ ”
小売店	“ こうりてん ” または “ おみせ ”
病院	“ びょういん ”
トイレ	“ トイレ ”
レンタカー	“ レンタカー ”

ジャンル名	読みかた
おもちゃ屋	“ おもちゃや ” または “ おもちゃてん ”
ホームセンター	“ ホームセンター ”
薬局	“ やっきょく ”
教育施設	“ きょういくしせつ ”
道の駅	“ みちのえき ”

施設名で場所を探す場合のジャンル

施設名で場所を探す場合、次のジャンルの施設名を発話してください。

全国認識可能ジャンル	隣接県の隣接県まで認識可能なジャンル
フェリーターミナル	駅名
空港	高速施設
遊園地	キャンプ場
リゾート施設	動物園
ゴルフ場	植物園
スキー場	水族館
名所・旧跡	公園
城・城跡	競馬場
宿泊施設（ホテル、ビジネスホテル、旅館の一部）	競輪場
	競艇場
	オートレース場
	プラネタリウム・天文台
	野球場
	プール
	博物館
	美術館
	カー用品店
	牧場
	ホール
	展示場
	峠
	灯台
	温泉
	海水浴場

ドライブスケジュールを管理する

指定した時間に指定したルートを設定させたり、音楽を演奏させたりすることができます。

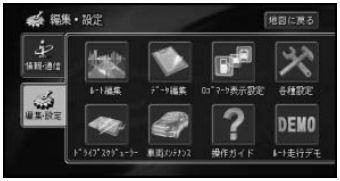
スケジュールを作成する

ここでは、指定した時間にメッセージを表示する方法を説明します。

スケジュールが実行される場合によっては、大きな音量で音楽が再生されることがありますのでご注意ください。

2021年7月までの、スケジュールを作成できます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ドライブスケジューラー** にタッチする →25P



2 スケジュールを設定したい月日を選んでタッチする

本日は、緑のカッコが付きます。

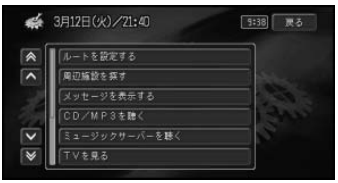
選んだ日にすでにスケジュールが設定されている場合は、その項目が表示されます。 **新規作成** にタッチして、次の手順に進んでください。

PCカード にタッチすると、PCカードとデータをやり取りすることができます。PCカードの操作のしかたは「PCカード（スケジュール/メンテナンス）」（233P）を参照してください。

3 スケジュールを実行したい時間をタッチにより入力し、**入力終了** にタッチする

- 時刻の入力は24時間制で行ってください。
- **起動時** を選んでタッチすると、その日の一番始めに本機の電源をON（エンジンON）にしたときにスケジュールを実行します。
- 同じ時間を入力した場合は、後に入力したスケジュールが有効になります。

4 **メッセージを表示する** を選んでタッチする



5 メッセージを入力し、**入力終了** にタッチする

設定内容確認画面が表示されます。

文字の入力方法は、「文字の入力操作」（27P）を参照してください。

- 入力できる文字数は全角で30文字（半角で60文字）までです。

- 既にメッセージが登録されている場合は、**新規作成**を選んでから手順6に進んでください。また、既存のメッセージを選ぶことができます。
- すでに作成されたメッセージが20件ある場合は「新規作成すると一番古いメッセージが消去されます。よろしいですか？」のメッセージが表示されます。**はい**にタッチするとメッセージ作成が行えます。

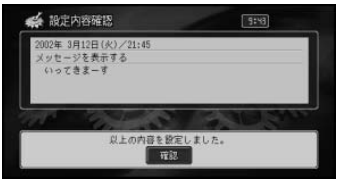
下記の項目を選ぶことができます。

項目	以降の操作
ルートを設定する	目的地を設定してルートを探索し、内容確認画面が表示されます。
周辺施設を探す	探したい施設を設定し、内容確認画面が表示されます。
メッセージを表示する	本手順を参照してください。
CD/MP3を聴く	内容確認画面が表示されます。
ミュージックサーバーを聴く	プレイリストまたはトラックを設定し、内容確認画面が表示されます。
TVを見る	チャンネルを設定し、内容確認画面が表示されます。
FMを聴く	放送局を設定し、内容確認画面が表示されます。
AMを聴く	放送局を設定し、内容確認画面が表示されます。
MDを聴く	内容確認画面が表示されます。
設定済みのスケジュールを使う	設定済スケジュールのリストが表示されます。設定済スケジュールを選ぶと内容確認画面が表示されます。

- 「ルートを設定する」、「周辺施設を探す」などの操作は、「場所を探す」（30P）および「ルートの設定と案内」（47P）を参照してください。
- 設定済みスケジュールのリストから設定済みスケジュールを選ぶと、**詳細確認**と**決定**が表示されます。**詳細確認**は、設定スケジュールの詳細確認、**決定**は、その設定済みスケジュールが選ばれ内容確認画面が表示されます。
- 設定済スケジュールのリストで「実行履歴」を選ぶと実行済のスケジュールリストが表示されます。

6 **確認**にタッチする

メッセージがスケジューラーに登録され、カレンダー画面に戻ります。



- スケジュールは複数設定できます。繰り返して他の項目を設定することもできます。
- スケジュールが設定されると、橙色の下線が付きます。

7 **終了**にタッチする

地図画面に戻ります。

毎日、毎週、毎月、毎年でスケジュールを作成する

「スケジュールを作成する」（224P）の手順2で、**毎日**または**毎週**、**毎月**、**毎年**を選びます。

以降の操作は、「スケジュールを作成する」と同様の流れとなりますので参照してください。

スケジュールの起動時間になると

予定時間になると次のような確認画面が表示されます。
確認画面の指示に従って操作してください。

実行されていないスケジュールがあると が地図上に表示されます。

実行履歴を見る

過去に実行された履歴を確認したり、その設定項目を動作させることができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ドライブスケジューラー** にタッチする →25P

2 **実行履歴** にタッチする

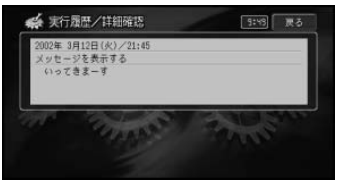
実行済みのスケジュールや設定した日付を過ぎても実行できなかったスケジュールが一覧表示されます。

3 詳細を確認するスケジュールを選んでタッチする

4 **詳細確認** にタッチする

▼

スケジュールの詳細が表示されます。



- **戻る** にタッチすると、一つ前の画面に戻ります。
- **実行** にタッチすると、設定された内容を実行します。
- **消去** にタッチすると、設定された内容を消去する確認画面が表示されます。 **はい** にタッチすると履歴を消去します。

指定した場所に近づいたら実行する

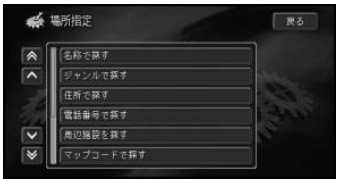
指定した場所に近づいたら、設定した項目を実行するようにすることができます。

■新規作成する

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ドライブスケジューラー** にタッチする →25P

2 **場所指定** にタッチする

3 場所を探す方法を選んでタッチする

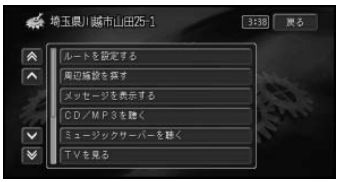


探しかたの手順は「場所を探す」（30P）と同様の流れとなりますので、参照してください。

既に作成されている場合は、リスト表示されます。**新規作成**を選んで手順4に進んでください。

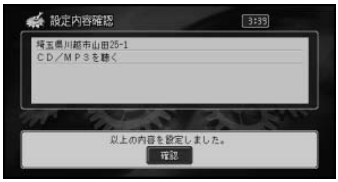
4 項目を選んでタッチする

内容確認画面が表示されます。



項目を選ぶ操作は「スケジュールを作成する」（224P）と同様の流れとなりますので参照してください。

5 確認にタッチする



▼

カレンダー画面に戻ります。

■場所指定の確認をする

場所指定の内容を確認したり、場所を変更したりすることができます。

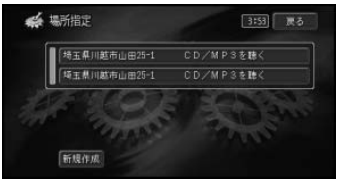
1 メニュー－編集・設定－ドライブスケジューラーにタッチする

→25P

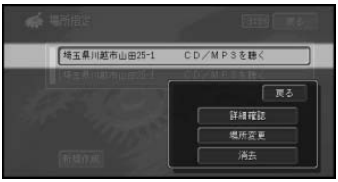
2 場所指定にタッチする

場所指定があると、橙色の下線が付きます。

3 確認したい場所指定を選んでタッチする



4 詳細確認にタッチする



- **場所変更**にタッチすると場所を変更することができます。
- **消去**にタッチすると場所指定を消去します。

スケジュールの確認をする

既に予定されている日にちの設定内容を確認することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ドライブスケジューラー** にタッチする
→25P

2 確認したい日にちを選んでタッチする

3 確認したいスケジュールを選んでタッチする

4 **詳細確認** にタッチする

詳細確認画面が表示されます。

5 確認を終えたら **戻る** にタッチする
一つ前の画面に戻ります。

スケジュールの日時・場所を変更する

設定したスケジュールの起動日時を変更することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ドライブスケジューラー** にタッチする
→25P

2 変更するスケジュールが設定されている月日を選んでタッチする

3 変更するスケジュールを選んでタッチする

4 **日時変更** を選んでタッチする

以降の操作は「スケジュールを作成する」（224P）とほぼ同様の流れとなりますので参照してください。

スケジュールを消去する

設定したスケジュールを消去することができます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ドライブスケジューラー** にタッチする→25P

2 **消去するスケジュールが設定されている月日を選んでタッチする**

3 **消去するスケジュールを選んでタッチする**

4 **消去** **を選んでタッチする**

消去確認画面が表示されます。

5 **はい** **にタッチする**

選んだスケジュールが消去され、カレンダー画面に戻ります。

スケジュールをまとめて消去する

実行履歴や未実行スケジュール、メッセージを一覧表示して、まとめて消去することができます。

1 メニュー ― **編集・設定** ― **ドライブスケジューラー** にタッチする →25P

2 **消去** にタッチする

3 消去したい項目を選んでタッチする

4 消去したい項目を選んでタッチする

選んだ項目には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

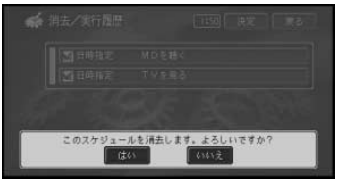
- もう一度タッチすると、選択を解除することができます。
- **全選択** にタッチすると、リスト内のすべてのスケジュールを選択することができます。
  全解除 にタッチすると、すべての選択を解除します。

5 **決定** にタッチする

消去確認画面が表示されます。

6 **はい** にタッチする

選んだ項目が消去され、地図画面に戻ります。



車両メンテナンスを管理する

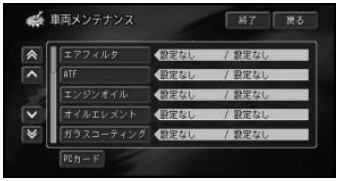
エンジンオイルやオイルエレメント交換などのお知らせ

車両のメンテナンスに関する項目を、スケジュールに組み込んで管理することができます。設定日になると、メッセージを表示してメンテナンスの必要を知らせてくれます。

ここでは、エンジンオイルの距離設定を例に説明します。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **車両メンテナンス** にタッチする →25P

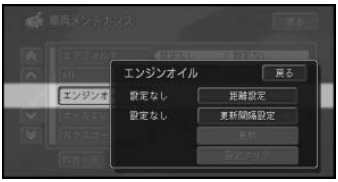
2 **エンジンオイル** にタッチする



以下の項目を選ぶことができます。

- エアフィルタ
- ATF
- エンジンオイル
- オイルエレメント
- ガラスコーティング
- タイヤ
- タイヤローテーション
- デフオイル
- バッテリー
- ブレーキパッド
- ブレーキフルード
- ボディコーティング
- マニュアルミッションオイル
- 冷却水/LLC
- ワイパーブレード
- 車検
- 任意保険
- 免許更新

3 **距離設定** にタッチする



- **距離設定** は、3Dハイブリッドモードのときのみ選択できます。簡易ハイブリッドモードおよび「ＮＤ-ＰＧ1」接続時は選択できません。

4 **距離を入力し、 入力終了 にタッチする**

メンテナンススケジュールが登録され、手順2の画面に戻ります。

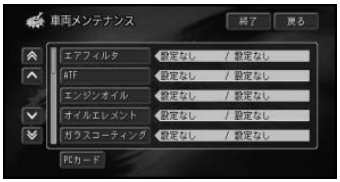
- 距離は、99999kmまで入力できます。期間は、1～99カ月まで設定できます。両方を設定した場合は、先に到達したほうのタイミングで起動します。
- スケジュールは複数設定できます。繰り返して他の項目を設定することもできます。

車検や保険、免許更新のお知らせ

車検などのように、日付が決まっているものは、あらかじめ日付を設定しておき、指定した日になるとお知らせをしてくれます。

1 メニュー ー **編集・設定** ー **車両メンテナンス** にタッチする →25P

2 **車検** にタッチする



選んだ項目により、表示される画面や設定する内容が異なります。

3 **日付／更新期間設定** にタッチする

4 日付を入力し、**入力終了** にタッチする

メンテナンスの更新間隔設定の画面に戻ります。

- 日付は、2021年7月30日まで設定できます。
- スケジュールは複数設定できます。繰り返して他の項目を設定することもできます。
- 過去の日付は設定できません。

5 更新間隔を選んでタッチする

メンテナンススケジュールが登録され、手順2の画面に戻ります。

- 選べる更新間隔は、設定する項目によって異なります。
  車検：1年、2年、3年
  免許更新：3年、4年、5年
  自動車保険：1年、2年、3年、4年、5年
- スケジュールは複数設定できます。繰り返して他の項目を設定することもできます。

スケジュールを設定した時期になると

設定した時期になると、ナビゲーションの起動時にスケジューラーが起動し、メンテナンスを促すメッセージがディスプレイに表示されますので **確認** にタッチします。

更新 にタッチすると、設定した同じ条件でメンテナンススケジュールを更新して設定することができます。

PCカード（スケジュール／メンテナンス）

スケジュールや車両メンテナンスデータををPCカードに保存したりPCカードから読み込んだりPCカード内のデータを消去したりすることができます。
ここでは、スケジュールの場合を例に説明しますが、車両メンテナンスデータの場合も操作の流れは同様です。

PCカードに保存する

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ドライブスケジューラー** にタッチする →25P

2 **PCカード** にタッチする

車両メンテナンスデータの場合は、**車両メンテナンス** にタッチしてください。

3 **保存** にタッチする
データの保存が開始されます。

保存終了後は、カレンダー画面に戻ります。

保存中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、ディスプレイ部を開いたりしないでください。

PCカードから読み込む

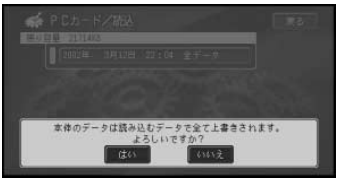
1 メニュー ー **編集・設定** ー **ドライブスケジューラー** にタッチする →25P

2 **PCカード** にタッチする

3 **読み込み** にタッチする

4 **読み込みたいデータを選んでタッチする**
確認の画面が表示されます。

5 **はい** にタッチする
データの読み込みが開始されます。



読み込み終了後は、車両メンテナンス画面に戻ります。

- 読み込み中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、ディスプレイ部を開いたりしないでください。
- 読み込んだデータは、本機内のデータを上書きします。またデータの読み込みは一括で行われるため、途中で中止することはできません。
- 実行履歴は消去されます。

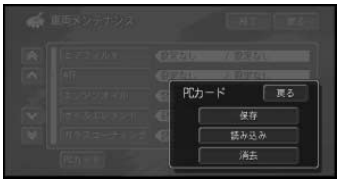
PCカードデータを消去する

1 メニュー ー **編集・設定** ー **ドライブスケジューラー** にタッチする →25P

2 **PCカード** にタッチする

3 **消去** にタッチする

PCカード内のデータリストが表示されます。



4 消去したいデータを選んでタッチする

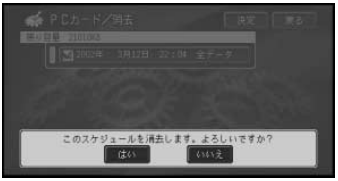
- 選んだリスト項目には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。
- **全選択** にタッチすると、全てのリスト項目が選択され、メニューの表示が **全解除** に変わります。**全解除** にタッチすると全てのリスト項目の選択が解除されます。

5 **決定** にタッチする

消去確認画面が表示されます。

6 **はい** にタッチする

データの消去開始されます。



消去終了後は、車両メンテナンス画面に戻ります。

消去中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしたり、ディスプレイ部を開いたりしないでください。

操作ガイド

操作ガイドを見る

メニュー操作の基本や便利な操作方法などを画面で見ることができます。また、お客様から寄せられた質問とそれに対する対処方法（FAQ）を見ることもできます。

操作ガイドは、「基本操作」「便利な使い方」「困った時には」の3つの大項目と、その中に分類された詳細な項目があります。画面の指示に従い操作するだけで、本機の使い方を学ぶことができます。
ここでは、基本操作を例に操作ガイドを見る方法を説明します。

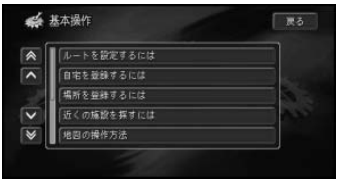
操作ガイドは、操作を擬似的にナビゲーション上で実行するため下記のような制約があります。

- 既にルートが設定されている場合は、下記の操作ガイドを実行すると設定したルートが消去されます。
  「ルートを設定するには」
  「立寄地点を設定するには」
  「設定したルートを確認するには」
- 登録などに関する操作ガイドはナビゲーションの登録数の上限を超えると項目の選択ができない場合があります。
- 自車位置周辺にガソリンスタンドが無い場合、「近くの施設を探すには」を実行すると途中で中止されます。

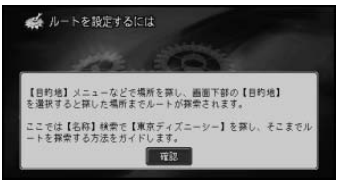
1 メニュー ー **編集・設定** ー **操作ガイド** にタッチする →25P

2 **見たい項目を選んでタッチする**
ここでは **基本操作** にタッチします。

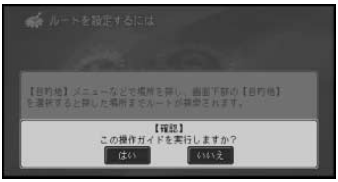
3 **見たい項目にタッチする**
確認画面が表示されます。



4 **確認** にタッチする



5 **はい** にタッチする
操作ガイドが開始されます。



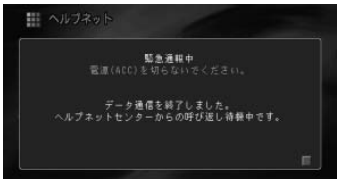
操作ガイド表示中に画面にタッチすると操作ガイドを中止して手順3の画面に戻ります。

ヘルプネットについて

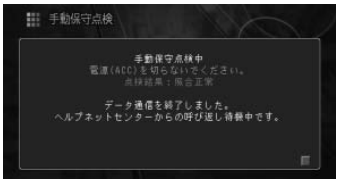
ヘルプネットキット「ND-HELP1」（別売）と組み合わせることにより、ヘルプネットをご利用になれます。詳しくは、ヘルプネットキットの取扱説明書をご覧ください。
なお、本機の場合「手動保守点検」の手順がヘルプネットキットの取扱説明書の説明内容と若干異なります。「手動保守点検」は本書をご参考に操作してください。

- ナビ起動中に携帯電話を接続したときは、ヘルプネットキットの赤・緑のランプが点灯します。保守点検が終了すると表示が変化しますので、そのままお待ちください。表示中は通報が失敗することがあります。
- 本機では、cdmaOne™携帯電話と組み合わせることができます（回線交換のみ、パケットは非対応）。
- cdmaOne™携帯電話をお使いの場合、ナビゲーションの起動直後や、携帯電話の接続直後は、通報に失敗することがあります。その場合は、再度通報を行ってください。
- cdmaOne™携帯電話をお使いの場合、「通報する」際および「手動保守点検」の際に、次の画面のようにセンターと接続されたあと、センターからの通報待ちになります。センターからの通報をそのままお待ちください。

緊急通報時の待機画面（cdmaOne™携帯電話）



手動点検時の待機画面（cdmaOne™携帯電話）



手動保守点検

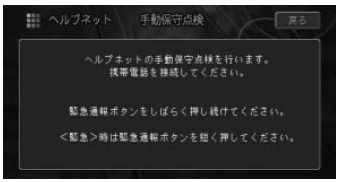
ヘルプネットに加入したとき（サービス開始操作）や退会したときは、以下の操作を行って、車載機の保守点検と緊急通報発呼の可（OK）/不可（NG）の確認をしてください。

1 メニュー ー **ハードウェア情報** ー **ヘルプネット情報** にタッチする →24P

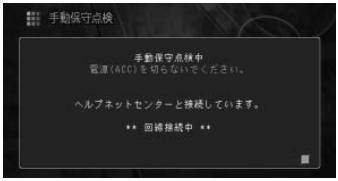
2 **手動保守点検開始** にタッチする

3 をしばらく（手動保守点検が開始されるまで）押し続ける

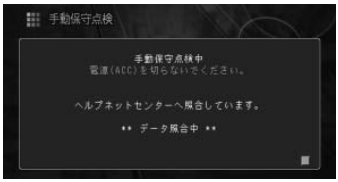
この画面からでも、を短く押すと、緊急通報を行うことができます。



手動保守点検が開始されます。画面の指示に従って、点検作業をすすめてください。



▼



手動保守点検をしていることや車両の現在地の情報がヘルプネットオペレーションセンターに送られます。

▼

その後ヘルプネットのオペレーターと通話できる状態になります。

▼

オペレーターと通話します。

▼

通話が終了するとオペレーターが電話回線の切断を行います。

4 **確認** にタッチする

5 メニュー ー **ハードウェア情報** ー **ヘルプネット情報** にタッチする →24P

7 **緊急通報発呼の可（OK）/不可（NG）を確認する**

- ヘルプネットに加入した場合は（サービス開始操作）「緊急通報発呼」が「OK」になっていることを確認してください。
- ヘルプネットから退会した場合は「緊急通報発呼」が「NG」になっていることを確認してください。

- 手動保守点検を行う際の電話料金は、お客様のご負担となります。
- 手動保守点検は、電話を利用して行います。このため、手動保守点検中は、通常の電話としては使えません。
- 手動保守点検を開始するときに、通常の電話として使用中の場合は、その通話は自動的に切られます。

困ったときには

ここでは、故障かな？と思ったときに何を確認すればよいか、エラーメッセージが表示されたときにどう対処すればよいかを説明します。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスで故障と間違えることもあります。故障かな？と思ったときは、次の項目を参考に、操作をもう一度確認してください。

■自車位置を測位できない、測位誤差が大きい

原　因	処　置
簡易ハイブリッドシステムになっている。	簡易ハイブリッドシステムは3Dハイブリッドシステムに比べて測位精度が悪くなります。3Dハイブリッドシステムにするには、車速パルスを接続してください。
GPS受信感度が低い。	GPSアンテナの感度を確認（140P）して、GPSアンテナの位置を変更してください。
車速パルスが正しく入力されていない。	接続状態画面（142P）で、接続を確認してください。
ナビゲーション本体がしっかり固定されていない。	接続状態画面で取付位置の項目を確認してください。

■地図が勝手に回転してしまう

原　因	処　置
自動的に地図が回転する設定になっている。	「機能設定」（108P）の「2D地図の回転」を確認し、［ノースアップ］に変えてください。
	3D地図のとき回転させたくない場合は、手動で地図を回転させて、地図の向きを固定してください（20P）。

■車のライトをONにしても夜画面に切り替わらない

原　因	処　置
車のライトと連動する設定になっていない。	「機能設定」（108P）の「地図色切替」を確認して、［イルミ連動］にしてください。

■走行軌跡が表示されない

原　因	処　置
走行軌跡を表示しない設定になっている。	「機能設定」（108P）の「軌跡表示」を確認し、［ON］にしてください。

■3D学習度が表示されない

原　因	処　置
電源コードの車速信号入力（ピンクリード線）が正しく接続されていない。	接続を確認してください。

■電源が入らない/動作しない

原　因	処　置
各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか確認してください。

■ディスプレイにナビゲーションの映像が映らない

原　因	処　置
ナビゲーション本体の電源が入っていない。	正しく確実に接続されているかどうか確認してください。
画面がナビゲーションの映像に切り替わっていない。	ソースをナビゲーションの映像に切り替えてください。

■映像が暗い

原　因	処　置
日没時刻が過ぎた。	夜間でも見やすいように、車のライトをONにすると、映像が自動的に暗い配色になるよう設計されています。
車内の温度が低い。	液晶画面は、周囲の温度が低いと暗くなることがあります。ヒーターで車内の温度を上げてください。

■ナビゲーションの音が出ない/音が小さい

原　因	処　置
音量を下げている。	「各種設定」の［調整・補正］の「音量設定」で、案内音量を上げてください（118P）。

■音声認識コントローラーがきかない

原　因	処　置
電池が消耗している。	電池を交換してください。→『スタートブック』
電池の（＋）と（－）の向きを逆に入れている。	正しく入れてください。→『スタートブック』

■誤差が大きくなった

原　因	処　置
TVの56chを受信している。	TVのチャンネルを変えるか、TVをOFFにしてください。
3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをクリアして（253P）、学習をやり直してください。

■インターネットなどの通信をする際のトラブル（デジタル携帯電話接続時）

接続先に電話がかからない

原　因	処　置
接続先の電話番号が間違っている。	接続先の電話番号が正しく入力されているか確認してください。
お使いのデジタル携帯電話のサービスエリア外か電波の弱いところにいる。	サービスエリア内の電波の強い場所から接続してください。
携帯電話のコネクターの接続が間違っている。	コネクターの向きが逆になっていないかどうか確認してください。
携帯電話でダイヤルロックをかけたままになっている。	ダイヤルロックを解除してください。
携帯電話の電池が切れている、または携帯電話が故障している。	携帯電話を本機から外して、電話をかけることができるかどうか確認してください。
携帯電話が他の端末をつなげるように設定されていない。	携帯電話側の設定を、接続端子を使用できるように変更してください。

■途中で電話が切れてしまう

原　因	処　置
お使いのデジタル携帯電話のサービスエリア外か電波の弱いところにいる。	サービスエリア内の電波の強い場所から接続してください。
接続ID、接続パスワードが間違っている。	接続ID、接続パスワードを確認してください。とくに、数字の「0」(ゼロ)と英字の「O」(オー)、数字の「1」と英字の「l」(アイ)などの区別や、英字の大文字/小文字の区別も確認してください。
プロバイダの接続項目が間違っている。	プライマリDNS、セカンダリDNSが正しく入力されているかどうかを確認してください(151P)。
電話番号が間違っている。	プロバイダの電話番号は変更されることが多いため、「プロバイダを設定する」(149P)の「接続先の設定」で別のアクセスポイントを選んでください。それでもうまくいかなかった場合は、プロバイダから送付された資料にある電話番号を入力して試してください。
PIAFS対応のアクセスポイントを指定している。	PIAFS(PHS Internet Access Forum Standard)に対応していないアクセスポイントに変更して接続できるかどうか確認してください。
お使いのデジタル携帯電話が9600bpsのデータ通信に対応していない。	9600bpsのデータ通信に対応した、デジタル携帯電話をお使いください。 (パケット通信に対応した「cdmaOne™」は、14.4kbpsまたは64kbpsでも使用できます。)
機種に対応していないデジタル携帯電話をつないでいる。	対応している携帯電話かどうか、パイオニアのホームページで確認するか、「パイオニアカスタマーサポート」にお問い合わせください。

■ホームページが表示されない

原　因	処　置
指定したホームページが混み合っている。	しばらくしてから再度接続してください。
URLが間違っている。	大文字と小文字の間違いや「．」と「、」、「_」と「-」などの区別を確認してください。
DNSサーバーの設定が間違っている。	DNSサーバーの設定を確認してください。DNSサーバーの設定が正しくないと、ホームページに接続できません。
Proxyサーバの設定が間違っている。	Proxyサーバの設定を確認してください。Proxyサーバの設定が正しくないと、ホームページに接続できません。
SSL対応のホームページを表示しようとしている。	本機ではSSLを使用しているホームページは表示できません。
Java Scriptやプラグインが必要となっている。	必要なJava Scriptやプラグインの設定を確認してください。

■ホームページが表示されるまでに時間がかかる

原　因	処　置
接続先のサーバーに接続が集中している。	しばらくしてから再度接続してください。

■画像データが表示されない

原　因	処　置
ブラウザの環境設定の［画像データ読込み］が［無］になっている。	「ブラウザの環境設定」（154P）の［画像データ読込み］を［有］（画像を表示）にしてください。
画像のサイズが大きい。	サイズの大きい画像は表示できません。
本機では表示できない形式の画像（動画など）が使われている。	本機で表示できる画像データはGIF形式とJPEG形式のデータです。それ以外の画像データは表示できません。また、プラグインなどを必要とするデータも扱えません。

■ホームページの文字が正しく表示されない

原　因	処　置
本機で使用できない文字コードが使われている。	海外のホームページなどには、本機で使用できない文字コードが使われていることがあります。このような文字コードは正しく表示されません。

エラーメッセージと対処方法

メッセージ	処置
探索できませんでした。	目的地または出発地の位置を変えてください。
目的地が遠すぎるため、探索できませんでした。	途中に立寄地を設定してください。
目的地が近すぎるため、探索できませんでした。	目的地または出発地の位置を変えてください。
通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。	目的地または出発地の位置を変えてください。
時間規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先または出発地付近に案内対象道路がないため探索できませんでした。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先または出発地付近につながる道路がありません。	目的地または出発地の位置を変えてください。

メッセージ	原　因	処置
ハードディスクに異常があります。販売店にご相談ください。	ドライブ不良のエラーが1時間以内に3回発生した。	販売店にご相談ください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	ナビゲーション本体の内部温度が異常に低い。	車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。
高温のため動作できません。安全な場所に移動してエンジンを切って、しばらくしてからエンジンをかけなおしてください。	ナビゲーション本体の内部温度が高くなった。	内部温度が下がるまでお待ちください。ヒーター吹き出し口の近くなど、高熱になるところに設置していないことを確認してください。
FMデータの受信待ちです。 ビーコンデータの一部が取得できていません。	FM多重放送によるVICS情報がそろっていない。 ビーコンデータが不完全。	データが更新されるまで、しばらくお待ちください。
ビーコンが接続されていません。	VICS用ビーコン受信機の接続が正しくない。	ビーコン受信機の接続を確認してください。
現在は情報がありません。	ビーコンからのVICS情報を取得していない。	ビーコンからのVICS情報が更新されるまで、しばらくお待ちください。
データの一部を消去しないと読み込むことができません。データを消去してください。	PCカードから登録地を読み込もうとし、本機の最大登録数を超えそうな場合。	PCカードから読み込ませる登録地の数を減らしてから読み込んでください。

メッセージ	原　因	処置
これ以上読み込みできません。	制限以上の登録道をPCカードから読み込もうとした場合。	本機の登録道を削除してください。
これ以上保存できません。	既存グループに制限以上のデータを保存しようとした。	「新規グループ」を選んで保存してください。
	新規グループが作れない。	PCカード内のデータを削除してください。
容量不足で一部のデータが保存できませんでした。	ハードディスクの容量が不足している。	音楽データを消去するか画像リンクを解除してください。
	PCカードの容量が不足している。	PCカード内のデータを削除してください。
容量不足で画像の登録ができませんでした。	ハードディスクの容量が不足している。	音楽データを消去するか画像リンクを解除してください。
これ以上登録できません。	制限以上のデータ（オートリルート履歴）を登録しようとした。	登録リルート地点を削除してください。
本体の取付け角度が許容範囲外です。取付け角度を確認してください。	取り付け角度が許容範囲外で取り付けられている場合。	取り付け角度を確認してください。
本体取付位置の変化を検出しました。センサーの再学習を開始しますか。	取り付け位置を変更した場合。	取り付け状態を確認してセンサー学習を開始してください。
	取り付け位置が移動した場合。	

画面が動かなくなった場合は

安全な場所に停車し、一度エンジンを切り、ACC OFFの状態まで戻してから再度エンジンをかけて本機の電源を入れ直してください。それでも解決しない場合は、ナビゲーション本体のリセットボタンを押してください。

頻繁にシステムエラーが発生する場合は

頻繁にエラーが発生しナビゲーションの電源が切れるときは、ナビゲーション本体のメモリーに不適切な内容が記録された恐れがあります。このような場合は、次の操作を行ってナビゲーション本体のメモリーをクリアしてください。（ナビゲーションが自動で行う場合があります。）

エンジンをかけて本機の電源が入りオープニング画面が表示されている間、音声認識コントローラの操作ボタンを押し続ける

［本体メモリをすべてクリアします。よろしいですか？］とメッセージが表示されます。

はいにタッチすると、本体メモリをクリアします。

この操作を行うと、軌跡、ルート、本機の設定など、記憶させた内容はすべて消去されますのでご注意ください。（センサーの学習内容およびミュージックサーバー、登録地点は消去されません。）

ナビゲーションのしくみ

現在地がわかるしくみ

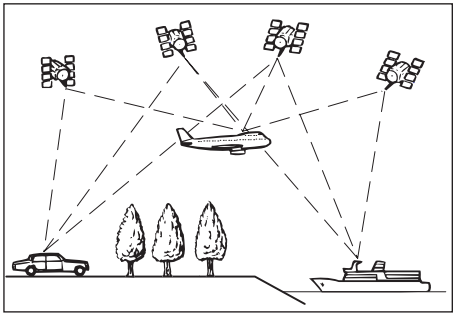
本機では、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

■GPSによる測位

GPS衛星 (人工衛星) から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。

GPS衛星は、地球の周り高度21,000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。

GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できる
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる

■自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーによって、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせていますので、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

■3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度3Dハイブリッドシステムで活用されています。

高精度3Dハイブリッドシステム

車速パルスが入力されているときは、3Dハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能になります。（高精度3Dハイブリッドシステム）

また、車速パルスの利用が困難な外国車やディーゼル車などでは、車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）を接続することにより、3Dハイブリッドシステムを実現できます。（車種によっては、「ND-PG1」を接続できないこともあります。）

簡易ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されないときは、簡易ハイブリッドシステムで測位します。簡易ハイブリッドシステムでは、傾斜計（Gセンサー）が車速パルスの替わりに車の移動距離の測定に使用されます。したがって、従来通りの水平方向のみの角度検出を行うハイブリッド測位となり、精度も低くなります。道路の傾斜の影響を受けるため、長いトンネルや地下駐車場などでのGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなることがあります。

3Dハイブリッドセンサーの特長

高度差の測位も可能です

従来の平面的な測位の場合、立体交差や上下に有料道路と一般道がある場所では、側道と本道、あるいは有料道路と一般道のどちらにいるのかの判断ができないことがありました。

3Dハイブリッドセンサーでは坂道の上り下りも測位できるため、地図上は有料道路と一般道が上下に重なっていても、どこを走っているかを的確に判断することが可能です。

ワインディングロードや坂道で生じる距離誤差も修正します

山道や坂道を走行している場合、実際に走った距離と地図上の移動距離には誤差が生じます。このため、従来は自車位置の先走りといった現象が起きることがありました。

3Dハイブリッドセンサーは、測位した高度差から誤差を修正して、高精度な測位を可能にしています。

誤差の学習や補正を行います

- 3Dハイブリッドセンサーは、自分自身で計算した現在地とGPS測位による現在地を常に比較し、発生した誤差を学習しています。
- 学習内容に応じて、さまざまな要因によって生じる誤差を補正しています。
- 走行を重ねるにつれて学習が蓄積されるため、徐々に測位の精度が高くなっていきます。

3Dハイブリッドセンサーは、GPS衛星の電波が受信できないときは、学習・補正効果を高めるため、学習や補正を行いません。したがって、GPSによる測位時間が短い間は、自車マークと実際の現在地が大きくずれることがあります。このようなときは、GPS受信状態で1時間程度走行すると、精度が回復します。

■ディファレンシャルGPS（D-GPS）

GPS衛星は米国国防総省の管理下にあるため、衛星からの電波には軍事的理由により、誤差が加えられる場合があります。また衛星からの電波が空気中を通ったときに誤差が生じます。これらの誤差により測位精度が低下します。

そこでGPS衛星からの電波を日本各地の施設で受信し、その施設の位置とGPS衛星からの位置情報を比較し、誤差を確認して、GPSの誤差補正データをFM多重電波で放送するしくみがディファレンシャルGPS（D-GPS）システムです。

内蔵のFM多重チューナーでD-GPSの情報を受信します

本機に内蔵のFM多重チューナー（VICSと切り替え）で、5秒ごとに更新されるD-GPSの情報を受信します。この情報をもとに、本機内部で誤差の補正処理を行い、リアルタイムでGPS測位に反映します。このシステムは全国サービスで行われるので、エリア内ならどこでも高精度な測位が実現できます。

情報は全国JFN系列の放送局から発信しています

D-GPSの情報は、全国のJFN系列と独立系のFM放送局からFM多重電波を通じて放送されています。

D-GPS情報放送局（2004年4月現在）

JFN系列：

FM北海道、FM青森、FM岩手、FM仙台、FM秋田、FM山形、ふくしまFM、FMぐんま、FM栃木、TOKYO FM、FM新潟、FM長野、静岡FM放送、FMとやま、FM石川、FM福井、岐阜FM、FM AICHI、FM三重、FM滋賀、fm osaka、FM岡山、FM山陰、広島FM放送、FM山口、FM香川、FM愛媛、FM徳島、FM高知、FM佐賀、FM福岡、FM長崎、FM中九州、FM大分、FM宮崎、FM鹿児島、FM沖縄（全国37局）

独立系列：

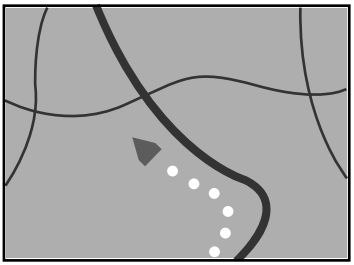
Kiss-FM KOBE、FM京都、FM富士、横浜FM（4局）

- 一部地域については、カバーされていない場合があります。
- D-GPS情報放送局は、自動的に選択されます。
- D-GPSを利用するためには、「機能設定」（108P）の「FM多重チューナーの設定」を「D-GPS」または「VICS/D-GPSダブル」に設定する必要があります。
- FM放送局が休止している時間帯はD-GPSは利用できません。

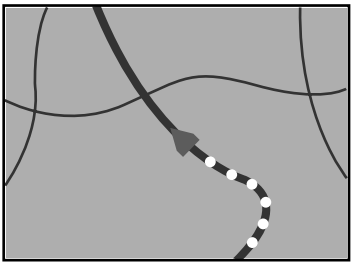
■マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外（例えば川の中）になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合



本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

■道路データについて

シティマップで道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

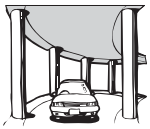
誤差について

GPSや自立航法、マップマッチングの組み合わせにより、誤差をより小さくすることができますが、状況によってはこれらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることがあります。

GPS測位不可による誤差

- 2つ以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、GPSによる測位ができないことがあります。
- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられ、受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。

トンネルの中やビルの駐車場



2層構造の高速道路の下

高層ビルの群衆地帯

密集した樹木の周

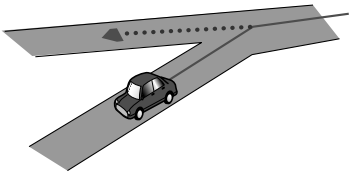
- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  －車載のテレビで56チャンネル (UHF) を受信している。
  －GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。
- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、雪がつもると感度が低下しますので取り除いてください。

GPS衛星自体による誤差

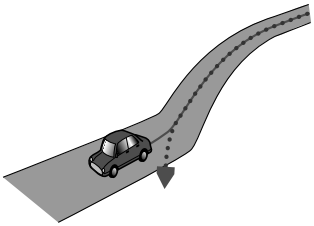
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 3次元測位のときは、約10m ～ 100mの誤差で現在地を測位します。2次元測位のときは、3次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。
- GPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。（GPS測位では、自車の真上と東西南北の地平線ぎりぎりにある複数の衛星を受信した場合に、最も良い精度が得られるようになっています。）
- GPS測位の高さ方向に関する精度は、水平方向に対して、誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

その他の誤差について

角度の小さなY字路を走った場合。

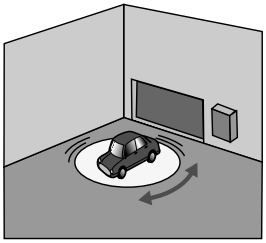


直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。

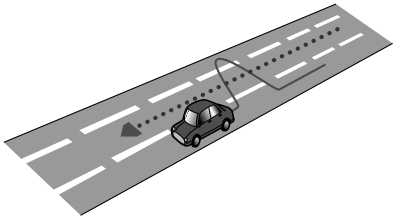


砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。

駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。

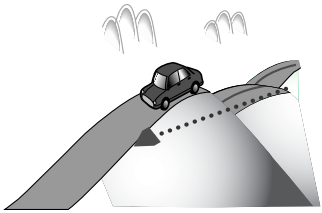


蛇行運転をした場合。

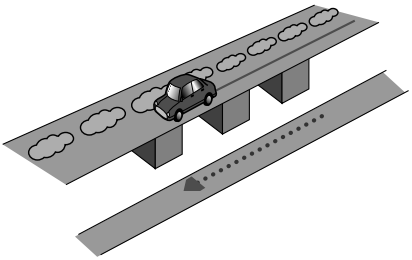


ヘアピンカーブが続いた場合。

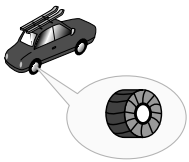
勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



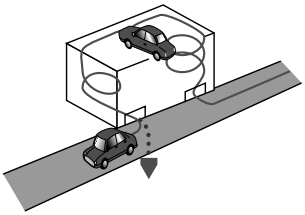
道路が近接している場合 (高速道路と側道など)。



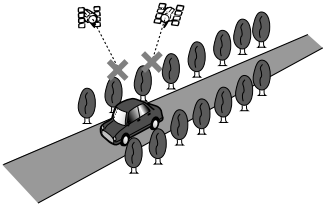
チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



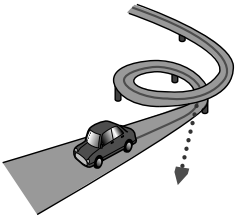
立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



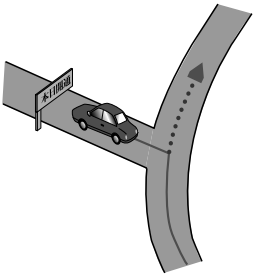
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



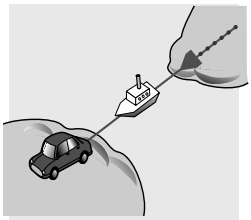
ループ橋などを通った場合。



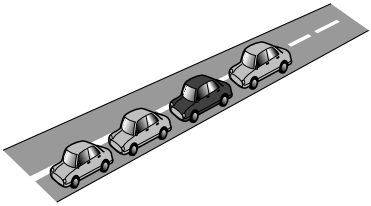
地図情報にはない新設道路を走った場合。



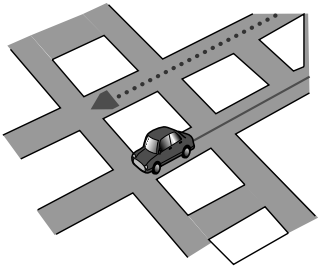
フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



渋滞などで低速で発進や停止を繰り返した場合。



碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。
- 扁平率や径の異なるタイヤに交換して間もない場合。

高速・高架道路での誤差について

高速道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、3Dハイブリッドセンサーが勾配を検知します。本機はこの勾配の検知とディスクに収録されている道路の高さ（勾配）のデータから、車が走行している道路を判断します。このため、勾配を検知しても道路の高さのデータが登録されていないと、自車位置表示には反映されません。

低速時の位置精度について

車種によっては時速数km程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。その様な車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で時速数km程度の低速走行が続くと自車位置が正確に表示されない場合があります。

駐車場マップについて

- 車速パルスを接続していない簡易ハイブリッドシステムでは、十分な位置精度が確保できない（上り下りの測位ができないなど）ため、正常に動作しません。
- 下記のような走行状況などで駐車場マップに切り替わらないことがあります。
  - －しばらく右左折せずに長距離走行した後に進入した場合
  - －Uターンするような方向で進入した場合
  - －バック信号が接続されていない場合
  - －時速数km程度の低速で車速パルスが出力されない車種の場合
  - －収録されていない駐車場経由で進入した場合
  - －新設された入口から入場した場合

車線変更促し表示について

- 車速パルスを接続していない簡易ハイブリッドシステムや「ND-PG1」（別売）を使用時には、十分な位置精度が確保できないため、動作しません。また、3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了するまでは、動作しません。
- 下記のような走行状態では、正しく車線変更促し表示が表示されない場合があります。また、誤って表示が表示される場合もあります。
  - －渋滞などで低速で発進や停止を繰り返した場合
  - －蛇行運転をした場合
  - －振動の多い車の場合
  - －車線をまたいで走行した場合
  - －初期学習があまり進んでいない場合
  - －車線変更禁止区間で車線変更した場合
  - －案内地点と料金所が隣接している場合
  - －ナビゲーション本体が正しく取り付けられていない場合

センサメモリのリセットについて

古くなったタイヤを新しいタイヤと交換したり、夏用のタイヤと冬用のタイヤを交換した場合でも、自動的にセンサ学習を再学習するシステムを装備していますので、センサメモリをリセットする必要はありません。（走行状態によっては時間がかかる場合があります。）
また、必要に応じて、走行状況の学習結果を保存するセンサメモリ（学習メモリ）も切り替えられます。

- 「ND-PG1」接続時および簡易ハイブリッドモードでご使用の際は、自動的にセンサ学習の補正ができませんので、手動でリセットしてください。
- 悪路（雪道など）を走行し、スリップした場合、自動でセンサ学習を再学習し直すことがあります。センサ学習を再学習させたくない場合は、センサメモリを切り替えてください。

センサ学習状態のリセットが必要な場合

- 本機の設置場所を変更した場合
- タイヤを交換した後、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合
- 測位の誤差が大きくなった場合
- 「ND-PG1」接続時および簡易ハイブリッドモードでご使用の際にタイヤを交換した場合

センサ学習状態のリセットのしかた

1 **必要に応じて学習メモリーを切り替える**
→次項の「学習メモリとは」

2 **学習メモリーをリセットする**
学習メモリのリセットは「センサ学習状況」画面で行います。→*「ハードウェア情報を見る」（140P）*

学習メモリとは

本機の3Dハイブリッドセンサーは、走行状況（距離/方位/傾斜（3D））を検知して、その結果を学習しています。したがって、走行を重ねるごとに測位の精度が高くなります。
センサーが学習した結果は、本機に内蔵されている学習メモリに蓄積されます。センサメモリ1とセンサメモリ2の2つが用意されています。

- センサメモリ1とセンサメモリ2のどちらを使用するかは、切り替えることができます。→「センサ学習状況」（141P）
- センサ学習状況は確認することができます。→「センサ学習状況を見る」（144P）
- 学習メモリをリセットすると、「車線変更促し表示」（111P）の設定はOFFになります。

検索におけるデータベースについて

場所を探す際の検索データによっては、表示されるポイント(位置)が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTTタウンページをもとに位置データの整備を行っていますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- ピンポイント表示されない場所を目的地としてルートを設定した場合は、その施設から離れた場所が最終の案内地となる場合があります。

テーマ別検索などの自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

季節の味覚スポット検索のデータについて

- 実際の農園と離れた場所が表示されることがあります。その場合は、その農園を管理している施設が表示されます。

ドライブガイド検索のデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとしては、「タウンページ」約1,100万件のデータと、訪問宅（個人宅）約3,900万件のデータが収録されています。
- 訪問宅（個人宅）の電話番号データに収録されていない場合は、町村丁目レベルの代表地点が表示されます。

ロゴマーク表示について

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。
- ピンポイントで表現できないような場合は、そのエリアの代表地点にロゴマークが表示されます。

営業時間考慮周辺検索について

- 営業時間を考慮するのはATM・駐車場・コンビニ（am/pm、サンクス、スリーエフ、セブンイレブン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ローソン、サークルK、セイコーマート、セーブオン、スパー、ココストア、ポプラ）・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。
- 営業時間考慮周辺検索では、2004年8月～2005年7月までの1年間のカレンダーに基づいた休日データが収録されています。

- 本品に誤字、脱字、位置ずれなど表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は保障するものではありません。
- マイリスト検索のデータについてユーザーが登録したデータを含むため、名称、住所名称、詳細情報に誤りがある場合があります。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。本品に使用している交通規制データは、2003年4月現在のものです。また、曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索（登録道使用ルート、学習ルートを含む）は100mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。なお、シティマップに表示されない道路でも、100mスケールの地図に表示されていれば、シティマップ上でもルートが表示されます。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、全てのフェリー航路が収録されいるわけではありません。
  また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 案内地点には、右左折や高速道路出口などを案内する音声が自動的に設定されます。

いくつかの都道府県にまたがる長距離のルートを設定するときは、一般国道の交差点や高速道路のインターチェンジに立寄地を指定しておくと、よりよい経路が選ばれます。

ルート探索のされかた

- 出発地（自車位置）から最も近い、道路の前方方向の交差点が第1案内地点となります。出発地指定を行ったときは、指定した地点から最も近い道路にある直近の2つの交差点のうち、どちらか一方が第1案内地点になります。
- 最終案内地点は、目的地に設定した場所から最も近い道路にある直近の2つの交差点のうち、どちらか一方になります。目的地付近に道路が見つからないときは、目的地から最も近い、道路との交差点が最終案内地点になります。
- 進行方向に進むとあまりにも遠回りになる場合、現在の進行方向と反対向きのルートが設定される場合があります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。その際には、目的地を使用したい道路の近くに移動させてみてください。
- 回避エリアを登録しても、その場所が回避されない場合があります。
- 渋滞考慮ルート設定、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合には回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになる場合があります。
- 立寄地や登録道使用、乗り降りICの指定、および音声操作によるルート探索、自宅ボタンでの自宅ルート探索を行った場合は、1本のみのルート探索となります。
- 出発地から道塗り開始点まで、道塗り終了点から目的地までの距離が遠い場合があります。
- 場所によってはルート探索できない場合があります。その場合、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路（100mスケールでグレー表示の細い道）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 幹線道路などの幅の広い道路や上下線分離道路、山道などの曲がりくねった道路では、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見える場合があります。（音声案内は継続）

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。
- 高速道路のインターチェンジ出口に目的地を設定すると、「高速出口」「料金」の音声案内はしないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点に進入する直前の自車の進行方向が上になるように表示されます。道路が直行する交差点では、交差点拡大図の下から自車マークが交差点内にあらわれます。交差点手前で道路がカーブしている場合は、自車マークは道路に沿って交差点拡大図の横方向からあらわれます。
- 交差点付近で大きくカーブした場所では、実際の形状と異なる場合があります。
- ルート以外の道路の色は地図上に表示されている色と異なることがあります。
- 第1案内地点や立寄地直後の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。
- ランドマーク音声案内は、交差点によっては行われない場合があります。

ルート候補選択画面での高速料金について

- 特殊な料金体系の高速道路においては、正しい料金が表示されない場合があります。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 高速道路上およびランプ上からルートを探索したときや、高速道路上に目的地を設定したときは、高速道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- ［行き先・場所］メニューからインターチェンジなどの高速道路施設を検索し、表示された地点を出発地としてルートを探索した場合、料金が正しく表示されません。高速道路に乗る前の地点を出発地としてルートを探索してください。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりする場合があります。このような場合は実際の料金に従ってください。
- 高速料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。
- 有料道路をまったく使用しない場合は、「0円」と表示されます。

ルートアドバイザーについて

- 登録道が設定されていても、案内地点からの距離などの条件で動作しない場合があります。また登録した道を必ず使用するとは限りません。
- オートリルート履歴、登録リルート地点があっても案内地点からの距離などの条件で動作しない場合があります。またオートリルート履歴、登録リルート地点を必ず使用するとは限りません。

VICS情報に関する注意事項

FM多重放送について

- 一定周期で情報が更新されるため、情報がそろうまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

ビーコンについて

- 高速道路の高架下で、高速道路のビーコンを受信してしまう場合があります。
- ビーコンアンテナの前に遮蔽物を置かないでください。
- 大型車と並走しているときなどに、ビーコンを受信できない場合があります。

VICSセンターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、（財）VICSセンターへお問い合わせください。

電話受付　9:30～17:45
（土・日・祝祭日を除く）
FAX受付　24時間

窓口：東京センター
　電話番号　：0570-00-8831（全国）
携帯・PHS専用：(03)3592-2033（東京）
　〃　：(06)6209-2033（大阪）
　FAX　：(03)3592-5494

VICS情報のサービス提供地域

VICSセンターよりサービスされるFM多重放送を使用したVICS情報は、NHK-FMのFM多重放送の電波により提供されます。なお、サービス提供地域については（財）VICSセンターへお問い合わせください。

ETCに関する注意事項

ETC（Electronic Toll Collection）とは、現在、有料道路の料金所で行われている現金や回数券、カードの手渡しによる料金支払いにかわる、新しい料金支払いシステムです。

料金所に設置されている路側アンテナと車両に装着した車載機との間で、無線通信を行って料金情報をやり取りします。これによって、料金所をノンストップ・キャッシュレスで通過できるようになります。

ETCを利用するためには、本機にETCユニット「ND-ETC2」（別売）と接続コード「CD-ETC11」（別売）をつなぐ必要があります。

ETCの詳しい説明は、ETCユニットの取扱説明書を参照してください。

ETCに関するお問い合わせ先

ETCの概念、計画、または提供される情報に関することは、下記へお問い合わせ下さい。

国土交通省
　TEL　03-5253-8111（代）
日本道路公団ハイウェイガイド
　TEL　03-3506-0333（代）
　受付時間　9:00～18:00（土・日・祝日休）
首都高速道路公団　管理部営業課
　TEL　03-3539-9345
阪神高速道路公団業務部営業管理課
　TEL　06-6252-8121（代）
本州四国連絡橋公団業務部営業課
　TEL　078-291-1048
　受付時間　9:00～17:30（土・日・祝日休）

また、下記のホームページでもETCに関する情報を見ることができます。

国土交通省道路局ホームページ
　http://www.mlit.go.jp/road/
国土交通省道路局ITSホームページ
　http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/
日本道路公団ホームページ
　http://www.jhnet.go.jp/
首都高速道路公団ホームページ
　http://www.mex.go.jp/
阪神高速道路公団ホームページ
　http://www.hepc.go.jp/
本州四国連絡橋公団ホームページ
　http://www.hsba.go.jp/

予報に関する注意事項

天気予報は、(株) ウェザーライン発表によるものです。週間天気予報は、気象庁発表によるものです。
天気予報、季節情報（紫外線、杉花粉）の発表時刻は、4:00と16:00です。週間天気予報の発表時刻は、11:00と17:00です。最新の予報をご利用ください。

天気予報および週間天気予報は、全国を20キロメッシュの格子状に分割し、分割されたエリアの天気と気温の予報を表示します。

天気予報	約2日先までの予報が3時間おきに表示されます。
週間天気予報	1週間先までの予報が1日おきに表示されます。

地面の色は、3時間ごとの天気を20キロメッシュごとに塗り分けたものです。
雨、大雨、雪、大雪は、下記の降水量を意味しています。

雨	降水量10mm/h未満
大雨	降水量10mm/h以上
雪	降水量5mm/h未満
大雪	降水量5mm/h以上

大雨や大雪の表現は、災害との関連を表しているものではありませんので、ご利用の際はご注意ください。

季節情報（紫外線、杉花粉）は、1日分の最大値が表示されます。

この予報をもとに遂行された活動において発生したいかなる人物の損傷、死亡、所有物の損失、損害に対して、パイオニア株式会社と株式会社ウェザーラインでは、すべての求償の責は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- （株）ウェザーラインが天気予報を発表する時刻は予告なく変更される場合があります。
- パイオニア株式会社ならびに株式会社ウェザーライン社がご提供する気象情報は、気象学を中心とした科学技術をもって解析したプロダクトです。現状の科学技術では人知の及ばない要素を含んでいますので、局地的な地形などの効果や予想し得ない急激な変化により現況と予報との差異が現れることがあります。

天気予報のデータ取得エリアについて

●東日本

［北海道］［青森］［岩手］［宮城］［秋田］
［山形］［福島］［茨城］［栃木］［千葉］
［新潟］［群馬の一部］［埼玉の一部］
［東京の一部］［神奈川の一部］［富山の一部］
［長野の一部］

●中日本

［山形］［福島］［茨城］［栃木］［群馬］
［埼玉］［千葉］［東京］［神奈川］［新潟］
［富山］［石川］［福井］［山梨］［長野］
［岐阜］［静岡］［愛知］［三重］［滋賀］
［京都］［大阪］［奈良］［和歌山］
［兵庫の一部］

●西日本

［滋賀の一部］［京都の一部］
［奈良の一部］［和歌山の一部］［大阪］
［兵庫］［鳥取］［島根］［岡山］［広島］
［山口］［徳島］［香川］［愛媛］［高知］
［福岡］［佐賀］［長崎］［熊本］［大分］
［宮崎］［鹿児島］［沖縄］

本機では地図表示不可能な諸島やデータ取得エリア範囲外の諸島などは、気象情報の提供範囲外となる場合があります。（一部、地図表示可能な諸島でも、気象情報の提供範囲外となる場合があります。）

アメダス情報について

アメダス情報は、気象庁発表によるものです。
データは毎正時に観測されて発表されます。最新の情報（過去1時間以内のもの）をご利用ください。
全国各地のアメダスポイントごとに、下にある表のデータが色分けされた四角（2D表示の場合）または棒グラフ（3D表示の場合）、風向、風速は矢印で表示されます。

アメダス情報を見るときは、地図の縮尺を20kmスケール以上にしてください。これより詳細な地図では、アメダス情報を画面に表示できません。

表示されるデータについて

データの種類	観測地点の数	表示単位
降水量	約1300ケ所	0.5mm単位
気温	約840ケ所	0.1℃単位
風向・風速	約840ケ所	16方位、1m/s単位
日照時間	約840ケ所	0〜60分、1分単位
積雪量	約300ケ所	1cm単位
データ日時	—	毎正時

詳細市街地図収録エリアについて

本ディスクには、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

整備面積95%以上（337都市）

多賀城市、新町、玉村町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、岩槻市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ケ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、上福岡市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、伊奈町、吹上町、大井町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、玉川村、川島町、吉見町、鳩山町、大里町、江南町、川本町、騎西町、南河原村、川里町、北川辺町、大利根町、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町、杉戸町、松伏町、庄和町、千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ケ谷市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、沼南町、酒々井町、印旛村、本埜村、大網白里町、九十九里町、成東町、山武町、蓮沼村、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、相模原市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、城山町、相模湖町、新湊市、下村、大島町、野々市町、石和町、竜王町、玉穂町、昭和町、田富町、大垣市、羽島市、瑞穂市、川島町、岐南町、笠松町、柳津町、安八町、墨俣町、清水町、舞阪町、名古屋市、一宮市、半田市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、常滑市、江南市、尾西市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、東郷町、長久手町、西枇杷島町、豊山町、師勝町、西春町、春日町、清洲町、新川町、大口町、扶桑町、木曽川町、祖父江町、平和町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、十四山村、飛島村、弥富町、佐屋町、佐織町、阿久比町、東浦町、武豊町、吉良町、幡豆町、幸田町、三好町、小坂井町、御津町、桑名市、長島町、木曽岬町、楠町、朝日町、川越町、草津市、守山市、中主町、能登川町、向日市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、豊中市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、美原町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、高砂市、川西市、稲美町、播磨町、揖保川町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、早島町、松茂町、北島町、赤岡町、春日市、志免町、那覇市、豊見城市

整備面積80%以上（31都市）

塩竈市、ひたちなか市、前橋市、高崎市、伊勢崎市、群馬町、花園町、木更津市、栄町、白子町、あきる野市、藤野町、神戸町、輪之内町、北方町、新居町、春日井市、立田村、一色町、彦根市、近江八幡市、長岡京市、池田市、御津町、當麻町、和歌山市、船穂町、水巻町、宜野湾市、浦添市、南風原町

整備面積50%以上（93都市）

名取市、七ケ浜町、利府町、富谷町、伊達町、水戸市、古河市、取手市、五霞町、上三川町、大胡町、吉岡町、赤堀町、明和町、大泉町、深谷市、越生町、小川町、岡部町、市原市、長柄町、秦野市、松田町、津久井町、富山市、小杉町、大門町、寺井町、豊富村、双葉町、岐阜市、各務原市、平田町、坂祝町、兼山町、浜松市、三島市、焼津市、伊豆長岡町、蒲原町、雄踏町、岡崎市、豊川市、豊田市、犬山市、美浜町、四日市市、多度町、東員町、河芸町、御薗村、野洲町、安土町、五個荘町、愛知川町、近江町、城陽市、木津町、岸和田市、高槻市、貝塚市、茨木市、泉佐野市、泉南市、島本町、河南町、姫路市、加古市、三木市、猪名川町、御所市、高取町、明日香村、新庄町、寄島町、府中町、徳島市、藍住町、

高松市、松前町、高知市、北九州市、福岡市、久留米市、中間市、大野城市、太宰府市、宇美町、須恵町、新宮町、粕屋町、芦屋町、北茂安町

整備面積50%未満（954都市）

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、当別町、上磯町、大野町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、静内町、音更町、幕別町、釧路町、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、藤崎町、野辺地町、盛岡市、宮古市、大船渡市、水沢市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、江刺市、二戸市、雫石町、岩手町、滝沢村、玉山村、紫波町、矢巾町、石鳥谷町、金ケ崎町、前沢町、大槌町、山田町、仙台市、石巻市、古川市、気仙沼市、白石市、角田市、岩沼市、大河原町、柴田町、山元町、松島町、大和町、小牛田町、若柳町、迫町、矢本町、秋田市、能代市、横手市、大館市、本荘市、男鹿市、湯沢市、大曲市、鹿角市、鷹巣町、八郎潟町、角館町、十文字町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒 田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、高畠町、川西町、余目町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、原町市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、国見町、保原町、川俣町、本宮町、鏡石町、河東町、会津高田町、矢吹町、石川町、三春町、船引町、日立市、土浦市、石岡市、下館市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、水海道市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、岩井市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、茨城町、小川町、美野里町、内原町、常北町、大洗町、友部町、岩間町、岩瀬町、東海村、那珂町、瓜連町、大宮町、大子町、鉾田町、神栖町、波崎町、麻生町、玉造町、江戸崎町、美浦村、阿見町、新利根町、八郷町、千代田町、新治村、伊奈町、谷和原村、関城町、明野町、真壁町、協和町、八千代町、千代川村、石下町、総和町、猿島町、境町、藤代町、利根町、宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、今市市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、黒磯市、南河内町、河内町、二宮町、茂木町、芳賀町、壬生町、石橋町、国分寺町、野木町、大平町、藤岡町、岩舟町、都賀町、藤原町、氏家町、烏山町、那須町、西那須野町、田沼町、桐生市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、北橘村、富士見村、宮城村、粕川村、新里村、榛名町、箕郷町、子持村、伊香保町、吉井町、下仁田町、甘楽町、松井田町、中之条町、草津町、白沢村、月夜野町、水上町、境町、尾島町、新田町、藪塚本町、笠懸町、大間々町、板倉町、千代田町、邑楽町、秩父市、飯能市、本庄市、名栗村、都幾川村、横瀬町、長瀞町、小鹿野町、美里町、児玉町、神川町、神泉村、上里町、妻沼町、寄居町、銚子市、館山市、佐原市、八日市場市、旭市、勝浦市、鴨川市、君津市、富津市、下総町、大栄町、小見川町、多古町、東庄町、飯岡町、松尾町、横芝町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、長南町、御宿町、大原町、岬町、鋸南町、白浜町、千倉町、奥多摩町、山北町、清川村、新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、新津市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、栃尾市、糸魚川市、新井市、五泉市、白根市、豊栄市、上越市、阿賀野市、佐渡市、聖籠町、中条町、横越町、亀田町、岩室村、弥彦村、分水町、吉田町、巻町、西川町、田上町、栄町、小出町、塩沢町、荒川町、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、上市町、八尾町、婦中町、福光町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、松任市、かほく市、根上町、鶴来町、津幡町、内灘町、福井市、敦賀市、武生市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、松岡町、三国町、丸岡町、春江町、坂井町、今立町、甲府市、富士吉田市、塩山市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、春日居町、牧丘町、勝沼町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、中道町、芦川村、三珠町、市川大門町、増穂町、鰍沢町、中富町、身延町、敷島町、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、上野原町、長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ケ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、臼田町、軽井沢町、御代田町、丸子町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、高森町、豊丘村、明科町、豊科町、穂高町、梓川村、池田町、小布施町、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、可児市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、海津町、南濃町、養老町、垂井町、関ケ原町、揖斐川町、池田町、武芸川町、富加町、川辺町、八百津町、笠原町、国府町、静岡市、沼津市、熱海市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、掛川市、藤枝市、御殿場市、

袋井市、天竜市、浜北市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、東伊豆町、函南町、韮山町、大仁町、長泉町、小山町、富士川町、由比町、岡部町、大井川町、相良町、榛原町、吉田町、金谷町、大須賀町、小笠町、菊川町、大東町、森町、浅羽町、福田町、竜洋町、豊田町、豊岡村、細江町、豊橋市、瀬戸市、新城市、田原市、八開村、南知多町、額田町、藤岡町、足助町、下山村、旭町、音羽町、一宮町、渥美町、津市、伊勢市、松阪市、上野市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、久居市、いなべ市、菰野町、安濃町、一志町、嬉野町、三雲町、明和町、玉城町、二見町、小俣町、志摩町、阿児町、大津市、長浜市、八日市市、栗東市、志賀町、石部町、甲西町、水口町、甲南町、蒲生町、日野町、竜王町、湖東町、山東町、米原町、湖北町、高月町、安曇川町、新旭町、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、京丹後市、井手町、宇治田原町、山城町、加茂町、笠置町、和束町、南山城村、園部町、八木町、岩滝町、伊根町、河内長野市、和泉市、箕面市、豊能町、能勢町、千早赤阪村、洲本市、相生市、豊岡市、龍野市、赤穂市、西脇市、小野市、三田市、加西市、篠山市、吉川町、社町、滝野町、福崎町、香寺町、上郡町、山崎町、柏原町、氷上町、津名町、東浦町、西淡町、三原町、南淡町、奈良市、天理市、桜井市、五條市、都祁村、大宇陀町、菟田野町、榛原町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、下津町、野上町、打田町、那賀町、貴志川町、岩出町、かつらぎ町、高野口町、湯浅町、吉備町、美浜町、由良町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、淀江町、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、平田市、鹿島町、東出雲町、大社町、岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸町、山陽町、日生町、牛窓町、邑久町、長船町、瀧崎町、金光町、鴨方町、里庄町、真備町、落合町、広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、因島市、福山市、府中市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、三次市、海田町、熊野町、坂町、江田島町、音戸町、大野町、能美町、大柿町、黒瀬町、瀬戸田町、向島町、沼隈町、神辺町、下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、小野田市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、和木町、玖珂町、平生町、秋穂町、小郡町、山陽町、鳴門市、小松島市、阿南市、石井町、那賀川町、羽ノ浦町、板野町、上板町、鴨島町、脇町、池田町、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、内海町、土庄町、三木町、香川町、綾南町、飯山町、多度津町、三野町、豊中町、詫間町、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、北条市、東予市、四国中央市、大西町、菊間町、重信町、砥部町、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、中村市、宿毛市、土佐清水市、野市町、伊野町、春野町、大牟田市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、山田市、甘木市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、小郡市、筑紫野市、宗像市、前原市、古賀市、那珂川町、福間町、津屋崎町、岡垣町、遠賀町、鞍手町、宮田町、桂川町、稲築町、穂波町、庄内町、三輪町、夜須町、志摩町、大刀洗町、三潴町、広川町、瀬高町、大和町、三橋町、高田町、糸田町、川崎町、椎田町、吉富町、佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、諸富町、大和町、神埼町、千代田町、小城町、三日月町、塩田町、嬉野町、長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、福江市、平戸市、松浦市、壱岐市、三和町、多良見町、長与町、時津町、飯盛町、有明町、国見町、加津佐町、口之津町、西有家町、有家町、生月町、佐々町、熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、本渡市、山鹿市、牛深市、菊池市、宇土市、不知火町、松橋町、小川町、植木町、大津町、合志町、泗水町、西合志町、御船町、益城町、芦北町、五和町、大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、日出町、三重町、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、清武町、佐土原町、三股町、高鍋町、門川町、鹿児島市、川内市、鹿屋市、枕崎市、串木野市、阿久根市、名瀬市、出水市、大口市、指宿市、加世田市、国分市、西之表市、垂水市、東市来町、宮之城町、加治木町、隼人町、志布志町、石川市、具志川市、平良市、石垣市、名護市、糸満市、沖縄市

オービスポイントについて

別売のオービスROMを利用すると、全国599ヵ所のオービスポイントとねずみ取り目撃ポイント168ヵ所の情報を画面と音声の両方で案内させることができます。

オービスポイントを表示させるには

オービスポイントのマークを画面に表示させるには、「機能設定」（108P）の［オービスポイント］を［全ポイント］、［高速道のみ］、［一般道のみ］のいずれかに設定してください。

- オービスROMには、株式会社三栄書房のSSR委員会が確認したポイントのデータが収録されています。
- ロゴマーク（84P）の場合とは異なり、オービスポイントの詳細情報を表示させることはできません。

企画・制作

株式会社三栄書房　OPTION・SSR委員会

かな漢字変換できる記号

この読みで変換すると	この記号が入力できます
しかく	□ ■
ひしがた	◇ ◆
まる	○ ◎ ●
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
ほし	☆ ★
てん	・
やじるし	→ ← ↑ ↓
たす	＋
ぷらす	＋
ぷらすまいなす	±
かける	×
わる	÷
いこーる	＝
から	～
きごう	、 。 , . ・ : ; ? ! ゛ ゜ ´ ¨ ^ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝 々 〆 ○ ― ‐ ／ ＼ ～ ∥ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ” ( ) 〔 〕 [ ] { } 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ¢ £ % # @ § ☆ ○ ◎ ※ 〒

この読みで変換すると	この記号が入力できます
おなじ	ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝 々
こめじるし	※
せくしょん	§
げた	〓
ゆうびん	〒
ど	℃
せっし	℃
えん	¥
どる	＄
せんと	¢
ぽんど	£
ぱーせんと	%
ゆえに	∴

機能設定一覧

[地図表示]

■色は購入直後の設定です。

設定項目	設定内容
地図色切替	時刻連動
	イルミ連動
	昼色固定
軌跡自動消去	ON
	OFF
軌跡表示	ON
	OFF
登録地画像表示	ON
	OFF
立体ランドマーク表示	ON
	OFF
天気予報表示	ON
	OFF
スクロール方面表示	ON
	OFF
2D固定スクロール	ON
	OFF
現在地情報の表示	市区町村名
	走行道路名
	緯度経度
	AV情報
2D地図の回転	ヘディングアップ
	ノースアップ
ノースアップフロントワイド	ON
	OFF
シティマップ	ON
	OFF
スカイシティマップ	ON
	OFF
ドライバーズビュー ウィンドウマップ	ON
	OFF
シティハイウェイ ウィンドウマップ	高速マップ
	通常マップ
	OFF
自動ハイウェイマップ	シティハイウェイマップ/ ハイウェイモード
	ハイウェイモード
	OFF
駐車場マップ	オート
	マニュアル

[ルート・案内]

■色は購入直後の設定です。

設定項目	設定内容
シティハイウェイオート アングルチェンジ	ON
	OFF
車線変更促し表示	ON
	OFF
オートフリーズーム	ON
	OFF
方面案内表示	ON
	OFF
交差点案内表示	ドライバーズビュー
	拡大図
ルートインフォメーション	ON
	OFF
道のり・到着予想時刻表示	目的地
	立寄地
到着予想時刻速度 (一般道)	20km/h
	30km/h
	40km/h
到着予想時刻速度 (有料道)	60km/h
	80km/h
	100km/h

設定項目	設定内容
ルート探索時の条件	推奨/有料標準
	距離優先/有料標準
	推奨/有料回避
	距離優先/有料回避
フェリー航路使用条件	標準
	優先
	回避
登録地のルート探索条件	使う
	使わない
回避エリア	ON
	OFF
学習ルート探索	ON
	OFF
渋滞考慮ルート探索	ON
	OFF
ルートアドバイザー	ON
	OFF
オートリルート	ON
	OFF
渋滞考慮オートリルート	ON
	OFF

[VICS・FM多重]

■色は購入直後の設定です。

設定項目	設定内容
渋滞オートガイド	ON
	OFF
渋滞情報表示	高速道・一般道
	高速道のみ
	一般道のみ
	OFF
渋滞情報表示の点滅	ON
	OFF
順調表示	ON
	OFF
規制表示	ON
	OFF
駐車場満車表示	ON
	OFF
区間旅行時間表示	ON
	OFF
ビーコン即時表示	文字・図形
	図形
	OFF
ビーコン即時表示時間	5秒
	10秒
	15秒
FM多重チューナーの設定	VICS
	D-GPS
	FM多重
	VICS/D-GPSダブル

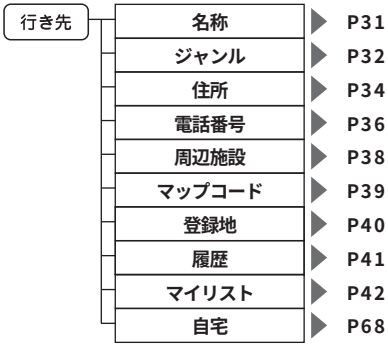
[その他]

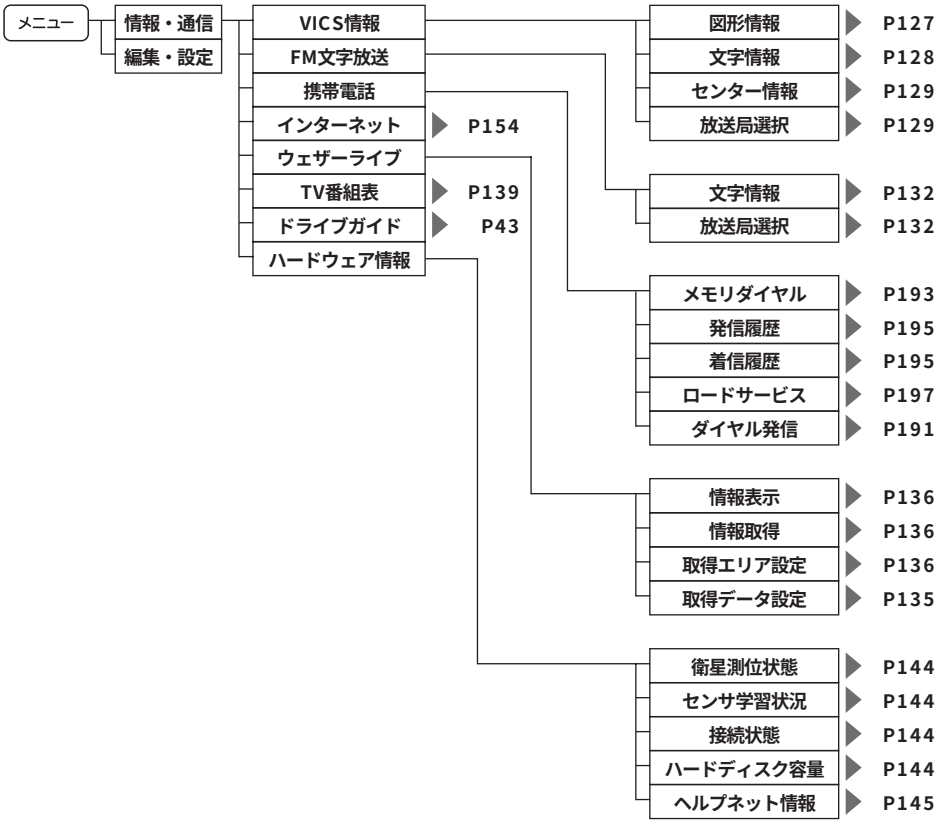
■色は購入直後の設定です。

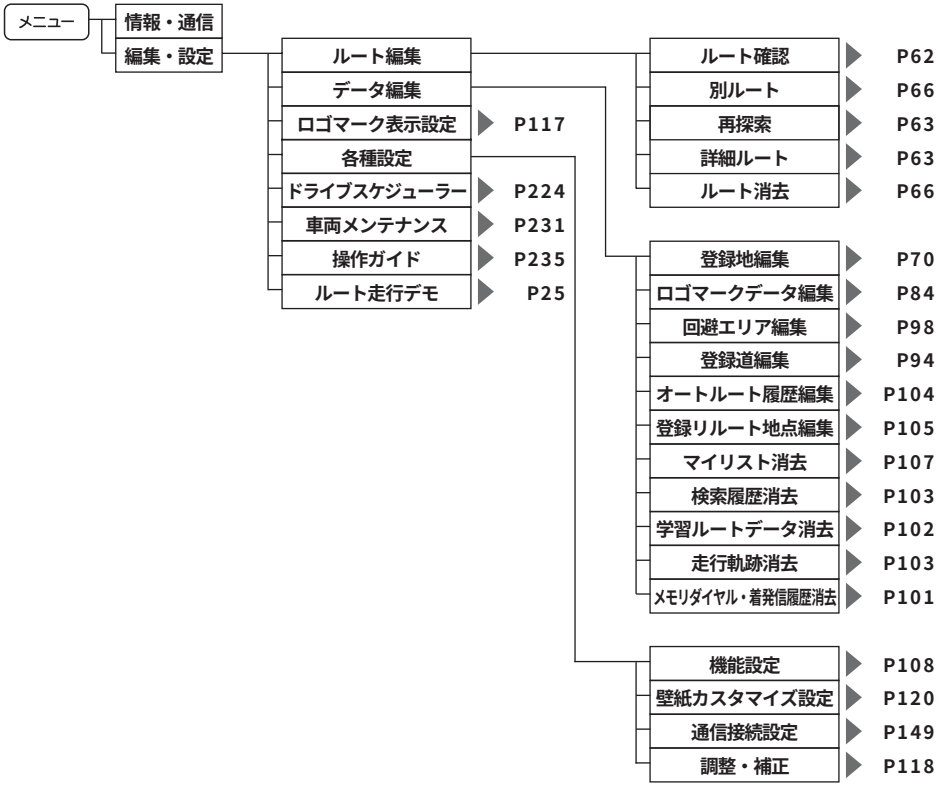
設定項目	設定内容
AV画面割り込み表示	交差点案内表示/ビーコン
	交差点案内表示
	OFF
ボイスヘルプ	オート
	マニュアル
音声認識話者学習使用	ON
	OFF
操作音切替	操作音1
	操作音2
センサメモリ切替	メモリー1
	メモリー2
セーフティインフォメーション	ON
	OFF
有料道路料金区分	中型車
	普通車
	軽自動車
オービスポイント	全ポイント
	高速道のみ
	一般道のみ
	OFF

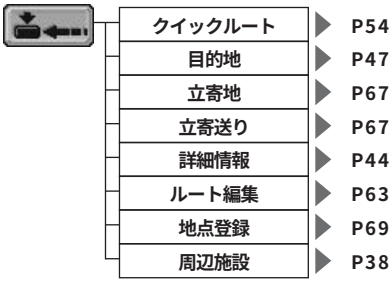
オービスポイントを案内させるには、別売のオービスROMが必要です。

メニュー索引


行き先
名称 P31
ジャンル P32
住所 P34
電話番号 P36
周辺施設 P38
マップコード P39
登録地 P40
履歴 P41
マイリスト P42
自宅 P68


メニュー
情報・通信
編集・設定
VICS情報
FM文字放送
携帯電話
インターネット P154
ウェザーライブ
TV番組表 P139
ドライブガイド P43
ハードウェア情報
図形情報 P127
文字情報 P128
センター情報 P129
放送局選択 P129
文字情報 P132
放送局選択 P132
メモリダイヤル P193
発信履歴 P195
着信履歴 P195
ロードサービス P197
ダイヤル発信 P191
情報表示 P136
情報取得 P136
取得エリア設定 P136
取得データ設定 P135
衛星測位状態 P144
センサ学習状況 P144
接続状態 P144
ハードディスク容量 P144
ヘルプネット情報 P145





ショートカットメニューを表示させた状態により、表示されない項目や選択できない項目があります。

用語索引

■五十音順

あ行

アメダス情報 138
案内開始 55
位置の変更 78
インターナビ 148
インターネット ..... 146、170
ウェザーライブ 133
衛星測位状態 144
オートフリーズーム ..... 60、112
オートリルート ..... 59、113
オービスポイント 116
音声認識コントローラー 7
音声認識話者学習使用 ..... 115、203
音量調整 118

か行

回避エリア 113
学習ルート探索 113
画像形式 73
画像の変更 73
規制表示 114
軌跡自動消去 109
軌跡表示 109
季節情報 138
キャラクタ 199
クイックルート探索 54
区間旅行時間表示 114
グループの振り分け 77
現在地画面 12
現在地情報の表示 110
検索できるジャンル 32
検索できるドライブエリアの種類 43
効果音の変更 75
交差点案内表示 ..... 13、56、112

さ行

サイドマップ表示 15
再読み込み 161
市街地図 19
シグネチャー 184
自車位置修正 119
自車マーク 12
施設情報 21
シティハイウェイマップ 17
シティマップ ..... 19、110
自動ハイウェイマップ 111
自立航法 244
渋滞オートガイド ..... 61、114
渋滞考慮オートリルート ..... 61、113
渋滞考慮ルート探索 ..... 61、113
渋滞情報表示 ..... 61、114
渋滞情報表示の点滅 114
受信メール 184
出発地指定 53
順調表示 114
乗降IC指定 51
詳細ルート設定 50
署名 184
スカイシティマップ ..... 19、110
スカイビュー 16
スクロール画面 14
スクロール方面表示 110
セーフティインフォメーション ..... 13、116
接続状態 144
センサー学習状況 144
センサメモリ切替 116
全ルート再探索 60
送信メール 174

た行

立寄地指定 50
他のルート 50

探索条件 48
探索条件の変更 76
地図色切替 109
地図の縮尺 18
着信履歴 195
駐車場マップ ..... 13、111
駐車場満車表示 114
ツインビュー 17
定形文設定 181
デジカメリンク 73
天気予報 136
天気予報表示 109
添付ファイル 188
到着予想時刻速度(一般道) 112
到着予想時刻速度(有料道) 112
登録地画像表示 109
登録地のルート探索条件 113
登録道指定 52
ドメインネーム 172
ドライバーズビュー 17

な行

ノースアップ 15
ノースアップフロントワイド ..... 15、110
ノーマルビュー 16

は行

ハードディスク容量 144
ハイウェイモード 17
発信履歴 195
ビーコン即時表示 114
ビーコン即時表示時間 115
ビューメモリー 21
フェリー航路使用条件 113
ブックマーク ..... 162、171
プロバイダ ..... 149、170
ヘディングアップ 15
ヘルプネット情報 145
ボイスヘルプ ..... 115、202
方面案内表示 112
ホーム ..... 161、172
ホームページ 157
本体 6

ま行

マップマッチング 248
道のり・到着予想時刻表示 112
メールアドレス 172
メモリダイヤル 193
文字入力 27

ら行

ランドマークリライタブル 84
立体ランドマーク表示 109
料金表示 23
ルートアドバイザー 60
ルート案内開始画面 48
ルートインフォメーション ..... 56、112
ルート確認 49
ルート再探索 63
ルートスクロール 49
ルート走行デモ 25
ルートプロフィール 49
レーン案内 57
レーン情報 13

■数字・アルファベット順

数字

2D地図の回転 110
2Dマークの変更 71
3Dハイブリッドセンサー 246
3Dマークの変更 72

C

carrozzeria.com 171
cdmaOne™携帯電話 146
CGI 172

D

D-GPS 247
DNS 172

F

FM多重チューナーの設定 115
FM文字放送のオンエア連動 133

G

GPS 246

H

http 171

I

IPアドレス 172

M

MONET-i 148

P

PCカードフォーマット 118
Proxyサーバー 172

S

SSL 172

U

URL ..... 162、171

V

VICS情報提供時刻表示 124
VICS情報の表示形態 123
VICS情報マークの種類 125
VICS情報マークの詳細 126

W

www 171

地図データについて

- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図および20万分の1地勢図を使用しました。（測量法第30条に基づく成果使用承認 平15企指公第2号、平8総使第31号）
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（©2004財団法人日本デジタル道路地図協会）を使用しました。（測量法44条に基づく成果使用承認90－063）
- この地図の作成に当たっては、小田原市長の承認を得て、同市発行の2.5千分の1国土基本図を使用しました。（承認番号　平成10年小田原市指令第52号）
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2.5千分の1国土基本図を使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認　平成12年度　知都発第170号）
- この地図の作成に当たっては、養老町長の承認を得て、同町所管の2,500分の1都市計画図を使用しました。
  (平成12年　1902養建第号)
- この地図の作成に当たっては、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調整しました。
  （承認番号平10．近公．第34号)
- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なる場合がありますのでご了承ください。

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、(財)日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。
  TMT承認番号　04-206
- 本製品に使用している交通規制データは、2003年4月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。
- 本製品に使用している交通規制データの著作権は、(財)日本交通管理技術協会が有し、二次的著作物作成の使用実施権をパイオニア(株)が取得しています。本品に使用している交通規制データを無断で複写複製・加工または改変することはできません。
  ©2004.TMT
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

高速道路料金データについて

- 本製品に使用している高速道路・都市高速道路の料金データは、2004年7月現在のものです。

VICSサービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。
  北海道（札幌）（旭川）（函館）（北見）（釧路）、青森県、秋田県、岩手県、宮城県、福島県、山形県、栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、新潟県、富山県、福井県、石川県、愛知県、三重県、岐阜県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、島根県、鳥取県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、大分県、長崎県、佐賀県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3（地図表示型）表示はできません。

テレビ局リストのデータについて

● テレビ局リストのデータは2004年1月調査現在のものです。TV放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

訪問宅（個人宅）電話番号データについて

● 訪問宅（個人宅）電話番号データは、日本ソフト販売（株）「Bellemax®」（2003年7月現在）のデータを使用しております。訪問宅（個人宅）電話番号検索では、一部検索またはピンポイント表示できない場合があります。
音声認識可能な電話番号は上記データを使用しています。

その他情報提供元

● NTT情報開発株式会社（2003年7月現在のタウンページデータ）
音声認識可能な電話番号は上記データを使用しています。
● 財団法人交通事故総合分析センター（1999年度統計による危険地帯データ）
● 三井物産株式会社（2003年7月現在の駐車場データ）
● 監修：夜景愛好家　縄手真人（夜景コメント・夜景写真）
● 小黒俊雄（写真撮影、百名山・高原植物）
● 加藤庸二（写真撮影、名滝百選）
● 関係各市区町村観光課・観光協会（写真協力、さくら名所・名水百選）
● 米国特許No.4,558,302および対応外国特許
● シティハイウェイマップ時に表示される看板データについては、2002年10月調査時点（東京）、2002年9月調査時点（大阪・名古屋）のデータを使用しております。（実際の看板と異なる場合があります）

- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- この製品に含まれるGIFモジュールはブラウザとしての使用に限定して米ユニシス社のライセンスを受けています。これ以外の用途でご使用になるには、お客様自身で別途ライセンスをお取りいただく必要があります。
- また、米ユニシス社から取得したライセンスが適用されるのはこの製品だけであり、この製品と一緒にご使用になる他の製品のライセンスが付与されるものではございません。

「本製品のインターネット機能は株式会社ACCESSのNetFront®を搭載しています。
Copyright©1996-2001 ACCESS CO.,LTD
NetFrontは株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。
本ソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。」

株式会社ACCESS　NetFront®

地図記号一覧

記号	意味	記号	意味	記号	意味
（青）	高速道路・有料道路		空港・飛行場		スポーツ施設
（赤）	一般国道		ヘリポート		その他スポーツ施設
（緑）	主要地方道		フェリー乗り場		海水浴場・プール
（橙）	一般都道府県道		灯台		ヨットハーバー
（淡灰）	一般道		工場など		自動車学校
（淡灰）	細街路		警察署		牧場
（灰/白）	鉄道		消防署		城・城跡
（白）	県境		病院・保健所		神社
		公	公民館・公共図書館		寺
（水色）	海・川・湖沼	〒	郵便局		墓地
			ＮＴＴ		タワー
（緑）	緑地（ゴルフ場・公園など）	小	小学校		温泉
		中	中学校		山岳
（灰ピンク）	施設	文	高校・その他教育施設		指示点
			高専		教会
（茶）	駅・駅舎・駅ビル	大	大学		キャンプ場
			デパート・スーパー		テニスコート
	インターチェンジ名（紺）		ＤＩＹショップ		乗馬クラブ
（橙）	ランプ名（紺）		ホテル		ボウリング場
	交差点名（黒）		ホール・劇場・文化会館		観光船乗り場
			公園	M	マンション（シティマップのみ）
	一方通行（シティマップのみ）		遊園地・テーマパークなど		
	ランプ出入口 （紺：入口　赤：出口）		動物園		
			植物園		
IC	インターチェンジ （5kmスケールのみ）		水族館		
			美術館・博物館		
SA	サービスエリア		野球場・スタジアム		
PA	パーキングエリア		体育館		
P	駐車場		競馬場		
	道の駅		ゴルフ場・ゴルフ練習場		
¥	料金所		スキー場		
	トンネル出入口		モータースポーツ		

※地図データの整備上、通常の地図とシティマップでは、道路種別色が異なることがあります。
※地図の回転などにより、文字どうし、あるいは文字と記号とが重なる場合があります。
※車の進行方向によって、交差点名が地図上の表記と実際の表記で異なる場合があります。
※地図記号は、実際に地図に表示される記号と若干異なる場合があります。
※記号の色は印刷インクの関係上、実際の色とは異なる場合があります。

CRA3704

PRINTED WITH SOY INK

この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

ご購入後の製品の修理・取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください

●修理のご依頼は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』の項目をご確認のうえ、お買い求めの販売店へご依頼ください。
●取り付け・組み合わせなどのお問い合わせにつきましても、お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。

〈下記窓口へのお問い合わせ時のご注意〉
市外局番「0070」で始まるフリーフォンおよび「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。また、一般電話は携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめご了承ください。

〈安全上のご注意〉
携帯電話などの走行中の使用などの禁止に関する規定が、改正道路交通法（法第71条第5号の5）にて施行されています。自動車または原動機付自転車（原付）からの、携帯電話などによる発信・応答・通話は、安全な場所に止めてからご利用ください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）
〈受付〉 月曜～金曜 9：30～17：00、土曜 9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

カーオーディオ／カーナビゲーション製品のご相談窓口：**0070-800-8181-11**
03-5496-8016（一般電話）
カタログのご請求窓口：**0070-800-8181-33**
ファックス：**03-3490-5718**
パイオニアホームページでのご案内
商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 *http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html*
カタログ請求とメールサービス登録のご案内 *http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入に関するご相談については、部品受注センターにご相談ください。

● **部品受注センター**（フリーダイヤル）
〈受付〉 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話：**0120-5-81095**
0538-43-1161（一般電話）
ファックス：**0120-5-81096**

ご贈答品などの修理についてのご相談窓口

修理のお問い合わせは、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』の項目をご確認のうえお問い合わせください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターにご相談ください。

● **修理受付センター**（沖縄県を除く全国）（フリーダイヤル）
〈受付〉 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話：**0120-5-81028**（ゴー パイオニア）
03-5496-2023（一般電話）
ファックス：**0120-5-81029**

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）
〈受付〉 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話：**098-879-1910**（一般電話）
ファックス：**098-879-1352**

パイオニア株式会社
〒153-8654 **東京都目黒区目黒** 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2004

< KNKFF > < 04H00000 > < CRA3704-A >